

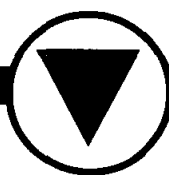
高级篇

日本語会話への挑戦

H369.9
120D
:3

挑战日语口语

主 编 赵 平 副主编 李 玲 高桥博美



会 话

解 说

练 习

翻 译

中国科学技术大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

挑战日语口语·高级篇/赵平主编. —合肥:中国科学技术大学出版社,2006.6
ISBN 7-312-01903-X

I. 挑… II. 赵… III. 日语—口语 IV. H369.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2006)第 039044 号

挑战日语口语·高级篇 赵平主编

中国科学技术大学出版社出版发行

(安徽省合肥市金寨路 96 号,邮编:230026)

电话:0551-3602905 传真:0551-3602897

网址:<http://www.press.ustc.edu.cn>)

合肥学苑印务有限公司印刷

全国新华书店经销

开本:787mm×960mm 1/16 印张:16.5+2.25(练习答案) 字数:326 千

2006 年 6 月第 1 版 2006 年 6 月第 1 次印刷

印数:1—3000 册

ISBN 7-312-01903-X/H·69

定价:33.00 元(含《练习答案》、配套光盘)

鸣 谢

本书在收集资料和编写创作过程中,得到了春木和子、森園良樹、山内茂、大橋定順、永田聡、前田晃一、庄垣内淳子、伊藤光子、松田加奈、笕有志、益田英雄、新冈京子等日本友人的大力协助,并得洛阳外国语学院教授胡振平先生、日本神户学院大学教授中村宏先生赐序,在此深表感谢!

编写·录音人员

主 编 赵 平

副主编 李 玲 高桥博美

执笔者 赵 平(淮海工学院)

李 玲(日本同志社大学, 神戸学院大学)

张利平(成都理工大学)

颜 欢(重庆大学)

赵康英(江苏大学)

熊玉娟(淮安生物工程高等职业学校)

王 萍(重庆大学)

吴昌萍(南京农业大学)

吴 琴(淮海工学院)

高桥博美(日本神戸学院大学)

新井菜摘子(淮海工学院外籍教师)

浦田千晶(苏州大学外籍教师)

古贺胜行(日本专业演员, 配音演员)

伊藤茂(日本神戸学院大学)

阿部治平(日本大阪外国语学院, 淮海工学院外籍教师)

福井耕一(日本神戸市中国文学研究员)

配套录音朗读者

浦田千晶

阿部治平

古贺胜行

赵平

朱梦船(日本神户大学附属明石中学校学生)

赵含嫣(日本藤江小学校,连云港师专一附小学生)

赵脩羽(日本藤江小学校,连云港师专一附小学生)

新井菜摘子

三友阳子(中央民族大学)

龟屋明子(日本冲绳国际大学)

冈田直子(日本龙谷大学)

牛谷文子(日本株式会社トライ)

中上彻也(浙江万里学院,日本神户市外国语大学)

李玲

多罗尾美智代(日本产劳综合研究所)

橘雄三(淮海工学院外籍教师)

橘和子(日本家庭主妇)

熊玉娟

前园忠一(江苏大学外籍教师)

伊藤光子(日本庵建设事务所)

小林荣三(淮海工学院外籍教师)

李爱华(淮海工学院)

插图 浦田千晶(苏州大学)

录音/剪辑 赵平

序

胡振平

中国日语教学研究会前会长

洛阳外国语学院教授

今年初,赵平和李玲的大作《日语文学作品读解与翻译》放在案头,每翻看一段,可谓开卷有益,耳目一新的感觉油然而生。中国人赵平用日语写的小说,并且将之用作日语教材,这在中国可以说是破天荒。这些文学作品读起来不仅内容亲切,而且文字纯正流畅,并不亚于读日本文学家的作品!

正读得津津有味,赵平主编的又一部日语教材《挑战日语口语·初级篇》又出版了。所有的课文都是他亲自撰写,无一转引照搬,这又是一个破天荒。口语体日语所具有的特点,诸如音变、约音、倒置、省略……等等,无不体现得淋漓尽致,绝对不是那种“规范书面语”的口语化。此外,题材丰富多彩且幽默诙谐,学生可以在娱乐中学习日语,轻松而愉快。

许多「落ち」(包袱)还来不及打开,赵平又寄来了他主编的第四部作品《挑战日语口语·高级篇》的书稿(《挑战日语口语·中级篇》已出版),并嘱我作序,这是一桩快事,我很乐意地应允了。

我与赵平相识是在学术研讨会上。听他侃侃而谈地发言,共同切磋琢磨,感觉这位年轻人学术上有造诣,有潜力。他一口地道的日本话听起来很舒服。看了他的作品,间接地从日本人的序里知道,他原在日本读的是法学博士,在学期间就从事文学创作,并且有作品发表。回国后才从事日语教育,走过了一条从法学到文学又到日语教育的曲折道路。岁月锻炼了赵平。在淮海工学院这个日语教育历史不长、极不显眼的地方,在他的带领下,一支精锐部队异军突起,特色鲜明、独树一帜地编起了日语口语教材,这在中国的日语教育界是一件值得高兴的大好事!标志着国内的日语教材编写已经进入了一个崭新的历史阶段。

赵平教授,赵平博士有今天的表现那不是一天的功夫和一时的冲劲。如此多产,一年多出版三部有份量的书也不是他一个人就可以做到的。在他心怀若谷、能容百川的胸襟下,群贤毕至,少长咸集,连日本的文学家、艺术家、相声大师、专业演员、配音演员都参与了进来,中日两国先后有近 60 人投入了这项巨

大的编写、录音工程,这也是国内一般日语教材编制中少见的现象。

最后,更加令人感动的是,赵平如此殚精竭虑、不顾一切地要尽快完成这一系列教材,用他自己的话说是“这套书的出版是我扼住癌症咽喉的一个宣言。”字字铿锵有力,催人泪下!

愿此书尽快出版,祝赵平身体早日康复!

匆匆数笔,辞不达意,是为序。

序

中村宏
神戸学院大学教授
法学博士

最初に本書について申し上げる。一読された方は、この構成において従来の日本語会話教科書とは著しく異なっていることにお気づきになるであろう。日常の俗語をふんだんに交えた、ときには冗談がまじわる会話。著者らの体験を踏まえた正確で緻密を極めた解説。本文に依拠しながらもなお高度な日本語会話を目指した練習問題。それに愉快で独創的な小品。それが文法事項にいたずらにとらわれることなく語彙論や方言論、音韻論など日本語学全般の成果を踏まえている。これらはすべてより美しい日本語を中国の同学の人々に学んで欲しいという意図から出たもので実に用意周到、配慮が隅々まで光っているというべきである。

これを主編した人物こそ、趙平博士である。私は偶々趙平博士の日本留学時代の指導教官であったという故のみを以て、博士のまた又の新著の「序文」を書かせて頂けるという生涯の光栄を賜ることになった。とはいえ、氏は来日当時既に碩学の域に近付いて居られ、何の指導も必要とされていなかったから、それは全く名目的なものであった。今更、おまえなどに、博士について何を聞くことがあろうか、と読者諸子にはお叱りを受けても返す言葉がない。確かに貴国で、博士の、研究業績、実り豊かな教育実践を通して、その筋で知らぬ方は、そうそうは居られぬものとは思う。博士が、奉職されておられる准海工学院において、最も学生に尊敬され慕われている教授であることも、上空遙か風に乗って、折々に私の大学にまで伝わってくる。

ところで、今日まで、多くの大学人にとって、研究と教育の両立は、難問であり続けてきた。日本の場合、戦前は、日本ではこの戦前という言葉は第二次大戦前を指しているが、大学は、旧東京帝国大学など数が限られ、学生もまた「一を聞いて十を知る」選りすぐられた秀才ぞろいであった。そうした当時でさえも、研究と教育の両立の問題は多少あったであろうが、教授達は、自分の研究に裏付けられた高度の授業をすることができたろうと思量される

のである。教壇で、自分が執筆中の論文を読み上げるとか、自説を滔々と弁ずることも可能であったろう。私が学生するとき、四十年ほど前になるが、ある中国文学の高名な教授はその退官記念講演で、「私の学生の頃は、あたふたと教室に入ってこられた先生が、今読んでいる漢文のこの所の意味がもうひとつ分からぬ、とおっしゃる。そこで、学生たちは、図書館に走ってあれこれの辞書やら何やらを借り出してきて、みんなで、辞書と首引きでその箇所の意味を考える、それが授業でした。」そんな様なお話をされていた。その教授の学生の頃だから旧帝大の時代である。学生たちは、授業を通して、研究の最先端に触れ、またその末端を担ったわけである。しかし、戦後になると、新制大学が雨後の竹の子さながらに増加し、さらに、経済成長と人口増のなかで、私立大学が林立し、大学は一変していったのである。今日、多くの大学は授業料を払えば入れるところと化し、教育は研究の最先端とは程遠いところにある形容しがたい何かになった。

貴国、中国も、この点で、日本と同様な事情が多少現れ始めていると聞いている。博士が、大学で学ばれた頃は、少数精鋭の時代であったが、その後貴国の発展とともに学生数は飛躍的に増加し、日本の言葉でいえば、マスプロ教育の段階に差し掛っているように聞く。とはいえ、まだまだ、日本でそうであるように、大学教員の評価は、基本的に研究業績でなされており、教育のウエイトは低いと聞いている。

博士は、日本での十有余年、寝食を忘れ日本語学、日本文学の研鑽を積まれた。言うまでもないことであるが、幾多の珠玉の論文をものされた。世に埋もれようもなく引く手数多であったのであるが、博士がそのたびに私にもの静かに語る言葉は一つであった。「私は、中国に帰って、中国の学生に教えたいのです。」そこには、逆境にあっても変わる事のない博士の祖国と教育への限りない思いが溢れていた。博士にとって、研究は飽くまで教育の為のものであった。その評価は各様であろうが、日本の大学は、恐らくそれはヨーロッパから来たものであろうが、伝統的にはアカデミズムの砦で、象牙の塔であり、研究は研究の為のものであって教育の為のものではなかった。私は、博士の教育への情熱に、己れを省みさせられ、心を痛く打たれずにはいらなかった。私にとっては、教育はしばしば重荷であり糊口を凌ぐ手段であったから。

それにしれも、小咄を素材として教科書をつくる、このような閃きは凡人の頭に浮かぶものではなかろう。まして実際につくるといったことは到底凡庸な者の為せる業ではない。如何な博士といえどもこの独創的な発想は、

教育へのあの熱い思いなくしては生まれなかったであろう。そこには博士の学生たちへの限りない暖かさが感じられる。とはいえ、心情のみでは優れたものは生まれない。そこには、確かな知識と技術と人が求められる。博士の日本語と日本文化についての造詣と作家としての才能があってこそ初めて可能となったものである。博士は、夜空に星の如き文学作品を、しかも日本語で、年々歳々世に出されてきた。天の配慮であろうか、優れた人は優れた人々に巡り会う。博士は実によき共同執筆者に恵まれた。この人々なくしては、これほどのものは完成し得なかったであろう。

「彼を知り己を知れば百戦殆うからず」である。海のこちらから見れば、誠に恐るべしでもある。このような、神業とでも言おうか、見事に工夫されたテキストを片手に、時に笑いこけながら、日本語、日本文化を寸暇を惜しんで学ぶ人たちは、我が社会の裏の裏までを悉く知る高い能力をいつしか自ずと身につけてしまうのではないだろうか。

序

中村宏

神戸学院大学教授

法学博士

首先说说您手里的这本书。想必翻阅过一遍的读者已经注意到了,这本书的结构与其他的日语会话教科书有着显著的不同:充满幽默、夹杂着大量俗语的对话,根据作者的经历所进行的正确而极尽细致的解说,对照原文却又以高级日语会话为目标所编写的练习题,此外还有独创的活泼小品。所有这些,丝毫没有循规蹈矩于语法条例,同时又全面运用了词汇学、方言学、音韵学等日语语言学的成果。所有这些都是为了想让中国的日语同好们学到更为精湛的日语。可以说,在这本书的每一个段落里,都隐藏着作者极为周到的考虑和安排。

这本教材的主编正是赵平博士。赵平留学日本时,我碰巧是他的指导教师,此次得以为他的又一部新书作序,令我感到此生荣幸。其实,赵平来日本留学时,学识已是相当渊博,完全不需要任何指导,我这个指导教师完全是个挂名。现在,即便被各位读者斥责说:“关于赵平博士,难道我们还需要来问你吗?”我也无以作答。的确,在贵国的日语教育圈中,通过赵平的研究业绩和极为丰富的教学活动,大家都知道了赵平博士。赵平博士在他所任职的淮海工学院是最受尊敬和欢迎的教授这一消息,也不断随风飘过蓝天,远传到了我们的大学。

迄今为止,对许多大学来说,如何兼顾研究和教育,是一个一直没能解决的难题。战前——日语中的“战前”意指第二次大战前——的日本只有旧东京帝国大学等数量有限的大学,学生全都经过精挑细选,头脑灵活,闻一知十。虽然当时也多少存在着如何兼顾教育和研究的问题,不过我想当时的教授们能够以自己的研究为根据进行高水平的讲授,也可能在讲台上高声朗读自己写作中的论文、滔滔不绝地阐述自己的见解。我学生时代的40多年前,曾有一位研究中国文学的著名教授在其退休纪念演讲中如此说道:“我当学生那会儿,老师匆匆忙忙赶到教室,一句‘这篇古文的这个地方我还不太明白’,学生们便跑去图书馆,借来各种各样的辞典书籍,东查西找,集思广议。这,就是上课。”那位教授当学生的时候正是“旧帝大”时代。学生们通过上课,既接触到了研究的最前

沿,又担负起了研究中最基本的工作。然而战后新体制的大学如雨后春笋。随着经济发展和人口增长,私立大学也纷纷出现,大学彻底改观,许多大学变成了只要交了学费就能进去的地方,教育远远地落到尖端研究的背后,到了难以言说的地步。

我听说,与此相同的情形也开始在贵国出现。博士在大学学习的年代,讲究少而精。此后,伴随着贵国的发展,学生数量急速增加,套用日本人的说法,就是进入了“普及性教育”的阶段。尽管如此,对大学教员的评价,据悉仍与日本相同,基本上是按照研究业绩定优劣,教学的比重小。

赵平博士在日本的十多年里,废寝忘食地钻研日本的语学和日本文学,不用说,也发表过许多杰出的论文。世人当然不会允许他自甘寂寞,然而每每接到邀请,他都会平静如常地对我说一句话:“我要回中国,教中国的学子。”这句话里,充满了博士对祖国和教育的无限向往,这种向往即便在逆境中也未曾改变。对于博士来说,研究始终为教育而存在。关于这一点有各种各样的看法。日本的大学也许受到欧洲的影响,关在传统的学院式堡垒和象牙之塔中,研究只是为了研究而存在,与教育无关。博士对教育的热情使我反省自身,惭愧之极。因为对我来说,教育有时成为一个包袱,只是养家糊口的手段而已。

话又说回来,将小故事作为素材来撰写教科书,这样的想法在凡人的脑中恐怕是无法闪现的吧。更何况其具体操作也非常人所能胜任。如果对教育没有相当的热忱,即便是博士也不可能产生这种独创的想法吧。这里我们能感受到博士对学生们的无限热爱。话虽如此,仅凭这份心情,优秀的作品仍然无法产生。优秀的作品需要坚实的知识、技术和人才。正因为博士有着对日语和日本文学的造诣以及作为作家的才能,才能做到这一点。博士那如夜空中繁星般闪烁的、而且是用日语创作的文学作品,一年一年地不断问世。也许是机缘巧遇,优秀之人总能与优秀的人邂逅。博士得力于优秀的共同执笔者。没有这些人,这本书也许不能如此顺利地完成。

“知己知彼,百战不殆”。从海峡这边看去,博士诚然令人敬畏。一手捧着这套几乎可以称为奇迹的、着实下了一番工夫的教科书,在时而捧腹笑倒间,珍惜点滴光阴学习日本语和文化的人们,就会在不知不觉、自然而然之中,获取悉知至我们日本社会最深奥层面的卓越能力吧。

(吴琴译)

基本语汇词性分类说明

本书词性分类,参照了辽宁人民出版社 1997 年版《新日汉辞典》、商务印书馆 1995 年版《现代日汉大辞典》、光生馆 1982 年《详解日中辞典》、小学馆 1990 年版《日中辞典》、三省堂 2004 年版《新明解国语词典》、三省堂 2002 年《大辞林》和岩波书店 2002 年版《广辞苑》。

1. 词性用日本文字表示
2. 一个词兼有两种以上词性时,中间用“·”隔开
3. 空一格表示“成语·熟语·惯用语”
4. (佛)——佛教
5. (数)——数学
6. (文)——文语,古典日语
7. (喻)——比喻
8. (俗)——俗语
9. (医)——医学
10. (心)——心理

〔名〕名词

〔代〕代名词

〔形〕形容词

〔形動夕十〕形容动词

〔感〕感叹词

〔副〕副词

〔副助〕副助词

〔接助〕接续助词

〔終助〕终助词

〔連体〕连体词

〔接〕接续词

〔接頭〕接头语

〔接尾〕接尾语

〔連語〕连语词组

〔複〕复合词、复合词组或习惯搭配及其汉译

〔名十〕名词接「な」作形容动词

〔五〕五段活用动词

〔上一〕上一段活用动词

〔下一〕下一段活用动词

* 由于排版系统的原因,本书中个别日文汉字及偏旁如“解”、“花”、“直”、“纟”等不能正确输出,特此说明。

〔サ〕サ行变格活用动词

〔自〕自动词

〔他〕他动词

〔合〕合成词

〔派〕派生词

〔漢造〕汉语造语

目 次

序	胡振平
序	中村宏
第1課 風邪	1
第2課 風邪の直し方	17
第3課 メール	29
第4課 言い間違い	41
第5課 電話のかけ方(一)	55
第6課 電話のかけ方(二)	67
第7課 井戸端会議	80
第8課 保護者会の雑談	94
第9課 職場の出来事	107
第10課 語呂合わせ	123
第11課 ユーモア	136
第12課 寸劇	150
第13課 雑談	167
第14課 病院の話	182
第15課 文章をディスカッションしよう(一)	197
第16課 文章をディスカッションしよう(二)	217
附 録 発音の練習	234

第1課 風邪

日本民间认为,感冒要传给他人自己才能好。当然,这种说法带有玩笑性质,不足为信。不过,感冒时吃带「ん」的蔬菜的确有其疗效,不妨一试。

加藤患了感冒,找医学系的高木为她诊断,引出高木的一番奇谈怪论以及民间治疗的一些偏方。加藤比高木低两届,算是高木的学妹,说话时常体和敬体混用,表现出一定的恭敬。高木因为是学长,又是男性,看来跟加藤也比较熟悉,所以使用的全是常体。

会 話

加藤(女性、大学二年生)

高木(男性、大学四年生)

加藤 この頃ずっと風邪気味なのよ。もう頭がボーッとして、目がチクチク、喉がヒリヒリ、鼻水ズルズル、体はフラフラ。もう、たまらないの。

高木 それはいけないな。風邪は万病のもとして言うから、気をつけないと。

加藤 そう言えば、高木さん、医学部でしたよね。その道の専門じゃないですか？ 少し診てくれませんか。

高木 内科は専門じゃない。まだ学生だし。でも、貧乏学生のおしきで、話ぐらいなら診て上げられるけど。あ、でも、医師免許がないから処方箋も書けないんで、薬も出せないよ。

基本語彙

1. 気味(ぎみ)〔接尾〕(直接接体言、动词连用形之后)有点……,有……趋势
2. ヒリヒリ〔副・サ自〕刺痛的样子;辣得慌
3. ズルズル〔副・サ自〕拖拉着,搭拉着;溜滑;拖延,拖拖拉拉
4. フラフラ〔副・サ自・形動ダナ〕蹒跚,晃荡;信步而行,溜达;(无工作)闲着;(病情)拖长
5. 万病(まんびょう)〔名〕百病,各种疾病
6. よしみ(好)〔名〕交情,关系,姻缘,友情,友谊;亲密交往
7. 処方箋(しょほうせん)〔名〕(医)处方,药方

基本語彙

8. アーン〔副〕(张大嘴发出的声音)啊啊
9. 喉チンコ(のどちんこ)〔名〕小舌头, 悬雍垂(=「口蓋垂(こうがいすい)」)
10. 扁桃腺(へんとうせん)〔名〕扁桃腺
11. 腫れ上がる(はれあがる)〔五自〕肿起来
12. 膿(うみ)〔名〕脓(=「のう」)
13. 寝込む(ねこむ)〔五自〕卧床不起; 熟睡, 酣睡
14. ヒーヒー〔副〕因疼痛难忍的哭泣貌
15. 抗炎剤(こうえんざい)〔名〕消炎药
16. じゃんじゃん〔副〕连接不断地, 一个劲儿; (钟声等) 当当响
17. 控える(ひかえる)〔下一自他〕(在距离上) 靠近, 临近; (在近旁) 等待, 等候, 待命; 节制, 控制; 拉住, 勒住; 暂不
18. ガリ勉(がりべん)〔名〕埋头(只顾)学习; 埋头学习的人
19. ひょっとして〔副・連語〕万一, 一旦, 如果(=「もしも」「まんいち」「もしかして」)
20. 徹夜(てつや)〔名・サ自〕彻夜, 通宵
21. 心なしか(こころなしか)〔副〕或许是精神(心理)作用
22. 頬(ほお)〔名〕脸蛋, 颊(=「ほほ」「ほっぺた」)
23. やつれる(まける)〔下一自〕消瘦, 憔悴; 落魄, 没落; 做出不引人注目的样子
24. 詰まる(つまる)〔五自〕堵塞, 不通, 通不过; 充满, 塞满, 挤满; (日语的) 促音; 不好办, 窘迫; 生意不景气

加藤 それでもいいから。ちょっと診てくださいよ。

高木 じゃ、アーンして。……。わっ! 大変だ!

加藤 どっ、どうしたの?

高木 喉チンコがあるう!

加藤 もうっ! 冗談言わないでくださいよ。びっくりするじゃないですか。

高木 ごめん。ごめん。でも、扁桃腺が腫れ上がってるんだよ。ん……。確かにこれは風邪だなあ。だけど、ところどころに膿が見えてるから……。もう、風邪じゃなくて、扁桃腺炎になってるよ。早く病院へ行ったほうがいいよ。

加藤 そんなにひどいんですか?

高木 うん、けっこう深刻だよ。普通、こうなったら、寝込んで、ヒーヒーいってるんじゃないかなあ? 抗炎剤とか、ビタミンCなんかをじゃんじゃん飲んで、ゆっくり横になって休んでいるべきときだよ。

加藤 驚かさないでくださいよ。期末試験控えて、ゆっくり休んでもいられないんですから。

高木 加藤さんはガリ勉だからね。ひょっとして、ここんとこずっと徹夜してるんじゃない? だから風邪引くんだよ。心なしか頬がやつれてるよ。

加藤 やつれなんて、とんでもない。風邪気味だからこれでちょっとは痩せられるかも、なんて期待したんだけど、体重は全然変わらないんですよ。でも、まあ、鼻が詰まって味がわからないから、食べても食べてもなん

だか満足しないんですよね。だから、結局、たらふく食べてしまって。元気なときより、たくさん食べてるんじゃないかっていうぐらい。

高木 うん。でも、そりゃいいよ。だから、そんなに扁桃腺が腫れてるのに、学校へ来る力が出てるんじゃないの？ でもさ、いったいどこで風邪をもらってきたのさ？

加藤 さあー、わかりませんよ、そんなの。でも、母からじゃないかと思うんですけどね。そういえばうちの母ひどいんですよ。調子が悪くて、母に、「お母さんから風邪をもらっちゃったみたい」って言ったら、「お母さんも、お父さんから押しつけられたのよ。あなた、返しといて！」って。こっちは調子が悪いっていうのに、なんか、つけんどんにあしらわれちゃったんですよね。あんまりでしょ。

高木 ハハハッ！ じゃ、誰かにもらってもらえれば加藤さんの風邪は治るってわけだね。

加藤 まっさかあー。

高木 いやいや。あながち、冗談じゃないかもよ。これは本当の話なんだけど、この前、妹に電話したら、ぷりぷりしててさ。母から電話ごしに風邪を移されたって言うんだよ。「お陰でお母さんの風邪がケロッと治って、こっちはひどい目に遭ってるわ」って怒ってた。バカも休み休み言えよって電話を切ったんだけど、そしたら、その直後から喉が痛くなってね。寒気までしてくるじゃない。妹のやつ風邪を引いた上にバカにされ

基本語彙

25. 押しつける(おしつける)〔下一他〕强迫使人接受, 强加于人; 压住, 按住
26. つつけんどん(突慥貪)〔形動ダナ〕说话带刺; 行动粗鲁, 冷淡, 不客气
27. ぷりぷり〔副・サ自〕发怒貌, 生气貌; (肉等)丰满而富有弹性
28. ケロッと〔副〕(=「けろりと」)完全, 干干净净; 若无其事, 泰然自若
29. 切る(きる)〔五他〕挂上(电话), 中断(关系), 截断(电流)
30. 寒気(さむけ)〔名〕(身上)发冷; (吓得)发抖

基本語彙

31. ウイルス(virus)[名]
(医) 病毒, 传染病毒, 虑过性病毒
32. ありえない(有り得ない)[連語] 不会有, 不能有(=「あるはずがない」)
33. 錯覚(さっかく)[名・サ自] 错觉; 误解, 误会
34. 科白(せりふ)[名]
(剧) 台词, 道白; (使人不愉快的) 说法, 论调
35. おおあたり(大当たり)[名・サ自](予想) 猜中, 中头彩; (演出等) 非常成功; 大丰收
36. 不養生(ふようじょう)[名・形動] タナ] 不注意卫生(=「不摂生(ふせつせい)」)
37. 紺屋(こうや)[名] 染匠; 染房
38. 白袴(しろばかま)[名] 白色和服外罩式裤裙, (常用「紺屋の白袴」喻光为他人忙碌而无暇自顾)
39. つれない[形] 无情, 狠心, 薄情, 冷淡; 佯装不知, 无动于衷; 平淡
40. 同病(どうびょう)[名] 同病, 相同的病; 该病
41. 相(あい)[接頭] 相互, 互相; (接在动词前表示) 相互; 加在动词前加强语气
42. 憐れむ(あわれむ)[五他] 怜悯, 怜惜; 喜爱, 怜爱(=「かわいがる」)
43. インフルエンザ(influenza)(医)[名] 流行性感 冒, 流感
44. 猛威(もうい)[名] 猛烈, 凶猛
45. 振るう(ふるう)[五自他] 发挥, 挥动; 挥, 抖; 振奋; 倾尽, 用尽, 蛮干; 兴旺, 好; (用「ふるっている」「ふるった」的形式) 奇特, 特别, 新颖; (用「ふるって」的形式) 积极, 踊跃
46. 知恵(ちえ)[名] 智慧, 智能; 脑筋, 主意
47. 冬至(とうじ)[名] 冬至

たから、「お兄ちゃんにもうつしてやる!」って言ってたんだけどね。風邪のウイルスが電話ごしで移るなんてありえないじゃない? でも、一瞬錯覚しちゃったよ。

加藤 あはははは。とても医学生の科白とは思えませんねえ。でも、じゃあ、高木さんも風邪、引いてるんですか?

高木 おおあたりー。もう、山は越えたけどね。

加藤 あらら。でも、高木さんのはまさに医者の不養生、紺屋の白袴ですよー。

高木 そんなつれないことを言うなよ。同病相憐れむって言うじゃないか。

加藤 それをいうなら、同類相憐れむでしょ!

高木 そうとも言う。……なんちゃって。ハハハ。それはそうと、目下、B型インフルエンザが猛威を振るってるそうだよ。用心しなくちゃね。うちの祖母の「年寄の知恵」だけど、風邪を引くと、「ん」のつく野菜を食べればいいんだってさ。

加藤 たとえば?

高木 たとえば、ダイコンとか、コンニャクとか、あとはカボチャとか。冬至にカボチャを食べると風邪を引かないって言うだろう。あれもそうだろうな。「年寄の知恵」ってやつだね。

加藤 あら、カボチャのどこに「ん」がついてるんですか?

高木 だって、カボチャには、ナンキンっていう呼び方もあるだろう。「なにが南京唐ナスカボチャ?」

加藤 そうなんですか。知らなかったなあ。で

「ズルズル」象声词,在这里表示擤鼻涕或吸入液体的声音。也表示(用力)拉或无所适从的状态。

- ◇ずるずるとスープを飲んでた。/吱吱地喝汤。
- ◇荷物をずるずると引きずっていた。/咯吱咯吱地拖着行李。
- ◇夏休みはずるずるとすぎてしまった。/暑假无所事事地混过去了。
- ◇ずるずると彼の言いなりになった。/不知怎么地对他言听计从。

「フラフラ」象声词,表不稳定或动摇的状态(心情)。

- ◇ふらふらししないでイエスカノーかはっきりしろ。/一句话,行还是不行? 别犹豫不决的。

「たまんない」为「たまらない」的音便, 缩约形。

2. 風邪は万病のもとして言うから、気をつけないと。

「風邪は万病の元」为谚语,意思是“伤风感冒万病之源”。

- ◇A: 風邪で肺炎を引き起こしたよ。/感冒引起了肺炎。
- B: 「風邪は万病の元」っていうからな。/俗话说,“感冒惹万病”嘛。

3. 高木さん、医学部でしたよね。その道の専門じゃないですか?

「道」在这里指“专业”、“方面”、“领域”。

- ◇その道で三十年、もうベテラン中のベテランですよ。/在这个领域干了三十年,已经是老手中的老手了。

4. びっくりするじゃないですか。

「～じゃないか」为口语中常见的反问形式,可看作表肯定的强调。

- ◇もう予算超過じゃないですか。/不已经超过预算了吗?

5. ヒーヒーいってるんじゃないかなあ?

「ひいひい」为象声词,表示持续而激烈的哭声。「ひいひい言う」则表示“(因痛苦、劳累等而)叫苦连天”、“气喘吁吁”。

- ◇体力が弱まってきてるのかな。これぐらいの坂道でもうひいひいいってる。/体力跟不上了,这点儿坡道已经喘不上气来。

6. 加藤さんはガリ勉だからね。ひょっとして、ここんとこずっと徹夜してるんじゃない?

「ガリ勉」为「がりがり勉強する」的名词化省略。「がりがり」在这里意为“极为执着”,故「がりがり勉強する」是“(不顾一切)玩命学习”(此句有贬义,注意与表褒义的「一生懸命に勉強する」相区别),可译为“学习虫子”、“读书精”。

- ◇ガリ勉でもランクがあるかよ。/书蛀虫也能分出个优劣来。
- 「ここんとこ」是「このところ」的音便,缩约形,意思是“最近”、“近来”、

“这儿”。

◇このところ梨の礫(つぶて)だ。/最近音信杳如。

◇ここんところが痛い。/这儿痛。

7. つっけんどんにあしらわれちゃったんですよね。あんまりでしょ。

「つっけんどんにあしらう」意为“粗暴对待”、“简慢对待”、“无礼对待”。

◇あの店でつっけんどんにあしらわれてむかつく。/在那个店里受怠慢,让人恼火。

「あんまり」是「あまり」的拨音便,音韵添加,可看作「あまり」的强调。单独使用时,表“太(过分)”、“实在(不像话)”等言外之意。

◇軒下を貸してあげたら母屋まであがってきたの。あんまりだわ。/借他个屋檐,他竟登堂入室(竟然得寸进尺),真不像话!

8. まっさかあー。

「まっさかあー」为「まさか」的促音便,口语,表强调,单独使用时意为:“居然(有这等事)”、“不可能吧”。

9. バカも休み休み言えよって電話を切ったんだけど、そしたら、その直後から喉が痛くなってね。

「休み休み」在此意为“经过反复考虑后才行动”。用作命令或劝诱表现时表示非难或制止。最常用者有「バカも休み休み言え」,意为“别说蠢话”。

10. おおあたりー。もう、山は越えたけどね。

「おおあたりー」即「大当たり」,意为“(预想或抽签等)中了”,在这里可译作“一语中的”。

「山を越える」也可说成「峠(とうげ)を越える」,意为“越过了最大的难关”。

◇彼の病気はもう峠を越えているそうだ。/他的病已经出现了转机。

11. 高木さんのはまさに医者の不養生、紺屋の白袴ですよー。

「医者の不養生」为谚语,意思是“医生不注意健康”,引申意为“懂得道理不实践”、“心口不一”。

「紺屋の白袴」也是谚语,意思是“染坊伙计穿白衣”,引申意为“忙于他人之事无暇自顾”、“卖油娘子水梳头”、“为人作嫁”。

12. 同病相憐れむって言うじゃないか。

「同病相憐れむ」来自汉语成语“同病相怜”。

13. なんちゃって。

「なんちゃって」为「なんといってしまう」的缩约形,说话者为了掩饰

- (3) この池は、干ばつの多かった()つくられた、ため池の一つだ。
 (4) 有能なAさんの()、この仕事は任せておいても問題ないだろう。
 (5) 今年は、猛暑()
 (6) なにぶん慣れぬ()、ミスを重ねてしまい、申し訳ございません。
 ①ことか ②ことから ③ことだ ④ことで ⑤ことに
 ⑥ことも ⑦ことだから ⑧こととて ⑨ことはない
 ⑩ということだ

3. 次に示すのはテキストにあった文です。下線部に注意をしながら、意味として適当なものを①②から選びなさい。

- (1) 体がフラフラでたまらないわ。
 ① 体が浮遊しているような心地よさがあるわ。
 ② 立っていることもできないくらいに体調が悪いわ。
 (2) その道の専門じゃない。
 ① その道の専門家ではない。
 ② その道の専門家である。
 (3) 診るぐらいはいくらでも見てあげる。
 ① 診療代はそちらの言い値でよい。
 ② 診療代は無料でよい。
 (4) そんなつれないことを言うなよ。
 ① 温情のこもった発言をしてくれ。
 ② 温情のこもった発言をするな。
 (5) 結局、たらふく食べてしまってるんだから。
 ① 満足するまで食べている。
 ② 平常より食べ過ぎている。
 (6) お陰で母の風邪がケロリと治ってこっちはひどい目に遭ってるわ。
 ① 信心深い母は仏様のご加護で風邪が治った。しかし、不信心な私にはバチがあたった。事故に遭遇してしまったのだ。
 ② 母の風邪は完治したが、母の風邪のウイルスに感染した私は、咳や高熱が出ている。

4. 下線を引いた言葉はどのように読みますか。同じ読み方をする漢字(意味・アクセントは考えなくて良い)を①～④の中から一つ選びなさい。

- (1) 高木さん、医大生よね。
 ①以外 ②偉大 ③畏敬 ④位階

- (2) 扁桃腺が腫れ上がってる。
 ①見当 ②先導 ③返答 ④面倒
- (3) 加藤さんはガリ勉だから。
 ①果糖 ②葛藤 ③華道 ④関東
- (4) そもそも「カンボジア」が訛ってついた名称でしょ。
 ①名状 ②明光 ③明鏡 ④名勝
- (5) これからは資格の時代だ。
 ①私学 ②視覚 ③字画 ④自覚
- (6) 慣行として、会社設立者の命日には、朝礼で黙祷をすることになっている。
 ①加工 ②眼光 ③看護 ④観光

5. 次に示したのは、一語で複数の意味を持つ語です。①～④を読み、説明にあう用例を一つ選びなさい。

(1) 元:原因

- ① 買値と売値が同じでは元がとれない。
 ② この小説は、作家の経験を元に書かれたものだ。
 ③ ささいな喧嘩が元で、二人は別れてしまった。
 ④ 話をしても、もう元の二人には戻らないだろう。

(2) 道:専門の仕事、分野

- ① この道は、小学校の通学路だ。
 ② 道を究める。
 ③ 昇進の道も絶たれた。
 ④ 道ならぬ恋に、彼は悩んでいた。

(3) 休む:寝る

- ① 風邪をひいたので、明日は会社を休みます。
 ② ちょっと一休みして、お茶でも飲んでいこう。
 ③ 疲れたから、今日は早く休もう。
 ④ 週末も休まないで父は働いている。

(4) 目:経験

- ① アマゾンでは、珍しい生物を目にすることができた。
 ② あなたのお祖父様には、私が幼いときに、お目にかかったことがあります。
 ③ 先生の目が厳しくて、補講を抜け出すことができなかった。
 ④ ひどい目にあった日だったな。

(5) 年:年齢

- ① 私はアトランタオリンピックのあった年に生まれた。
- ② 年のわりには、若く見える。
- ③ 年を重ねるごとに、木製の家具は風合いを増してくる。
- ④ 台風の多かった年は、キャベツが豊作になると言われている。

(6) 山:最後の段階、クライマックス

- ① とうとう、そのドラマは山を迎えた。
- ② 山をかけていたのが外れて、今日のテストは散々だった。
- ③ 仕事が山のようにたまっている。
- ④ この村は、四方を山に囲まれた美しいところだ。

6. 次の下線部の助詞(助詞を省く場合は×記号)に注意して中国語に正しく翻訳しなさい。

- (1) 30 日に締め切ります。/30 日で締め切らせていただこうじゃないか。
- (2) 何日に書き上げたんですか。/何日で書き上げたんですか。
- (3) 夕べ、12 時に寝たんだ。/まあ、6 時で休もう。
- (4) 夕方×戻ってくるよ。/夕方に戻ってくるよ。
- (5) 1 時間×講演する。/1 時間で講演する。/後 1 時間で終了する。/1 時に終わったんだ。
- (6) 20 年ぶりに彼女に再会した。/20 年ぶりで彼女に再会した。

7. 次の文章を中国語に翻訳しなさい。またこれに基づいて作られた会話文を読解しなさい。

新人くん

うちの上司は良くしゃべります。この前も彼の話しで会議が長くなってしまい、予定の時間を大幅に超えたのでした。会議の終わり、上司は「えー、時は金なりと申しますから……」ってしめくくりをはじめたら、参加していた隣の新人が小声で一言、「金かえせー」。さすが新人くんです。

* * *

新人さんにFAXを頼み、「原稿は?」と聞いたら、「あの……送ってしまいましたけど」。お前のうちのFAXは紙が電線の中を通って行くのかと突っ込みたくなった。後日、資料を渡して「B4でね」と言ったら、姿を消した。しばらくして現れた彼は「すいませんが、B4(地下4階)には誰もいませんでした」。B4サイズでコピーをお願いしたんだけど。

会 話

部長 どうやら今期の成績は振るわないようだ。ついては、改善のため

になにかいい案があったら忌憚のない意見を言うように。では、企画から。

企画 これは営業の努力不足だと思います。一体本当にまじめに営業をしているのでしょうか。これは未確認情報ですが、我が社の営業とおぼしき人達がよく喫茶店で油を売っているのを見たと聞きます。

営業 それはまったくのでたらめです。確たる証拠もなく、むやみに他人の誹謗をするのは常識ある大人のすることではありません。雨の日も、風の日も一日中外回りを続ける辛さが、エアコンの効いた室内でのんびりしている人たちにわかるとは到底思えません。商品が売れないもともとの理由は企画力のなさです。二番煎じや柳の下のどじょうねらいばかりです。こんな物を売れと言われても、それは無理というものです。

部長 うむ、一応意見らしきものが出るには出たが、建設的な意見ではなかったな。他人のふり見て我が身をなおせ、と言うが君たちは今日、鏡を見たか？

部下 (小声で)あ、部長、口元にミートソースらしきものが……。

部長 (小声で)この話をするためにわざとつけてきたんだ。……いいか、今、諸君は私の顔を見たと思う。その通り。私は今朝、なんとかこれを落とそうとしたが、どうしても落ちなかったんだ。どうしてだと思う？ 私は一緒懸命に鏡を拭いていたんだ。まず、自分の姿勢を正してから、他人の事を注意しなさい。目くそ鼻くそを笑うと言うが……。

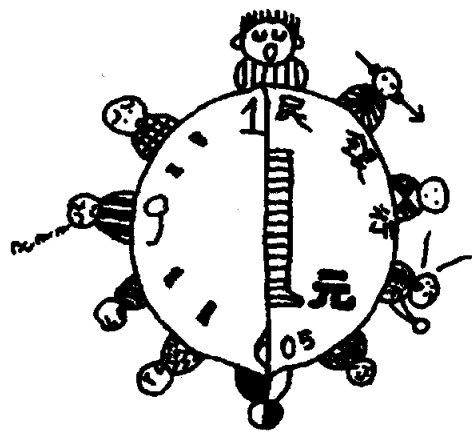
新人 ぼくは目くその方がいいな。

部長 うるさい。会議の時間は有限だが、話し合わねばならぬことはほぼ無限にある。時は金なりというが、お互いの悪口に終始していたのでは、いかん。もう一度言う、時は金なり……。

新人 金返せ!

部長 それはこっちのせりふだ! ろ

くに仕事もできんやつがえらそうなことを言うな!



* * *

先輩 これFAXして。

新人 はい、どこにですか？

先輩 文書の一番上に相手の会社名、担当者名が書いてあるでしょう。

新人 あ、はい。すみません。……先輩、送りました。

先輩 ほら、電話が鳴ってるわよ。対応は昨日教えたわね。

新人 毎度お世話になっております。エイチ企画の米村です。え？ 白い紙しか来ていない？ まさか。

先輩 あ、なんてことを言うの！ かわりなさい！ すみません、お電話かわりました。はい、今の者は新人でして、はい、教育不足で申し訳ございません。はい、すみませんでした。失礼致します。今の原稿はどこ？

新人 今、送ってしまったのでありません。

先輩 その足下に落ちているのはなに？

新人 あ……。

先輩 もういいわ、私が送るのを見て。じゃあ、次はコピー。これをB5でとってきて。

新人 はい、わかりました。これをB5でとるんですね。

……

新人 先輩。

先輩 あなたはコピー一枚とるのに一体何十分かかるの？

新人 いえ、先輩、とってないんです。だって、先輩、B5は資材置き場で、コピー機なんかどこさがしてもなかったですよ。

8. 新出単語の説明を読んで、その単語の中国語の意味を考えなさい。

1. 大幅(おおはば)〔形動〕数量・価格・規模の変動の大きい様子。
2. しめくくる(締め括る)〔五他〕①かたく締めて束ねる。②まとめ(決着)を付ける。
3. 振るう(ふるう)〔五自・他〕①勢いが盛んになる。②振り動かす。③発揮する。
4. 忌憚(きたん)〔名〕言うことを遠慮すること。
5. おぼし(思し)〔形〕(文)①どうやら……と思われる。②こうありたいと思われる。
6. でたらめ(出鱈目)〔名・形動〕火のない所に煙は立たない。全く事実がない所にはうわさは立たない。うわさが立つからには、必ず何らか

的,鼻涕搭拉拉的,身子晃荡荡的,哎呀,真让人受不了!

高木 那可不行啊,常言说感冒乃万病之源,可得注意呀。

加藤 对了,高木,你是医学系的吧,那不就是这方面的专家吗?给我看看怎么样?

高木 内科可不是我的专业,况且我还没毕业。不过,看在都是穷学生的份上,我就给你做个口头诊断。哦,不过,没有行医执照,既不能开处方、也不能给药哦。

加藤 这也行啊,给看看吧。

高木 那好,把嘴张开说“啊”……哎呀,不得了啦!

加藤 怎……怎么啦?

高木 有个悬雍垂!

加藤 你胡说什么呀!别开玩笑,吓我一跳!

高木 抱歉抱歉。不过,扁桃腺肿起来了,嗯……确实是患了感冒哇。而且有不少化脓点……岂但是感冒呐,都已经是扁桃腺炎了!还是早点去医院看看为好。

加藤 有这么严重吗?

高木 是啊,非常严重。一般人到了这一步都哼哼唧唧地爬不起来了。你该拼命吃点儿消炎药和维生素C,好好卧床休息了。

加藤 可别吓唬人呐,还有期末考试在等着我,哪有工夫慢慢休息呀。

高木 你向来学习玩命,没准最近一直在熬通宵吧,不感冒才怪呢。脸看上去也显得憔悴。

加藤 憔悴?哪有的事儿。我还以为得点感冒能掉点儿肉呐,可体重一点没变。不过,怎么说呢,鼻子堵着,食不知味,怎么吃怎么吃都没有什么满足感,结果呢,把肚子给吃圆了,好像比没病的时候都吃得多。

高木 是嘛,不过这也不错嘛。要不,扁桃腺肿得这么大,居然还有力气到学校来上课。不过,你究竟是在哪儿染上感冒的?

加藤 唔……这我哪知道哇。不过,大概是从母亲那儿吧。说起这事儿,我母亲可有点儿过份。我身体不舒服,跟母亲说:“好像从您那儿传染上感冒了。”没想到她却说:“我也是被你爸爸硬传过来的呀,你给我传回去!”我身体情况不妙,母亲还那么用话甩我,是不是太不讲人道主义了?

高木 哈哈,就是说,把你的感冒传染给什么人你就好了,对不对?

加藤 说什么傻话呀!

高木 不,不,也许并非玩笑。给你说件真事儿。前几天我给妹妹打电话,她正气得呼哧呼哧的,说是妈妈隔着电话把感冒传染给她了,还恼怒地说:

“妈妈的感冒倒因此一下子就好了，我可遭殃了！”我撂下句“别说蠢话”就把电话挂了。没想到嗓子马上就疼了起来，还打起寒颤。我妹妹得了感冒，又被我训了一顿，在电话里说过“我要把感冒传给你”。你说感冒病毒这东西怎么可能隔着电话传染？不过，那会儿，我还真产生了错觉。

加藤 哈哈，听起来怎么也不像医学专业学生说的话呀。这么说来，你也得感冒了？

高木 猜对了，加十分！不过，已经开始好转了。

加藤 哎呀呀！不过你得这病，那真可谓医生救人难救己，专为他人做嫁衣裳啊。

高木 别说那么薄情的话嘛，不是有句话叫同病相怜吗？

加藤 要说就说同类相怜吧。

高木 也可以这么说吧。你倒挺会咬文嚼字的呀！哈哈！对了，眼下 B 型流感正闹得欢，你可得注意点儿。按我奶奶的经验之谈，得了感冒，只要多吃发音带“拨音”的蔬菜就行。

加藤 比如？

高木 比如，萝卜、魔芋，还有南瓜什么的。不是说冬至吃南瓜不患感冒吗？就是这类吧。年长者的智慧呀。

加藤 对了，南瓜里哪儿来的拨音呀？

高木 但“南瓜”也叫“南京”，对不对？“南京南瓜、本是一家”。

加藤 是吗？我还真不知道呐。不过，南瓜这东西不是从中国的南京，而是从柬埔寨传来的，原本就是“柬埔寨”这个发音变化而来的吧。如果是这样的话，这里的拨音，不就是“柬埔寨”里的“拨音”吗？

高木 是这样吗？

第2課 風邪の直し方

本課为课堂发表。老师和学生讲述了感冒的各种民间治疗方法。
老师用的是常体,学生用的是敬体。涉及到老师时,学生使用敬语。
读者可比较这三种语感。

会 話

学生 A どうなされたんですか? そんなドスなんか利かせたりして。

先生 うるさい! つべこべ言うな。こんなふう
にうるさかったら、いっぱつ利かせたく
なるってもんだよ。がやがやした私語の
中で講義をするなんて、骨折り損の草臥
れ儲けなんだよ。

学生 A 失礼しました。でも、先生、もしかしたら
風邪でも引いていらっしゃいませんか?

先生 ま、確かに引いとる。

学生 A やっぱり。鬼の霍乱っと。ゴホン。えー
っと、実は、私も風邪を引いてるんです。
夜更かしばかりしてるからってよく言わ
れてます。田舎では風邪を引くたびに母
がたまご酒を作ってくれたものです。案
外利きますから、先生もお試しになっ
てはいかがですか。

先生 ほう。私はいつも、生姜湯に蜂蜜を入
れたものと甘酒で風邪を退治してるんだ

基本語彙

1. ドス〔名〕可怕,恐怖,吓人;短刀,匕首
2. つべこべ〔副〕狡辯,讲歪理,反唇顶撞
3. 私語(しご)〔名〕私语,耳语,悄悄话
4. 骨折り(ほねおり)辛苦,劳苦,努力;尽力,帮忙,斡旋
5. 草臥れ(くたびれ)〔名〕(「くたびれる」的名词化)疲乏,疲劳
6. 儲ける(もうける)〔下一他〕赚钱,得利(常用「骨折り損(ほねおりぞん)の草臥れ儲け」表徒劳无益);(转)得便宜,捡便宜
7. 霍乱(かくらん)〔名〕(现多指)中暑,日射病;(旧时多指)急性肠炎,霍乱
8. ゴホン〔副〕(咳嗽声)吭吭
9. 甘酒(あまざけ)〔名〕甜米酒,糯米酒,酒酿

基本語彙

10. 特効薬(とっこうやく)〔名〕特效药
11. 汁(しる)〔名〕汁液, 酱; 汤; 大酱汤(=「みそしる」)
12. 好調(こうちょう)〔名・形動ダナ〕顺利, 情况良好
13. 氷砂糖(こおりぎとう)〔名〕冰糖
14. 煮汁(にじる)〔名〕煮东西的汤, 煮出的汤, 煮汁
15. 香川(かがわ)〔名〕香川郡
16. グチャッと〔副〕(=「ぐちやりと」)稀烂, 湿得变软; 信口开河
17. つぶす(潰す)〔五他〕弄碎, 捣碎, 碾碎; 弄坏, 毁掉; 熔化, 熔毁; 消耗, 消磨, 消遣; (把窟窿)堵上, 填平; (接动词连用形后)糟蹋, 毁坏, 丧失正气
18. 甘酸っぱい(あまずっぱい)〔形〕酸甜; (喻)愉快和伤感混在一起的(心情)
19. 雑煮(ぞうじ)〔名〕煮年糕, 年糕汤
20. 微塵切り(みじんぎり)〔名〕切碎
21. キツネ色(狐いろ)〔名〕黄褐色
22. たっぷり(と)〔名・副・サ自〕充裕, 足够(=「じゅうぶん」); 宽绰, 绰绰有余
23. 澄ます(すます)〔五自他〕澄清; 注意力集中, 专心; 装模作样, 满不在乎, 摆架子
24. ドッと〔副〕(水等)咕嘟一下子(流出); 哄堂, 一齐; (一下子)聚集; (风)呼呼, (雨)哗哗; (突然)病倒
25. クタクタ〔副・形動ダナ〕(衣物等旧了变得)松软, 不挺实; 筋疲力尽, 疲惫不堪; (煮东西时)咕嘟咕嘟地(煮)
26. トロトロ〔副・形動ダナ〕(固体溶化后)粘糊糊的, 软绵绵的; (火苗)微微地, 微火; 打盹, 瞌睡, 似睡未睡

が、それも良さそうだね。そういえば、ほかの人にも、「コレで治る!」という風邪の特効薬とかがあるのかな。

学生 B それはもちろん。うちは、喉が痛くて声が出ないときに、母が蜂蜜大根を作ってくれます。大根を薄く切って蜂蜜をかけて、しばらくしてからその汁だけを飲むのですが、不思議と次の日から喉の具合が好調になるんですよ。

学生 C 私の場合、風邪を引いたら「ミカン水」です。半分に切った蜜柑を鍋に入れて、氷砂糖と水を加えて煮るんですが、その煮汁を飲むんです。大変あたたまります。

学生 D 私の田舎、香川では、風邪を引いたらと言うと、母や祖母が寝る前に湯のみにあつーいお茶とお砂糖と梅干をグチャッとつぶして混ぜたものをいれて、「ウメチャだよ」って飲ませてくれます。なぜかわかりませんが、飲めば気分がよくなったし、甘酸っぱくて結構好きでしたね。

学生 E うちでは風邪の引きはじめに「ネギ雑煮」を食べます。ネギは微塵切りにして、餅はキツネ色になるまで焼きます。ネギはたっぷりが良いです。それを大きめの丼に入れて澄まし仕立てのあつーいダシを注いでつくりまます。冷めないうちにサツと食べます。そうして、すぐ寝るんです。夜、ドッと汗をかくんで、朝にはケロッと風邪が治りますよ。ネギがクタクタにならないうちに食べきるのがポイントです。餅はトロトロになるので消化にもい

いです。

学生 F 私が風邪の時は、梅干しの種を抜いて、そこにニンニクをひとかけら入れて、アルミホイルでくるんで蒸し焼きにして食べます。においもしないし、結構美味しいので、お勧めです。

学生 G 風邪を引いたら、我が家ではもちろんネギみそ！ すり下ろしたニンニク、ショウガをティースプーンに山盛り一杯ずつ用意します。これをお椀に入れて、好みの量のみそと、山盛りの長ネギのスライスを入れて、熱いお湯を注ぎます。そして、仕上げに七味唐辛子をちょっとかけます。熱々を飲んだら、すぐ汗をかくので、着替えてから寝ます。一晩寝ればほとんどの風邪は治りますよ。ぜひ試してみてください。

学生 H 子供の頃、風邪を引いたらお婆ちゃんが決まって「黒焼きみかん汁」を作ってくれました。みかんをアルミホイルに包み、直火で焼きます。すっぱい匂いが漂ってきて、皮が真っ黒に焼けてきたら、中から実の部分だけを取り出します。お砂糖少しとお湯をたっぷり注いでかき混ぜます。つぶつぶみかんジュースのホット版っていったところでしょうか。市販のジュースには出せない「愛情」たっぷりの味わいで、風邪の寒気も吹き飛ばしてしまいますよ。

学生 I 風邪を治すなら、絶対「にんにくチャーハン」です。何が大事って、風邪を治すには

基本語彙

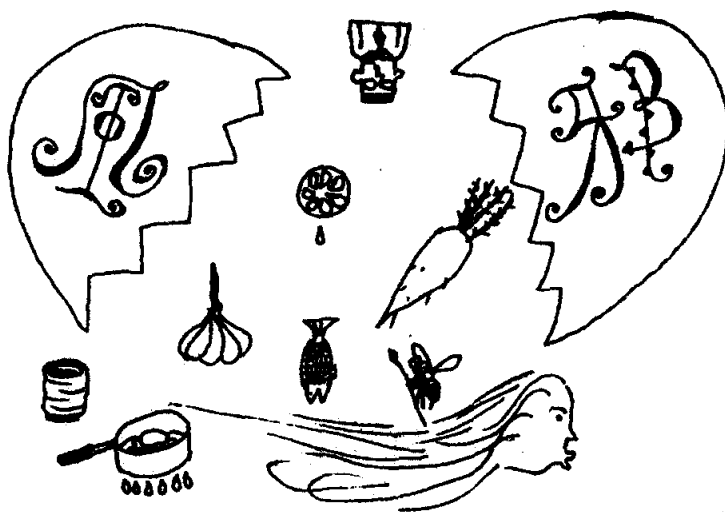
27. ニンニク(大蒜)〔名〕大蒜
28. アルミホイル〔名〕(来自 aluminium foil) 铝箔
29. 勧め(すすめ)〔名〕推荐; 劝诱, 劝告, 劝诫; 奖励, 鼓励
30. すり下ろす(すりおろす)〔名〕捣碎, 弄碎
31. ティースプーン(tea spoon)〔名〕汤匙, 茶匙
32. 山盛り(やまもり)〔名・形動ダナ〕盛得满满; (物品) 成山形; 堆积如上
33. 長ネギ(ながねぎ)〔名〕葱
34. スライス(slice)〔名〕片, 薄片; (高尔夫球的) 曲打; (网球、乒乓球的) 削球; (棒球的) 斜切打
35. 仕上げ(しあげ)〔名〕最后的加工, 收尾; 做完, 完成; 完成的结果
36. 七味(しちみ)〔名〕(=「なないろ」) 七种, 七类; 七色
37. 熱々(あつあつ)〔名・形動ダナ〕非常热; (男女) 互爱, 热恋
38. 黒焼き(くろやき)〔名〕烧(烤)焦的东西; 焙成黑炭(作药用)
39. 直火(じかび)〔名〕直接烘烤的火
40. つぶつぶ(粒粒)〔名・副〕粒状物, 疙瘩; 断断续续(形容写字不连贯的样子)
41. ホット〔名〕hot 热饮, 热(东西); 激烈的, 急躁的; 新的
42. 版(はん)〔名〕版本, 版面, 版次
43. 吹き飛ばす(ふきとばす)〔五他〕吹跑, 刮跑; 趋散, 赶走; 吹牛, 说大话 唬人
44. チャーハン(炒飯)〔漢造〕炒饭

基本語彙

45. いまいち(今一)〔副〕
有一點(不足之處), 美中不足
46. アイス〔名〕(「アイスクリーム(ice-cream)」の略語) 冰激凌, 冰淇淋; 冰
47. バニラ(vanilla)〔名〕
香草, 香子蘭
48. ホッカホカ〔副・サ自〕
(「ほかほか」的強調)
熱乎, 熱和, 溫暖貌
49. 辺鄙(へんぴ)〔名・形動ダナ〕
偏僻
50. 漁村(ぎょそん)〔名〕
漁村

体力・精力ですよ。にんにくのパワー、恐るべしです。ただし、胃腸風邪なんかにはいまいちでしょうか?

学生 J 私は風邪を引くと「ホットアイス」を飲まされました。冷凍庫に入っているバニラアイスを鍋でホッカホカに温めたものです。中学生の頃友達に言ったら、皆に変な顔をされました。確かに、アイスクリームはそのまま食べるものですもんね。



学生 K 私は辺鄙な田舎の漁村で育ちました。食事は朝から晩まで新鮮な魚介類ばかり。贅沢なやつと思われるかもしれませんが、魚に飽きていまして。いつも「肉が喰いてえ!!」って思っていました。それで、風邪を引くと、市内の病院へ行くんです。村には医者がなかったものですから。で、市内にはデパートがありまして。し

て」。有汉日辞典解「もしかしたら」是「もしか」的强调,其实不然。「もしか」有时表基本确定的推测,而「もしかしたら」的确信度可能只达到60%。

◇もしか一人で居るといけないと思って、早く帰って来た。/担心你一个人应付不了局面,我就早早赶回了。

◇もしかしたらそれはトウネズミモチかもしれない。/没准这就是女贞。

5. 鬼の霍乱つと。ゴホン。

「鬼の霍乱」为谚语,意思是“苍蝇闹肚子”、“壮汉害牙疼”、“罗汉也有病倒时”。

「ゴホン」是清嗓子或咳嗽时的象声词。象声词是对自然音的模仿音表现,但并非生硬地声音标注(请参照课文录音对比文字和语音上的差异)。

6. ネギは微塵切りにして、餅はキツネ色になるまで焼きます。

「微塵切り」是烹调刀法之一,意为“切碎”。切丝是「細切り」、切丁是「短冊切り」、切块是「ぶつ切り」,可结合记忆。

◇まず、ぶつ切りにして、それから短冊切りに。細切りにチンジャオロースじゃあるまいし。/首先切块,然后切成丁。别切丝,又不做青椒肉丝。

7. それを大きめの丼に入れて澄まし仕立てのあつーいダシを注いでつくり ます。

「澄まし仕立て」读作「すましじたて」,为动词「澄ます」和「仕立てる」的“转成名词”构成的派生词,意为“沉淀后滤去渣滓”。「～仕立て」意思是“用……做成”。注意:「仕立て」接在名词后发生「連濁」,读作「じたて」。

◇ショウガ仕立ての汁で風邪を退治する。/用姜做成的汁液治疗感冒。

◇特別仕立ての列車。/特别编队的列车。

8. 夜、ドツと汗をかくんで、朝にはケロツと風邪が治りますよ。

「汗をかく」意为“出汗”,也作“努力”解。

◇今度の仕上げのためにひと汗かこうか。/为这次的达标尽一番努力吧。

9. そこにニンニクをひとかけら入れて、アルミホイルでくるんで蒸し焼き にして食べます。

「ひと」作为「語素」接在名词、动词的词头,表示“一(次)”、“一(回)”等。

◇運命とひと勝負を決してみよう。/与命运决一胜负。

◇あいつにひと泡吹かせてやろう。/吓他一大跳。

10. 直火で焼きます。

「直火」指用火直接烧烤。可与「強火(つよび)」、「大火、强火」、「中火(ちゅうび)」、「中火」、「とろ火(文火)」、「弱火(よわび)」、「弱火」一并记忆。

ら。

- (4) 治療法よりグルメ談義のほうが、面白かったから。
- (5) 学生たちが、治療より食べたかったものの話をしだしたから。
- (6) 民間療法の食べ物には、美味しいものが多いから。

3. 「どうなさったんですか」は、待遇表現です。次の文の()にはどのような言葉が入りますか。適当なものを①～④の中から一つ選びなさい。

- (1) 先生。明日、ご都合が宜しければ、お昼休みに()。
 - ①うかがいます ②うかがってください
 - ③うかがわさせていただきます ④おうかがいになります
- (2) お忙しいなか()、申し訳ありません。
 - ①お呼びになりまして ②お呼びいただきまして
 - ③お呼び立てくださいます ④お呼び立ていたしまして
- (3) 勝手に読むのは悪いと思ったんですが、()。
 - ①お読みしました ②読んでやったよ
 - ③拝読いたしました ④読ませてもらったよ
- (4) お客様、よろしかったら、どれでも好きな茶器を手にとって()。
 - ①ご覧になってください ②ご覧なさい
 - ③拝見します ④拝見してください
- (5) 先生のご都合が悪いようでしたら今日は()。
 - ①ご遠慮してください ②ご遠慮いたします
 - ③ご遠慮なさい ④遠慮させてもらうよ
- (6) 先生、()をご評価くださり、ありがとうございます。
 - ① 貴論 ② 御論 ③ 拙論 ④ 自論

4. 下線部に注意をしながら次の文章を読みなさい。そして、表現として正しい文章には○を、正しくない文章には×を書きなさい。

- (1) () 子どもの頃、風邪をひくと、ショウガ湯を飲む。
- (2) () 子どもの頃、風邪をひくと、ショウガ湯を飲んだものだ。
- (3) () 田中さん、昇進するんだ、羨ましいな。
- (4) () 田中さん、昇進する、羨ましいな。
- (5) () 初耳だわ。この店、有名なんだ。
- (6) () 初耳だわ。この店、有名です。

5. 正しいほうに○をつけなさい。

- (1) 十年前に{食べる・食べた}カレーライスが忘れられない。

- (2) 今朝は{激しい・激しかった}咳が続いた。
- (3) 今、あそこで私語を{する・している}学生を、今すぐ黙らせてみせよう。
- (4) 彼は{ためになる・ためになった}話を聞かせてくれた。
- (5) 先生に民間療法の話をするうちに、{懐かしい・懐かしかった}出来事を思い出した。
- (6) 友人は{面白い・面白かった}本を貸してくれた。

6. 次の中国語を読んで、その後の日本語訳にある()に正しい言葉を入れなさい。なにも入れる必要のない場合は(×)を付けなさい。

上周我和丈夫吵了一大架,足足一个星期谁也不理谁。想想差不多该言归于好了吧,却不知如何打开局面。5岁的女儿和3岁的儿子天天吵架又马上和好,于是我向他们咨询道:“怎样才能像你们这样和好如初呢?两人异口同声地回答:“不和好的话会被妈妈骂的!”……原来如此。

先日()、旦那()大喧嘩をした。まるまる一週間()別居状態()そろそろ仲直り()しよう()と思う()、どうし()いいかわからない。そこで毎日ケンカして()すぐ()仲直りする五歳と三歳の娘()息子()「どうし()そんな風にうまく仲直りできるの()?」と相談し()二人()そろって()答えた。「仲直りし()ママに怒られる()」……なるほど。

7. 次の文章を中国語に翻訳しなさい。またこれに基づいて作られた会話文を読解しなさい。

絶体絶命

電車の中で若者の会話を聞こうともなく聞かされた。

A: 今日さ、研修で、あなたの恋愛観を四字熟語で表しなさい、って問題あったじゃん。あれなんて書いた?

B: 俺は、弱肉強食! だってそうだろ!

A: そっか、俺は一石二鳥って書いちゃったよ。

C: 二股か。だめじゃん。ハソソソ! 俺は、油断大敵。

D: おらあ……おらあ……、絶体絶命……。

君に何があったのか気になります。

会 話

男 A どうだった? テストは?

男 B はじめの方はまあまあだな。

男 C じゃあ、おわりの方は?

男 B ほどほどかな。

男 D そうか。はじめまあまあ、
後ほどほどか。じゃあ、真
ん中は？

男 B 全然だ。

男 A だめじゃん。

男 B うん、そう言うことも言え
るな。

男 C そうとしか言えないよ。

男 D そう言えば、問題の中に
変なものがあつたなあ。いくら
試験でも、余計なお世話だつて叫び
そうになったよ。

男 B 変な問題てのは、なんだ？ 俺は確率・統計式解答法の運用に余念
がなかったから、覚えてないよ。

男 C あ、そうだ、思い出したよ、変な問題。あなたの恋愛観を漢字四字
で書きなさいってやつだろ。

男 A 俺は、「弱肉強食」つて書いた。だつて、そうだろ。

男 B 俺は、「一石二鳥」。人生と経験が豊かになる。

男 C 友情と愛情の二股なのかな。俺は、「油断大敵」。

男 D 言い得て妙だな。俺は、「絶体絶命」。

男 A それじゃ、ふられそうつてことじゃないか。みんな試験の答案じゃ
なくて現状報告か。



8. 新出単語の説明を読んで、その単語の中国語の意味を考えなさい。

1. 絶体絶命(ぜつたいぜつめい) (絶体も 絶命も、九星でいう凶星の名) 追いつめられて、どうしても生きる道が残されていないピンチ。
2. 四字熟語(よじじゆくご) 四つの漢字により構成される熟語。四字成語。
3. 弱肉強食(じゃくにくきょうしょく) (韓愈《送浮屠文暢師序》から) 力の弱いものが強いもののえじきになること。力の強いものが勝ち、栄えること。優勝劣敗。
4. 二股(ふたまた) [名] ①先が二つに分かれていること(もの)。②一方に決めずに、両方の用意をすること。
5. 油断大敵(ゆだんたいてき) 油断は失敗のもとであるから、恐ろしい敵であるということ。

这样很好吃又没有大蒜味。大家不妨一试。

学生 G 在我家,感冒肯定喝小葱黄酱汤。将大蒜、生姜捣碎,各准备满满一汤匙,放入碗中。按自己的喜好加入适量的黄酱和一大勺葱片,再倒热开水冲泡,最后放点七香粉,趁热喝了,马上就会发汗,换了衣服睡一晚,绝大部分感冒都能治好。请大家试试啊。

学生 H 小时候我要得了感冒,奶奶肯定给我做“烘烤橘子汁”。就是用铝箔纸包上橘子拿到火上烤。等飘出酸味且橘子皮烤黑时,掏出橘子肉放点白糖,再放入很多开水搅拌。可以说就是市面上出售的那种粒粒橙汁的热饮版吧。饱含着爱的香味,会把感冒的寒气吹得远远的,买来的橘子汁可达不到这种功效。

学生 I 治感冒,“大蒜炒饭”可是一绝。治感冒什么最重要?是体力和精力呀。大蒜的威力可了不得,只是对肠胃型感冒可能有些美中不足。

学生 J 我得感冒家里人就让我吃“热冰激凌”。就是把放在冰箱冷冻室里的香草冰激凌用锅加热了吃。在中学时我跟朋友说起此事,大家都怪怪地看着我。的确,冰激凌是不需要加热吃的东西。

学生 K 我是在一个偏僻的渔村长大的,因此,每天从早到晚尽吃鲜鱼鲜贝。这么说大家可能会说我身在福中不知福。可我真吃腻了,总惦记着吃顿肉。所以,我感冒时就到市内的医院去看病。因为村子里也没个医生。城里有家百货商店,就在医院的隔壁,看完病大人会领我去吃一顿。在那家商店的餐厅饱餐一顿咖喱饭,是我的一大乐趣。所以,那时,得感冒对我而言是件很高兴的事。我就是那么贪嘴,说来也怪,吃了病也就好了。

先生 哎呀、哎呀!治疗法讨论怎么全变成美食讨论了呀?不过,这课堂上得很活泼嘛。而且我还从诸位那里学到了各种各样的养生法呢。谢谢大家!

第3課 メール

经常收发伊妹儿或短信的朋友多半会有这样的经验：写好的文章不细看便匆忙发出，结果由于同音字等关系，内容牛头不对马嘴，以至闹出大大小小的笑话。类似这样的笑话构成了本课的主要内容。

会 話

津田^{つだ}(二十三歳、会社員)

松下^{まつした}(二十三歳、会社員)

津田 あかね、今日、朝食の後、うちの爺さんがすごくムツとした顔で座ってたんだよ。

松下 どうしたんだ？

津田 どうしたのって尋ねたら、「近頃の若いものは、電話がかかってきても物も言わずに眺めとる！ どうなってるんだ」だって。

松下 携帯メールのことか。

津田 うん。そこで、僕が、「お爺ちゃん、それはメールっていうもので文字が送られてくるんだよ」って説明したら、「それじゃ電話の意味がないだろう！ それだったら手紙を書け、手紙を」ってもっと怒ったんだ。

松下 それも一理あるなー。パソコンの普及でメールが手紙の代わりになってしまったからね。筆無精の僕だって、E-mailでやりとりしてるから、手紙離れが進んで、漢字の書き方も思い出せなくなっちゃった。

基本語彙

1. ムツと〔副・サ自〕生气，怒上心头；闷得慌，熏得慌
2. 筆無精(ふでぶしょう)〔名・形動ダナ〕懒于动笔写(文章、信)；不好动笔的人
3. 離れ(ばなれ)〔接尾〕(以「～ばなれ」的形式)远离，离开

基本語彙

4. リアルタイム (real time) [名] 即時, 同时, 实时; 即时处理, 实时处理
5. そそくさ [副・サ自] 草草了事, 匆匆忙忙, 慌慌张张
6. 風変わり (ふうがわり) [名・形動] 与众不同, 古怪, 异常; 性情古怪的人, 性格异常者
7. おっちゃん [名] («おじちゃん」的口语化) 叔叔
8. ダウン (down) [名・サ自] (因疲劳、身体衰弱等) 倒下, 卧床 (不起); (基准、效率、功率等) 下降, 降低; (拳击) 倒下; (计算机等因故障、事故) 不运行; (棒球) 出局
9. 相棒 (あいぼう) [名] 同拾一顶轿子的轿夫, (轿夫相互间的称呼) 伙计; (转) 同事, 同伙, 伙伴
10. ガセ [名] 谎话, 假话; 冒牌货, 赝品
11. 日ごろ (ひごろ) [名・副] 平时, 平日, 平常
12. 恨み (うらみ) [名] («うらむ」的名词化) 憎恨, 怨恨; 嫉妒
13. エロい [形] (来自「エロチック (erotic)」) 色情, 情欲, 黄色
14. キス (kiss) [名・サ自] 接吻 (=「くちづけ」)
15. 同工異曲 (どうこういきよく) 异曲同工
16. 実家 (じっか) [名] 生身父母家, 老家; (已婚妇女的) 娘家, (入赘男子和养子的) 亲身父母家
17. 寄生虫 (きせいちゅう) [名] 寄生虫; (转) 靠别人养活的人
18. 誤変換 (ごへんかん) [名・サ自他] 误转化, 误变换, 误改变; (数) 误换位, 误转换
19. サナダムシ (真田虫) [名] 寄生虫, 條虫
20. スネ (脛) [名] 脛, 胫骨, 胫部

津田 ま、メールは早く書けて、リアルタイムで送ることのできる場所に大きな魅力があるんだから。ただし、手紙はゆっくり書ける分、間違いが少ないのに対して、メールの場合、そそくさと書いてしまって、確認もせずに慌てて送ることがよくあるじゃない。すると、とんでもないミスになってしまうことも時々あるんだよね

松下 それは言えるね。うちの職場で、風変わりの天然ボケのおっちゃんが風邪でダウンしたことがあったんだ。それで、おっちゃんほどではないけど天然系の彼の相棒が、メールの掲示板に「カゼ休み」って書くところを、「ガセ休み」って書いててね。天然なのか、日ごろの恨みなのか、って感じだったな。

津田 それはおそらく打ち間違いだろう。よくあることだよ。僕の知人が友だちに携帯でメールを送ったら、「何エロいこと考えてんだ」っていうメールが戻ってきた。意味が分からず聞くと、「漢字テキスト」って変換するところを「感じてキスと」にして送ってしまったらしい。

松下 ハハハッ! 同工異曲だけど、課長が年末年始の休みを少し長く取ったんだよ。ところが、本社の役員が僕のところへ「彼宛にメールを出したが返事がこない。どうしたのか」ってメールしてきたんだ。僕がまた「まだ実家のお母様の所へ寄生虫です」って誤変換のメールを返しちゃってね。「サナダムシのつもりですか。何歳まで親のスネを

かじっているんですか? 戻ったら至急電話するように伝えてください」って返事が来たよ。

津田 ホホー、それは、それは。その役員は、気が利いてるよね。僕もミスをしよっちゅうやってるよ。この間はね、うちの会社、鳩が住みついて、大量のフンをするんで、鳩の予防策を考えることになったんだ。で、僕が責任者にされてね。協力を要請するメールを同僚全員に送ったんだよ。でも、その題に、呼ぶか呼ばないかの「ハト呼ぼう大作戦」って書いてしまってね。上司に「鳩を呼んでるのはお前だったのか!」って嫌みを言われたよ。

松下 そりゃ怒られるだろう。そう言えば、今朝、友人から緊急のメールが来たんだ。「返信して」が、身が変わる「変身して!」ってなっていたよ。前にも、「遣唐使」の「遣唐使よう」っていうメールが来たことがあってね。そんなこと、阿倍仲麻呂に頼んだらって返事してやったんだ。で、先日故障したファックスの復旧案内も一緒に送ったんだけど。うっかり、「やっとファックスが普及しました」って送ってしまったんだ。「とっくに世の中で普及している」って即座にしっぺ返しを食らったよ。人の振り見て我が振り直せって、こういうことだな、ってしみじみ思ったよ。

津田 確かに。でも、ただの変換ミスならまだ救いがあるんだよ。宛先が間違っていたら最悪だぜ。直子さんって覚えてる? 上司の機嫌

基本語彙

21. かじる(齧る)[五他] 啃, 啃咬; (转) 啃咬(知识、技能、信息)
22. しよっちゅう[副](俗) 始终, 经常, 总是
23. 鳩(はと)[名] 鸽子
24. 大量(たいりょう)[名・形動ダナ] 大量, 大批; 大肚量, 宽宏大量
25. フン(糞)[名] 粪, 屎, 大便(=「糞(くそ)」)
26. 予防策(よぼうさく)[名] 预防措施, 防备对策
27. 変身(へんしん)[名・サ自他] 变形, 变化的身态, 换装, 化装
28. 阿部仲麻呂(あべのなかまろ)[名] 日本历史上有名的遣唐使
29. 復旧(ふっきゅう)[名・サ自他] 修复, 恢复原状
30. 即座(そくざ)[名] 当场, 即席, 马上
31. しっぺ返し(竹箆がえし)(複) 马上报复, 立刻还击
32. 食らう(くらう)[五他] 挨, 深受, 受害; 吃, 喝; 生活, 过日子
33. 振り(ふり)[名](「ふる」的名词化) 样子, 打扮; 摆动, 挥动; 举止, 动作; 假装, 装作; (舞蹈、戏剧的) 动作; 陌生, 突然来的
34. しみじみ(沁沁)[副] 深切, 痛切; 亲切, 亲密; 仔细, 认真
35. 宛先(あてさき)[名] 收信(件) 人的姓名住址
36. 最悪(さいあく)[名・形動ダナ] 最坏, 最糟, 最不利
37. 直子(なおこ)[名] 人名

基本語彙

38. 蛍光灯(けいこうとう)〔名〕日光灯, 荧光灯
39. チカチカ〔副・サ自〕闪烁, 闪闪发光; 晃眼, 刺眼
40. 見計らう(みはからう)〔五他〕估计(时间); 斟酌, 瞧着办
41. 開封(かいふう)〔名・サ他〕启封, 拆开(封皮); 敞口, 开封
42. 済み(ずみ)〔接尾〕(多接在汉语动词下)表示已完的意思。

が悪かったので、「私のせいで機嫌が悪いのかな? それとも蛍光灯がチカチカしているから? ま、どっちでもいいけど……なんか怖いわ」って、僕宛にメールを送った……つもりが上司本人へ送信してしまった。上司が席を外した瞬間を見計らって、メールを削除しようとしたそうだけど、既に後の祭り、開封済みだった。幸い、上司が、「蛍光灯のせいじゃ」ってフォローしてくれてたけど。

松下 まあ、そういう上司って、優しいほうだよね。しかし、あのとき気をつけていなければ、こんなふうに笑われていただろう、ということも結構あるな。ほんとに気をつけないといけないな。



电视广告：一位白领躺在担架上被抬进医院，他的小腿胫部有一排还在流血的深深的牙印，让他痛苦不堪，而他家里，大学生模样的年轻人仍然龇牙咧嘴地等着父亲回来。知道「親のスネをかじる」的马上就能明白这是个教育保险的广告。

7. ホホー、それは、それは。その役員は、気が利いてるよね。

「それは、それは」在这里作感叹词用，意为“唉呀，哎呀”。

◇それは、それは、大したモンだ。/哎呀呀，真了不起！

「気が利く」有“机灵”、“乖巧”、“漂亮”、“周全”等意。在本课句子中作“反应灵敏”解。

◇バレンタインにチョコを送るなんてよく気が利いているね。/情人节送巧克力，想得很周到嘛。

◇なかなか気の利いたドレスじゃないか。/很漂亮的服装呀！

◇気まずいときに気の利いたことを言ってくださって、なかなか、気の利いたお方ね。/在尴尬的时候说中听的话，真是个机灵的人呀。

8. 上司に「鳩を呼んでるのはお前だったのか！」って嫌みを言われたよ。

「嫌みを言う」意为“说讽刺的话”、“冷嘲热讽”。

◇いくら何でも、おまえに嫌みを言われるスジじゃないぞ。/不管怎么说，你可没权力对我冷嘲热讽！

9. 「とっくに世の中で普及している」って即座にしっぺ返しを食らったよ。人の振り見て我が振り直せって、こういうことだな、ってしみじみ思ったよ。

「しっぺ」由「竹篋(しっぺい)」变化而来，原本是一种游戏，游戏者用食指和中指抽打对方手腕，对方迅速躲开并抽打回来，因此「しっぺ返し」就有“立即还击”、“杀回马枪”的含义，而「しっぺを食らう」则是“被立即还击”。

◇「うるさい！」と言ってやったら、「こっちのセリフだわ」としっぺ返しを食らった。/我对她说：“别吵吵！”她马上反击说：“是你在吵吵！”

「人の振りを見て我が振り直せ」意为“对照别人的行为改正自己的行为”、“对照他人、反省自身”。

10. 宛先が間違ったら最悪だぜ。

「最悪」常常发音作「さいやく」，故也有人把它写作「災厄」，是一个基本固定下来的流行语，可译为“糟糕透顶”、“非常可恶”、“恶心至极”、“讨厌之至”等等。

◇あの先生が授業中窓の外に向かって痰を吐いたって？最悪！/那个老师上课的时候冲窗外吐痰？真恶心！

- ①契機 ②慶事 ③軽視 ④経理
- (3) 同工異曲
 ①草稿 ②高校 ③同窓 ④動向
- (4) 同工異曲
 ①医局 ②萎縮 ③戯曲 ④支局
- (5) 返信のメール
 ①返金 ②先進 ③変身 ④検診
- (6) 協力の要請
 ①構成 ②早世 ③養成 ④統制

4. ()にはどのような言葉を入れれば良いですか。適当なものを①～④の中から一つ選びなさい。

- (1) これで君も()一人前だ。
 ①とうとう ②もともと ③そもそも ④ますます
- (2) 君を弟子と認めよう。()これから出す3つの課題をクリアしたら、だ。
 ①さぞかし ②すなわち ③むしろ ④ただし
- (3) お爺さんは光っている竹を切った。()中から可愛い女の子が出てきた。
 ①しかし ②すると ③ところが ④それでも
- (4) ()あれは、新種の蝶だ。
 ①でも ②おそらく ③さらに ④かえって
- (5) ()大きな災害が起きたら、君はまず、何をするかね?
 ①そうして ②すなわち ③たとえば ④つまり
- (6) ()山の頂上が見えてきた。
 ①やっと ②そもそも ③だから ④また

5. 「～している・～していた」には、「実際には～ない・なかった」という意味を表わす場合があります。例えば、「あの時気を付けていなければ、こんなふうにならなくていただろう。」には、否定形は使用されていません。しかし、「あのとき気を付けていたので、実際には笑われていない」という意味を表わします。このような「A～れば・～たら+B～している・～していた」という形で、「Aなので・だったので、Bではない・なかった」という理由を表わす文と同じ意味を持つ文を「反事実」と言います。次の文を読んで、反事実を表わすものに○をつけなさい。

- (1) ()彼女が来ていれば、パーティーも楽しくなっている。

- (2) ()あのとき彼が助けてくれなかったら、私は死んでいた。
 (3) ()留学していれば、人生が変わっていた。
 (4) ()今年は天候に恵まれたので、豊作となっている。
 (5) ()あのとき彼が助けていなければ、Aさんは溺れていた。
 (6) ()あの人が空港に来てくれていれば、私は思い止まっていた。

6. 次の中国語を参考にして、日本語訳の()にある「と」、「ば」、「たら」、「なら」、「ては」から、正しくないものをはずしなさい。

- (1) 出了隧道,便是深深的山谷。

トンネルをくぐる「と」、れ「ば」、つ「たら」、る「なら」、つ「ては」、深い谷だった。

- (2) 没有他的帮助,我们绝对不可能获得成功。

彼の助けがない「と」、けれ「ば」、かつ「たら」、い「なら」、く「ては」、われわれの成功も絶対あり得ない。

- (3) 他要是在场,我就溜号。被看见可就完蛋了。

彼がその場に居る「と」、れ「ば」、「たら」、る「なら」、「ては」、私はどろんをきめます。見つけられ(る「と」、れ「ば」、「たら」、る「なら」、「ては」)終わりですよ。

- (4) 明天要是天晴的话就去登山。

明日晴れる「と」、れ「ば」、「たら」、る「なら」、「ては」、山登りしよう。

- (5) 如果不入虎穴的话,就不能得到虎子。(谚语:不入虎穴,焉得虎子。)

虎穴に入らない「と」、けれ「ば」、かつ「たら」、い「なら」、く「ては」、虎児を得ることはできない。(諺:虎穴に入らずんば虎子を得ず)

- (6) 到那边以后,用电脑给我发个伊妹儿。没有电脑的话,就给我发个传真。

向こうに着く「と」、け「ば」、い「たら」、く「なら」、い「ては」、パソコンでメールを送ってください。パソコンがない「と」、けれ「ば」、かつ「たら」、い「なら」、く「ては」、ファックスをください。

7. 次の文章を中国語に翻訳しなさい。またこれに基づいて作られた会話文を読解しなさい。

題

小学校で初めて作文を書いた時のことを、唐突に思い出しました。出来上がって先生に見せに行くと、「題を書きなさい」と言われました。自分の席に戻り、周囲の友達に「ダイって何?」と聞きましたが誰もわかりま

- 津田** 是啊。于是我解释说：“爷爷，那叫手机短信，只传送文字过来。”没想到他更生气了：“那电话不就没用了吗？看字的话，写信哪！写信！”
- 松下** 这也言之有理呀！由于电脑的普及，电子邮件代替了写信。像我这种懒于提笔的人，老发伊妹儿，跟信纸越来越不沾边儿，甚至连汉字的笔画都想不起来了。
- 津田** 怎么说呢，电子邮件的魅力之处在于拼写快、传送及时。不过，信可以慢慢写，错误也因之较少，电子邮件则往往草草了事，不经确认就慌忙发出，结果常常出现一些匪夷所思的错误。
- 松下** 还真是如此。我单位就有这么件事儿，有位性情独特、天生懵懂的大叔得感冒病倒了，另一个虽不如他马大哈，却也够糊涂的同事在电子邮件布告牌上把本应写作“伤风休息”的写成了“丧疯休息”。也不知这主儿是与生俱来的粗心呢，还是平日积怨所致。
- 津田** 这恐怕是打错字了吧，常有的事儿。我有位熟人跟他朋友发了手机短信后，收到这样一句回信：“在想什么色迷迷的事呀？”朋友不得其解，问后方知自己把“汉字教参”转换成了“汉子娇喘”。
- 松下** 哈哈！我也有个类似的笑话。我们科的科长年末休假时稍微拖延了一段时间。本公司的一位董事给我发来个短信说：“我给他发了信却没回音，出什么事了？”我发短信回答说：“还在老家母亲那里探亲。”岂料却误发为：“还在老家母亲那里弹琴。”结果他发回一条短信说：“乱弹什么琴！在父母家混吃混喝到何时？回来后让他立即来电话！”
- 津田** 嗬嗬嗬！这太有意思了，你们那个负责人还挺风趣的。我也常犯同样的错误。前不久许多鸽子在我们公司安了家，鸽子屎泛滥成灾。公司决定采取措施，让我负责。于是我给全体员工发了一封求助电子邮件，没想到在标题里把“预防”弄成了同音的“育放”，成了“育放鸽子决策”。结果上司讥讽我说：“把鸽子养大放出来的原来是你小子呀！”
- 松下** 这可不能怪别人生气。我想起来了，今早朋友来了个紧要的电子邮件，居然把“快回音”弄成妖怪隐藏的“快晦阴”去了。以前还接到过把“望考虑(検討しよう)”弄成了“遣唐使(遣唐使よう)”的信儿，我回信说：“那你就去找阿倍仲麻吕吧。”与此同时，我把传真机修好的通知一块儿发了过去。谁知一马虎，把“传真机终于动起来了”弄成了“传真机终于冻起来了”。对方马上杀了个回马枪：“废话，早就冻得硬邦邦的了！”常言道“他人是面镜，常借来反省”，说的大概就是这个意思吧，感受颇深哪！
- 津田** 的确如此。不过，仅仅是转换错误还不至于闹出什么大问题，要是把收件人的地址搞错那就糟糕透了。你还记得直子吧？她曾因上司心情

不好,就发了个电子邮件给我:“是因为我的原因心情不好呢?还是因为荧光灯闪闪晃眼呢?哎,什么原因倒无所谓……但总有点可怕啊!”不料邮件被错发到上司本人的信箱里了。直子虽想趁上司离开座位的当口把它给删掉,可是贼走关门,为时已晚,早被打开看过了。还好,上司回来,说了句“是荧光灯晃眼呐”,给了她个台阶下。

松下 哎呀!这还算是替部下着想的上司呐。其实呀,很多事儿如果事先不留神,事后就会贻笑大方了。不仔细是不行的啊,你说是不是这样?

第4課 言い間違い

日常生活中说话颠三倒四的情况是很常见的,可我们学日语的学生往往有这么一个毛病,即发现某位老师说日语时出现错误,就认为这位老师水平不高,其实日本人说话也不是没有漏洞的。在本课中,笔者就是利用了交谈中的误用编写出了一个个的小笑话。

会 話

きみしま
君島(専門学校の学生)

よこお
横尾(専門学校の学生)

君島 あのだ、この頃、舌の滑りの悪さを何とかしようと思って、口を大きく開けはつきり発音するよう心がけてるんだ。でも、なぜか、しっかり喋ろうとすればするほど、「ありがとうございました」が「オリゴ糖ございました」に聞こえるような気がして仕方がないんだ。意識せずに言うと「あにゃとうごあいした」みたいになる。どうも僕の口は食べる専用で、ものを喋るのに向いてないみたいだ。

横尾 うーん、そんなことはないよ。発音なんて意識すればするほど、かえっておかしくなる場合があるんじゃないか?

君島 まあ、そうかもね。特に口の重い人は。でも、横尾君は違うんだろう?

横尾 うーん、僕も例外じゃないよ。舌がもつれ

基本語彙

1. 滑り(すべり)〔名〕(「すべる」的名词化)滑,滑动,打滑
2. バイト〔名・サ自〕(德语译词「アルバイト(Arbeit)」的略语)(业余的)打工,勤工俭学;业余搞副业的人,工读生;学术上的成就,研究成果
3. 向く(むく)〔五自他〕适合,对路;向,朝;倾向,趋向;转向

基本語彙

4. もつれる(纏れる)〔下一自〕(動作、语言)不灵,不好使唤;纠结,纠缠在一起;发生纠葛
5. 論(ろん)〔名〕讨论,议论,争论,论证;意见,看法
6. 証拠(しょうこ)〔名〕证据
7. アジアン(Asian)〔形〕亚洲的
8. 雑貨(ざっか)〔名〕杂货
9. センター(center)〔名〕中心,中央,中心地
10. つかぬこと(付かぬ事)〔連語〕贸然的事,突如其来
11. うかつ(迂闊)〔名・形動ダナ〕愚蠢,无知;稀里糊涂,粗心大意
12. 言い直す(いいなおす)〔五他〕改口重说,再说一遍;换句话说
13. ふつつか(不束)〔名・形動ダナ〕粗鲁,不懂礼节;无能;不精致
14. 八丁(はっちょう)〔名〕巧,能干
15. ちっとも〔副〕(下接否定语)一点儿也(不),毫(不)
16. 回転(かいてん)〔名・サ自〕转动,旋转;(滑雪)转弯;转数,周,圈;周转
17. ピカいち(光一)〔名〕(俗)第一,出类拔萃,首屈一指
18. 殺し文句(ころしもんく)〔名〕(男女间的)甜言蜜语,迷魂汤;威胁的话
19. 鳥肌(とりはだ)〔名〕鸡皮疙瘩
20. ゴマ(胡麻)〔名〕芝麻
21. 播る(する)〔五他〕磨碎,研碎(常用「胡麻を播る」表示拍马屁,阿谀);摩擦;损失,赔

るのはしょっちゅうだし、それに、気にすると、言葉遣いのほうまでおかしくなるんだ。

君島 えー? 信じられないな。論より証拠、たとえば、どんな時さ?

横尾 うーんと、そうだなあー……たとえばね、昨日、家から目と鼻の先にあるアジアン雑貨センターで買い物をした時、見たことのあるような商品が多かったので、店員さんに「つかぬことをお伺いしますが」って聞こうとして、「うかつなことを」って言いかけちゃってさ。で、間違いに気付いたから言い直そうとしたのに、「ふつつかなことを」って言ってしまって、余計に変なことになったんだよ。

君島 へえー。横尾君でもそんなことあるの? 口八丁、手八丁って言われてるのに。

横尾 えっ?! それはちっとも、お世辞にはなっていないよ。

君島 いや、横尾君にお世辞なんか言わないよ。なんたって頭の回転の早さではクラスでピカイちだものね。

横尾 ほら、また来た。そんな歯の浮くような殺し文句はやめてくれないか? 鳥肌が立ってくるよ。

君島 いやいや、横尾君にゴマを播っても得になることは僕には一つもないぜ。僕はただ、横尾君でも混乱をすることがあるのかって不思議に思っただけなんだから。

横尾 そんなの、あたり前さ。そーゆーのって日頃、結構あるんじゃないの? 前に、お菓子屋さんで働いてたときなんか、試食のお皿

を返してくれたお客さんに「おそれいりません」って言いたかったのに、「おそれいりました!」って叫んでしまったってことがあった。

君島 えー? それは何? 降伏宣言?

横尾 そうなんだよ。それにその日はそれで終わらなかったんだ。その後、お帰りになるお客さんにも、「ありがとうございます、またお越してください」って言いたかったのに混ざっちゃって。「またお越してくださいました!」って言っちゃってね。店を出るお客さんの背中、震えてるみたいだったよ。

君島 ハハハッ! そりゃそうだろう。お客さんは、どう反応していいのかわからなくて、おかしくてたまらなかったんだろう。こう言うの、諺で何とかいったような? 「抱腹絶倒」……かな。

横尾 うん。「腹の皮が擦れる」とも言うんじゃないか。

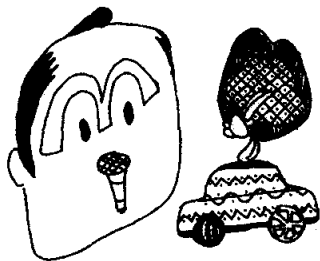
君島 そうそう、腹の皮が擦れるほどではないけど、マクドナルドのドライブスルーでバイトをしていたときのことを思い出したよ。そのとき、いつの間にかお客さんが長蛇の列を作っていてね。もうー、忙しいの何のって。キリキリ舞いのテンテコ舞いの状態になったんだ。そうしたら、一緒にバイトしてた女の子が焦ってたせいか、いつもなら「いらっしゃいませ、こんにちは、マイクにむかってご注文をどうぞ」って言うところを、「いらっしゃいませ、こんにちは、マイクにむかってこんにちは」っておもいきり

基本語彙

22. お菓子屋(おかしや) [名] 点心铺, 糕点店
23. 試食(ししょく) [名・サ他] 试尝, 品尝
24. 降伏(こうふく) [名・サ自] 降伏, 投降, 归服
25. 宣言(せんげん) [名・サ他] 宣言; 宣布, 宣告
26. 混ざる(まざる) [五自] 搀混, 混杂, 夹杂
27. 背中(せなか) [名] 背后, 背面; 脊梁, 脊背
28. 抱腹絶倒(ほうふくぜつとう) 捧腹大笑
29. 擦れる(よじれる) [下一自] 扭着, 扭劲儿
30. ドライブスルー(drive through) [名] 可坐在汽车里买东西的商店, 路边商店
31. 長蛇(ちょうだ) [名] 长蛇, 大蛇; (喻) 贪婪
32. 列(れつ) [名] 行列, 队列
33. キリキリ舞い(きりきりまい) [名・サ自] 忙得很, 忙得乱转; 慌乱, 忙乱
34. テンテコ舞い(てんてこまい) [名・サ自] (忙得) 不可开交, 手忙脚乱
35. 焦る(あせる) [五自] 焦躁, 急躁, 着急
36. マイク [名] (「マイクロホン(microphone)」的略语) 麦克风, 话筒

基本語彙

37. ポカんと〔副・サ自〕
发呆貌；啪嚓（敲打声，
裂开声或敲打貌）
38. 丸和（まるわ）〔名〕（公
司名）丸和
39. 悩む（なやむ）〔五自〕
（精神的）烦恼，苦恼，
忧愁；（肉体的）疼痛，
痛苦，生病
40. 鹿児島（かごしま）
〔名〕九州南部的县名
41. ぽっと出（ぽっとで）
〔名〕（俗）由乡村初次
到城市（的人）
42. 勘違い（かんちがい）
〔名・サ自〕误会，错觉



横尾

叫んでしまってね。それにつられて、お客さんはポカんとした顔をしながらも、「こんにちは」って呟いていたよ。腹を抱えたよ、僕は。

フフン。それは、ちょっとおもしろいな。ああ、そう言えば、兄貴から聞いた同じような話を思い出したよ。兄貴が社会人になってすぐの頃、かかってきた電話を取ることになったんだ。右隣の方は「はい。丸和です」って言って、左隣の方は「はい。丸和でございます」って言いながら電話を取る。で、どっちがいいのかって兄貴は悩んだらしい。そうして電話を取って口から出たのは、「はい。丸和でごわす」だったそうだよ。顔から火が出るほど恥ずかしかったって。

君島

ハハハッ！ それじゃ、お相撲さんか、鹿児島からのぽっと出か、どちらかと勘違いされそうだね。

● ● ● ● ● ● ● 解 説 ● ● ● ● ● ● ●

1. あのさ、この頃、舌の滑りの悪さを何とかしようと思って、口を大きく開けはつきり発音するよう心がけてるんだ。

「何とかする」意为“想方设法做某事”。可与「何とかなる」（总会有办法）结合起来记。

◇何とかなると手をこまねいて待ってるんじゃないくて、何とかしようとする姿勢が重要なんだよ。/袖手静观事物的发展是不行的，重要的是具有主动做的态度。

「心がける」意为“留心”、“注意”、“努力”。

◇社長の逆鱗に触れないように心がけています。/小心不去惹怒董事长。

◇宿題をさっさとやるように心がけなさい。/赶紧努力把力把作业完成了。

2. しっかり喋ろうとすればするほど、「ありがとうございました」が「オリゴ糖ございました」に聞こえような気がして仕方がないんだ。

「用言の仮定形＋ば＋用言の連体形＋ほど」相当于汉语的“越……越……”。

◇思えば思うほど気が滅入ってします。/越想越泄气。

◇賢ければ賢いほど妬まれる。/越聪明越被嫉妒。

「～て(で)仕方がない」在此表示一种难以忍受的感觉,相当于“……得要命”、“无法忍受”。除此以外,还有“无法”、“没用”、“不像话”等意。

◇喉から手が出るほど欲しくて仕方がない。/非常想要,恨不得一口吞下。

◇腹が立って仕方がなかった。/气得不得了。

◇後悔したって仕方がない。/再怎么后悔也没用。

◇あいつは怠けモンで仕方がない。/那家伙懒得不像话。

3. どうも僕の口は食べる専用で、ものを喋るのに向いてないみたいだ。

「～に向く」意为“适合于”。

◇この川は養魚に向いていない。/这条河不适宜于养鱼。

◇それは俺に向く役割だ。かってやろう。/这角色适合于我,我来承担。

4. 論より証拠、たとえば、どんなときさ？

「論より証拠」意思是“与其空论,不如实证”。

◇論より証拠で使って見りゃ直ぐ分かる。/与其空论,不如实证,用用就能明白。

5. 家から目と鼻の先にあるアジア雑貨センターで買い物をしたんだけど。

「目と鼻の先」意为“近在咫尺”、“一步之遥”。

◇家からつい目と鼻の先に郵便局があった。/出门就有一家邮局。

6. 店員さんに「つかぬことをお伺いしますが」って聞こうとして、「うかつなことを」って言いかけちゃってさ。

「つかぬこと」来自「思いもつかぬこと」、「考えもつかぬこと」,意思是“没想到的事”、“突如其来的事”。「つかぬことをお伺いしますが」可看作一个客气地询问某事时的常规用法。

◇つかぬことをお伺いしますが、彼女はその後、どうなさっていますか。/请原谅我的冒昧,打那以后,她怎么样了?

「かける」作为辅助动词接在动词连用形下,表示①前缀动词的动作或作用朝向某事物进行,②前缀动词的动作或作用即将开始或已在进行当中。

◇話しかけようとするところへ彼女に入られた。/正要说的時候她進來了(以至無法說下去)。

◇論文はもう読みかけているよ。/论文已开始看了。

7. 口八丁、手八丁って言われてるのに。

「八丁」也写作「八挺」,指“巧妙地使用8种工具”,即“灵巧”、“机灵”(含有贬义)。「口八丁、手八丁」即“伶牙俐齿、十指灵巧”。

◇彼は口八丁、手八丁で使い物になる。/他能说会道,能做会算,可以用得上。

8. なんとって頭の回転の早さではクラスでピカいちだものね。

「なんとって」等于「なんと言っても」,意为“不管怎么说”。

◇なんとって地獄の沙汰も金次第だからね。/怎么说也是有钱能使鬼推磨呀!

「ピカいち」中的「ピカ」来自象声词「ぴかぴか」,故「ピカいち」意为“最闪闪发光的”、“出类拔萃”。日本花纸牌戏的首牌7张中12点的只有1张(其余6张都是废牌),也叫「ピカいち」。

◇学者の中でも彼はピカイチだよ。/即便在学者中间他也是出类拔萃。

9. ほら、また来た。そんな歯の浮くような殺し文句はやめてくれないか?
鳥肌が立ってくるよ。

「また来た」在这里可以直译作“又来了”,意思上也近似。

◇また来たね。いつもの手じゃないか。/又来了!你不总是这一手吗?

「歯が浮く」意为“肉麻”、“齿酸”、“倒牙”。

◇こんな歯の浮く文章を書いたやつは誰なのか不思議でたまらない。/想不透写这种肉麻文章的主儿究竟是谁。

「鳥肌が立つ」就是“起鸡皮疙瘩”。

◇恐怖で鳥肌が立った。/毛骨悚然。

10. 横尾君にゴマを搗っても得になることは僕には一つもないぜ。

「ゴマを搗る」意为“拍马屁”。中国人说“捣芝麻酱”,日本人则说“搓芝麻酱”。因为日本家庭做芝麻酱时,是将芝麻放在有沟纹的瓷碗里,用一根小棒槌转着圈子搓。搓的过程中,芝麻会沾在碗缘四周,日语就用这种现象来比喻拍马屁时的黏黏糊糊。

◇上役にぺこぺこことゴマを搗る奴は大嫌い。/最讨厌哪种对上级点头哈腰拍马屁的家伙。

11. 試食のお皿を返してくれたお客さんに「恐れ入ります」って言いたかったのに、「恐れ入りました!」って叫んでしまったってことがあったよ。

「恐れ入ります」是表示“十分抱歉”、“感激不已”的惯用套话。但是如果用过去时的「恐れ入りました」,意思就变成了“我服了你”、“五体投地”、“遵从指令”。

◇ははあ、恐れ入りました。/啊啊,在下明白啦。

12. 「ありがとうございました、またお越しく下さい」って言いたかったのに混ざっちゃって。「またお越しく下さいました!」って言っちゃってね。

「またお越しく下さい」是表示“欢迎再次光临”的惯用套话。如果用过去时的「またお越しく下さいました」,就变成了“(怎么)又光临了”,带有谴责的含义。

13. 「抱腹絶倒」……かな。

「抱腹絶倒」来自汉语,即现在常说的“捧腹大笑”。

◇先生のだじゃれに抱腹絶倒した。/老师的俏皮话令我们捧腹大笑。

14. 「腹の皮が抜れる」とも言うんじゃないか。

「腹の皮が抜れる」是“笑得肚子痛”,与「抱腹絶倒」意思相近。

◇腹の皮が抜れるほど笑った。/笑得直不起腰来。

15. そのとき、いつの間にかお客さんが長蛇の列を作っていてね。もう一、忙しいの何のって。キリキリ舞いでテンテコ舞いの状態になったんだ。

「長蛇の列を作る」即“排成长队”。“麦当劳”等快餐店为了对应那些开着车没时间下车休息的顾客,采用一种叫「ドライブスルー」的制度,即客人不必下车进店,可直接在车上对着店门口的麦克风或窗口买食品。

「～の～の」用作副助词,表示并列。「～の何の」也可看作惯用句,表示对「の」接续的句子的强调,可理解为“……得不得了”。

◇生きるの死ぬのって騒いでいる。/要死要活闹得不可开交。

◇もう痛いなんの。/简直痛得受不了。

「きりきり舞いでテンテコ舞い」中的「きりきり舞い」是“滴溜溜地打转”,可用来表示“忙得不可开交”。「てんてこ」是鼓声的象声词,加上跳舞的「舞い」,意思是“踩着鼓点跳舞”。鼓点敲击得越密,舞步也就越快,自然给人一种忙不迭的感觉,故「てんてこ舞い」意为“忙乱不堪”。

◇彼のおかげできりきり舞いをさせられた。/就是因为他弄得忙乱不堪。

◇突然の来客にてんてこ舞いしていた。/突然的来客弄得我(们)手忙脚乱。

16. 「はい。丸和でごわす」だったそうだよ。顔から火が出るほど恥ずかしかったって。

「～でごわす」是由「ござんす」→「ごわんす」变化而来,为存在动词和补助动词「ある」的「丁寧語」(自谦语),多用于鹿儿岛方言和相扑运动员中。

「顔から火が出る」意为“面红耳赤”、“羞愧难当”。

◇うわきで有名な英会話学校に行ってます。初心者クラスで他の生徒さんに「あなたのお仕事は?」と尋ねたら「I don't have any no job」と答えが返ってきました。「私は今は仕事していません」という簡単な英語なのだが「no job」

3. 次の文はどのような意味ですか。適当なほうに○をつけなさい。

- (1) 意識すればするほど、かえっておかしくなる場合がある。
- ① 意識しすぎていると、家に帰ってから気が変になる場合がある。
 - ② 間違わないように注意をしようと思えば意識しすぎると、注意していたはずの間違いを犯してしまう場合がある。
- (2) 横尾君でさえ言葉の混乱がある。
- ① 僕だけでなく、横尾君のように言葉に巧みな人でも、言葉に混乱を起こすことがある。
 - ② 横尾君は、今日も冴えていたが、言葉の混乱を起こした。
- (3) そんな歯の浮くような殺し文句はやめてくれないか？
- ① キザで相手の心を惹きつけるような言葉をかけるのは、恥ずかしいからやめてくれ。
 - ② 歯を浮かせるほど殴り、死に至らせそうになったうえに、文句まで言うな。
- (4) それにその日はそればかりじゃなかったんだ。
- ① その日はそれでは終わらず、他にも出来事が起こった。
 - ② その日は、そのことにばかり手を掛けさせられて、他の事はできなかった。
- (5) そーゆーのって日頃、結構あるんじゃない？
- ① そういうことは、日常的によくあることではない。
 - ② そういうことは、日常的によくあることである。
- (6) 顔から火が出るほど恥ずかしかったって。
- ① 「腹が立って、顔がほてって真っ赤になった。」と言っていた。
 - ② 「恥ずかしさのあまり、そこから逃げ出したいくらいに顔がほてって真っ赤になった。」と言っていた。

4. 次の慣用句を使って、用例文を作りなさい。

- (1) 歯が浮く
- (2) 顔から火が出る
- (3) 歯が立たない
- (4) 歯に衣を着せない
- (5) 顔に書いてある
- (6) 顔が立つ

5. 第3課で学習した「反事実」の問題です。例にならって、同じ内容を表わす文を作りなさい。

例:あのときお金がなかったから、パソコンを買わなかった。

→あのときお金を持っていたら、パソコンを買っていた。

- (1) 彼女が去っていったから、彼は結婚をしなかった。
- (2) Aさんが来なかったので、今日の親睦会は盛り上がらなかった。
- (3) Aさんが来なかったので、Bさんも来なかった。
- (4) 電車が遅れたので、ゼミに遅れた。
- (5) 先生の忠告を聞かなかったので、発表はうまくいかなかった。
- (6) 墜落したあの飛行機に乗らなかったから、僕は助かった。

6. 次の中国語を読んで、その後の日本語訳にある()に正しい言葉を入れなさい。なにも入れる必要のない場合は(×)を付けなさい。

- (1) 我邀请街坊邻居的家庭主妇来我家,开了一个手工比萨饼教室,并通知道:“我家里没有多余的擀面棒,请每人带一根擀面棒来。”说完直担心别人没听懂,结果不出所料,5人中间有2人拿来了清扫耳朵经常使用的棉签。她们打算拿棉签来做什么呢?

近所の奥様連中()声()かけて自宅()手作りピザ教室をひらいたのだ()、「家()余分()ない()、めん棒()一本()持ってきてね」と言っておいた。わかるかなあと心配し()、案の定()、耳掃除()おなじみ()綿棒を持ってきたの()五人中二人()いた。何に使うと思ったんだ()……。

- (2) 一个比我后进公司的小伙子从公司回家的途中被蜂蜇了。第二天,他请假没来上班。被蜂蜇了就不来上班了吗?我在公司一问,方知他是因为奶奶过世告假……小伙子给我打来电话道:“我昨天不是被蜂蜇了吗?那就是虫子给我的预告呀,哈哈!”他居然笑得出来!

会社()帰宅途中()後輩()蜂()刺され、翌日、その後輩()休暇をとり会社()休みました。蜂()刺されて会社を休んだのか?()職場の連中と話してい()、おばあちゃん()亡くなった()休んだようで……。後輩()電話()来て、「僕、昨日()帰り()蜂()刺されたじゃないですか。あれって虫()知らせってやつですね。ハッハッハッハ」って。笑えないだろう?

7. 次の文章を中国語に翻訳しなさい。またこれに基づいて作られた会話を読解しなさい。

乳搾り

ある大学生が農場で乳搾りのアルバイトをした。ボスは彼を乳牛の前に連れて行き、バケツと腰掛けを渡して訊いた。

「乳搾りができるか。」

「できますとも。簡単ですよ。大学で勉強したことがありますから任せてください。」大学生は自信満々に答えた。ボスは頷きながらオフィスに帰った。

三時間ほど経って、大学生は、バケツを下げてボスの前に現れた。

「どうしてこんなに時間が掛かったのかね。簡単だと言っただろう。」ボスは不機嫌そうに訊いた。

「乳搾りは簡単ですが。」大学生は汗を拭きながら答えた。

「牛を腰掛けに座らせるのに手間取っていました。」

会 話

学生 こんにちは。お世話になります。日の下農業大学三年の緒方と申します。

ボス うん。体格はまあまあだな。ところで、君は酪農家の生活がどんなものか知っているか？あとで話が違う、といわれないようにあらかじめ言っておこう。この仕事は朝早くから、夜遅くまでだ。重労働の割に給料もそんなによくはない。もし、生半可な気持ちなら、今からでも遅くはない、帰った方がいい。

学生 いえ、大丈夫です。ぼくは動物が大好きですから。

ボス 君の方で好きでも、相手が好きになるとは限らんよ。これは人間関係と同じだな。

学生 気は心と申します。誠意をもって対すれば、大丈夫だと思います。

ボス うん。わかった。なぜ、こんなことを言うのかといえば、すぐやめてしまう人がかなり多いんだ。君がどうなるのかはわからんが、もし、ダメだと思ったら正直に、早めに言ってほしい。こちらにも都合があるからね。

学生 はい、わかりました。

ボス よし、じゃあ、荷物を置いてきたら、早速だけど乳搾りに行ってもらおう。そこにバケツとイスがあるから使うといい。まず親指と人差し指でしっかり締めて、それから徐々に小指まで握るようになるんだ。ミルクが逆流すると牛が痛がるから気をつけろ。

.....

学生 そんなにきついのか。これはしまったなあ。牧場じゃなくて、動物

園に行きたいって言えばよかったのかな。朝早いっていつからなのかな。6時くらいならともかく、3時とか4時じゃきついよな。ええと、バケツとイスがあるって言ってたな。しかし、乳搾りなんてできるのかな。なんとなく勢いでしたいですって言っちゃったけど、これでできなかつたらみっともないよな。ああ、やれやれだ。さて、肝心の牛をさがしに行くか。乳搾りだって相手がいなきゃしぼれないからな。なるべくおとなしそうな方がいいな。気の荒いのにつかまると、逆にこっちがしぼられちゃうよ。

牛 モー。

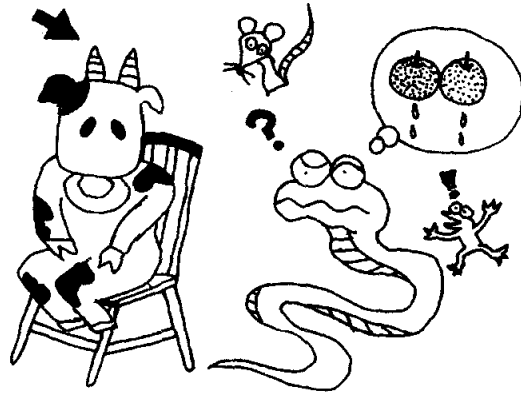
学生 お、いたいた。ハロー。英語は通じないのかな？

牛 ンモー。

学生 お、すげえ、通じてら。さすがホルスタイン。へい、ごめんなすって、牛さん。ちよいと牛乳を搾らせてもらいますよ。ええと、雌牛はどこだ。

牛 モー。

学生 あ、いたいた。角がないし、角を切った跡もないから絶対に雌牛だ。よし、バケツ、O.K. イスの準備もO.K. 後は座ったら仕事開始できるな。ううん、なかなか難しいもんだな。(10分後)ふう、やっとできた。親指と人差し指で締めて……と。



牛 モーッ。

学生 ん？ あれ痛いのか。そうか、僕の搾り方だとミルクが逆流するんだな。痛いはずだ。怒られちゃったよ。

……

ボス おい、どうした。遅かったな。足でもふまれたか？ *

学生 いえ、イスに座らせるのが大変だったので……。

*牛に足を踏まれたとき、無理にひっぱると骨折することもある。この場合、牛が動くまで辛抱強く待たなければならない。

了“蒙昧打听一下”，意识到不对马上纠正，没想到却错得更离谱，说成了“愚昧打听一下”。

君岛 啊，横尾，你也会这样？大家都说你伶牙俐齿呐。

横尾 什么？你这恭维话可是怎么听怎么别扭哇。

君岛 不不不，我可不恭维你。不管怎么说，就脑子转得快这一点，你可算班里最出类拔萃的呀！

横尾 你看你看，又来了，拜托你能不能不说这些酸掉牙的甜言蜜语呀，听得人起鸡皮疙瘩。

君岛 此言差矣，干嘛拍你的马屁？我又不能占什么便宜。我只是觉得奇怪，怎么连你都有犯迷糊的时候？

横尾 那还用说，这种事儿平常不是挺多的吗？以前在点心店打工的时候，一个顾客来归还品尝食品用的碟子，我居然把“劳驾您了”喊成“我服您了”。

君岛 哎呀，那是什么意思？宣布投降呀？

横尾 是啊，不只这些呢！刚才说的还没完，后来，我对着即将离店的顾客，心里想着要说“谢谢了，欢迎再次光顾”，却舌头打卷儿，说成了“您又来光顾了！”只见那位出了店门的客人笑得肩膀直打哆嗦。

君岛 哈哈，当然会这样啦。那顾客肯定不知该如何是好，在那儿好笑得不得了呢。成语是怎么说来着？“捧腹大笑”？

横尾 嗯，也可以说成“笑破肚皮”吧。

君岛 我有件事儿，虽不至于笑破肚皮，但也差不离吧。有一次在可以坐在车上直接购买的路边麦当劳店打工，不知不觉间客人已排起了长蛇阵，当时那个忙乎劲儿，真可谓手忙脚乱团团转。一起打工的女孩儿一着急，把平常的接待用语“欢迎光临，你好，请对着麦克风您要的东西”大喊为“欢迎光临，你好，请对着麦克风说‘你好’”。客人一时没回过神儿来，一脸茫然地也跟着嘀咕道：“你好。”我顿时笑得直不起腰来。

横尾 嗬嗬。是有点搞笑。这么说，我也从我哥那儿听到过同样的事儿。他刚进公司不久的一天，要接一个外面打来的电话，坐他右边的人接电话常说“喂，我是丸和”，而坐他左边的人接电话常说“喂，弊公司是丸和”，我哥很为难，不知该说哪个好，结果拿起电话脱口说出的是：“喂，弊司乃丸和也。”他说他当时羞愧得脸都红到了脖子根。

君岛 哈哈，这样一来，他很可能被人误认为是相扑力士或是刚从鹿儿岛来的乡下人呢。

第5課 電話のかけ方(一)

在日本公司就职,接日本客户打来的电话是一种挑战。用词不当或说话不到位,会使客户不快,重则给公司造成生意上的损失。所以,用日语娴熟地接打电话被日本人看作是一种能力。有的日本公司老板甚至会在偷偷观察部下接打电话中决定提拔的人选。

本课为20多岁的年轻人和40多岁的上司的谈话。年轻人使用的是敬体。不过由于对话发生在比较熟悉的上下级之间,年轻人的遣词并不规范,有语音脱落的现象。

这一课提出许多打电话的问题。想知道问题的答案,请认真学好这一课,然后在下一课中才能找到明白的感觉。

● ● ● ● ● ● ● 会 話 ● ● ● ● ● ● ●

もりもと
森元(二十代、会社員)

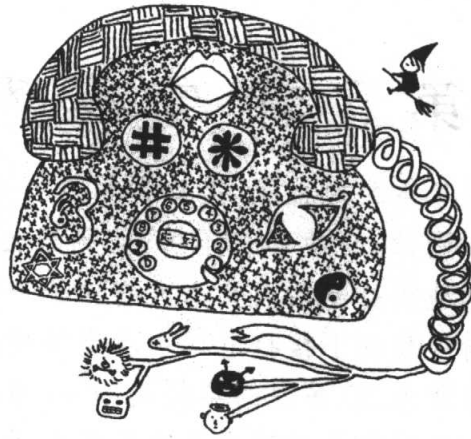
やまうち
山内(四十代、部長)

森元 先日、一杯飲んでの帰り、満員電車のなかで、携帯電話が鳴りまして。それで「もしもし、あー、いま電車中、あとでかけ直す」と言うつもりが、間違えて「もしもし、いま電話中……」と言ってしまいましたね。ですが、向こうも何も気付かずに、「じゃあ、終わったらかけ直してね」って言ってましたよ。

山内 ハハハッ。電話って、そういう言い間違いが時々あるな。うちの母が姉の職場に電話をかけたときのことなんだが、「恐れ入りますが……」って言おうとして、「恐れ入りま

基本語彙

1. 姑(しゅうとめ)[名] 婆婆, 岳母
2. 田畑(たばた/たはた)[名](日本人姓) 田畑
3. 千晶(ちあき)[名] 人名
4. 森園(もりぞの)[名](日本人姓) 森园
5. 改名(かいめい)[名・サ自](亦读作「かいみよう」) 改名, 更名; 改了的名
6. 怒鳴る(どなる)[五自] 大声责斥, 大声喊叫; 大声招呼
7. 応対(おうたい)[名・サ自] 应对, 应答, 对答; 接待, 应酬
8. 不在(ふざい)[名] 不在, 不在家



した!」って言ってしまって、笑いが込み上げてどうしようもなくなって、結局はそのまま電話を切ってしまったらしいんだよ。

森元 ハハハハッ! そうそう、友人の家に電話をかけると、時々、お姑さんが出られるのですが。「森元ですが、田畑さんをお願いします」と言うと、「あーはいはい、森元さんね」って確認した後、電話の向こうで「千晶さん、森園さんから電話よー」といつも改名されてしまうんですよ。

山内 まあ、年寄だから耳が遠くなった上に、記憶も頼りなくなってるんだらう。それはそうと、今の君の電話の話し方は、もし、会社の中だったら問題があるな。

森元 それはそうでしょう。勝手に改名されて……。

山内 いや。そういうことじゃない。君、坂本君に電話で名前の字を説明してたことがあったらう。そのとき、うまく伝わらなかったのをいらだって、「味の素のモトです!」って怒鳴っていたことがあったじゃないか。まあ、改名するのは失礼かもしれないが、「森

元ですが、田畑さんをお願いします」って言葉を会社で使ったら良くないと思わないか？

森元 うーん、そうですね？ 会社の電話の対応でもよく使う言い方じゃありませんか？ おかしいところとは……。

山内 気がつかないか。

森元 気がつかないと言うより、わからないんです。宜しければ、教えていただけませんか、部長。

山内 教えるほどのことでもないがな。その前に、いくつか聞かせてもらおうじゃないか。たとえばだ。私の家族から電話があったとする。しかし、私はたまたま不在だったとする。そのとき、森元君はどう答えるかね。

森元 「部長は席を外しております。」

山内 それじゃ、私の女房から電話があった場合には、私にそのことをどう伝えるかね。

森元 「部長、奥さんから電話です。」

山内 うん。それじゃ、得意先から私あてに電話があつて、私が用事で抜けられない場合は、どういうふうに相手先に伝えるかね？

森元 えーっと……「ただいま、部長はお電話に出られません。」このように、丁寧にお答えすれば無難ではないでしょうか。

山内 では、相手に少し待ってもらう場合は？

森元 よく使われてる決まり文句、「少々お待ちください」ですね。

山内 では、相手の声が小さくてよく聞き取れない場合は？

森元 そうですねえー……「お声が小さくて聞き

基本語彙

9. 外す(はずす)[五他]退(席), 离(座); 取下, 摘下, 解开; 错过, 没抓住; 避开, 躲开
10. 女房(にようぼう)[名](也读作「にようぼ」)妻, 老婆
11. 得意先(とくいさき)[名]主顾, 客户
12. 抜ける(ぬける)[下一自]离开, 溜出, 脱离脱落, 掉; 优越, 超过; 遗漏, 短缺; 逃出, 挣脱, 退出; 穿过, 走出
13. 無難(ぶなん)[名・形動ダナ]无可非议, 无可挑剔; 无灾无难, 平安
14. 決まり文句(きまりもんく)[名]老套话, 口头禅
15. かなう(適う / 叶う)[五自]符合, 合乎; 能, 能得到; (希望等)得以如愿以偿, 得以实现
16. 重々(じゅうじゅう)[副]十分, 非常, 很; 屡次, 再三, 三番五次
17. 受け手(うけて)[名](广播、通讯的)接听人, 接收人; 接受的人, 收件人, 收信人
18. かけ手(かけて)[名]这里指打电话方

基本語彙

19. 心遣い(こころづかい)[名]关怀,照料
20. 完璧(かんぺき)[名・形動ダナ]完美无缺,十全十美;完璧(归赵)
21. やりとり(遣り取り)[名・サ他]一问一答,谈话;争论,争吵;交换,互换,授受
22. 寝耳(ねみみ)[名]睡梦中的耳朵,睡中听见(常用「寝耳に水(みず)」)表示晴天霹雳,事出意外)

取れません」と、相手に正直に、また、丁寧に伝えることが礼儀にかなっていると思います。

山内 そう……。では、最後に電話の切り方を聞こうか。

森元 それはもう、重々存じておりますよ。電話の受け手はかけ手より先に電話を切ってはいけないという大原則ですね。また、少々間をおいて切る、という心遣いも必要と考えます。「はい、わかりました。」ガシャン!では失礼に当たります。どうでしょうか。私自身では、完璧だと思うのですが。

山内 そうだね……。最後の答えだけは完璧で、ほかは全部、問題ありだね。

森元 えっ? まさか! 電話の対応はいつもそういうふうやりとりしています。問題があるとは寝耳に水です。えー、いったいどこに問題が……。

山内 森元君、まず自分で調べてきなさい。で、明日、また話そうじゃないか。

● ● ● ● ● ● ● ● 解 説 ● ● ● ● ● ● ● ●

1. 笑いが込み上げてどうしようもなくなって、結局はそのまま電話を切ってしまったらしいんだよ。

「込み上げる」意为“上涌”、“涌现”、“油然而生”，原本是欲呕吐的感觉，转用来表现“按耐不住”的感觉。

◇吐き気が込み上げた。/感觉恶心欲吐。

◇悲しみが込み上げてきた。/不由得悲从中来。

◇怒りが込み上げてきた。/怒火中烧。

2. 年寄だから耳が遠くなった上に、記憶も頼りなくなってるんだろう。

「耳が遠い」意为“耳背”。

◇都合が悪くなるとすぐ耳が遠くなる。/一旦处境不利便装聋作哑。

「頼りない」意为“无依靠的”、“靠不住的”、“不明确的”。

◇そんな頼りない返事では困る。/如此含混不清的回答让人无所适从。

3. 教えるほどのことでもないがな。その前に、いくつか聞かせてもらおうじゃないか。たとえばだ。私の家族から電話があったとする。

「～ほどのことでも(は)ない」意为“不至于到……的地步”，常用来表示自谦。

◇おいしいというほどのものではないけど、そこそこ食べるだろう。/不能说好吃，将就可以吃。

「動詞+ようじゃないか」这个句子表面上是说话者对是否进行某个动作的询问，实际上具有强烈劝诱进行该动作的含义。

◇もうやめようじゃないか。/还是算了吧。

「～と(に)する」意为“(虽然事实上并无,但是)姑且算作”。

◇まあ、一応、君が出席したこととしよう。/好吧,姑且算你出席了吧。

4. それはもう、重々存じておりますよ。

「重々存じております」可看作“套话”，意为“已经铭刻在心”，也可说成「重々承知しております」。

5. 少々間をおいて切る、という心遣いも必要と考えます。「はい、わかりました。」ガシャン! では失礼に当たります。

「間をおく」意为“保持间隙”、“保持距离”，在本课中意为“稍等片刻”。

◇間をおいて、また話し続けた。/停顿了一下,然后继续说下去。

「ガシャン」为表示硬物碰撞的象声词,也可说成「ガチャン」,在这里意为“咔嚓一声挂上电话”。

◇「時間があるときに読んでおくように」と、部長が社会人のためのマナー本を買ってみんなが読めるように置いておいてくれた。そんな部長は、穏やかな口調で、きちんとした敬語を使って電話で営業トークをした後、間髪入れず「ガチャン」と受話器を置く。本当にその本を読んだの? /部长买来社会人礼节读本放在公司里,对大家说道:“有时间好好阅读”。就是这个部长,用稳成的口气、标准的敬语跟客户进行营业洽谈以后,不容分说地咔嚓一声挂断电话。他真的读过这本书吗?

6. 最後の答えだけは完璧で、ほかは全部、問題ありだね。

「問題ありだ」并不完全等于「問題がある」。说「問題がある」的时候,可

- (6) カバンを落とした。お金()、パスポートがなくなったら大変だ。
①といっても ②はともかくとして
③に伴って ④によって

3. 適当なほうに○をつけなさい。

- (1) 山内部長:山内だが、鈴木課長は{いる・いらっしゃる}かね?
(2) 森元:鈴木課長は、今、会議に出て{います・いらっしゃいます}が。
(3) 山内部長:終わったら、電話を{いただきたい・もらいたい}んだが。
(4) 森元:{わかりました・かしこまりました}。
(5) 森元:{伝えます・お伝えいたします}。
(6) 山内部長:{頼んだ・お願いいたしました}よ。

4. 日本語では、思ったり考えたりしているのは誰なのか、省略することがよくあります。次の文で思ったり考えたりしているのは誰なのか○をつけなさい。

- (1) 景気はまもなく回復すると思われる。{私・世間一般}
(2) 景気はまもなく回復すると思われている。{私・世間一般}
(3) この絵は本物のレンブラント作と認められている。{私・世間一般}
(4) この絵は本物のレンブラント作と認められる。{私・世間一般}
(5) この災害は多くの被害を与えたと考えられる。{私・世間一般}
(6) この災害は多くの被害を与えたと見られている。{私・世間一般}

5. 「～するところだ」は、動作や出来事が始まる直前を表わし、「～したところだ」は、終わった直後を表わします。そして、「～するところだった」は、ある動作を行なう直前だったが実際は行なわなかったという反事実を表わします。次の文を読んで、適当なほうに○をつけなさい。

- (1) A:山内部長はいらっしゃいますでしょうか?
B:山内は{出かける・出かけた}ところですので、帰り次第ご連絡を差し上げます。
(2) 森元:あのとき、部長が教えてくださらなければ、恥を{かく・かいた}ところでした。ありがとうございました。
(3) 山内:森元、今、ちょっと時間あるかね?
森元:すみません部長。今、取引先に{出かける・出かけた}ところなんです。
(4) 森元:部長! 危ない!!
山内:おっ!! いやあ、すまない。考え事をしていて。君が声を掛けて

くれなければ、車に{ひかれる・ひかれた}ところだったよ。

(5) 田辺:C社の田辺と申します。見積もりの件で確認したいことがございまして。森元さんをお願いできますか。

森元先輩:いつもお世話になっております。申し訳ございません。

森元はちょうど今、席を{外す・外した}ところでして。10分ほどで戻ると思います。こちらにお掛けになってお待ちください。

(6) 森元先輩:もしもし、森元? 今、どこにいるんだ?

森元:えーっと、もうじき、駅前のマクドナルドに{つく・ついた}ところです。

森元先輩:C社の田辺さんが見えてる。見積もりの件だそう。今すぐ、社に戻ってこい。

6. 助詞「を」「で」「に」を選んで()に入れ(一つとは限りません)、その理由を中国語で説明しなさい。

(1) 桜吹雪が空()乱舞する。

(2) 新井さんの家()集合しよう。

(3) 毎晩7:30から校内()歩く。

(4) Aさんがいった後()Bさんがやってきた。

(5) 電車の中でまさに鬼の反吐(へど)、人()ギューギュー詰めだった。

(6) 阿部さんは酒()酔っぱらったうえ、歌を歌い出した。

7. 次の文章を中国語に翻訳しなさい。またこれに基づいて作られた会話文を読解しなさい。

電話対応(1)

中学一年の頃、友達の家で電話をかけたらオジサンが出た。そこで、覚えてた電話対応「山田と申しますが佳奈ちゃんいらっしゃいますか」を使おうとしたのだが、「申しますが」という言い回しがどうしても思い出せず、「山田と申す……山田と申す……」と、武士っぽくなってしまった。

電話対応(2)

この前兄宛にセールスの電話がかかってきた時のこと。

相手:奥様ですか?

私 :違います。

相手:……お母様ですか?

私 :違います。

相手:……おばあ様、ですか?

私:(怒)妹です!

私の声はそんなに老けて聞こえるんかい! ってちょっとムカついたら、ヤツは素で「あ、そうか妹かぁ……」と呟いていた。どうやら妹という発想は全くなかったらしい。

会 話

電話応対(1)

弘子 ええと、佳奈ちゃんちの電話番号は……、あのとき急いで書いたから自分でも読めるか心配だけど。あ、あった。ええと、03……

(呼び出し音)

弘子 あれ? お留守かな。

男 はい。田村です。

弘子 あ、あの、ええと、山田ですが、佳奈いますか。

男 ……

弘子 ああ、すみません。あの、わたくし、クリスマスの、じゃなかった、ホームルームの、ええと……。

男 落ち着いて、深呼吸をどうぞ。取って食いはしないから。

弘子 へい。いえ、はい。(深呼吸する)

男 いいですか。

弘子 はい、お待ちしました。いえ、お待たせしました。わたくし、山田ともうす、もうす……。

男 はい。为什么呢。

弘子 すみません、ど忘れしました。後でもう一度かけてもいいですか。

電話応対(2)

(電話が鳴る)

由子 はいはい、今出ますよ。なんで急がしい時に限ってかかってくるかなあ。痛っ! 小指がダンスの角に……。もう! はい、もしもし。

女 こんにちは。弘樹さんですか。わたくし駅前日焼けサロンの営業担当、山内と申します。先日本屋でアンケートにお答えいただいた者ですが……。

由子 あのー。

女 ああ、すみません。弟さん、ですか。

由子 いいえ。

女 では、お兄様?

由子 いえ。
女 では、どなたですか。
由子 私、女ですけど。
女 申し訳ございません。しっかりしたお声でしたので。いやあ、美声ですね。奥様ですか？
由子 そりゃ、私はカラオケは好きですけど……彼氏、今、持ってませんよ。
女 ……お母様ですか？
由子 違います。
女 ……おばあ様、ですか？
由子 なんで、さっきから繰り上がっていくんですか。妹です。い・も・う・と。
女 はあ、妹さん……。
由子 ええ、そうですよ。おばはん。

8. 新出単語の説明を読んで、その単語の中国語の意味を考えなさい。

1. 山田(やまだ)[名]人名。
2. 佳奈(かな)[名]人名。
3. もうす(申す)[サ他]「言う」の謙譲語で、言う対象を敬う。申しあげる。言上する。元来は、自己に対し支配力を持つものへ、実状をうちあけて申しあげる気持が強く、公式に言上する場合や改まって申しあげる場合に多く用いられた。
4. 素(す)(造語)ただそうする(その物)だけで、ほかの行為や物が加わらないことを表わす。
5. 弘子(ひろこ)[名]人名。
6. 田村(たむら)[名]人名。
7. ホームルーム(アメリカ home room)[名]中学校・高等学校の生徒組織の基準単位、またはその学級の指導・運営のために設けられた時間。
8. ど忘れ(度わすれ)[名・サ他]「どうわすれ(胴忘)」の変化で、「度」は当て字)それまでは知っていたことを、何かの拍子にふと忘れてしまって、どう思い出そうと努力してもいっこう思い出さないこと。
9. 由子(よしこ)[名]人名。
10. 弘樹(ひろき)[名]人名。
11. サロン(フランス・英 salon)[名]洋風の酒場、バー、キャバレーなどの名として用いられる語。

- 森元 就说“敝公司部长这会儿有事不在”，可以吗？
- 山内 那么，要是我妻子打来电话，你怎么转告我？
- 森元 “部长，您夫人来了电话。”
- 山内 嗯。那么，当顾客打电话找我，而我有事脱不开身，该如何向对方转达呢？
- 森元 这个……那就礼貌地回答：“抱歉，现在部长不能接您电话。”这应该没问题吧？
- 山内 若是想让对方稍等会儿呢？
- 森元 就用常用套话“请稍等”。
- 山内 那么，对方声音很小听不太清楚呢？
- 森元 这个嘛……我认为只要向对方直率地、有礼貌地说：“您的声音很小，听不太清楚。”就不违礼节。
- 山内 是吗？那么最后问问挂电话的方法吧。
- 森元 这我可太清楚了。接电话的人不能比打电话的人先挂断电话，这是大原则。还有，我认为打完后应稍停一会儿再挂断电话。说完“嗯，知道了”随后就咔嚓一声放下电话是非常失礼的。怎么样？我自认为完美无缺了。
- 山内 怎么说呢……只有最后一个回答是完美的，除此之外，全都值得商榷。
- 森元 什么？不会吧！平时接打电话，可都是这么交谈的呀。说有问题，实在太意外啦。究竟问题在哪儿呀？
- 山内 你呀，自己先查一查，明天再聊吧。

基本語彙

4. 折り返し(おりかえし)
〔名・副〕立刻, 立即(回信); 折回, 翻折, 返回;
(诗歌的)叠句, 复唱句
5. 切り上げる(きりあげる)
〔下一他〕结束, 告一段落; 货币(汇率)升值;
(数)(四舍五入的)入
6. 先方(せんぽう)〔名〕对方, 对手(=「あいてかた」); 对面, 前方(=「むこう」)
7. 沈黙(ちんもく)〔名・サ自〕沉默
8. 一部始終(いちぶしじゅう)
〔名〕从头到尾, 原原本本, 全部经过
9. 爆笑(ばくしょう)〔名・サ自〕哄堂大笑
10. 一人前(いちにんまえ)〔名〕(技能等方面)能胜任的人, 能顶一个人, 够格的人, 像样的人; 成人; (食物)一人份
11. わきまえる(弁える)
〔下一他〕辨别, 区分, 识别; 通达事理, 理解, 知道, 明白
12. 首っ引き(くびっぴき)
〔名〕不断查看, 经常参阅; 脖子拉绳比赛
13. 殊勝(しゅしょう)〔名・形動〕
「夕子」值得称赞, 值得钦佩, 可嘉;
(佛)殊胜, 神妙
14. 所属(しょぞく)〔名・サ自〕所属, 附属

たんだ。だから、「確認して折り返しお電話します」と言って電話を切り上げようとした。ところが、先方の名前を私ははっきり聞きとれなくてね。慌てた私は、「あ、すみません! お客様何様ですか?」と言ってしまったんだよ。先方は五秒間くらい沈黙してね、一部始終を聞いていた私の周りの同僚のほうは爆笑しているんだ。

森元 ハハハハッ! 部長でさえ新人の頃は……。

山内 それはそうだよ。だから電話のやりとりができなくては一人前にならん、とも言われてるだろう? たとえ便利な言い回しでも、相手や場所などをわきまえなければ、笑われたり失礼になったりすることがあるんだ。

森元 この間、部長から出された宿題ですが……。

山内 調べてきたかね。

森元 はい! もう字引と首っ引き、社内のあちらこちらでも聞きました。

山内 それは殊勝な心がけだ。ちょっと待ってくれたまえ。手帳にメモをしておいたのでね。確認しよう。えー、そうだね、「森元ですが、田畑さんをお願いします」から聞かせてもらおうか。

森元 そうですね。会社内であるならば「営業二課の森元です。田畑さんをお願いします」と、自分の所属をはっきりさせる必要がありますね。

山内 ふむ。それでは、私の妻からの電話に対する場合の「部長は席を外しております」は?

森元 それは、「部長は席を外していらっしやいま

す」ですね。というのも、取引先などの外部に対しては、「おります」と謙遜語を使えますが、相手が家族だと、それは身内である家族をも低めてしまうから、まずいでしょう。

山内 なるほど。では、「部長、奥さんからの電話です」は、どうだね？

森元 「部長、ご自宅からお電話です」で言うのではないのでしょうか。

山内 それはまた、なぜだろう。

森元 前のままだと、「奥さんからしょっちゅう電話が入る」などという風評が立ちかねないからです。

山内 ほー。細かいところまで気がついてるな。では、「ただいま、部長はお電話に出られません」は？

森元 電話をかけてきた相手に、表面的に敬語を使っていますが、このような答え方は、相手を拒絶することにもなり、非常に失礼です。「あいにく席を外しておりますが……」とお答えした方が良いでしょう。いかがでしょうか。

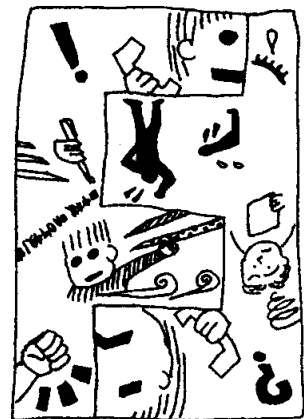
山内 よろしい。それでは、「少々お待ちください」はどうだろう？

森元 部長、それだけはどうしてもわかりません。日常会話にもよく使われていますよね。教えてください。

山内 いや、間違いとはいえないんだが。自分の願望を一方的に相手に押しつけるきらいがなきにしもあらずだろう。「少々お待ちいただけますか」の方がずっと丁寧じゃないか。我が社では、そういう対応でやっても

基本語彙

15. 身内(みうち)[名] 亲属, 亲戚, 自家人; 全身, 浑身; 同伙, 师兄弟
16. 風評(ふうひょう)[名] 传闻, 谣传, 风传(=「うわさ」)
17. 一方的(いつぽうてき)[形動ダナ] 一方的, 单方面的, 片面的
18. なきにしもあらず(無きにしも非ず)[連語](文) 并非没有, 不是没有; 并非一点也没有



基本語彙

19. 否めない(いなめない)[連語]不可否認,不能否定;不能拒絕
20. 適切(てきせつ)[名・形動ダナ]恰当,适当,妥当

森元

raitai, sou iuu koto nanda yo.

ああ。そういうことですか。勉強になります。後は、「お声が小さくて聞き取れません」ですね。これは、なにか相手を責めるような感が否めない。ですので、「お電話が少々遠いようですが」のほうが当たりが柔らかいので、より適切なのではないのでしょうか。

山内

nanakanaka yaru na, kimi.

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● 解 説 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

1. 今日は普段何気なく使っている日本語なんですが、おもしろい習慣に気づきました。

「おもしろい」为「おもしろい」的「し」脱落后的形式,是已经基本固定下来的流行语。

◇「おもしろい」は「おもしろい」の音韻脱落に対して、「きもい」は、「気持ち悪い」の縮約形だね。/「おもしろい」是「おもしろい」的音韻脱落,「きもい」是「気持ち悪い」的縮約形呀。

2. 彼女も会社も、多分お世話にはなっていないと思うんですが。

「お世話になる」是我们非常熟悉的表示“承蒙关照”的说法。在日本公司里,如果对方是客户,接电话的人肯定要用上这么一句套话「いつもお世話になっております」。但是这个用法如果对警察也套用就会闹笑话了,因为这时它有“被您逮捕”或“蹲监狱”的含义。

◇彼は長年、ムショにお世話になってたんだが。/他蹲了好几年监狱。

3. 新規の取引先に電話をかけたのはいいんだが、経理関係の話になってよくわからなくなったんだ。

「～のはいいのだが」表示“姑且认可前一事项并提示相反事项”,相当于“……是……,不过……”。

◇晴れたのはいいんだが、風が強くてね。/晴是晴了,就是风大。

4. お客様何様ですか?

「何様」不能理解为“您哪位”，因为它是一句吵架时常用的话，意为：“（以自己算）什么东西/人物！”

◇自分を何様だと思ってるの。/你算老几？

◇ご自分は何様だと思うの？/你有什么了不起的？

5. もう字引と首っ引き、社内のあちらこちらでも聞きました。

「字引と首っ引き」用两个「引き」造成谐音的诙谐效果，意思是“又查字典又动脑筋”。

◇字引と首っ引きで、やっとひらめいた。/查遍字典绞尽脑汁，总算反应过来了。

6. 手帳にメモをしておいたのですね。

「手帳」一般译为“笔记本”、“手册”。不过它和我们概念中的“笔记本”并不完全相同。我们的“笔记本”日语叫「ノート」。「手帳」一般都在开始几页印有日历供作简单记录，然后按日期分页，供作复杂记录，再往后才是白页供作一般记录，最后还有电话表、地址表、地图、年表查询等等。

俗话说，好记性不如烂笔头。把这句话贯彻透底的却是日本人。日本人几乎人手一册「手帳」，每天的要事以及将来的计划全都记录备案，确保万无一失；用脑筋去记事，结果往往失之毫厘，差之千里，追究起来，还“查无实据”。笔者的表妹在日资企业做秘书，有一次日本老板吩咐她通知工人将布染成红色，她如实通知了，但工人却将布染成了粉红色。老板追究原因，表妹说她确实实向当班的人传达说染红色，而当班的却说她通知的是粉红色。老板大怒，说责任全在她。于是我问表妹：“你有「手帳」吗？”表妹回答：“没有。”“那么老板的话你做了记录并向老板确认了吗？向当班的传达时，你做了记录并向当班的确认了吗？”回答仍然是“没有”。于是我告诉表妹：“很遗憾，责任只能在你。你现在要做的只能是：第一，向老板道歉，设法弥补过失，第二，马上买一本「手帳」。”

7. 「奥さんからしょつちゅう電話が入る」などという風評が立ちかねないからです。

「風評」的「風」意思是“（像起于青萍之末的风那样）微小的。因此，「風評が立つ」意思就是“引起（不好的）传闻/谣言”。

◇あれこれ風評が立っている。/有着种种传闻。

8. 自分の願望を一方的に相手に押しつけるきらいがなきにしもあらずだろう。

「～嫌いがある」意为“给人一种……的（不好）感觉”、“有……之嫌”。

◇彼の言い方はちょっと恩きせがましい嫌いがあった。/他的说法有点儿强要人

いたりして、調べた。

(5) ()電話では、相手や場所などをわきまえた対応が求められる。

(6) ()森元は、日本の電話対応は合理的でないので不要な慣習だ、と思っている。

3. 部長とした話を、森元君がお母さんに電話で話しています。()の中から適当な語を選び○をつけなさい。そして、()には該当する人物及び人物名を書き入れ、二人の会話を完成しなさい。

(1) 森元剛史: {もしもし・はい}、あ、お母さん?

(2) 母: ああ、()かい? 今日は、{どうしたんだい・どうしましたか}?

(3) 剛史: うん、今日さあ、会社で()と話してたら、電話の対応が話題になってね。

(4) 母: 電話の対応? おまえ、礼儀知らずだからねえ、何か失敗{したんだろう・しようとしたんだろう}。

(5) 剛史: ううん、失敗ってほどではないんだけど……ちょっと()に{聞きたい・知りたい}ことがあって。

(6) 母: なんだい? 私にわかることなら教えて{あげるよ・さしあげるよ}。さあさ、{話して・言わして}ごらん。

4. 「～じゃ」「～しちゃう」は、それぞれ「では」「～してしまう」の縮約形です。通常、縮約形は上司や先生、年配者には使用しません。上司などには待遇表現を使用するだけでなく、助詞の省略や俗語・縮約形の使用を控える、といったように一つ一つの言葉も選定しながら話します。それらのことに注意しながら、対話者を上司と想定して、次の会話文を適切な形に書き直しなさい。

(1) それじゃ、部長、教えてよ。

(2) 先生、失敗しちゃった。どうしよう。

(3) じゃ、これ課長やつといてって言っちゃっても良いですか。

(4) 先生、こんな問題わかんないよ。

(5) うん、わかった。

(6) そんなふう言われちゃっても。

5. 次の文の意味として適当なほうに○をつけなさい。

(1) 母を待っているあいだに、私は雑誌を読んだ。{全部読み終えた・全部読み終えてはいない}

(2) 母を待っているあいだ、私は雑誌を読んだ。{全部読み終えた・全部

読み終えてはいない}

- (3) 夏休みのあいだに、レポートを書いた。{全部書き終えた・全部書き終えてはいない}
- (4) 私は夏休みまでは、レポートを書いた。{全部書き終えた・全部書き終えてはいない}
- (5) 娘が帰るまでに、誕生日の飾り付けをした。{全部飾り付けを終えた・全部終えてはいない}
- (6) 昨日までに、部長の宿題を調べた。{全部調べ終えた・全部調べ終えてはいない}

6. ()にある正しくない言葉を正しくなおしなさい(一通りとは限りません)。

- (1) 昼休み(で)小説を読んでいた会社の後輩(が)聞かれた。「ねえ先輩、「マメンメ」って何? ねえ「マメンメ」って? ねえねえ」あまり(には)しつこい。何だろう「マメンメ」って……。私(が)興味津々(と)なっていた。やれやれ、どれどれ、と本(に)覗きこ(んで)、そこ(で)「真面目」(が)書かれていた。
- (2) 夏休みのドリル(は)やっていた小四の息子。理科(も)やっていたはず(だから)、「おかあさーん、「だ行」ってなあにー?」と聞いてきた。「そりゃ、「だぢづでど」の(もの)でしょ?」と答えた(の)に)、あと(に)気(が)なってノートを見てみ(よう)、正解(が)、「川(も)曲がりくねって流れている(の)」だった。それを言う(と)「だこう」だろう!

7. 次の文章を中国語に翻訳しなさい。またこれに基づいて作られた会話文を読解しなさい。

勧誘電話

仕事中、隣の部のおじさんが電話で話している。「だからいらない! いらないんだって!」「えっ、チャンスを逃す?」「いらないんだって言ってるだろ。」「もう、電話しなくていい。」「興味ない。」「絶対にいらない。」「これから先も必要にはならない。」「いらない。」「電話しなくていい。」「どうやら何かの勧誘らしい。きっぱりと断っているのだが、なかなか電話を切らない。同じような受け答えを数分間続けているうちに声がだんだん大きくなり、職場のみんなも注目し始めた頃、「仕事中だから、迷惑だから、電話切るよ。」「いいね。電話切るよ。」と言いだした。ああ、ようやく切るんだ、と職場の誰もが思った瞬間。「じゃ、切るからね。またね。」と電話を切

った。その後、職場の誰もが肩を震わせて笑いをこらえていた。だからまたかかってくるよ。

会 話

女 はい、毎度お世話になっております。只今スプリングフェア開催中、ニコニコ引越センター太田です。……はい、おりますが。少々お待ち下さい。湯川さーん、内線3番にお電話です。

男 はい、お電話かわりました。湯川です。

女 あ、お忙しいところすみません。私、大日本ヘルスセンターの者です。本日は耳よりな情報のお知らせに……。

男 なにが耳よりだ。どうせ運がよくなるとか言って変な壺とか水晶玉を買わせるつもりだろう。その手は食わんぞ。ん、そういえば、あんた、昼ご飯食べてないだろう。

女 えっ? どうしてわかったんですか。

男 どうだ、どうしておれが分かったか知りたいだろう。この本一冊で電話営業は80%成功間違いなしって本があるぞ。本当は一冊二千元だけど、今キャンペーン中だから八掛けの千六百円でいいぞ。いるか?

女 いえ、折角のお言葉ですが、我が家には本はちり紙交換に出すくらいあふれておりますので……。あの、当社の商品はそのような科学的根拠のない怪しげなまじないのようなものではありません。ちゃんとした機関の……。

男 お前さんの言わんとしてることはなにかよくわかるよ。曰く、ヒューマンヘルス・アカデミーの権威、なんとか教授のお墨付きまくし立てとでも言うんだろ。

女 いえ、ヒューマンヘルス・アカデミーではなく、厚生労働省の方の機関、健康維持・増進管理研究所の上杉主任が三十有余年をかけて開発・製品化に成功した新薬です。

男 言いたいことはわかるぞ。漢方薬の中でも特に貴重とされるなんとかの実、かんとかの根、種子、幹、皮、何かの角を絶妙な調合により、とかそんなことを言いたいんだろう。

女 いえ、たしかに漢方にはいい生薬が多いのですが、原料の安定供給がわからなかったので、今回の商品化は見送りました。

男 ふふん、見送ったねえ。騙されて中毒をおこした被害者が遺族に見送られたのか? 訴えられたところにはどろんして影も形もありません

ってか?

女 いえ、当社の商品で中毒をおこした方はまだいません。ラットによる試験でも、アレルギー症状の発生率は今のところゼロです。それに、私も服用していますが、健康になるばかりで、体調不良にはなっていません。

男 こら、ヤクの売人は自分でやっちゃだめなんだぞ。それとも、そう言えと会社から指示されてるのか? それとも、なにか、社員割引で七掛けで買ってるのか?

女 いえ、当社の製品には社割はききません。学割ならききますが……。いまなら一週間分の無料サンプルがついておりますが……。

男 いらん。

女 このキャンペーンはこの二週間限りですので……。

男 なに言ってるんだ。気の利いた竿竹屋なんて毎年二十年前の値段だと言ってやるし、うちの近くの店の閉店セールは今年で三年目だ。またな。

女 はい、只今奥様から購入依頼をいただきましたので今夜にでもまたお話ししましょう。

8. 新出単語の説明を読んで、その単語の中国語の意味を考えなさい。

1. きっぱり〔副〕明確に決定するさまを表わす語。はっきり。断然。
2. スプリングフェア(Spring fair)〔名〕春の博覧会。
3. 太田(おおた)〔名〕人名
4. 湯川(ゆがわ)〔名〕人名
5. ヘルスセンター(health centre)〔名〕(和製英語)保養・娯楽などのいろいろな施設を一か所に集めた有料の施設。
6. 耳より(みみ寄り)〔形動〕聞いて知るに値すること、聞いて好ましく思われることなど。また、そのようなさまをいい、多く、自分に有益な事柄についていう。
7. その手は食わない そんなごまかしにはのらない。そのような計略にはひっかからない。
8. まじない(呪い)〔名〕①神仏や神秘的なものの威力を借りて、災いや病気を取り除いたり、他人に災いを与えたりすること。また、その術。禁厭。符呪(ふじゅ)②ごまかすこと。うわべをうまくとりつくりうこと。また、相手の機嫌を巧みにとること。
9. 曰く(いわく)(文)〔「いふ」の未然形+接辞「く」〕①その人が……と言っ

我想大概没得到过什么“关照”吧。

山内 有道理。说起电话想起来了,上次不是和你谈到过打电话的方法吗?其实呀,我年轻时也因电话栽过跟斗,弄得尴尬万分。当时跟一个新客户打电话,可话题转到财会问题时我搞不懂了,因此说了句“我确认后很快给你回电话”就想把电话挂了,但对方的姓名我还没听明白,心慌意乱中脱口而出一句:“啊,抱歉,您算什么人呀?”对方有5秒钟没吱声,一直听完我打电话的身边同事则哄堂大笑。

森元 哈哈,连部长刚工作时也……

山内 这不奇怪呀。所以有人说不会打电话就出不了头,对不对?即便是简单的表达,如果不分清对象和场合,往往会闹笑话,得罪人。

森元 对了,上次部长布置的作业……

山内 查好了吧?

森元 查了,不仅抱着字典拼命查,还在公司上下问了个遍。

山内 其志可钦、其志可钦啊。等等,我在笔记本上做过记录,让我看看呵。对了,没错。就从“我是森元,请找田畑”这句开始问你吧。

森元 这个嘛,如果是公司内部,就说:“我是营业二科的森元,请找田畑。”必须把自己的工作部门说清楚。

山内 嗯。那么,回答我妻子来电话时的那句“弊公司部长这会儿有事不在”呢?

森元 这句嘛,就说“咱部长这会儿有事不在”。为什么这样说呢?对公司外面的客户可以用自谦语,但对方如果是家属,这就把家属也降了一格了,不好吧。

山内 有道理。那么“部长,您夫人来了电话”这句呢?

森元 “部长,您家里的电话”就行了吧。

山内 这又为什么?

森元 如果照前面那样说,难免招来“夫人老来电话”的传言。

山内 嗨,想得真细啊,那么“现在部长不能接您电话”这句呢?

森元 虽然对打来电话的客人用的是敬语,但这种回答有拒绝对方的意思,非常失礼。还是这样回答比较好吧:“抱歉,这会儿凑巧不在……”。

山内 不错。那么“请稍等”这句呢?

森元 部长,就这句搞不懂,日常会话里不是经常使用吗?请不吝赐教。

山内 其实,不能说是错了,但多少有点把自己的意愿强加给对方的嫌疑吧。还是说“能让您稍等会儿吗”更礼貌些吧。在我们公司,希望能按这种方式去对应。

森元 哦,是这样啊,这下长见识了!下面是“您的声音很小,听不太清楚”这句,总有些责备对方的感觉。因此,还是说“通话线路太远,话音很小”给人感觉柔和,更得体些吧。

山内 你小子,不错嘛!



第7課 井戸端会議

四位主婦在公园里谈自己孩子的趣事。从中可以看出她们相互间非常熟悉。句末多用「の」、「かしら」、「わ」、「ね」等,表现出女性的遣词特征。不过,最后一句「今日はこれくらいにしましょうか」用的却是敬体,这是为什么呢?

会 話

(^{みしま}三島、^{たうえ}田上、^{ふじもと}藤本、^{むとう}武藤という三十代の主婦が四人、ある公園で世間話をしている。)

三島 ねえ、ねえ、聞いてよ。昨日、うちの娘の理香を連れて国道二号線を横切ろうとしたんだけど、立てかけてあった看板に、「いま、何キロ?」って書いてあったのよ。

田上 あら、そうなの? それで?

三島 理香はちょっと太り気味じゃない? だから、それを見て、「余計なお世話よ。ほっといてちょうだい!」って怒ったのよ。そのときの理香の顔ったら!

藤本 可愛いわね。子供って、そんなたわいない誤解をよくするわよ。先日、うちのいとこ夫婦が、めでたく念願の新築マンションを購入してね。それを機に家具や家電を新調することにしたの。で、四歳になる甥っ子の関心は、かねてから調子の悪かったテレビが、新しくなることでね。いとこ夫婦も、

基本語彙

1. 井戸端(いどばた)〔名〕井台周辺,井边
2. 世間話(せけんばなし)〔名〕家常话,杂谈
3. 理香(りか)〔名〕人名
4. 横切る(よこぎる)〔五他〕横穿,横过
5. ほっとく〔五他〕(俗)「ほっておく」的变化)置之不理,放下不作,丢开不管
6. いとこ(従兄弟・従姉妹)〔名〕表兄弟(姐妹);堂兄弟(姐妹)
7. たわいない(他愛無い)〔形〕天真,单纯,幼稚(=むじゃき);(喝醉酒、入睡后)不省人事;容易,轻而易举;心里没底,是非分辨不清;无聊,不足取
8. めでたい(目出度い)〔形〕可喜,可贺,吉庆;顺利,幸运;表示恭喜,庆祝;(用「お～」的形式)(人)头脑简单,傻
9. 念願(ねんがん)〔名・サ他〕心愿,愿望
10. 新築(しんちく)〔名・サ他〕新建,重新建筑;新建的房屋
11. 購入(こうにゅう)〔名・サ他〕购入,购置,买入,买进

基本語彙

12. 新調(しんちょう)〔名・サ他〕重新調整, 新作的(衣服); 新曲調
13. 甥っ子(おいっこ)〔名〕(俗) 侄子, 外孙 (=「おい」)
14. かねて(予て)〔副〕事先, 以前, 原先, 老早, 早先
15. 液晶(えきしょう)〔名〕液晶(电视)
16. 奮発(ふんぱつ)〔名・サ自〕豁出钱来(买); 发奋
17. プラズマ(plasma)〔名〕(理) 等离子(电视); (医) 血浆; (生) 原生质
18. けなげ(健気)〔形動ダナ〕勤恳, 拼搏, 顽强, 刚强; 勇敢, 勇猛; 健康, 健壮
19. 健二(けんじ)〔名〕人名
20. 不要(ふよう)〔名・形動ダナ〕不要, 不需要
21. 香澄(かすみ)〔名〕人名
22. パール(pearl)〔名〕珍珠; 珍珠色, 灰白色; 微粒
23. アイライン(eye line)〔名〕(女性或演员为了使人看起来眼睛大的化妆方法)画眼线; (用纸条等)贴缝, 溜缝
24. 狩り(かり)〔名〕打猎; 捕鱼; 游山采集
25. ジャングル(jungle)〔名〕密林, 热带丛林
26. 生き活き(いきいき)〔副・サ自〕生动, 活生生, 栩栩如生; 生气勃勃
27. 小野小町(おののこまち)〔名〕日本平安时期的绝世美女
28. クレオパトラ(Cleopatra)〔名〕埃及女王克娄巴特拉

この際、液晶か、それとも奮発して、いっそプラズマか、って売り場で悩んでいたら、甥っ子が、けなげな表情でこう言ったそうよ。「こんなテレビじゃダメ。薄いし画面がやわらかいし。九チャンネルを見ると、どこを叩いたらいいのさ?!」って。甥っ子の関心は意外なところにあったわけよ。

三島

ムフフッ! その程度の誤解だったら私も経験したわよ。健二の扶養家族認定の申請書類を作成してたとき、主人にそのことを話すと、そばで聞いていた理香が、「弟は不要家族なの? 忘れられたら困るんじゃないの?」だって。

武藤

キャハハッ! ひどい発言だわね。忘れられたら困るに決まってるじゃない。でもね、うちの香澄、もっとひどい発言をしたのよ。今朝、私がパール色のアイラインを引いていたら、香澄が「ママも狩りに行くの?」って聞いてきたの。何を言ってるかな、と思ったら、彼女が見ていたテレビに、ジャングルに住む原住民の生き活きとした姿が映ってたわ。

田上

ふうん。武藤さんの化粧はちょっと濃いから、香澄ちゃんの目には、狩りに行く原住民と同じように映ったのね。なかなか、味のある発言ね。

武藤

だから、私は教えてあげたの。「世界三大美人の名前を香澄は知っている? それはね、小野小町でしょう。クレオパトラでしょう。後は誰だと思う?」って。

田上

香澄ちゃんはどう答えたの?

武藤 答えられるわけないわ。そこで私は教えたの。「しっかり覚えなさい。それはね、あなたのママよ」って。

田上
三島 へえー。

田上 武藤さんってすごい度胸ね！男みたい！

武藤 なにを言うんだか。昔は、「男は度胸、女は愛嬌」ってもてはやされていたけれど、今の世の中、女も度胸がなければ生きられないのよ。ハハハハ！

藤本 武藤さんの話で思い出したんだけど、うちの子も旦那に「世界の三大美女を知ってるかい」って聞かれたことがあるのよ。

武藤 息子さんはどう答えたの？

藤本 鼻高々に、「そんなこと知ってるよ。クレオパトラだろう、楊貴妃だろう、あきた小町だろう」って言ってたわ。

田上 うーん、一つ落ちてたのね。でも、息子さん、なかなか茶目っ気があるわね。

藤本 そうでもないの。本人は大まじめなのよ。まあ、大まじめだからかえっておかしいんだけど。でも、この間、もっとおもしろいことがあったの。「人間は猿から進化した」云々を教えてあげた後で、録画したあるタレントのビデオを一緒に見てたの。そうしたら、たまたまタレントの顔が猿に似てたのよ。で、言った言葉が、「見てよ、ママ、あの人はまだ人間になってそんなに時間が経ってないみたいだね」だって。

三島 やっぱり、お宅の息子さん、大人になったら漫才師になれると思うわ。先が楽しみ。だ

基本語彙

29. 度胸(どきょう)〔名〕
胆量, 气度
30. 愛嬌(あいきょう)〔名〕(女人、小孩等) 妩媚可爱, 招人喜欢, 魅力; (给别人或向别人表示的) 殷勤, 和蔼, 亲切; 令人发笑的言行, 幽默, 好玩儿
31. 鼻高々(はなたかだか)〔副・形動ダナ〕洋
洋得意, 趾高气扬
32. 楊貴妃(ようきひ)〔名〕中国唐代绝世美女
33. 茶目っ気(ちゃめっけ)〔名〕天真调皮的习性, 想恶作剧
34. 大まじめ(おおまじめ)〔形動ダナ〕一本正经; 非常认真
35. 云々(うんぬん)〔サ自他〕谈论, 说三道四, 说长道短; 不知所云, 无法形容
36. 録画(ろくが)〔名・サ他〕(用录像磁带) 录像, 图像录制
37. 漫才師(まんざいし)〔名〕相声演员

3. 「余計なお世話よ。ほっといてちょうだい!」って怒ったのよ。そのときの理香の顔ったら!

「よけいな世話」意为“多管闲事”。

◇私のためだと言ってるが、よけいな世話よ。/说是为我,其实是多余的操心。

「ほる」是「放る」的俗语。「ほっといてちょうだい」则是「放っておいてちょうだい」的缩约形,在这里的意思是:“少管闲事”、“关你什么事”。

◇おまえと関係ない。ほっといて。/和你无关,别掺乎。

「～ったら」等于「～といたらない」,为强调前面所叙事项的形式,意为“非常”、“……不得了”。完全还原应为「～といたたらその上ない」。

◇もうたまげたといたたらなかった。/吓破了胆。

4. いとこ夫婦も、この際、液晶か、それとも奮発して、いっそプラズマか、って売り場で悩んでいたら、甥っ子が、けなげな表情でこう言ったそうよ。

「奮発」在这里不是“奋发”而是“一咬牙多花(钱)”、“多拿出”。

◇ワインを一本奮発する。/干掉一瓶葡萄酒。

◇お小遣いを奮発してやろうか。/多给你点儿零花钱吧。

◇もう千円奮発してください。/请再多给一千日元吧。

5. 昔は、「男は度胸、女は愛嬌」つてもてはやされていたけれど、今の世の中、女も度胸がなければ生きられないのよ。

「男は度胸、女は愛嬌」意为“男要勇敢女要温柔”。

◇男性は弱体化してる今、男は度胸、女は愛嬌どころか、女は度胸で男は愛嬌になりつつあるんじゃない? /如今男性弱化,别说什么“男要勇敢女要温柔”了,反倒逐渐变成了“女有勇敢男有温柔”,对不对?

6. 「うん! あたし、手もはやくなるわよー! お母さん、手も、はやいわよね?」って聞かれたのよ。

「手が早い」意为“手快”、“敏捷”。转义为“马上跟异性(尤其是女性)搞上”或是“动辄使用武力”。

◇ネットで知り合ったかと思うともう公園でデートしてる。さすがに手の早いやつだなあ。/刚在网上认识就到公园幽会了,手脚真快呀!

7. でも、鋭い……。

「鋭い」在这里指“一语中的”,也就是口语中常说的“说话尖锐”、“说话不客气”。

◇鋭いな! 的(まと)を射(い)たよ。/说的真准,一语中的呀!

①きょうせ的に壁は撤去された。②慰謝料をせいきゅうした。③実験はせいこうだ。

(2) そのてい度の誤解。

①問題のある家ていに育った。②面白い仮ていであり、検証の余地がある。③ここに至るまでの過ていには、並々ならぬ苦労があった。

(3) 甥っ子のかん心は、意外なところにあった。

①小さいのに、よくお手伝いをしてかん心なお嬢さんですね。②女性のかん心を得ようとする。③かん心のあることは、上達が早い。

(4) ビデオをろく画した。

①山ろくに、きれいな花が咲いていた。②ろく高はいくらだ。③大会記ろくを更新した。

(5) 男は度胸、女はあい嬌。

①敬あいする先生。②試合あい手として申し分ない。③悲あいを感じる。

(6) けっ構ツボにはまった。

①けつ液型は4つある。②電車の連けつ部分はここになります。③これは既に議けつされた事案だ。

4. 次に示したのは、一語で複数の意味を持つ語です。①～③を読み、説明にあう用例を一つ選びなさい。

(1) 顔(表情)

- ① 理香ちゃんは驚いて顔を上げた。
- ② 月が顔を出した。
- ③ 恥ずかしそうな顔をしていた。

(2) 味(物事から感じられる良さ)

- ① この料理の味は私好みだ。
- ② 私は味にうるさい。
- ③ この茶器は味わいがある。

(3) 落ちる(ぬける)

- ① 試験に落ちた。
- ② 記憶から落ちていた。
- ③ 酢豚でついたシミが落ちない。

(4) 先(将来)

- ① これから先は、自分の足で歩いていくんだ。
- ② お先に失礼します。

- ③ 串の先に団子を刺す。
- (5) 鋭い(優れている)
 - ① あの人の発言は鋭い。
 - ② 目つきの鋭い人が家の前にいる。
 - ③ この剣先は鋭い。
- (6) 日(昼間の時間)
 - ① 試験の日までもうすぐだ。
 - ② 冬は日が短い。
 - ③ これは、幼い日の母の写真だ。

5. 「今、カボチャを切っているところです」の「ところ」と同じ意味を持つものを、全て選びなさい。

- (1) この花の良いところは、花卉の複雑な色合いにあります。
- (2) 祖父の住んでいるところは、とても緑が多い。
- (3) 甥っ子の関心は意外なところにあつた。
- (4) 今、駅に着いたところだ。
- (5) 武藤さんの良いところは、あつけらかんとしているところだ。
- (6) ちょうど、彼の姿を見つけたところだ。

6. 次の中国語を読んで、その後の日本語訳にある()に正しい言葉を入れなさい。なにも入れる必要のない場合は(×)を付けなさい。

- (1) 一年前我们为了新职员的欢迎会一起外出的时候,在街上看见一位算命先生。算命先生与部长同龄,他只为了部长看了手相。部长的手相与他的完全一样,于是算命先生说部长至少能活 20 年。部长听后高兴地回去了。今年又在同样地方开欢迎会,回来的路上,我顺路去看了看,发现是位陌生的算命先生在算命。一问方知,去年的算命先生前几天终于过世了……当时部长不在身边,可真够庆幸的。

一年前()新人歓迎会()街へ繰り出した時()、部長と同年代の占い師()いて部長だけ()手相を見てもらいました。占い師と全く同じ手相をしており、あと二十年()大丈夫だと言われた部長()上機嫌で帰りました。今年も同じ場所()会()催され、帰り際()そこへ立ち寄る()、違う方()占っていました。聞いたところ去年いた人()、つい先日亡くなられたそうです……その場()部長()いなくて、本当()良かったです。

- (2) 从大公司退休来当顾问的橘先生,工作经验非常丰富,性格也很耿直。

不过他对电脑可是一窍不通。公司给他一台专用电脑,但电脑反应慢,让他很是焦急不安。我为他进行磁盘重组,装入杀毒软件等增速,并且只留下必要的软件加快了电脑的反应能力。他问我:“电脑速度怎么变快了?”我告诉他因为我为他“润滑了”电脑。于是电脑反应速度慢的时候,他就会来找我说:“没润滑油了,你再帮我加点儿。下次告诉我往哪儿加。”弄得我哭笑不得。结果每次他来找我,我就只好在夜间悄悄地为他进行磁盘重组。

大会社を定年退職した顧問の橘さん()、大変仕事()でき実直な方です()、パソコン()苦手です。パソコン一台専用()使用させています()、どうもレスポンス()遅くイライラしていました。私()デフラグやらウイルスソフトやら()速くして、さらにソフトを絞り込んだらレスポンス()速くなりました。「なぜ速くなったのですか」と聞かれてので「油()さしました!」と教え()、レスポンス()遅くなる度()「油()切れたからまたさしてください。今度どこにさすか教えてください」と言われ()、困っています。言われた夜()、こっそりデフラグを実行しています。

7. 次の文章を中国語に翻訳しなさい。またこれに基づいて作られた会話文を読解しなさい。

奇 跡

先生は、「奇跡」という用語を解釈するため、たとえ話をした。

「ある人が、ビルの八階から飛び降りました。しかし、怪我ひとつもしませんでした。こういう場合はなんと言うでしょう。」

先生は、学生から「それは奇跡です」という答えを引き出したかったが、学生たちは、「それは幸運でしょう」と答えた。しかたなく、先生は再び例をあげた。

「では、その人はビルの八階に上がり、もう一度そこから飛び降りましたが、やはり怪我ひとつしませんでした。それはなんと言うでしょう。」

学生たちは、「それは偶然でしょう」と答えた。

先生はがっかりして、もう一度例をあげた。

「それでは、その人は、また、ビルの八階に上がり、また、そこから飛び降りました。それでも怪我ひとつしなかったのですが、それはなんと言うでしょう。」

学生たちは口をそろえて答えた。

「それは、癖でしょう。」

会 話

- 先 生 清水の舞台から飛び降りる、の意味がわかるかね？
- 学生 A はい、先生。身投げのことです。
- 学生 B 違うよ、客席の失礼な客を怒った役者が舞台から飛び降りて殴りに行くんだ。
- 学生 C そうかなあ。裏方さんがあわただしく準備する、つまりてんでこまい？
- 学生 D 何を言ってるんだ、みんな。清水の舞台は京都にあるとても高いところだよ。演劇やミュージカルとは関係ないよ。
- 先 生 おお、君はちゃんとわかってるようだな。続けなさい。
- 学生 D はい、とても高いところから飛び降りる、というのはとても勇気のいることです。
- 先 生 うん、そして？
- 学生 D だから、非常に豪胆・大胆であるということです。たとえば、「三国志」の橋の上でがんばった張飛や、単騎で大軍に飛び込む趙雲、一人で曹操に立ち向かった馬超などがこれにあたります。
- 先 生 前半はよかったけど、後半が少しずれてしまったなあ。清水の舞台は大変高い、そこまではよかったんだ。そこから飛び降りる、というのはつまり非常な決意をして物事をする気持ちの形容だ。おおざっぱに言うと「よし、やるか!」だな。
- 学生 A そうだったのか、家に帰ったらお父さんに文句を言ってやろう。
- 学生 B そうだったのね、家に帰ったらお兄ちゃんに文句を言ってやろう。
- 学生 C くそ、またあいつに騙された!
- 学生 D なるほど、当たらずといえども遠からず、か。
- 先 生 それぞれいろんな感想があるようだが、ある言葉について説明しよう。ある人が、ビルの八階から飛んだが、かすり傷一つ負わなかった。これをなんと言うかな？
- 学生 A ははあ、わかりました。バンジー・ジャンプですね。
- 先 生 そのバンジーはコードレスなんだ。
- 学生 B コードレス・バンジー？ それはとても危ないわね。
- 学生 C 一回くらいならやってみてもいいかな？
- 学生 D 八階と猪八戒の八戒をかけているのかな？ その人は幸運だったんだな。

先生 いや、違うんだ。なんと言
 ったらいいかな、その……、
 よし、その人がもう一回同
 じことをしたが、やはり髪
 の毛一つけがしなかった。
 これを何と言う？

学生 A 無鉄砲、向こう見ず、向こう
 傷？

学生 B やけのやんぱち、日焼けの
 なすび。

学生 C 二度あることは三度ある。
 下手の横好き。学習能力が
 ない？

学生 D 宋の康王が兀朮四太子に追われた時、泥の馬が王を背に黄河を
 渡った。これは神の加護だろう。でも、この八階の人はそうで
 はないみたいだから、偶然なんだろう。

先生 ううん、その人はまたも、八階まで行って飛んだがやはり無傷。
 これを何と言う？

学生 A 自傷行為、自殺願望、自滅。

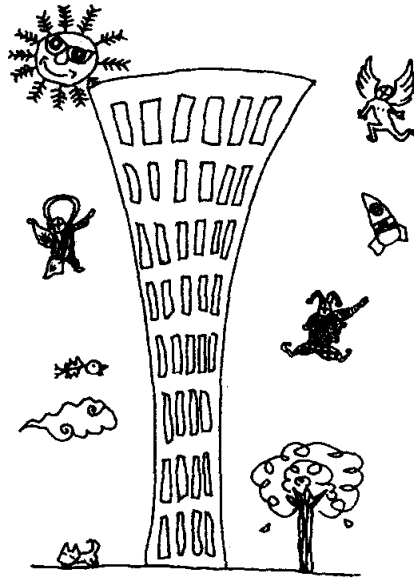
学生 B 鳥人間コンテスト出場権獲得のための訓練。

学生 C 空挺部隊入隊志願者の自己鍛錬。

学生 D 宋の襄公は覇者になろうとして失敗、楚につかまった。そして
 楚国との戦では何度目夷に促されても攻撃せず、結局体勢を整
 えた楚軍の前に敗れている。この人も同じ事を性懲りもなく繰
 り返している。これは癖なのだろう。

先生 違う、違う、違うよ。私は奇跡と言わせたかったんだ！

学生 A こんなに一生懸命説明したのにわからなかった、これは奇跡だ！



8. 新出単語の説明を読んで、その単語の中国語の意味を考えなさい。

1. 清水の舞台から飛び降りる 不成功でも、もともとというつもりで、思
 い切った事やってみる
2. 裏方(うらかた)[名]身分の高い人の妻。(狭義では、本願寺門主の妻
 を指す)②(劇場などで)舞台裏で衣装、大道具、小道具などの用意をす
 る人。(表立たず、実質的な準備や運営に当たる人の意にも用いられ
 る)

- 藤本** 真是可爱。小孩子嘛,经常会有这种天真的误解的。前不久,我表弟夫妇俩终于买了套期盼已久的新公寓,想借此机会把家具、电器都换成新的。而我那4岁的侄儿最关心的,是家里那台一直有点毛病的电视机能否也换成新的。当两口子正在商场里犯愁是买液晶的好呢还是干脆一步到位买负离子的时候,我那小侄儿一本正经地评论道:“这电视不好!屏幕又薄又软,我看9频道时往哪儿敲才好呢?”侄儿的着眼点还真与众不同呀!
- 三岛** 呵呵呵!这种程度的误解我也碰到过呐。我在填写健二的哺养家长认定申请书时,跟他爸商量,没想理香在一旁听后问道:“家里不养弟弟了吗?把他撇开了怎么办呢?”
- 武藤** 哇哈哈!问得真绝!要真被撇开了那就麻烦啦。不过,我家香澄还有比这更绝的。今天早上我在描珍珠色眼线时,香澄跑过来问我:“妈妈,你也要去打猎吗?”我直纳闷她在说什么,一看才知道,她看的电视里,正在放映着栩栩如生的丛林原始部落人。
- 田上** 是这样呀。武藤,你的化妆稍微浓了些,在你女儿看起来,就跟去狩猎的原始部落住民差不多。这话让人回味无穷呐。
- 武藤** 所以呀,我就告诉她:“香澄,你知道世界三大美女的名字吗?告诉你吧,她们是小野小町、克娄巴特拉,最后一个猜猜是谁?”
- 田上** 你女儿怎么回答的?
- 武藤** 她怎么答得上来呀。于是我告诉她:“一定好好记住哦,她呀,就是你妈妈!”
- 田上** 啊……
- 三岛**
- 田上** 嗨!武藤,你真是勇气可嘉呀!像个男人!
- 武藤** 说什么呀!从前,大家都说什么“男人要刚毅,女人要妩媚”,可现如今这个社会,女人要没刚毅就活不下去啰,哈哈……
- 藤本** 听武藤这么一说,我倒想起来了,我家儿子也被他爸问过“世界三大美女”的名字。
- 武藤** 你儿子怎么回答的?
- 藤本** 他洋洋得意地说:“这事儿还能不知道?不就克娄巴特拉、杨贵妃、腻味小町嘛!”
- 田上** 喔,失之毫厘,差之千里呐。不过,你儿子挺逗的啊。
- 藤本** 我可不那么想,他本人一本正经的!怎么说呢,可能正是因为太正经了,所以反倒更觉得可笑。前不久还有件更有趣的事儿呐!我刚教完儿子

说“人类是由猴子进化而来的”，接着，就和他一块儿看事先录制的演员节目录像。恰巧那位演员长得有点儿猴相，于是儿子发表评论说：“快看呀，妈妈，那人变成人后好像还没过多长时间呐！”

三岛 真厉害！你儿子长大后一定能成相声演员，大有前途哇！这不，话里尽透着幽默感！

武藤 这么说，我家孩子没准有当女相声演员的潜质呐。

三岛 是吗？你家那个文文静静的小闺女？

武藤 是呀，前天，我给她穿新牛仔裤时夸她说：“腿变长了，不久会更长，走路就和妈妈一样快啦！”她高兴极了，对我说：“好的，我手也要快快伸长！妈妈，你的手也伸得挺快的吧？”一下就触动了我的笑神经，你们不觉得有趣儿吗？哦哈哈……

三岛 这个嘛……我觉得和刚才那个有点不一样呀……可是，也许一语中的的呐……天晚了，今天就聊到这儿吧。

第8課 保護者会の雑談

本课为幼儿园家长会中的闲谈,和第7课一样,谈的也是在孩子们身上发生的趣闻趣事。然而,由于场所和人际关系的不同,家长们的谈话使用的是敬体,遣词彬彬有礼。不过,仍具有日常会话的某些特征(如音韵变化及省略等)。由于是在众人面前讲述自己孩子的事,语调略显拘谨,不像第7课的对话那样富于起伏。听本课录音的时候,或许您还会注意到母亲E和父亲C两位家长的发言具有地方口音。您可用在《挑战日语口语初级篇》中获得的知识判断一下,这两位家长的口语属于关东还是关西的方言。

会 話

(双葉幼稚園にて)

園 長 いろいろ貴重なアドバイスをいただきましてありがとうございました。つぎは、少し寛いだ話題にしましょうか。ご自分の子供のおもしろい出来事、何でもいいですから、ひとつ話してくださいませんか。たとえば、これはこの間聞いた隣近所の話です。仕事から帰ったある日、狭い道に救急車が停まっていた。事故かな? 誰か急病かな? 心配しながら、通り過ぎようとしたら、しゃがみこんだ子供の脇でお母さんが、「救急車に乗れるなんて、めったにないわよ」って、一生懸命に説得していました。どうやらその子供は救急車に乗るのが嫌だったようですね。

基本語彙

1. 保護者(ほごしゃ)〔名〕
保护人, 监护人
2. 双葉(ふたば)〔名〕(幼稚園名称) 双叶
3. 園長(えんちょう)〔名〕
(幼儿园、动物园等的) 园长
4. アドバイス(advice)〔名・サ他〕
建议, 提意见, 劝告
5. 寛ぐ(くつろぐ)〔五自〕
轻松, 松弛; 宽裕, 舒畅; 休息; 安心, 平静
6. 救急車(きゅうきゅうしゃ)〔名〕
救护车
7. 通り過ぎる(とおる)〔上一自〕
通过, 越过
8. しゃがみこむ(しゃがみ込む)〔五自〕
(「しゃがむ」的强调形) 蹲下去
9. 脇(わき)〔名〕
旁边, 附近; 腋下, 胳肢窝; 侧面; 配角
10. めった〔名・形動ダナ〕
(下接否定形) 不常, 不多, 很少; 胡乱, 鲁莽

基本語彙

11. 説得(せつとく)〔名・サ他〕说服, 劝导
12. 節分(せつぶん)〔名〕(特指) 立春的前一天, 鬼节; 季节的转换期(立春、立夏、立秋、立冬)
13. 渡る(わたる)〔五自〕(范围) 涉及, 关系到, 关于; (指时间) 经过, 持续, 继续
14. 世間(せけん)〔名〕世上, 社会, 社会上的人们; 社会舆论, 人们的评论; 交际范围
15. 叫ぶ(さけぶ)〔五自〕呼喊, 呼叫, 喊叫; 极力主张, 呼吁
16. ボキャブラリー(vocabulary)〔名〕词汇, 词语
17. 豊富(ほうふ)〔名・形動ダナ〕丰富
18. 僭越(せんえつ)〔名・形動ダナ〕冒昧, 放肆, 过分, 不自量
19. 結香(ゆか)〔名〕人名
20. いたずら(悪戯)〔名・形動ダナ・サ自〕淘气, 恶作剧; 玩笑, 消遣; 摆弄; (男女) 勾搭, 私通, 乱搞
21. 心頭(しんとう)〔名〕心头, 心上
22. 問い糾す(といただす)〔五他〕责问, 盘问, 质问; 问明, 问清
23. 聞き耳(ききみみ)〔名〕聚精会神地听; 名声, 声誉; 耳听, 听感
24. 腹立たしい(はらだたしい)〔形〕令人气愤, 可气
25. 説教(せっきょう)〔名・サ自〕教诲, 教训, 规诫; (宗) 传教, 传道

母親 A そういので宜しければ、私から。うちの子の話ですが、一緒にスーパーに買い物に行ったとき、節分ということもあって、お菓子売り場には豆と一緒に自由に持ち帰りできる鬼のお面が、たくさん置いてありました。それを見たうちの子は、「ママ見て!! 渡る世間は鬼ばかり、鬼ばかりよ、見て!」って叫んだんです。

園長 ハハハッ! その調子です。ちょっとした世間話のようですが、実は、そこから子供の性格がわかるんですね。今の話ですと、お子様は、結構、ボキャブラリーが豊富だということが伺えますね。それでは、次の方お願いします。

父親 A では、僭越ですが、一つ話させていただきます。うちの結香は四歳です。三歳くらいのころ、何をしたか忘れましたが、大きないたずらをしました。で、なぜそんなことをしたのか、訳を聞き出そうとしました。結香は黙って下を向いているばかり。ついに怒り心頭に発した私は、「どうしてそんなことをしたの。訳を言いなさい! 訳を!」と問い糾したら、結香は小さな声でひとこと言いました。「え?」と聞き耳を立てると、小さな声で「わけ」って。そのまま素直に返されてしまって、腹立たしい気持ちが一瞬で、笑いに変わりました。

母親 B 次は私が。うちの娘が先日悪さをしましたので、お説教をしていましたの。娘は疲れていたせいか、途中ウトウトしてき

まして。ですが、ここで中途半端に許しては娘の将来に、と、心を鬼にしてお説教を続けました。ひとしきりお説教した後、私は娘が反省したかどうか確かめようと、最後に「これからはどうするの?」って聞いたんです。すると、一言「寝る!」って答えられてしまいましたの。

母親 C うちの小百合は、昨日、頭を垂れてしょんぼりと帰ってきたんです。どうやら幼稚園で「きのう、うちに地震が来たわ!」って、みんなに自慢したらしいんです。ところが、みんなの家にも来ていることを知らされて、がっかりしたらしいんです。

母親 D 日曜日、うちの翔太と宝探しゲームをしていました。翔太が私の結婚指輪を隠して、二人でワイワイと探し回っていたのですが、なかなか見つかりません。で、「翔太君、ヒント頂戴、ヒント」って言う、「うーん……ボクもわからん!」って満面の笑顔で答えられました。もう、こっちは顔面蒼白で。

父親 B 私は長年ダンプの運転手をしていて、持病の腰痛に悩んでいるんです。そんな私を見かねて、うちの恵理佳が、「パパ行ってらっしゃい。現場でビックリ箱にならないでね!」って心配してくれました。恵理佳の気持ちは大変嬉しかったのですが、それを言うならギックリ腰ですよ。

母親 E うちの治平は、隣のお婆ちゃんに、「お家でお手伝いをしたことがあるの?」って聞かれて、「生まれたばかりの妹を育てた

基本語彙

26. ウトウト〔副・サ自〕
迷迷糊糊,昏昏沉沉,
似睡非睡(=「うつら
うつら」)
27. 中途半端(ちゆうとは
んぱ)〔名・形動ダナ〕
半途而废,没有完成,
不够完善
28. 反省(はんせい)〔名・
サ他〕反省;重新考虑
29. ひとしきり(一頻り)
〔副〕一阵,一会儿;曾
经,一时
30. 小百合(さゆり)〔名〕
人名
31. しょんぼり〔副・サ自〕
(俗)无精打采,垂头丧
气,悄然,孤寂
32. 地震(じしん)〔名〕地
震
33. がっかり〔副・サ自〕失
望,灰心丧气,颓废;筋
疲力尽
34. 翔太(しょうた)〔名〕
人名
35. 指輪(ゆびわ)〔名〕戒
指,指环
36. ワイワイ〔副〕(许多
人)大声吵嚷貌
37. ヒント(pint)〔名〕启
发,暗示
38. 頂戴(ちようだい)〔名
・サ他〕(多用于儿童
语或对儿童所使用)
请,请给;〔「もらう」的
自谦语〕领受,得到;
〔「たべる」「のむ」的自
谦语〕吃,喝
39. 满面(まんめん)〔名〕
满面,满脸
40. 顔面(がんめん)〔名〕
颜面,脸面;(转)察言
观色,拍马
41. 蒼白(そうはく)〔名・
形動ダナ〕苍白(=「あ
おじろい」)
42. ダンプ(dump)〔名〕翻
斗车(=「ダンプ・カ
ー(dump car)」)
43. 持病(じびょう)〔名〕
老病,宿疾;(喻)养成
的恶习,老毛病,坏毛
病

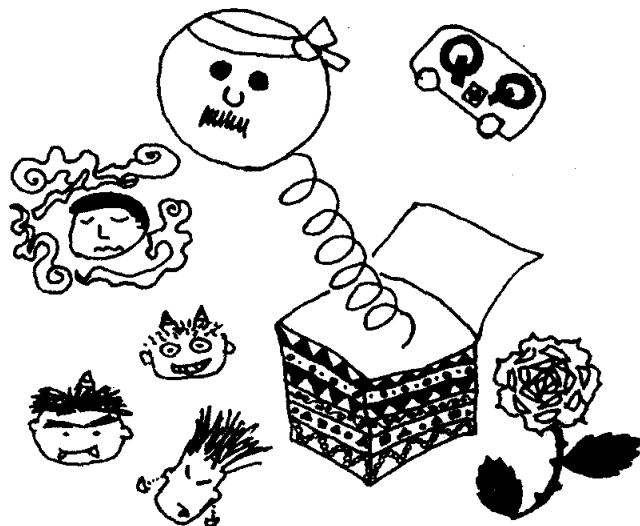
基本語彙

44. 腰痛(ようつう)〔名〕
(医) 腰疼, 腰痛
45. 恵理佳(えりか)〔名〕
人名
46. ビックリ箱(びっくり
ばこ)〔名〕弹簧箱,(一
打开就会弹出手工做
的狗、猫等的)玩具箱
47. ギックリ腰(ぎっくり
ごし)〔名〕腰椎疼, 腰
痛病
48. 治平(じへい)〔名〕人
名
49. 育てる(そだてる)(下
一他) 培养, 培育, 抚
育; 教育, 培养(才能)
50. 美雪(みゆき)〔名〕人
名
51. 興奮(こうふん)〔名・
サ自〕(感情的) 兴奋,
激动, 激昂; 情绪不稳
定, 心绪不定
52. 拗ねる(すねる)(下
一自) 闹别扭, 固执, 乖
戾, 任性撒泼
53. 大げんか(おお喧嘩)
〔名〕大吵大闹, 激烈争
论
54. 彩子(あやこ)〔名〕人
名
55. パンツ(pants)〔名〕内
裤, 短裤, 裤衩; 运动
裤; (美国) 西服裤

よ」って胸を張りました。

父親 C ある日、アパートの外で遊んでいたうちの美雪が走って帰ってきて、「ねえ、お母さん、空から靴がいっぱい降ってきたよー」って興奮気味で教えてくれました。でも、「何言ってるの、降るのは雨でしょ。靴は降らないよ」って、うちのかみさんにすぐに言われて、「私、嘘つきじゃないのに」って拗ねちゃったんです。後でわかったんですが、確かに靴が降ったようなんです。上の階の若い夫婦が大げんかをしたようで……。

母親 F 先々週、うちの彩子健康診断に連れて行ったときの事です。優しそうなお医者様が「じゃ、スカート脱いで横になってね」と言われたんですが、彩子は「何だよ? 嫌よ、パンツ見えちゃうじゃない!」とすっごく怒りましてね。お医者さんと看護師



さんから、「誰も見ないから!」って声をそろえてなだめられて、あっという間に診察が終わってしまって。

園 長 ハハハハッ! 彩子ちゃんは四歳だけど、結構ませていますね。こうしたおもしろくて個性的なお話は、まだいろいろおありと思いますが、次のイベントが控えておりますので、ひとまずここで置いて、先へ進ませていただきますよう。

基本語彙

56. なだめる(宥める)(下一他) 安抚, 平息, 使平静, 用好话劝; 劝解, 劝止; (文) 饶恕, 宽容
57. ませる(下一自) 早熟, 老成 (=「おとなびる」)
58. 控える(ひかえる)(下一自他)(在近旁) 等待, 等候, 待命; 节制, 控制, 抑制; 拉住, 勒住; (在距离上) 靠近, 临近; 暂不
59. ひとまず(一先ず) [副] 暂时, 暂且; 不管怎样, 无论如何

● ● ● ● ● ● ● 解 説 ● ● ● ● ● ● ●

1. 「ママ見て!! 渡る世間は鬼ばかり、鬼ばかりよ、見て!」って叫んだんです。

「渡る世間は鬼ばかり」意为“人世间全是鬼”。这是一句玩笑话,因为它来自「渡る世間に鬼はなし」(社会上并无坏人)这句谚语。由于它反用了谚语,说的却是一个客观场景,所以令人感到可笑。

◇「渡る世間に鬼はなし」って親に言われてたけど、実際にわたってみると、鬼ばかりじゃないの? /父母常说世人皆善,可为什么实际进入社会以后,却发现世人皆恶呢?

2. ちょっとした世間話のようですが、実は、そこから子供の性格がわかるんですね。

「ちょっとした」有两重相反的意思,一是“有点儿”,二是“相当”、“很”,必须根据上下文来判断。

◇ちょっとした出来事で意外にもちょっとした金が入った。/因为一点小事竟意外地赚了笔大钱。

3. ついに怒り心頭に発した私は、「どうしてそんなことをしたの。訳を言いなさい! 訳を!」と問い糾したら、結香は小さな声でひとこと言いました。「え?」と聞き耳を立てると、小さな声で「わけ」って。

答え:①すかつとした ②すかつとしなかった

(2) 質問:「このカップ麺のお湯も、食う気で沸かそう!」って張り切ったお兄さんは本当に沸かすことができたのでしょうか?

答え:①できた(食う気でお湯を沸かすことができる)

②できなかった。(空気でお湯を沸かすことはできない)

(3) 質問:刑事さんが駅の辺りをあまりにも歩き回って、靴をかなり磨り減らした。それで、泥棒が少なくなったのでしょうか?

答え:①少なくなった。(スリ減ったから)

②少なくならなかった(スリ減らなかったから)

(4) 質問:ガイドさんの良くするダンスは何でしょう?

答え:①ガイダンス ②社交ダンス

(5) 質問:中華料理屋へ行けば、必ずと言っていいほど出される、いわゆる「不可避」の料理は何でしょう?

答え:①北京ダック ②フカヒレ。

(6) 質問:もし青大将(アオダイショウ)という蛇に首に巻き付かれたら、軽く感じるでしょうか、重く感じるでしょうか? どちらでしょう?

答え:①軽く感じる(青大将は小さな蛇で、ライトだから)

②重く感じる(ヘビはヘビーだから)

3. ()にはどのような言葉が入りますか。適当なものを①～④の中から一つ選びなさい。

(1) あなたが言おうとしていることは、() ということですか?

①たとえば ②さらに ③しかし ④おそらく

(2) () 君たちは、私を犯人だと思っているようだね。

①まさか ②どうやら ③たぶん ④結果として

(3) ()、あの子のことが好きなんだ。

①はじまりに ②ゆえに ③ところを ④実は

(4) () 雨が降る。

①ようようと ②たった ③ひとしきり ④そうそうに

(5) お爺さんはおにぎりを食べようとした。()、おにぎりが膝から落ちて、転がりだした。

①ところが ②だから ③つまり ④最後に

(6) これは()、埋蔵金だ。

①そして ②きっと ③また ④確かに

4. 「～していく(いった)」は、基準となる時点から遠ざかることを表わし、「～してくる(きた)」は、基準となる時点に近づくことを表わします。「～していく(いった)・～してくる(きた)」を使用して、()内の語を適切な形に変えなさい。

(1) これからの情報化時代に、インターネットはどのような役割を(果たす)ようになるんだろう。

(2) 最近、インターネットの使用料金も(安い)。

(3) 日本はこれから、若者を(増える)必要がある。

(4) 彼は日本に来るまでに、母国で2年間日本語を(学ぶ)。

(5) こんな大火災に見舞われて、これから私の家族はどう(なる)んだろう。

(6) 2代目が継いでから、あの商家は(傾く)。

5. 翔太君のお母さんが、指輪を紛失してしまったことを、仕事から帰った翔太君のお父さんに報告しています。{ }の中から適当な語を選び○をつけなさい。そして、()には該当する人物及び人物名を書き入れ、二人の会話を完成しなさい。

(1) 翔太君のお母さん:あなた、{ありがとう・ごめんなさい}。

(2) 翔太君のお父さん:どうしたんだ。{藪から棒に・蜂の巣をつつくように}。

(3) 翔太君のお母さん:今日、()と宝探しゲームをされていて……。

(4) 翔太君のお父さん:()と宝探しゲーム? そりゃ、()が好きそうな遊びだな。{それで・そして}なんだ?

(5) 翔太君のお母さん:{いえ・そう・まあ}好きなの。{それで・しかし・ますます}ゲームをやっていてね。()からもらった結婚指輪を{なくす・なくしちゃった・なくなっていった}の。

(6) 翔太君のお父さん:え!? 今、なんて{言いました・言った・言っている}んだ? あいつのイタズラが{とうとう・ますます}エスカレート{した・してきて}、何かしでかしたのか?

6. 次の(1)～(10)のセンテンスを並び替え、筋の通る一つの文章を作成しなさい(一通りとは限りません)。

(1) しばらくして、社長から電話がかかってきた。

(2) 社長:えー、山梨じゃないのー。

(3) 同僚が電話に出て、早速葡萄が送られて来たことを報告した。

(4) ある日、とある会社から、旬の葡萄が箱で送られてきた。

- (5) 事務員:いえ、違うみたいですよー。
(6) 社長:どこから、送られて来たのー
(7) 社長は優しすぎる……。
(8) ってあんた、社長が聞きたいのは産地じゃなく、会社だから……って突っ込みたかった。
(9) 事務員:ちょっと待ってください……あつ、長野からです。
(10) でも、それで電話は終わってしまっていた。

7. 次の文章を中国語に翻訳しなさい。またこれに基づいて作られた会話文を読解しなさい。

漢 字

いつからかわからないが、アメリカでは漢字がクールらしい。「足」(ホワイトソックス)だの「牛」(シカゴブルズ)だのと書いた帽子が大流行している。「黄金米」というTシャツもあり、しかも、左右対称な漢字のためか、はねと止めが違っている。なかでも感動したのは、黒人の姉ちゃんが着ていた革ジャンである。背中には、「愛人類」と書いてあった。それは中国語で作者の意図もわかるが、日本式に見ると、「あいじんのたぐい」と読みがちである。漢字のほかには、盆栽も人気だった。また、シカゴ郊外で見つけた店に、「YASUKUNAI-BONSAI」という店がある。「高級盆栽としたかったんだろうなあ」と気持ちはわかる。

会 話

- 西 僕の知り合いにアメリカからの留学生がいてね。漢字は覚えにくい、と言うんだよ。
北 まあ、それはそうだろうな。
西 で、彼が言うには「木」の字は覚えやすかったってさ。
北 へえ、字の形が木に似てたからかな。
西 かもね。でさ、木が二つで林、三つで森だろ。じゃあ、きっとジャングルは木が四つに違いないって言って喜んでたよ。
北 はは、そりゃいいや。一理あるな。ときに、君の英語はどうかな？
西 あんたと同じさ。全然、まだまだ、まずい、どうしようもない、救いようがない。
北 なにを、箸にも棒にもかからないやつが何をぬかすか。
西 まあ、事実僕の英語はたいしたことないんだ。でも、高校時代、クラスで一番英語ができるやつが答えられなかった問題に、僕が答えられたことがある。

- 北 へえ、うつけの紛れ当たりって言うけど、そんなことがあるのかな。
- 西 紛れじゃないよ、ちゃんと分かって答えたんだ。
- 北 ふうん、じゃあ、問題はなんだったんだ？
- 西 Today is Monday.
- 北 おいおい、冗談だろ。「今日は月曜日です」
- 西 ブブー。はずれ。
- 北 どうしてさ。どこも間違っってなんかないじゃないか。
- 西 違うんだよ、英語じゃなくて日本語で考えるんだ。
- 北 だから、そう考えたよ。
- 西 しかたない、答を教えてあげよう。「東大は問題だ」ローマ字で読めば、すぐわかるだろう。じゃ、これは？ 今の読み方を使えばすぐわかるよ。To be to be ten made to be.
- 北 うん、わかった。「飛べ飛べ天まで飛べ」だ。じゃあ、これは？ Oh my god!
- 西 おみご？ おみごと？
- 北 いいや、違うよ。これは中国語で考えるんだ。
- 西 あ、わかった。“买狗”だな。
- 北 よし、じゃあ、これは難しいぞ。What time?
- 西 わたいむ？ 綿？
- 北 この言葉を聞いて、芋畑で働いていたおばあさんはひどく怒ったらしいよ。
- 西 なんでかな？ おばあさんと関係があるのかな？
- 北 これは沖縄方言と関係があるんだ。「私たちの芋」を沖縄方言で「ワッターイム」と言うんだ。だから、「何言っってた、これはうちの芋だぞ！」と怒ったのさ。
- 西 何言っってた、そんなのわかるわけないじゃないか。
- 北 まあ、こんな英語と関係のある笑い話ができるのは、横文字が書いてあるとむやみにありがたがる習慣みたいなものが日本人にあるからかな？
- 西 向こうの方じゃ、漢字の書いてあるシャツが流行ってるらしいよ。
- 北 ああ、それは浅草で見たことがあるよ。和服を着たマネキンが、額にはちまきをしてるんだ。書いてる文字がふるってるよ。「一番」なんだ。
- 西 ふん。「牛」とか、「足」なんてのもあるんだってさ。

- 北 なに、それ？
 西 それぞれスポーツのチーム名だよ。
 北 ええと、あ、わかったぞ。NBAのシカゴブルズと、大リーグのホワイト・ソックスだな。
 西 あと、YASUKUNAI BONSAIってのもあるらしいよ。
 北 日本のお客だと、足がすくむだろう。
 西 確かに。



8. 新出単語の説明を読んで、その単語の中国語の意味を考えなさい。

1. 革ジャン(かわじゃん)[名]革製のジャンパー。
2. ジングル(jungle)[名]密林。(狭義では、熱帯地方の原始林を指す)
3. 箸にも棒にもかからない ひどすぎて何とも取り扱いようがない。手がつけられない。
4. ぬかす(抜かす)[五他]①力や勢いをなくす。②ある場所から逃げ出させる。ぬけ出させる。③入れるべきものを入れおとす。もらす。また、間を飛ばす。省略する。④取って自分のものにする。ぬきとる。⑤(口からもらすの意)言う、しゃべるの意で、動作主をののしって用いる。言いやがる。
5. 一本とられる 相手にやりこめられる。
6. うつけ(虚け)[名]ぼんやりしていること。ばからしいこと。また、そのような者。まぬけ。
7. 紛れ当たり(まぐれあたり)[名]偶然にあたること。思いがけずあたること。
8. むやみ(無闇)[形動]①前後を考えないこと。理非を分別しないこと。②度を越すこと。また、そのさま。
9. ありがたがる(有り難がる)[五自]感謝する。尊ぶ。もったいながる。
10. 浅草(あさくさ)[名]東京都台東区東部の地名。特に旧浅草公園の地域をいうことが多い。金竜山浅草寺(せんそうじ)の門前町。吉原が日本橋から移転後は芝居小屋が集中して繁栄。明治以降公園内には

对她的将来不好,于是狠下心来继续说教。说了一阵以后,我想确认她是否认错反省了,最后问她一句:“今后打算怎么办?”结果,她就只回答了我一句话:“打算睡觉!”

母亲 C 我家小百合,昨天耷拉着脑袋没精打采地回来了。原来呀,她在幼儿园小朋友面前炫耀说:“昨天我们家来地震了呐!”可当她知道别人家里也来过时,不禁大失所望。

母亲 D 星期天,我和我家的翔太玩寻宝游戏,翔太把我的结婚戒指藏了起来,我俩吵吵闹闹地东找西翻,却怎么也找不着。于是我向翔太求助道:“给妈妈点暗示吧,暗示!”不想他满脸笑嘻嘻地说:“啊,我也不知道哇!”我顿时浑身发凉。

父亲 B 我长年开翻斗车,一直患腰疼。我家惠理佳不忍心看我这样,关心地说:“爸爸再见,千万不要在现场变成弹簧箱哟!”有女儿这份心虽说很高兴吧,可要说就说腰椎疼呗,怎么说成……

母亲 E 我家的治平呀,有次隔壁老婆婆问他:“在家帮忙做过家务吗?”他很神气地回答说:“我抚养过刚出生的妹妹呐!”

父亲 C 有一天,我家美雪在公寓外面玩,突然跑回来,兴奋地告诉她妈:“妈妈,天上下鞋子了!”她妈马上纠正说:“什么呀,下的是雨吧,怎会下鞋呢?”女儿老大不乐意,说:“我没说谎!”后来才知道,的确是下鞋了。那天楼上的一对年轻夫妇大吵了一架呐……

母亲 F 上上周,我带我家彩子去做健康检查,医生很温和地对她说:“把裙子脱了,好好躺下哦。”没想到彩子十分生气:“什么?我才不呢!这样我内裤不就让别人看见了吗?”医生和护士齐声安慰她道:“我们谁也不看!”结果检查一下子就结束了。

园长 哈哈!彩子才4岁,可跟大人似的。这种又有趣又有个性的故事我想各位还有很多,不过,因为下面还有其他节目,所以我们就先告一段落,进入下面的内容吧。

第9課 職場の出来事

本課为1名中国人、3名日本人的谈话，内容为公司发生的种种趣事。之所以把其中一位设定为中国人，并非因为其有何语言特征，而是因为录音中的角色扮演者为中国人(笔者本人)。

不过，其他三人的语言特征却是很明显的。林20岁出头，又是女性，面对其他长辈，自然要用敬体。橘虽也是女性，但年岁居中，从其大大咧咧的语调来看，她跟其他三人都很熟悉，所以用的是常体。秦说话诙谐，用的是常体，但用略微指责的口气与比自己年长的坂本说话时，为了缓解语气，避免失礼，自然而然地使用了「坂本さん、下心はいけませんよ」等敬体。

● ● ● ● ● 会 話 ● ● ● ● ●

史順良(中国人、男性、30歳)

林京子(日本人、女性、23歳)

あらいなつこ
新井菜摘子(日本人、女性、27歳)

はたゆうぞう
秦雄三(日本人、男性、28歳)

さかもとたけし
坂本毅(日本人、男性、35歳)

史 あのを、僕の職場に、口癖が「逆に言う」とつていう人が数人いるんだよ。会議の場では、逆に言ってばかりで、結局、何が何だかわからなくなっちゃうんだよね。お願いだから普通に言ってくれて言ったいぐらいなんだ。

林 そうですか。職場によっては癖のある話し方をする人がいますね。先日先輩と一緒に営業で得意先回りをしてたとき、お客様が「最近、うちの会社もイメージ戦略とやらでロゴを新しくしたんですわー」っておっしゃ

基本語彙

1. 口癖(くちぐせ)[名]口
头禅

基本語彙

2. ロゴ〔名〕(「ロゴタイプ(logotype)」的省略)(广告、路标等用的)标志、商标; 连合铅字
3. こわばる(強張る)〔五自〕发硬, 僵硬
4. 水道局(すいどうきょく)〔名〕自来水公司
5. 家業(かぎょう)〔名〕家里的工作; 家传的行业, 祖业; 职业, 手艺
6. 真顔(まがお)〔名〕严肃的面孔; 郑重其事、一本正经(的神色)
7. ちっぽけ〔形動ダナ〕(俗)极小
8. 配電盤(はいでんばん)〔名〕配电盘; 配电器
9. 感電(かんでん)〔名・サ自〕触电; 电击
10. ガイコツ(骸骨)〔名〕骸骨, 尸骨

ったんですよ。ところが先輩は、「いいゴロですねー」って対応してました。最初はゴロがいいという意味かと思っていたらしいんですが、ゴロを連発するものだからお客様の顔がこわばってきちゃって。

新井 まあ、私も、お客様からの電話で、「紙つまってんけど、どうしたらええん？」って言われて、トイレの紙がつまったんだと思って、「恐れ入ります。それは水道局に聞かれたらいかがでしょうか？」って答えてしまったことがあるのよ。そしたら、「違うわ。そりゃプリンターの紙づまりや」って課長に突っ込まれたけど。

秦 一度会社のプリンターを修理しに来た作業員に、「作業は何ですか？」って聞かれて、新入社員が澄ました顔で、「さ、し、す、せ、そ」って答えてたんだよ。「ふざけんなよ」って叱ってやりたかったんだけど、美人だから許してしまったんだけど……ねえ。

坂本 そういや、うちは、「じいちゃんの時の家業はなんだっけ」って娘に聞かれたとき、うちのかみさんも、「相変わらず、か、き、く、け、こ、だよーん」って、真顔で答えたことがあったなあ。

秦 はははー！ そんなことありんこ？

坂本 もちろん、冗談のつもりだけどさあ。先日、配電盤をいじっていたら感電してね、「うわっ、びっくりした、感電しちゃったよ」って叫んだら、そばにいた二人の子が、「ガイコツが見えましたよー」ってお互いに手を叩き合って喜んでたんだよ。

林 あはは、そうなんだ。私もね、社長と一緒に蛍光灯の交換をしてたんですよ。社長が脚立を押さえていたんで、一緒に感電してしまったんです。こっちはちょっとびっくりした程度だったんですけど、社長は気が動転したみたいで。座り込んでしきりに胸を撫でさすってましたよ。

史 まあ、林さんは性格が明るいからいいけど、普通だと泣いてしまうんじゃないかな。

林 えー？ それぐらいのことで泣くんですか？
史 泣くんじゃない？ たとえば、うちの新人社員には何かと言うとすぐ泣くヤツがいるよ。「あの一、ホチキスとまらないんですけどおー」っていうところで涙目になる。タマが切れてるので、補充しなさいと言ったら、「どこにあるのかわかりません」って涙が溢れる。今までどんな人生を歩んできたのかねえ。

秦 うん。そういう子も時々いるね。今朝、うちの新人がFAXにもたれてぐったりしてるんだよ。で、具合が悪いのかと思ったら、「また間違えてFAX 送っちゃったんでえー、今猛烈に反省しているんですうー」って目を潤ませてるんだよ。謝罪の電話をしろよって、ここまで出かかったけど言えなかったなあ。言ったら本気で泣き出しそうだったから。

坂本 ははは、それはそれは。秦君の話の逆バージョンだけど、うちの新人はミスをすると、いつも、「霞、また間違えちゃいました、てへ」って言うんだ。今時の大卒の二十二歳

基本語彙

11. 叩き合う(たたきあう)[五他]互相(亲昵地)拍打;互相殴打;互相打嘴仗
12. 脚立(きゃたつ)[名](够取高处物品用的)足凳,梯凳
13. 動転(どうてん)[名・サ自](文)转动,转变;大吃一惊
14. 撫でさする(なでさする)[五他]抚摸
15. ホチキス(Hotchikiss)[名](=「ホッチキス」)订书机
16. 補充(ほじゅう)[名・サ他]补充
17. 歩む(あゆむ)[五自]行,走;前进,进展
18. 香織(かおり)[名](日本人名,多用于女孩)香织
19. 潤ませる(うるませる)[下一他]五段自动词「潤む」的使役态,使(眼睛)湿润、(声音)哽咽
20. 謝罪(しゃざい)[名・サ自]谢罪,道歉
21. バージョン(version)(也作「バージョン」)[名]译文,译本;改写本;变化形式,变体

基本語彙

22. 霞(かすみ)[名](日本人名,多用于女孩)霞
23. 下心(したごころ)[名]内心,本意;(秘密的)用意,企图,预谋
24. 配属(はいぞく)[名・サ自](人员的)分配,调配
25. 紛失(ふんしつ)[名・サ自他]丢失,遗失,失落
26. ハンマー(hammer)[名]铁锤,榔头
27. スパナ(spanner)[名]螺丝钳,螺丝扳子,扳手
28. ロールプレイング(role playing)[名]角色扮演法(一种职业培训方法)
29. 消防署員(しょうぼうしょいん)[名]消防队员

秦

ってこんなもんか!? って思うんだがね。つい今回は特別に許しちゃお、って思う自分も相当オヤジ入ってきてるかもなー。

ふんふん、坂本さん、下心はいけませんよ。それにしても、最近、こういう訳のわかんない新人類が増えてきたね。こないだ、新人に、会社から支給された工具に名前を書いておけて言ったら、自分の名前を書いておくようにと言ったつもりだったんだけど、「ハンマー」とか「スパナ」とか、その工具の名前を書いちゃってたんだ。

新井

それぐらいのぼけっぶりだったら、新人類とは関係ないわよ。この前職場の防災訓練で119番通報のロールプレイングがあって、業務部長が相手役になったの。で、消防署員が「こちら、119番です」って言ったんだ



けど、部長は無言のままだったの。そうしたら、消防署員が、「火事ですか？ 病人ですか？」って聞いたの。部長は、「ハ、ハイ……火事でお願ひします」って答えたわよ。秦さんの言った「新人類」といい勝負でしょう。

林 全くもってそのとおりですね。うちの上司も契約成立の報告を聞きながら、「それは願ったり叶ったりだね」っていうべきところを、「それは踏んだり蹴ったりだね」って言ってましたよ。

秦 あらー。

林 その上司は、その日誕生日を迎えた社長に「『米寿』って知ってる？」って聞かれて、「はい、知ってますよ！ 薄くて明るい茶色です!!」って答えてましたよ。

秦 わかった。悪かった。今の新人類うんぬんは全部取り消すよ。ごめん！

基本語彙

30. 無言(むごん)[名]无言,不說話,沉默
31. 米寿(べいじゅ)[名]八十八岁寿辰
32. うんぬん(云々)[名・サ他](文)云云,等等; 说三道四,说长道短

● ● ● ● ● ● ● 解 説 ● ● ● ● ● ● ●

1. お客様が「最近、ウチの会社もイメージ戦略とやらでロゴを新しくしたんですわー」っておっしゃったんですよ。ところが先輩は、「いいゴロですねー」って対応してました。

「ロゴ」意为“唛头”，而「ゴロ」在这里则是指「語呂」即“合辙押韵”。课文中说的员工把「ロゴ」这个音说倒了，听起来就好像在嘲笑客户说：“你真会开玩笑！”

2. 紙つまってんけど、どうしたらええん？

「つまってんけど」是关西方言。在关西方言里，句末动词结尾的「る」常发生拨音便。

「ええん」或者「ええ」是关西方言,标准日本語为「好い」。

3. 一度会社のプリンターを修理しに来た作業員に、「作業は何ですか?」って聞かれて、新入社員が澄ました顔で、「さ、し、す、せ、そ」って答えてたんだよ。

「澄ました顔」意为“板着脸孔”、“装得一本正经的样子”、“装模做样”。修理打印机的工人问「作業」是什么,新职员却故意装作听成了「サ行」,于是开玩笑地回答说是「さ、し、す、せ、そ」。

4. そんなことありんこ?

「そんなこと(そんなの)あり?」意为“竟有这等事儿”。口语中的这种「あり」来自古典日语(文语)的存在动词「あり」,在此作为名词用(类似用法参见本书第5课解说6)。这种用法在口语中一般用于平辈或相当随意的语境。不过在日本乡村里常能看见商店门口写有「果物あり」等字样。由于「あり」与「蟻」的发音相同,所以在玩笑中有时故意把它说成儿语的「ありんこ/蟻ん子」,即“小蚂蚁”。笔者在与演员古贺胜行先生的信件来往中也常看到这种用法。如:

◇と言うのは、確かにこれってアリですよ。なのにあまり深く考えたこともなかったもので、つい笑ってしまった。/因为说起来,这种事儿却是存在,不过我从未深思过,所以忍不住笑起来。

5. 「うわっ、びっくりした、感電しちゃったよ」って叫んだら、そばにいた二人の子が、「ガイコツが見えましたよー」ってお互いに手を叩き合って喜んでたんだよ。

「ガイコツが見えましたよー」这句话的前后逻辑令不少人挠头,但是经常看动画的人就能一下子反应过来。动画上表现人或动物触电的时候,常常夸张地把人或动物描画成带着闪光的、冒烟的骷髅。

6. 社長は気が動転したみたいで。座り込んでしきりに胸を撫でさすってましたよ。

「気が動転する」意思是“大吃一惊”、“吓得够呛”。

◇気が動転して腰を抜かした。/吓得瘫倒在地上站不起来。

「胸を撫でさする」意为“(从上往下不断地)抚胸”。注意与「撫で下ろす」,即“(紧张后)按下心来”、“舒一口气”相区别。

◇おじいちゃんは猫の毛を撫でさすりながら「いい子だ」って言った。/爷爷抚摸着猫的毛说:“乖孩子。”

◇「無事だったか」と胸を撫で下ろした。/终于放下心来说:“没出事呀!”

7. うちの新社員には何かと言うとすぐ泣くヤツがいるよ。

「何かという」と意为“动不动就”。

◇何かというとすぐすねちゃうんだよ。/动不动就要性子。

8. 謝罪の電話をしろよって、ここまで出かかったけど言えなかったなあ。

「ここまで出かかった」意为“差一点就说出口来”。日本人说这句话时，常常做一个把手掌放在咽喉上的手势表示强调。

◇いい加減にしろって、ここまで出かかったけど、ぐっと我慢した。/差一点就冒出一句“给我打住”，但终于忍住没说出口。

9. 秦君の話の逆バージョンだけど、うちの新人はミスをするのにいつも、「霞、また間違えちゃいました、てへ」って言うんだ。

「逆バージョン」是年轻人的流行语，意思是“反过来的版本”。

「てへ」是很随便的笑声，给人一种不经意、嘲笑、轻佻的感觉。

10. つい今回は特別に許しちゃお、って思う自分も相当オヤジ入ってきてるかもな。

「オヤジ入る」是说“开始步入中高年”。日本人对年龄特别敏感，尤其不喜欢被称为年长者。笔者在日本任教时，课堂上有的日本学生不喜欢用汉语叫笔者“老师”，说把“师”叫“老”了很失礼。我校一位年近70的日本外教，非要笔者的小孩叫他“哥哥”。从这个文化心理上去看「自分も相当オヤジ入ってきてるかも」这句话，就不难理解其中强烈的自嘲含义了。

◇そんなこと言ったらもうオヤジだよ。/说这种话简直老朽不堪！

11. それにしても、最近、こういう訳のわかんない新人類が増えてきたね。

「訳がわからない」意为“莫名其妙”、“不明就里”。

◇訳わからない小言をぶつぶつ言いやがって。/抱怨什么呀，莫名其妙！

12. 秦さんの言った「新人類」といい勝負でしょう。

「～といい勝負だ」意为“半斤八两”、“不相上下”。

◇凶々しさから言えば、二人はいい勝負だろう。/从厚脸皮上来说，两人不相上下。

13. うちの上司も契約成立の報告を聞きながら、「それは願ったり叶ったりだね」っていうべきところを、「それは踏んだり蹴ったりだね」って言ってましたよ。

「願ったり叶ったり」意为“如愿以偿”、“正中下怀”。

◇新年早々、課長に抜擢されるとは、願ったり叶ったりだね。/转过年来就被提升为科长，真是天遂我愿呀！

- (4) さすが陸上選手だ、まるでチーターのように速い()。
 (5) あの人は本当に美人()だな。まるでモデルみたいだ。
 (6) 彼の話し方()には、人をひきつけるものがある。

3. ()にはどのような言葉が入りますか。適当なものを①～④の中から一つ選びなさい(一つとは限りません)。

- (1) あたし(A)が悪いのではないのよ。それ(B)あんたも知ってるでしょって、彼女はずっとこうぼやいて(C)いる。
 ①ほど ②だけ ③ばかり ④くらい
- (2) 趙平(A)という人がやってきて、本(B)パソコンなどを取り出し、あれ(C)これ(D)といろいろうるさかった。
 ①と ②やら ③や ④とやら
- (3) いくら催促しても()ものだ。
 ①いやな ②澄ました ③知らんぷりの ④どこ吹く風の
- (4) 好きな人が亡くなったと聞いて、彼女は気が()、しばらく立ちすくんでいた。
 ①失って ②気でなくて ③動転して ④度を失って
- (5) そりゃもう、計算に()いるものだ。
 ①わかって ②計上して ③入れて ④考えて
- (6) 人の(A)見てわが(B)直せと言ってやったのに、知らん(C)だった。
 ①振る舞い ②ふり ③ぶり ④やり方

4. 「気が動転する」のように、日本語には「気」に関する慣用的表現が多い。次の文章にある()にはどのような言葉が入りますか。適当なものを下の番号①～④の中から一つ選びなさい。一通りとは限りません。

- (1) こんなつまらないことで()病む必要がないよ。
 (2) あいつのでかい態度は()食わない。
 (3) 僕が懐に外国の虫を一組飼っていると知ったら、その上、花を咲かせた桔梗を一本抜き取ったことがばれたら、僕の尻を痛めつけないと、()済まないだろう。
 (4) 店先のマネキンに()取られて追突を起こした。
 (5) まだ一級の成績発表はないのかと()気でなかった。
 (6) 彼の計報にすっかり()落としてしまった。
 (7) 事業に躓いて無一物になったけど、()取り直してもう一度挑戦するつもりだ。

- (8) 朝三暮四で、とにかく()多い人なんだよ。
- (9) 教科書作りは本当に緊張の連続だ。少しでも()抜くとミスしてしまう。
- (10) 趙先生は生意気な先生で言葉が悪いけど、()悪くしないで聴いてあげてください。

①気が ②気に ③気を ④気の

5. 本文の「願ったり叶ったり」「踏んだり蹴ったり」と同じように意味の異なる二つの言葉を「たり」によって連結して第三の意味ができあがることがあります。次の文中の下線部分はどのような意味で使われていますか。簡単に説明しなさい。

- (1) あーあ、六十六まで生きてはきたが、俺の人生はいまだに転んだり起きたりだなあ。
- (2) あのやろう、人を上げたり下げたりしやがって。
- (3) 何やかやで多少の出たり入ったり(出入りともいう)があるのは仕方ありませんね。
- (4) あの先生の講義は話題が行ったり来たりで何を言っているのかわからない。
- (5) 彼このごろ浮いたり沈んだりが激しいな。いったいどうしたんだい。
- (6) 「隣の阿部さん、四十(しじゅう)になる息子の嫁が決まったと思ったら、宝くじで1000万円も当たったんだよ」「そうか、それで飛んだり跳ねたりしてるんだ」

6. 次の()にある「くらい/だけ/ばかり/ほど」から、正しいものを選び出して○を付け(一つとは限りません)、文の下にある()の中にその理由を中国語で簡単に書きなさい。

- (1) 大学四年生だと、これ(くらい/だけ/ばかり/ほど)のことはできるはずだ。
()
- (2) 国の金をポケットにねじ込んで、野山を遊樂する。これ(くらい/だけ/ばかり/ほど)僕らをときどきわくわくさせるものはないではないか。
()
- (3) 白小鳳が泊まっているところへ行けると思う(くらい/だけ/ばかり/ほど)で、わけもなく嬉しくなり、何かいいことがあるかも知れないと期待さえした。

- ()
- (4) 白小鳳は、認めようとせず、噂を信じるの、私を信じるの、と(くらい/だけ/ばかり/ほど)に選択を迫り、噂を信じるなら私ときっぱり別れてよ、と髪を逆立てた。
- ()
- (5) 抱きつかん(くらい/だけ/ばかり/ほど)にキャーキャーと大げさにはしゃいだ。
- ()
- (6) 一日も早く彼女に会いたい(くらい/だけ/ばかり/ほど)に、夜道を急いでいた。
- ()
- (7) おまけに許滔は宙を舞う(くらい/だけ/ばかり/ほど)興奮していて、道中ずっと冗談を飛ばしたり笑い話をしたりして、楽しませてくれた。
- ()
- (8) そこには思いもかけず真っ白な皮膚が現れた。なまめかしい(くらい/だけ/ばかり/ほど)だった。犬の皮膚がこんなに白いことを、生まれて初めて知った。
- ()
- (9) 隊列のように並んでいるトウモロコシの間には、雑草が膝丈(くらい/だけ/ばかり/ほど)まで伸びていた。
- ()
- (10) かまわないじゃないか、ガチョウの肉を食った(くらい/だけ/ばかり/ほど)で。若いんだし、都会で育っていた君らが、わしらのところでの苦しい生活に慣れないのは当然じゃ。
- ()
- (11) 彼はいつも仕事の愚痴をこぼして(くらい/だけ/ばかり/ほど)いる。
- ()

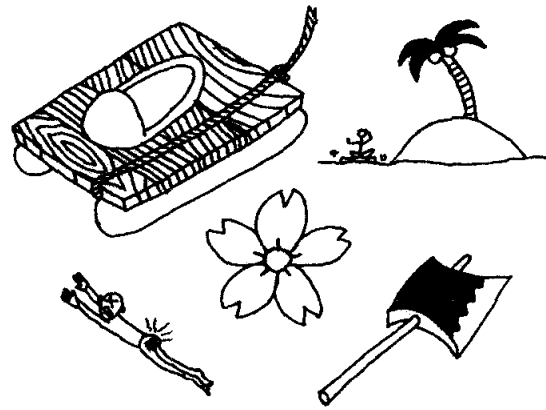
7. 次の文章を中国語に翻訳しなさい。またこれに基づいて作られた会話文を読解しなさい。

正直の代価

明の家の横に川が流れている。そこに明のお父さんは移動式の物置を組み立てた。

ある日、明はいたずらで、その物置を川の中に突き落とした。

夜になってぷりぷりして家に入って来たお父さんに、「物置を落としたやつは誰だ」と聞かれ、「ごめんなさい。僕がやりました」と明は正直に認めた。しかしお父さんはさらにかんかんになって、びしばしと明のお尻を叩いた。



明はおんおんと泣きながら、「ワシントンはサクランボウの木を切ってもお父さんに叩かれなかったのに、なぜ僕は叩かれなければならないの?」と抗議した。

お父さんはそれを聞いて、また明に一発食らわせて言った。

「そりゃ当たり前だろう。あいつが木を切ったとき、自分の親父は木の上に登っていなかっただろう!」

会 話

父 はっは一。

明 ひっひー。

父 えへん。

明 どうしたの? お父さん。

父 今日、お父さんはすごいものを作るぞ、細工はりゅうりゅう、仕上げをご覧くださいろ。

明 筋肉隆々、ペットは紋次郎。何を作るの? 会社? 宇宙船? 海賊船?

父 原子力……。

明 発電所? すごいや! これからうちは自家発電できるんだ! 完全な自給自足をして、やがて日本から独立、お父さんは国王、お母さんは大蔵省、僕は首相、猫の紋次郎は政務次官! ……あいた! (頭を小突かれた)

父 人の話は最後まで聞け。

明 めしは最後まで食え。

父 混ぜっ返すんじゃない、話が進まないだろ。全く口の減らないやつだ。

明 おなか減ったから。で、原子力なに? 潜水艦?

父 ちがう、原子力水洗艦だ。

明 なに? それ。
父 原子力発電の物置さ。
明 本当? 本当なの?
父 もちろん……うそ。でも、半分は本当だ。
明 半分? 原子力?
父 ちがうよ、反対だ。
明 力子原?
父 いや、その反対じゃない、物置だよ。家の裏に川があるだろう、そこに移動式物置を作るんだ。

(その日の夜)

明 うう、寒いなあ。夜寒くなるとカイロが欲しくなる。えーと、物置は……あ、そうか、昼間お父さんが作ってたな……あ、これか。なるほど、ボートみたいにロープでつないでるのか。あ、立て札。なにになに、「ほどくな!」ふーん。しかし、なんか、こう無性に解きたくなってきたなあ。へへへ……。

(川の流れが強くなって、物置は流れてゆく)

父 おい、明!
明 はい、なんですか、お父さん。
父 昨日の夜、物置のロープがほどけていたんだが……。
明 僕です。

* * *

明 ぐっすん、ひどいや、お父さん。まだじんじんしてるよ。税金の申告したことすらしない僕が正直に自己申告したのに。かのワシントンのお父さんは怒らなかったよ。
父 当たり前だ! その時、ワシントンの手にはまだ斧がしっかりと握られていたんだから。いや、違った、もとい、当たり前だ! その時おやじは木の上にはいなかったんだろう!
明 わかった! 木の上にはいなかったけど、木の下にいて、枝の下敷きになったんだ!

8. 新出単語の説明を読んで、その単語の中国語の意味を考えなさい。

1. 組み立てる(くみたてる)〔下・他〕個々の材料を部分として順に組み合わせていって、一つのまとまりの有るものに作りあげる。
2. ぷりぷり〔副〕①内容が充実していて、弾力のあることを表わす。②ちよつと動かしても小刻みに揺れる形容。③腹立たしい気持ちを抑えかね

- 林 是吗？各个单位上总是有一些说话有怪癖的人。前不久，我和前辈出去跑业务走访客户，客户说：“最近，我们公司为了提升企业形象，设计制作了新的唛头。”我的前辈迎合着说：“那个好埋汰呀。”那位客户刚开始还以为是对方的噱头，可“埋汰”声声，不绝于耳，弄得客户表情越来越僵硬。
- 新井 我呀，有一次接到客户一个电话，说：“纸堵了，可怎么办哪？”我以为是厕所被卫生纸给堵了，就回答说：“不好意思，请您问自来水公司吧。”没想被科长抓了个正着，冲着我说：“不对，人家说的是打印机卡纸了！”
- 秦 有一次，一个修理工来我们公司修理打印机，他问：“哇噻，修啥子哟？”刚进公司的新井小姐板着脸煞有介事地答道：“修、哇、噻、啥、子、哟。”当时真想训斥她：“你捣什么乱啊？！”不过，看她长得漂亮，也就饶了她……嘿嘿。
- 坂 这种事嘛，我家也有过。女儿问：“爷爷那会儿我们家做什么来着？”我老婆郑重其事地回答：“做、那、个、来、着。”
- 秦 哈哈……，还真有这等事儿？
- 坂本 当然是开个玩笑喽。前不久我摆弄配电盘时触电了，我大叫：“哎哟！不得了啦，我触电了！”旁边的两个孩子居然高兴得相互击掌道：“骷髅现形喽！”
- 林 呵呵，有意思。说起触电，前几天我和董事长一块儿换日光灯管，董事长为我扶着梯凳，结果我们俩都触电了。我倒只是受了点儿惊吓，可董事长吃惊不小，坐在地上不停地揉着胸口。
- 史 你呀，性格开朗，换作别人该哭鼻子了吧。
- 林 至于吗？为这么点儿事就哭啊？
- 史 可不。比方说吧，我们公司的新员工里就有动不动爱哭鼻子的家伙。才只说到“怎么办呀，订书机订不上了”就泪眼汪汪。一看是没钉子了，告诉她往里装，没想到她眼泪夺眶而出，说：“我不知道钉子在哪儿！”真搞不懂她的人生路是怎么走过来的！
- 秦 是啊。时不时还真有这种女孩。今天早上，我看见我们的新手无精打采地靠在传真机上，以为她哪儿不舒服呐，谁知她眼泪花花地低声说：“又发错传真了，正在做深刻反省呐。”我真想对她说：打个电话道个歉吧，可话都到了嘴边还是没说出口，我怕说了她真的哭出声来。
- 坂本 哈哈，真够难为你的。我要说的可能跟小秦的版本正好相反。我们那儿有个新员工捅了娄子总是说：“我呀，又弄错了，嘻嘻！”我寻思如今 22 岁的大学毕业生怎么都这样呢？可事到最后又会想：“这次就算了吧。”

这么想是不是有点儿人到中年,偏袒女孩的味道呀?

秦 嗨嗨,坂本,你可不要图谋不轨哟。话说回来,最近,这些让人丈二和尚摸不着头脑的新生代有增无减呐。上次我让一位新手在公司发给的工具上写上名字。我本想让他写上自己的名字,可他竟然写成了“榔头”、“扳手”等工具的名称!

新井 这种程度的糊涂劲儿,跟新生代可没多大关系。前不久,我们公司的防灾演习中,有一项是演练拨打 119 报警,由管业务的部长来扮演这个角色。消防队员说:“这里是 119!”部长这边却一声不吭,于是消防队员就问:“是火灾、还是病人?”部长这才说:“呃、呃、拜托您就来火灾吧。”这和小秦说的那位“新生代”有一比吧。

林 一点儿没错!我的顶头上司在听签定合同的汇报时,本应该说是“如愿以偿啦!”居然说成了“倒霉透顶啦!”

秦 哎呀呀!

林 就是这位上司,在董事长过生日的那天被董事长问道:“你知道什么叫做‘米寿’吗?”他回答说:“知道,当然知道,不就是米馊了吗?”

秦 明白啦。是我错了。我收回刚才对“新人类”的评说。对不起了!

第10課 語呂合わせ

本课为几位大学生的对话,从说话语气上来看,他们属于同一年级。话题为日本幽默文化特征之一的「語呂合わせ」。关于「語呂合わせ」,在本系列的《初级篇》和《中级篇》中多次涉及。这里再为「語呂合わせ」编写整整一课内容,目的在于让读者进一步了解有关「語呂合わせ」的知识,并尽快地融入到“幽默”的日语语境中去。

本课的汉译委实难倒了不少人。为了对付「語呂合わせ」,有人提出音译,有人提出意译,有人主张直译,也有人主张转译,甚至有人提出干脆撤掉此课。最后由李玲译出。如您对她的翻译手法有什么看法,可直接与她交流。(e-mail:liling00000@hotmail.com)

会 話

岡崎(男性、大学生) やまだ(女性、大学生)
小川(男性、大学生) はなもと(女性、大学生)
みとも(女性、大学生) 藍小平(男性、大学生)
なかやま(女性、大学生) いいだ(女性、大学生)

岡崎 先日高速を走っていたとき、前を走っている工具をいっぱい積んだ修理屋っぽいワゴン車の窓に大きく「80-4989、屋根のオッサン四苦八苦」って電話番号が書かれていたんだよ。やっぱり仕事は若くて要領の良い人に頼んだほうがいいなって思ったよ。

山田 そういえば、家の付近にある薬局の電話番号の下四桁は4771で、「死なない」って

基本語彙

1. 語呂(ごろ)[名]语调, 语感
2. 合わせ(あわせ)[名・造語]「あわせる」的名词化(作造语成分用)重合, 组合; 合在一起; 比较, 对照; 对比, 比赛
3. 工具(こうぐ)[名]工具
4. ワゴン車(ワゴンしゃ)[名]客货两用车, 旅行汽车
5. 屋根(やね)[名]车棚; 房顶, 屋顶; 灌顶

基本語彙

6. 四苦八苦(しくはっく)
〔名・サ自〕(佛)四苦八苦(生老病死加上爱别离苦,怨憎会苦,求不得苦,五阴盛苦);非常痛苦,种种苦恼
7. 桁(けた)〔名〕(数)位数;〔建〕横梁,横木;算盘(的立)柱
8. ウグイス(鶯)〔名〕莺,黄莺;(俗)声音好的女性,歌喉好的人
9. 平安京(へいあんきょう)〔名〕平安京(桓武天皇的首都,现京都市)
10. ベルサイユ(Versailles)〔名〕凡尔赛(法国北部城市,巴黎地区的商业中心)
11. 予備校(よびこう)〔名〕(考大学的)补习学校,预备学校
12. トップ(top)〔名〕最前头,第一位;尖端,最高层,最上头;主位,主席位;(报纸的)头版头条;(汽车的)最快挡
13. ブラジャー〔名〕(法语 brassiere 的译词)胸罩,乳罩
14. とろろ(薯蕷)〔名〕山药,长山药;山药汁(「とろろじる」的略语)
15. ノルマン(Norman)〔名〕日耳曼人(诺曼人)
16. 征服(せいふく)〔名・サ他〕征服,克服,战胜
17. 焼き付く(やきつく)〔五自〕烙出(痕迹),(喻)留下深刻的印象,铭刻;烧粘在一起;烧焦
18. 円周率(えんしゅうりつ)〔数〕圆周率
19. 小数点(しょうすうてん)〔数〕小数点
20. 暗記(あんき)〔名・サ他〕记住,背下来,熟记,暗记,背诵,死记

岡崎

覚えてくださいって宣伝されたわ。ちなみにFAXは4774で「死ななし」だったの。

これまで、いろいろな言葉を記憶するために「鳴くよウグイス平安京(794年)」や「行く行くホテル・ベルサイユ」(1919年ベルサイユ体制)など、語呂合わせで覚えさせられてきたね。今から考えるとすごい変な言葉を必死に覚えてたものだね。山田さんにはそういう経験がある?

山田

あるわよ。予備校で人口の多い国トップ七を、「小さいブラジャー」で習った。China、India、Soviet、America、Indonesia、Brazil、Japanと。非常に複雑な気分で覚えたわ。

小川

僕は、「とろろ食べてノルマン征服(1066年)」を覚えたね。あまりに変なので頭に焼き付いてるよ。ノルマン人がとろろを食べるのかって。

花本

私は円周率、小数点以下三十桁までの暗記法を母から教わったわ。それは「身一つ世一つ、生くに無意味、曰く無く身、文や読むに虫散々闇に鳴く(3.141592653589793238462643383279)」って。外国人の前でいきなりすらすらと書いてみせると、尊敬のまなざしで見られたわ。

三友

私も、尊敬のまなざしを集める隠し芸があるの。小六のとき、先生から言われて、自分達で考えた円周率の掛け算なの。「サンマ、串に刺す(3=9.42)」や、「死ぬのはいつ頃(4=12.56)」「五月の畑にイチゴ

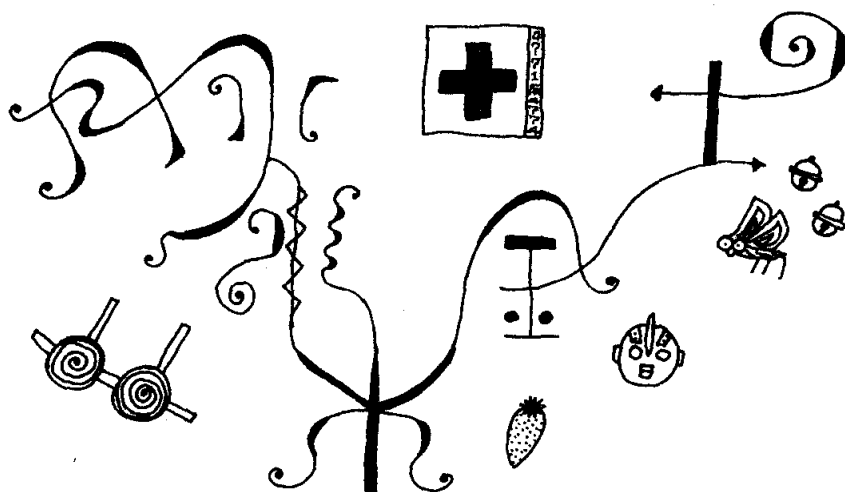
成れ(5=15.70)」「無茶はいややよ(6=18.84)」「ウルトラセブン、にいく(肉)は
 いかが(7=21.98)」「やあ双子、いつ生まれ
 れたの(8=25.12)」「苦しい時には風呂へ
 入れ(9=28.26)」などで、大学の先生まで
 驚かせちゃった。

中山 僕の場合、元素記号、亜鉛のZnは「全然会
 えん」って教えられた。教えた先生は初
 めて言ったのに意外と受けがよかったの
 で、その後自分で気に入って、何度も言っ
 てたよ。

藍小平 高校の物理の時間に、僕が習ったのは、恒
 星のスペクトル系列を覚える方法だ。
 「Oh! Be A Fine Girl, Kiss Me, Let's
 Try! (O. B. A. F. G. K. M. L. T)」って、一
 発で覚えたよ。あ、そうそう、そのほかに
 もまた、化学の授業で、「水兵リーベ僕の
 船(H. He. Li. Be. B. C. N. O. F. Ne)」って
 いうのを覚えさせられたなあ。

基本語彙

21. 生く(いく)[上一・自] («いきる」的古语) 活, 活着, 生存, 保持生命
22. 曰く(いわく)[名・副](古)(亦写作「いはく」) 曰, 云, 说; 理由, 缘由, 说道, 借口; 难言之隐, 隐情
23. 文(ふみ)[名](古) 文章; 书籍; 情书, 信
24. 散々(さんざん)[副・形動ダナ] 狼狈, 凄惨; 厉害, 严重, 凶狠
25. すらすら[副] 流利地, 流畅地, 痛快地, 顺利地
26. まなざし(眼差し)[名] 目光, 眼神(=「めつき」); 视线
27. 隠し芸(かくしげい)[名](在宴会等的余兴时显露的) 隐招儿, 没露的技艺, 玩艺
28. 掛け算(かけざん)[名] 乘法
29. サンマ(秋刀魚)[名] 秋刀鱼
30. 串(くし)[名](竹、铁做的串食物用的) 杆子; 串儿
31. イチゴ(苺 / 莓)[名] 草莓
32. 無茶(むちゃ)[名・形動ダナ](俗) 毫无道理, 岂有此理; 胡乱; 过分



中常常念作「ひ、ふ、み、よ、い、む、な、や、こ、と」,来自「ひとつ、ふたつ、み
つつ……」的词头。”

如果说歇后语是中国式的幽默的话,那么「語呂合わせ」就是日本式幽默。日本的另一种幽默「駄洒落」即由此产生。「屋根のオッサン四苦八苦」是怎么从“80-4989”变过来的呢?原来是利用了这么几个谐音:「やねのお
っさんしくはっく」。下划线的「や」、「お」、「し」、「く」、「は」、「く」分别代表
「8」、「0」、「4」、「9」、「8」、「9」。注意,前一个「8」是按照「ひ、ふ、み……」的数
法发音,后一个「8」则是按「はち」发音,不过受后续辅音[k]的影响发生了促
音便。

「オッサン」来自「お父さん」的缩约形,关西方言,意思是“大叔”、“大伯”。

「四苦八苦」来自佛教用语,意为“苦恼繁多”、“非常痛苦”。

◇四苦八苦してこの教科書を書き上げたんだよ。/我可是苦心惨淡才把这本教科书
写出来的呀!

2. これまで、いろいろな言葉を記憶するために「鳴くよウグイス平安京(794
年)」や「行く行くホテル・ベルサイユ」(1919年フランス・ベルサイユ革
命)など、語呂合わせで覚えさせられてきたね。

「鳴くよ」即「794」的谐音。公历794年,桓武天皇从长冈京迁都至山城国
北部,建立国都,命名为平安京,即现在的京都。「鳴くよウグイス平安京」
是日本学生为了记住年号创作的「語呂合わせ」。在日本动画片『クレヨン
しんちゃん』(《蜡笔小新》)中有这么一段画面:一位考生一个劲儿地背诵
「鳴くよウグイス平安京」,小新冲着他的耳朵念叨着「鳴くよウグイスホー
ホケキョ」,弄得大学生前后混乱。如果不了解日本文化中的「語呂合わせ」,
您还真反应不过来这段片子的噱头在哪儿。

3. 僕は、「とろろ食べてノルマン征服(1066年)」を覚えたね。あまりに変な
ので頭に焼き付いてるよ。

「とろろ」是用「山芋」(山药)搓出的泥。由于山药含的水分较多,搓出的
泥有点像粘稠的粥,这种粘稠状用日语的象声词来形容就是「とろとろ」或
「とろろ」,后转作名词用。在此也作为「1066」的谐音,即「10→と」、「6→
ろ」、「6→ろ」。

「頭に焼き付く」是说“牢记”、“深深地印在脑海里”。

◇あのときの光景は頭に焼き付いている。/那时的情景深深地印在脑海里。

4. 「サンマ、串に刺す(3=9. 42)」や、「死ぬのはいつ頃(4=12. 56)」「五月の畑
にイチゴ成れ(5=15. 70)」「無茶はいややよ(6=18. 84)」「ウルトラセブ
ン、にいく(肉)はいかが(7=21. 98)」「やあ双子、いつ生まれたの(8=25.

12)「苦しい時には風呂へ入れ(9=28.26)」などで、大学の先生まで驚かせちゃった。

「サンマ、くしにさす(3=9.42)」、「しぬのはいつごろ(4=12.56)」、「ごがつの畑にイチゴなれ(5=15.70)」、「むちゃはいややよ(6=18.84)」、「ウルトラセブン、にいくはいかが(7=21.98)」、「やあふたご、いつ生まれたの(8=25.12)」、「くるしい時にはふろへ入れ(9=28.26)」。

您能看出下划线上的假名分别与后续的哪一个阿拉伯数字对应吗？

5. 教えた先生は初めて言ったのに意外と受けがよかったので、その後自分で気に入って、何度も言ってたよ。

「受け」在这儿指“评价”、“为人接受的状态”。

◇この作品の受けは今一だ。/这个作品的反响平平。

6. 化学の授業で、「水兵リーベ僕の船(H. He. Li. Be. B. C. N. O. F. Ne)」っていうのを覚えさせられたなあ。

「化学」在录音中读作「ばけがく」，别以为读错了，这是为了避免与发音相同的「科学」混淆。

「水兵リーベ僕の船(H. He. Li. Be. B. C. N. O. F. Ne)」似乎不用解释，明眼人一看便知，这里说的是元素周期表。日语分别是：水素・ヘリウム・リチウム・ベリリウム・ほう素・炭素・窒素・酸素・フッ素・ネオン。

7. 「月に人間住マNDER(住まない・Monday)」「火に水かけてチューズデー(音を表した=ジュー・Tuesday)」「水田に稲をウエズデー(植える・Wednesday)」「木刀腰にサースデー(差す・Thursday)」「キンピラ・てんぷらフライデー(揚げ物=フライ・Friday)」「土産持ってごぶサタデー(ごぶさた・Saturday)」「喜びいサンデー(勇んで・Sunday)ハイキング」といった具合に。

「火に水かけてチューズデー」中的「チュー」为象声词，表现水浇在火上，火“吡”地熄灭的声音。

「キンピラ」汉字写作「金平」，在这里特指日本料理「金平牛蒡」，其做法是将牛蒡切丝爆炒，加糖、酱油、料酒调味，起锅后拌上辣椒。常作下酒菜。

● ● ● ● ● ● ● 練 習 ● ● ● ● ● ● ●

1. 本文中にある「尊敬のまなざしを集めた」の「まなざし」と「集める」のよう

に、言葉には結びつきの相性があります。言葉の相性と文脈をよく考えて、次の文の()にあてはまる言葉を、正しい形にして書きなさい。

(1) このベストセラーの本は本当に面白く、特に若者の支持を()そう
だ。

①取る ②持つ ③負う ④得る

(2) あの店のケーキはあとを()美味しきで、リピーターが絶えない。

①引く ②延ばす ③絶たない ④追う

(3) いつもいつもウケを()ばかりいないで、たまには真面目な話を
しろ!

①もらう ②狙う ③はずす ④集める

(4) さあ、苦手意識を()、まずは挑戦してみようじゃないか。

①打ち勝つ ②除去する ③克服する ④捨て去る

(5) 話し方といい、表情といい、彼の演説には思わず興味を()。

①示す ②わく ③そそる ④注ぐ

(6) 思い切って意見を言ったのに、鼻で()しまった。

①あしらう ②吹く ③笑う ④曲げる

2. 本文中にある「必死に覚えてた」「すらすらと書いてみせる」のような副詞と動詞の組み合わせで、正しいものを①～④の中から選びなさい(一つとは限りません)。

(1) 覚える

①すらすらと ②きっぱりと ③まじまじと ④あっさりと

(2) やりとげる

①平然と ②着実に ③断固に ④确实と

(3) 休む

①まったく ②のっそり ③ゆっくり ④どっしり

(4) 仕事をする

①熱心に ②黙々と ③肝心に ④淡々と

(5) 話す

①めそめそと ②ひそひそと ③こっそりと ④がみがみと

(6) 食べる

①豪快に ②着々と ③少量に ④痛快に

3. 次の文の下線部の意味を日本語で説明しなさい。

(1) 10年前に見た映画のシーンが、今でも頭に焼き付いている。

(2) 夢を捨てきれず、身一つで田舎を飛び出した。

- (3) あの人とはとても謙虚で、社内でも受けがいい。
- (4) 今彼が口ずさんでいる歌、どこかで聞いたことがあるような気がする。
- (5) 自分のことばかり考えずに、外に目を向けてよく見てごらん。
- (6) よし、この事はあいつに頼もう。あいつは今、手持ち無沙汰だから。

4. 次の文の下線部を使役受け身にして、話し手の気持ちを正確に表す文に直しなさい。

- (1) 昨日はずっと母の手伝いをしていて、ろくに勉強できなかった。
- (2) 給料日前なのに彼女に高い誕生日プレゼントを買って、まいったよ。
- (3) この大雨の中、上司の昼ごはんを買いに行つて、服はびしょ濡れだ。
- (4) ああ、あんなにたくさん酒を飲んで、あいつもかわいそうに。
- (5) こんな遠いところまで来て、もうヘトヘトだよ。
- (6) 高いお金を払つてあんなまずい料理を食べて、なんだか損した気分だ。

5. ()にはどのような言葉が入りますか。適当なものを①～⑥の中から一つ選びなさい。

- (1) 徐州は()の地と言われている。
- (2) 不況克服という難問と()、負けるか勝つかの正念場(しょうねんば)だった。
- (3) 毎日火の車で、()の体(てい)だった。
- (4) ()に花が咲いた。
- (5) ()を使って俺のプロジェクトを邪魔しても平気だぜ。ゴマメの歯ぎしりというかなんというか。
- (6) ()になって袋叩きにされた。

- ①四苦八苦 ②四つに組む ③四(よ)つんばい ④四十八手(しじゅうはって) ⑤四方山話(よもやまばなし) ⑥四通八達(しつうはったつ)

6. 例のように、次の会話を読んで、語呂合わせに関する質問に答えなさい。

例:

パイロット:すでに9回も旋回してたのに、なぜまだ九州から脱出できません?

助手:まあ、九州ですから。もう一回旋回してみたら脱出できるかも知れません。

質問：なぜもう一回旋回したら脱出できるかも知れないのですか。

答え：「9周」は「九州」に掛けるので、もう一回旋回すれば10周になり、脱出できるでしょう。

算数の授業

先生：算数の問題を自分で作って自分で答えてみなさい。

学生：はい先生、できました。

先生：どれどれ。親 $\times 2$ =お八つ。なるほど。もう一度やってみてください。

学生：はい、できました。

先生：どれどれ……パン+パン=パンツ……まじめにやってる？ちゃんとやってください。

学生：はい、できました。

先生：はいよ。和尚 $\times 2$ =お正月。ショウ君、数字でやってくれないかなあ。

学生：はい、できました。

先生：どれどれ、 $1-1=H$ ……だれが意地悪問題つくりなさいと言ったんですか。

学生：すいません……できましたよ、こんどこそは……。

先生：ん？ $4+6+4+9$ =よろしく？そんなのありかよ。もう一度やってください。

学生：はい、できました。

先生：じゃ、見せてよ。 $2+1+3$ =兄さん。 $5+9+6+3$ =ご苦労さん。ますますひどいじゃないか。もう少しまともなものが出ないの？

学生：はい、また、できました。

先生：今度はどうかな……。もういいです。放課後五時まで猛特訓です。……ったくなんで $1+9+3$ が戦なんだ？普通の子なら一休さんだろ。

学生：僕、普通じゃないかも。

質問：

(1) なぜ「親 $\times 2$ 」は「お八つ」ですか。

答え：

(2) なぜ「パン+パン」は「パンツ」ですか。

答え：

(3) なぜ「和尚 $\times 2$ 」は「お正月」ですか。

答え:

(4) なぜ「1-1」は「H」ですか。

答え:

(5) なぜ、「4+6+4+9」は「よろしく」ですか。

答え:

(6) なぜ「2+1+3」は「兄さん」ですか。

答え:

(7) なぜ「5+9+6+3」は「ご苦労さん」ですか。

答え:

(8) なぜ「1+9+3」は「戦」になりますか。

答え:

(9) ここの「一休さん」は、なにを意味するのですか。

答え:

7. 次の文章を中国語に翻訳しなさい。またこれに基づいて作られた会話文を読解しなさい。

金吹雪

友達が、「これから車の契約に行くんだー」と、ルンルンしながら家に来たときのこと。

私:じゃあ今ここに金持ってるの?

友:300万あるよ。

私:チョット見せてくれる?

友:いいよ。

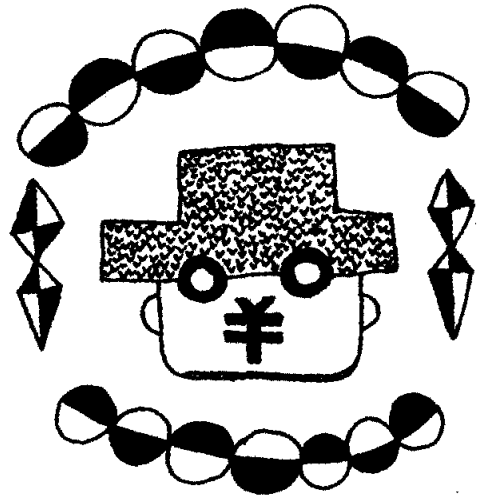
その金を手にした時、

私:いい?

友:いいって何が?

次の瞬間、無意識のうちに札束を空

中にばら撒いていました。「何すんだよー」と、青ざめた顔で叫ぶ友達を横目に見ながら桜吹雪ならぬ、一万円札吹雪の綺麗なこと、綺麗なこと。暫らく見とれていましたが「ハッ!」と我に返り「いやーゴメン、ゴメン。一度やってみたかったんだよー」と謝り、半ベソの友達と二人でお金を集めましたは何度数えても二万円足りない。部屋の中だからなくなるはずがないのに結局見つからず弁償する羽目に。それ以来、その友達からの連絡は途絶えた。



会 話

- 田川 おい、宮村、いるか？（ドアをノックする）
宮村 どうぞどうぞ。汚くて狭いところですが。
田川 僕、車を買うんだ！
宮村 ふーん。
田川 なんだい、「ふーん」て。驚かないのか？
宮村 どんな車？一輪車？自転車？三輪車？
田川 四輪車だよ。
宮村 大八車が二台？荷台？リヤカー？
田川 違う、原動機がついてて……。
宮村 補助輪付きの原付？
田川 んなわけないだろ、ちゃんとした車だよ。手付け金はもう払ったんだ、ほら、ここに残りの三百万円がある。
宮村 あ、本当だ！すげえなあ。ちょっと、さわってもいいかな？
田川 いいとも！
宮村 へえ、これが三百万か。けっこう厚いなあ。
田川 どうだ、恐れ入ったか。
宮村 おそれいったね。オーソレミーヨー！
田川 なんだ、この人は。大金を見ておかしくなっちゃたのかな。
宮村 えいつ！
田川 ああっ！なにをやるんだ！僕の三百万円！
宮村 ああ、いいなあ。いっぺんこんなことをしてみたかったんだ。きれいなあ。
田川 ばか！君はよくても僕はちっともよくないぞ！こんなに撒き散らして、集めるのは大変なんだぞ、わかってんのか！

* * *

大島 最近、田川君は宮村君によそよそしいわね。どうしたの？

宮村 うん、彼の親友の福沢さんが二人、失踪しちゃったんだ。

8. 新出単語の説明を読んで、その単語の中国語の意味を考えなさい。

1. 桜吹雪(さくらふぶき)[名]吹雪のように散っている桜の花びら。
2. 青ざめる(あおざめる)[下一・自](病気や恐れなどのために)血の気を失って、顔が青白くなる。
3. 横目(よこめ)[名]顔の向きを変えずに、目を横に動かして見ること(目つき)。

的东西。山田,你有过类似的经历吗?

山 田 有啊,在复读学校上学时,我把人口前 7 位的国家记成了“妻傻亦不落家”,即 Ch(ina)、I(ndia)、S(oviet)、A(merica)、I(ndonesia)、Bra(zil)、Ja(pan),弄得自己心情复杂。

小 川 我呢,记过“十个六六大顺,征服诺尔曼人(1066 年)”。因为太离谱了,所以印象特深刻。难道诺尔曼人也讲究六六大顺?

花 本 我从母亲那里学到了把圆周率记到小数点后 30 位的暗记法,说来就是:“山巅一寺一屋酒,二流舞扇舞。把酒骑鹞扇两扇,怕死鹿儿溜。思三山,爬山梁乞陶(3.141592653589793238462643383279)。”我曾在外国人面前一气呵成地写出,让对方看了佩服得不得了。

三 友 我也有一套令人佩服的绝活儿呐。小学 6 年级的时候,老师叫我们自己想出圆周率的倍数算法。“三毛酒店思儿(3=9.42)”、“死神邀尔等,吾溜也(4=12.56)”、“田里草莓 5 月熟,邀吾等去领(5=15.70)”、“溜之大吉,么爸特怕死(6=18.84)”、“七侠士,晾药在酒吧(7=21.98)”、“爸呀,儿无衣凉(8=25.12)”、“酒量把尔留(9=28.26)”,把大学老师都惊得一愣一愣的。

小 川 老师教我们记元素符号铅 Zn 的时候说:“热的呐。”他虽是第一次这么讲,但却得到了学生们出乎意料反应,之后他特得意,说了好几次呐。

兰小平 高中上物理课时,我学到了记住恒星光谱的方法。就是“*Oh! Be A Fine Girl, Kiss Me, Let's Try! (O. B. A. F. G. K. M. L. T)*”,一下就记住了。啊,对了,上化学课老师曾让我们记过“呵、嘿! 李伯,毕克挪斧呐(*H. He. Li. Be. B. C. N. O. F. Ne*)”。

饭 田 利用谐音的确容易记忆,我也用谐音的方法记住了英语星期的说法。上初中时,班里的同学边说边记,我就央求他们教给我:“忙得要命是周一(Monday),秋日得闲在周二(Tuesday),蚊子得血在周三(Wednesday),猪子得母在周四(Thursday),佛来得子在周五(Friday),沙特得油在周六(Saturday),赏得万金在周日(Sunday)。”如此等等。以前我对英语星期的说法深感头痛,多亏用了这个方法,一下就记住了。

第 11 課 ユーモア

这一课的话题是“幽默”。不过，这里的幽默与其他日语教科书上的“日本式幽默”不同，基本上属“中国式幽默”。中国式幽默与日本式幽默最大的不同在于夸张的程度。不知您注意到没有，《挑战日语口语》系列中出现的种种日本式幽默，基本上都是生活中实实在在可能发生的事，而中国式幽默却多半“源于生活，高于生活”。如果您有兴趣，不妨在学完本课和下一课后将日本式幽默与中国式幽默作一认真比较，或许能从中找出规律，写出一篇像样的论文来。

会 話

姜路(男性、大学生)

趙麗(女性、大学生)

姜路 ユーモアは人生のスパイスだなあ。

趙麗 意外にしゃれたことを言うわね。何か思うことでもあったの？

姜路 いや、別に。今、彼女からおもしろいショートメッセージが来たんだ。

趙麗 なに、なに、見せてちょうだい。「某日、ある男が愛する彼女にプロポーズした。「僕のお嫁さんになってくれる？」と男性は彼女に聞き、彼女は、「当ててごらん」と答えた。男性は、「なってくれるに決まっている」と答えた。そこで彼女は、「もう一度当ててご覧なさい」と言った」。ムフフ、おもしろいわね。

姜路 だろう。

基本語彙

1. スパイス (spice) [名]
(姜、胡椒、辣椒、芥末等) 香辣调味料
2. しゃれる(洒落る) [下
・自] 说俏皮话, 开玩笑; 俏皮, 盛装, (打扮) 漂亮; 别致, 雅致; 骄傲自满, 狂妄自大
3. ショートメッセージ (short message) [名]
(这里指用手机发的) 短消息
4. プロポーズ (propose) [名・サ自] 求婚; 申请, (特别是指) 结婚申请
5. 絶交(ぜっこう) [名・サ自] 断交, 绝交

基本語彙

6. たぐい(類 / 比)[名] 類, 同类; 类比, 匹敌, 同等
7. 小咄(こぼなし)[名] 小故事, 小笑话, 小幽默 (多指色情的)
8. 真(ま)[名] 真实, 实在
9. ルームメート (room mart)[名] 室友
10. 寺院(じいん)[名] 寺院, 佛寺
11. 仙人(せんじん)[名] 仙人, 神仙
12. 教会(きょうかい)[名] (宗) 教会; 教堂
13. 礼拝(れいはい)[名・サ他] (宗) 礼拜, 行礼, 参拜, 拜
14. キリスト[名] (葡萄牙语 Christo 的译词) (宗) 基督, 耶稣
15. 壇上(だんじょう)[名] 坛上, 台上
16. 演説(えんぜつ)[名・サ自] 演说, 讲演
17. 大河(たいが)[名] 大河, 大江; (中国的) 黄河
18. 如し(ごとし)[助動] (文) (表示类比、譬喻) 如, 像, 似; (表示列举) 例如, 像……那样, 如同; (表示婉转或不确定的判断) 估计, 好像……似的
19. 落胆(らくたん)[名・サ自] 失望, 灰心, 气馁, 消沉, 沮丧, 失意

趙麗 でも、姜路さん、これって危なくない?

姜路 え? なに?

趙麗 彼女からの絶交宣言とか。

姜路 そんなことはないよ。彼女はただ、このたぐいの小咄が好きなだけだよ。いちいち真に受けていたら体がもたないよ。

趙麗 ほかに何かおもしろいのがある?

姜路 山ほどあるんだよ。ルームメートの送ってくれたメッセージだけど、これも結構うけるよ。

趙麗 聞かせて。

姜路 「うちのお袋が僕を連れて道教寺院へ行ってお参りしたときのことだが、お袋は、「仙人様! うちの息子は今度、大学の統一試験をうけることになります。必ず国語は百点、数学は百点、歴史、地理も百点になるように守ってください」ってお願いしたので、僕は横から、「まだ英語をお願いしていないよ」と注意した。すると、「英語は日曜日教会に行って、礼拝のときにキリストに頼まなければならないのよ」と、お袋は言った。「黄仙人は英語がわかるはずがないわ」と。」

趙麗 フフフフ。そういえば私にも一つおもしろい話があるのよ。

姜路 聞かせてもらおうか。

趙麗 ある入学式の壇上で、校長先生が熱を込めて演説をしていた。「少年よ、知識は大河や海の如し。学校で勉強することは、あたかも小さなスプーンで大河や海から水をすくうようなものだ」と。そこまで聞いて、ある新入生は落胆して声を上げた。「しまった!

どうしよう、お母さんがくれたのはフォークだけですよ」と。

姜路 ホホー！よく考えた話だね。似通った話だが、ある先生が、授業中、「駝鳥政策」ということわざを教え子たちに解釈した。「頭隠して尻隠さずの政策は、駝鳥政策と比喻する。なぜかというとき、駝鳥は、いざというときに、頭だけを砂に隠し、それで自分が隠れていると思っているからだ」と。「本当？」教え子たちは、目を輝かせて訊いた。「それでは、その後、駝鳥はどうやって自分の頭を探し出すのだろう」と。

趙麗 フフフッ。そういう学生が卒業したらどうなるでしょう。聞いてきた話ですが、ある農業大学の卒業生が、地方の農業技術指導員になった。ある日、一人の農夫が果樹を移植しているのを見て、彼は指摘した。「このやり方で、来年、この木にリンゴが十個以上なったら私はびっくり仰天するだろう」と。そこで、農夫は頷きながらゆっくりと答えた。「君がびっくり仰天するばかりではなく、この僕もびっくり仰天するだろう。桃の木にリンゴができるなんて奇想天外もいいところだ」と。

姜路 学生にまつわるこのような笑い話は、確かにいろいろあるね。学校の食堂の料理に、よく砂や虫が入っているじゃない。そこで、ある大学生はこう話してくれた。「うちの大学の食堂の飯に、よく虫が入っているので、僕らはいつも、食事をしながら、戦々恐々としている。こないだ、イケメンの汪

基本語彙

20. フォーク (pork) [名] (西餐用的) 叉子, 肉叉; (農具) 耙子
21. 似通う(にかよう) [五自] 相似, 类似
22. 駝鳥(だちょう) [名] 駝鳥
23. 比喻(ひゆ) [名] 比喻; 比喻的表现手法
24. 輝かす(かがやかす) [五他] 使放光辉; 炫耀
25. 農夫(のうふ) [名] 农夫, 农民; 雇农, 长工
26. 果樹(かじゆ) [名] 果树
27. 移植(いしょく) [名・サ他] 移植, 移种移栽; (医) 移植
28. 仰天(ぎょうてん) [名・サ自] 非常吃惊
29. 頷く(うなづく) [五自] 点头(表示同意、谅解、承认等), 首肯
30. 奇想天外(きそうてんがい) [名・形動ダナ] 异想天开, 想入非非
31. まつわる(纏わる) [五自] 缠绕, 围绕; 纠缠; 有关, 关联
32. 戦々恐々(せんせんきょうきょう) [形動ダナ] 战战兢兢, 心惊胆战

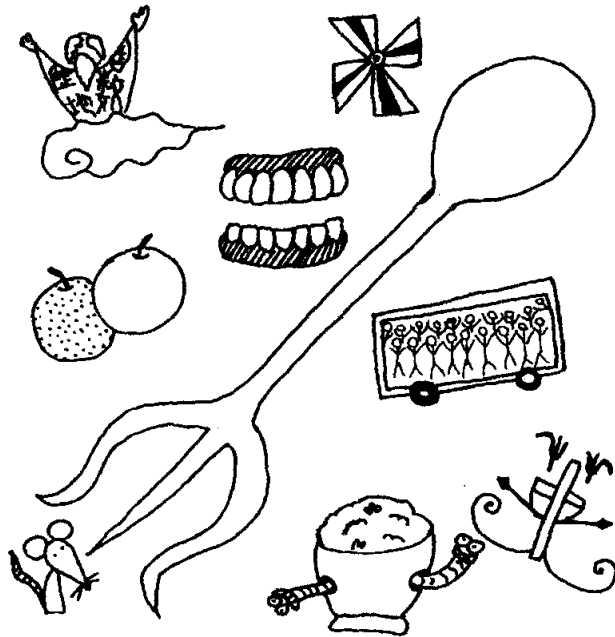
基本語彙

33. いささか(些か / 聊か)〔副〕(文)略, 稍微, 一点; (下接否定) 毫无……, 毫无……
34. 大げさ(おおげさ)〔形動ダナ〕夸张, 夸大; 铺张, 过分, 大规模, 小题大做
35. 限りない(かぎり 無い)〔形〕最高的, 无比的; 没有边际(广阔) 无限
36. 真実(しんじつ)〔名・形動ダナ〕真实, 实在, 事实; (佛) 绝对的真理
37. 迫る(せまる)〔五自〕逼近, 迫近, 临近; 压缩, 短缩; 紧迫, 急促; 穷困, 困窘
38. 矯正(きょうせい)〔名・サ他〕矫正, 纠正
39. 美德(びとく)〔名〕美德
40. 年取る(としとる)〔五自〕上年纪; 迎新年
41. 入れ歯(いれば)〔名〕假牙, 义牙, 镶的牙
42. ビリ〔名〕(俗) 最后, 末尾, 倒数第一
43. 富む(とむ)〔五自〕富有, 丰富; 富裕, 有钱

君が食事の最中、突然大きな声を出したんで、僕らはびっくりして、「どうした? 大きな虫でも食べたのかい?」と聞いた。深呼吸して、汪君は答えた。「奇跡だ! 最後まで虫を見つけられなかった!」

趙麗

それはいささか大げさに聞こえますが、限りなく真実に迫っているんじゃないですか。また、この小咄はどうでしょう。ある先生は、「親孝行」を説明するために、たまたまクラスに歯を矯正中の学生がいたから、それを例にあげて、「親孝行とは、親からいただいた恩を返す美德です。たとえば、君らの両親は今、君らの歯の矯正のために、たくさんのお金をかけたとしましょう。すると、君らの両親が年取った時、君らがお金を使って親に入れ歯をつけてあげなければならないのです。それを、もう一つの言葉で



言い換えれば……」話が終わらないうちに、歯の矯正をしている学生は手を挙げて答えました。「はい。それは、「歯には歯を」でしょう。」

姜路 フッフッ。僕も一つ。「期末試験が終わり、周さんの点数はビリから一番だった。彼は、弟に「テストの成績が悪く、心の準備をするよう親父に伝えてくれ」と電報を送った。弟からは直ぐに返電が来た。「親父は、心の準備ができています。今度は、兄貴が心の準備をする番だ」って。」

趙麗 なるほど。いかにもありそうな話ですね。こういう作り話チックなものは別として、日常生活でも、ユーモアに富んだ場面に出会うことがよくありますわ。

姜路 たとえば、どんな？

趙麗 私が北京でバスに乗ったときのことだけど、真夏にギュウギュウ詰め超満員のバスに乗ったの。乗客はみんな、押し合い押し合い、もう汗だくだくで頭がふらふら。いらいらして、今にも爆発しそうな状態の中、ある人が「お願いだからもう押し合うのを止そうよ。これ以上押したらみんな、写真になっちゃうぞ」って。乗客全員はどっと笑って、いらだちは一遍に吹っ飛んでしまいました。

姜路 ハハハッ！ それは確かに、一服の清涼剤になったんだろうなあ！

基本語彙

44. ギュウギュウ詰め(ぎゅうぎゅうづめ) 塞得紧紧的, 挤得满满的
45. 超満員(ちょうまんいん) [名] 载满乘客, 挤满观众; 名额已超过, 满座
46. 押し合い(おしあい) [名・サ自] 互相拥挤, 推挤; (互不相让地) 拌嘴, 辩论
47. 押し合い(へしあい) [名] 拥挤不堪
48. だくだく [副・サ自] (流汗、流血) 如注, 不止
49. 止す(よす) [五他] 停止, 为止, 作罢; 戒(掉), 忌(掉); 辞掉(职务)
50. いらだち(苛立ち) [名] («いらだつ」的名词化) 焦急、着急、焦躁的心情
51. 吹っ飛ぶ(ふつとぶ) [五自] (俗) (被风) 刮跑; 化为乌有; 猛跑
52. 一服(いっぷく) [名・サ自他] 喝一杯茶, 抽一支烟; 一包散药; 稍作休息; (行情) 平稳
53. 清涼剤(せいりょうざい) [名] 清凉剂; (喻) 使人痛快的事

同……”等意。

◇あたかも稲妻のような早さだった。/宛如闪电速度。

5. 頭隠して尻隠さずの政策は、駝鳥政策と比喻する。

「頭隠して尻隠さず」意为“藏头露尾”。

◇彼らのしていることは、みんながみんな、頭隠して尻隠さずだよ。/他们做的每一件事全都藏头露尾，欲盖弥彰。

6. 「君がびっくり仰天するばかりではなく、この僕もびっくり仰天するだろう。桃の木にリンゴができるなんて奇想天外もいいところだ」と。

「びっくり仰天」意为“大吃一惊”。日本人表示吃惊的时候，常常会夸张地做出倒地的姿势，所以会有这样的形容。

◇バンという乾いた銃声とともに少年は悲鳴を上げ、俯せに倒れた。唐叔叔もびっくり仰天した。直ぐ事情を理解した。/随着“砰”地一声爆响，少年惨叫着跌倒在地上。唐叔叔吓了一跳，但立马反应过来发生了什么事。

「いい」在这里用作反语，常作讥嘲用，故「～もいいところ」意为“未免……”、“岂不……”、“简直就是……”。类似的用法有「いい恥さらしだ。」(真丢脸)、「いい面の皮だ。」(丢人现眼)、「いい気味だ。」(活该)等等。

◇そりゃ嘘八百、でたらめもいいところだよ。/撒谎！简直就是胡说八道！

7. それはいささか大げさに聞こえますが、限りなく真実に迫っているんじゃないですか。

「限りなく」表示极为接近的状态，即“无限地”、“极端地”。

◇限りなく透明に近いブルー。/接近于透明的蔚蓝。

「真実に迫る」意为“逼真”。

◇あまりにも真実に迫っている描写に身の毛もよだった。/太逼真的描述令人毛骨悚然。

8. 「はい。それは、『歯には歯を』でしょう」

「歯には歯を」来自「目には目を、歯には歯を」，意即“以牙还牙”。

9. こういう作り話チックなものは別として、日常生活でも、ユーモアに富んだ場面に出会うことがよくありますわ。

「～チック」来自英语词尾「-tic」。其接续和语(传统日语)名词的这种用法虽然多限于年轻人的口语，但已经在日常会话中固定下来，意思相当于和语的「～ぽい」，即“有(某种)风味”、“有(某种)感觉”。

◇キンピールの歌ですが、オイラにはこう聞こえてます。「がんばらばらっへ！頑張らばらへったってみーや、えーろ、頑張るべーや」なんか大工の棟梁がやる気出すときの掛け声チックで気に入ってます。今日もこの歌を思い出しながら

2. 本文中にある「奇想天外もいいところだ」のように、「いい」を用いた反語表現で正しいものを①～⑧の中から選びなさい。

- (1) そんな()な仕事をやってたら、周りに迷惑だろう。
(2) 高飛車なあいつが、どうやら教授にひどく怒られたらしい。ふん、()だ。
(3) 嫌がることをわかってやるなんて、本当に()しでるなあ。
(4) (父親が息子に)ろくに就職もしないでフラフラしてるなんて、()だ!
(5) 5年連続チャンピオンの俺に勝負を挑むなんて、()だ。
(6) 借りた金を返しもせず、また借りに来るなんて、()してるよ。
①いい度胸 ②いい感じ ③いい面の皮 ④いい加減
⑤いい具合 ⑥いい性格 ⑦いい気味 ⑧いい恥さらし

3. 現在日本語では外来語が多用されており、その多くは英語に由来するものです。次の文中の下線部の外来語を、中国語に翻訳しなさい。

- (1) この化粧品は今キャンペーン中らしく、セールスマンのアドバイスに乗せられて、思わず大量に買ってしまった。
(2) 学園祭のイベントでミス・コンテストが開催されて、なんと僕の彼女がグランプリを獲得した。僕は鼻高々だ。
(3) あの事務の女の子は元から上司と仲がよかったが、最近はエスカレーターしてセクハラまでされるようになったとか……。
(4) あのタレント、「男には興味がないわ」なんてクールに言ってるけど、実は男性アレルギーだから結婚できないらしい。
(5) この課で重要なセンテンスをまとめてプリントにしました。レポートの参考にしてください。
(6) 最近の若者はボキャブラリーが少なく、何を見ても「超かわいいー」しか言わない。

4. ()にはどのような言葉が入りますか。適当なものを①～④の中から一つ選びなさい(一通りではありません)。

- (1) 「先生先死」と言われるように、先に生まれる()は大抵先に死ぬ()だ。
(2) もっとも、ただでさえ回っているロールの上に左足だけで立つ()は無理な()だった。
(3) だから危機の時に母親に助けを求める()は理屈ではなく、無意識にそうする()だ。それは自然の摂理その()だ。

- (4) たまたま、苗字が母と同じだった()だから、彼はほかの職員と違って、母の()を「～長」と呼ばずに、「唐お姉さん」と呼んでいた。
- (5) 僕は、彼女はたった今北極の探検から戻ってきた()で、顔の皮膚の下に張りつめた氷がまだ融けていない()ではないかと思った()さえあった()だ。
- (6) 「たかが十歳の子供だろう」と言う親が多くいる。しかし、皮肉な()に、その「たかが」くらい頼りなく怪しげな()はない。
- ①の ②こと ③もの ④ところ

5. 口語体の特徴を生かしながら、次の慣用句を利用して、常体(だ体・である体)でその後の中国語を翻訳しなさい。

- (1) 真に受ける→把玩笑当真可不行呀。
- (2) 体が持つ→哲也君竟然每天熬夜呀，身体顶得住吗？
- (3) 山ほど→抱着一大堆小人书，却一本也没看过。
- (4) 熱を込める→虽然(他/她)热情洋溢地演说，讲得口角飞沫，学生的反应却很冷淡。
- (5) 限りなく→他的模仿与专业演员相去无几。
- (6) ～に富む→他(她)是一个头脑富有创意的人。

6. ()にある正しくない言葉を正しくなおしなさい(一通りとは限りません)。

- (1) 在做微笑练习的时候，我想让男朋友说说他的感想，“你觉得哪个更可爱呢？第一个(笑容满面)；第二个(微笑了一下)；第三个(好似害羞地笑)。”我心里怦怦跳着等待他的反应。他说：“嗯，首先，第四个好像是在乞讨什么似的，不喜欢。”第四个不就是我平常的表情吗？

笑顔(は)作る練習(を)していた私(が)、彼氏(との)感想(が)聞かせてもらうこと(も)した。「どれ(は)一番かわいと思う？ 一番(にここに笑顔)、二番(にこー)、三番(ちょっと恥ずかしげ(の)笑顔)。」ドキドキし(ては)彼の反応を待っている(なら)、「うーん、まず、四番(が)なんか物欲しげで嫌だね。」四番(も)普通の顔な(んだね)。

- (2) 我在书上看到，女性的大脑构造让她能够一心多用，比如一边看电视一边炒菜，中途还能接电话和对方进行长谈等等，于是我想起母亲说过的话：“妈妈我在跟人谈话的时候，脑子里常常想着其他的问题。”难怪，母亲在浴盆烧热的时候会说：“锅烧开了，进去吧。”(母亲在准备晚饭)，也会在吃桃子的时候拿出装鱼刺的容器说：“鱼刺扔这儿。”(母亲在考虑

今晚吃烤鱼)。

女性の脳(が)、テレビを見(ると)料理を(すれば)、途中(に)かかってきた電話相手(など)話を続けられる(とも)、一度(と)いくつものこと(が)できる仕組みだと本(に)読んだ。そして、母の言葉を思い出した。「お母さん(が)誰か(は)話をしてるとき常に頭(には)他のことを考えている」。だから、母(が)風呂(は)わいたときに「鍋(が)わいたよ。入りなさい」(母、夕食(の)準備中)(に)、桃を食べてると「骨(が)ここに出しなさい」とガラ入れを出したりする。(母、今晚(の)魚を焼こうと考えている)

7. 次の文章を中国語に翻訳しなさい。またこれに基づいて作られた会話文を読解しなさい。

スープ

ケチで有名な店があった。それを聞いたある男は、「俺はスープだけ注文して、あとはお茶をがぶがぶ飲めば、必ずもとが取れるじゃないか」と言い、店に入った。

注文を通してしばらくすると、ウェイトレスが濡れた皿を一つ持ってきて、また外の客の注文を取りに行った。男は待てど暮らせど注文したスープがこないのので、業を煮やし、「俺のスープはいつ出してくるんだ。まさかこの濡れた皿を食べろと言うんじゃないだろう」と店長を呼びつけて怒った。

店長は手を揉みながら答えた。

「すみません。そのお皿にお客さんのスープが一人前、ちゃんと入っていますよ。」

会 話

店員 いらっしゃいませー。

男 じゃあ、メニュー。

店員 はい、どうぞ。

男 一番安い360円のスープを頼む。

店員 はい、お手頃価格の安心スープお一つ。

男 客の顔をつぶさず、かつ自尊心を満足させる。君は一流のウェイトレスだな。

店員 とんでもございません、あの、メニューをお下げいたします。五分ほどお待ちください。

* * *

店員 お待たせいたしました。スープでございます。

男 うん、正確だ。五分ちょうどで来たな。あれ？ なんじゃ、こりゃ。どこにスープがあるってんだい。濡れた皿が来ただけじゃないか。冗談じゃない、皿を食べに来たんじゃないぞ。さてはスープを入れ忘れたな。おい、店員さん。

店員 はい、なんでございますか。

男 いや、なんだじゃないよ。これはなんだい？

店員 スープでございます。

男 スープ？ どこにスープがあるってんだ。馬鹿言っちゃいけないよ、ちょっと店長を呼んでくれ。

* * *

店長 あの、お客様。なにか？

男 なにかじゃないよ、何だい、これは？

店長 スープでございます。

男 どこにあるんだ。

店長 きちんと一人前、皿の中にあります。

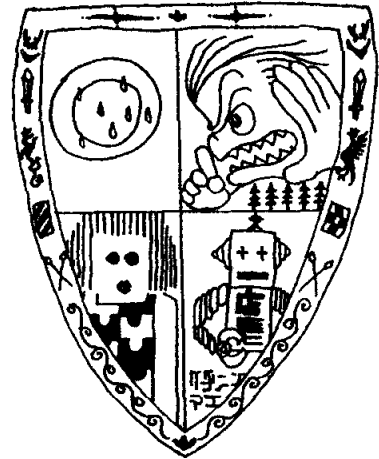
男 ……これは何かわかるか？

店長 はい、財布でございます。

男 うん、その通り。スープ代はこの中にある。確かに見たな。

店長 はい、見ました。

男 じゃあ、帰るよ。ごっそさん。



8. 新出単語の説明を読んで、その単語の中国語の意味を考えなさい。

1. 待てど暮らせど(までどくらせど) 待って日を暮らすけれども。いくら長く待っても。
2. 顔をつぶす その人の名誉を傷つける。面目を失わせる。

上向学生解释“鸵鸟政策”一词,说:“藏头露尾政策被比喻为鸵鸟政策。为什么呢?因为鸵鸟一到危急时刻,只把头往砂子里一藏,就以为把自己整个儿都藏起来了。”“真的吗?”学生们一个个睁大眼睛问道:“那么,然后它怎么能找出自己的头呢?”

赵丽 哈哈,这样的学生毕业后会怎么样啊。有一个听来的笑话,说的是某农业大学的毕业生当了一个基层的农业技术指导,一天,他看见一个农民在移植果树,就指责说:“用这种方法,明年这棵树上要是能结出10个以上的苹果,那我可就要大吃一惊了。”农民听后点着头慢慢地回答道:“不仅你要大吃一惊,连我都会大吃一惊。桃树上结苹果也未免太异想天开了吧?!”

姜路 有关学生的这类笑话的确形形色色。学校食堂的饭菜里不是经常有砂子或虫子什么的吗?于是就有大学生说了这么一件事儿:“我们大学食堂的饭菜里经常有虫子,所以我们通常一边吃饭一边胆战心惊地挑虫子。有一天,帅哥小汪吃着吃着饭突然大叫起来,我们都吓了一跳,问他“怎么了?吃到大虫子了吗”,小汪先深深地吸了一口气,然后才回答道:“真是奇迹!吃到最后,竟没发现一只虫子!”

赵丽 这话听起来多少有点夸张,却也无限逼近真实啊。再听听这段怎么样?有位老师为了说明“孝顺”这个词,又正巧班里有个学生在矫正牙齿,于是就以他为例,说:“孝顺是一种报答父母养育之恩的美德。比方说,你们的父母现在为了给你们矫正牙齿花了不少钱,那么,今后你们的父母老了,你们也应该花钱给他们安上假牙。这个嘛,换句话说,那就是……”话还没说完,那个正在矫正牙齿的学生就举手答道:“知道了,就是‘以牙还牙’!”

姜路 哈哈。我再说一个:“期末考试结束了,小周的分数倒数第一。于是他给弟弟发电报:‘告诉老爸,成绩考得很差,要做好心理准备。’弟弟很快回了电:‘老爸已做好心理准备,这次该轮到哥哥您做心理准备了。’”

赵丽 不错不错。听起来挺像那么回事儿。且不说这些带有虚构成分的故事,就是在日常生活中,还真会常常遇到富有幽默感的场面呢。

姜路 比如说?

赵丽 有一回我在北京搭公交车,盛夏里,一车人在公交车上挤得紧紧的。大家挤来挤去,汗流如注,头昏脑胀。就在心烦意乱、憋不住想发作的当口,有人嚷道:“拜托别挤了,再挤就成相片儿了。”乘客们哄然大笑,烦躁的气氛顷刻间烟消云散。

赵丽 哈哈! 这的确是一服清凉剂啊!

第12課 寸劇

本课和上一课相似，以中国式幽默为主线。登场人物为师兄与学妹。师兄用的是常体，学妹用的是敬体。两人在对话中又表演他人的对话，形成了戏中戏。戏中戏的对话随着角色的变化又变成父女、恋人、同好等不同位相。

会 話

顔敏(男性、大学四年生)

王紅(女性、大学一年生)

顔敏 今までの詰めはまだ甘いから、正式に録音する前に、もう一度「日本語会話への挑戦」の寸劇のリハーサルしようか。

王紅 はい。宜しく御願ひ致します。

顔敏 じゃ、まず、「理屈に合う」というところからいこうか。

王紅 ほーい。

顔敏 なんだ。元気出してよ。本番のように。

王紅 はいっ。わかりました!

顔敏 よし、この調子で。僕は先生役で、君は新人類の学生だよ。

王紅 承知しました。

顔敏 「この動物の名前はなんだ?」

王紅 「分かりません!」

顔敏 「おっと、そう捨て鉢な答えはよしなさい。頭を使いなさい。ちょっと考えてよ。君の

基本語彙

1. 寸劇(すんげき)[名]短剧,短喜剧,滑稽短剧,小品
2. 詰め(つめ)[名]最后关头,末了;(接在名词后)……装;塞子,栓子,填塞物;上班,工作;(能、狂言中的歌曲)高潮
3. リハーサル(rehearsal)[名](戏剧、演奏、播音等的)彩排,排练
4. 本番(ほんばん)[名](电影、电视等拍摄时的)正式表演,正式演出
5. おっと[感](俗)(惊讶或突然发现某事时)啊,啊呀,噢哟;(急忙阻止的语气)且慢,慢来
6. 捨て鉢(すてばち)[名・形動ダ]自暴自弃,破罐子破摔,绝望

基本語彙

7. 線(せん)[名](政策等的)路线顺序;线条;轮廓;路线;(喻)形容人的肚量和气魄
8. 親父(おやじ)[名](俗)(主要用于男人随便谈话时)(我的)父亲,爸爸,老爷子,我老爸;(也写作「親爺」)老人,老头子;(店铺的)老板,掌柜的;首领,头目
9. 不自然(ふしぜん)[名・形動ダナ]不自然,造作,做作;勉强

両足に履いているのはなんだろう。」

王紅 「革靴です!」

顔敏 「では、この革靴は何でできているかね?」

王紅 「牛革かな……。」

顔敏 「いい線じゃないか。では、君に皮を提供し、また肉までも与えた動物はなんだろう。」

王紅 「はい。うちの親父です!」

顔敏 「なかなかいけてるじゃないか。じゃ、次へ行こうか。」

王紅 「次は何でしょうか?」

顔敏 「親子の会話で、「ウソ発見器」っていうやつだよ。」

王紅 「はい、わかりました。「ねえ、ねえ、父さん、なにを買ってきたの? 見せてよ」っていう調子でしょ。」

顔敏 「うん。だけど、調子に乗りすぎたらかえって不自然だよ。はい、「なにして、ウソ発見器だよ。」

王紅 「えっ!? 何のために?」

顔敏 「お前がウソを言ってるかどうか調べるもんだ。」

王紅 「いやだ、そんなもの。だって、ウソなんか発見できるものじゃないのよ。」

顔敏 「そんなこと言わないで試してみろ。今日の数学の成績は?」

王紅 「Aだよ。」

顔敏 「ほら、ビビーって鳴り出したじゃねえか。このウソつき!」

王紅 「すみません。実はBなの。」

顔敏 「鳴りやまないぞ。またウソをつきやがっ

て!」

王紅 「ごめんなさい。本当はEです。」

顔敏 「本当かよ。いきなりグレードダウンじゃないか。親として泣くよ。鷹が鳶を生んだところか、雀を生んでしまったんだ。」

王紅 「雀で悪かったわね。」

顔敏 「そりゃ悪いよ。いくら何でも。わしは学生当時、Aばかりだったんだよ!」

王紅 「あっ、だめだわ! ほら、見てください。父さんの発言でウソ発見器が倒れて壊れたのよ。」

顔敏 「すごいね。君の演技、だんだん板に付いてきたね。」

王紅 「いえいえ、先輩のおかげですよ。」

顔敏 「じゃ、次へ行こうか。えーとね、「タマネギの剥き方」っていうヤツだね。」

王紅 「はい、お願いします。では、「カレーライスを作りましょう。」

顔敏 「ちょっと手伝おうか。」

王紅 「あなた、なにができるの?」

顔敏 「カレーのことならなんでも。」

王紅 「じゃ、そこのタマネギを剥いてください。」

顔敏 「それは僕の得意中の得意だ。お茶の子さいさい。いちころだ。……外で景色を眺めながら剥こうと……なんか目に染みるね。涙がわんわん出てたまらない。それにしても、大きな口を叩いた以上、彼女に聞けないしな。こっそりとショートメッセージでお袋に聞こうか……ほほー、すぐ返事がきた。「水の中で剥くといい」って。なるほど。その手もあるか。」

基本語彙

10. グレード(grade)[名] 等级, 阶级
11. 鷹(たか)[名] 鷹
12. 鳶(とび)[名] 鳶, 老鹰; 没有工作、游手好闲的人
13. 雀(すずめ)[名] 麻雀, 家雀; 爱说话的人, 喋喋不休的人; (喻) 深知内情的人
14. わし(私/僕)[代] (老年男人或力士等常用的第一人称) 我, 俺(=「わたし」)
15. 演技(えんぎ)[名・サ自] (演员的) 演技, 表演; 为骗人耳目而故意耍的把戏, 装样子
16. 板(いた)[名] 木板; 金属薄板; 舞台; (转)(对工作等) 熟练, 老练; 适当, 恰如其分
17. タマネギ(玉葱)[名] 洋葱, 葱头
18. 剥く(むく)[五他] 剥, 销(=「はがす」)
19. お茶の子(おちゃのこ)[名] (俗) 点心, 茶食, 茶粥; 极其容易, 易如反掌, 轻而易举的事
20. いちころ(一ころ)[形動ダナ] (俗) 一下子完蛋, 一下子搞定, 一下子输掉
21. 染みる(しみる)[上一・自] 渗透, 渗入; 染上, 沾染; 刺痛, 蛰得慌; 铭记, 铭刻
22. 叩く(たたく)[五他] 说, 讲(=「いう」「しゃべる」); 敲, 叩; 打; 攻击, 驳斥; 花光, 用完; 压价, 杀价

基本語彙

23. 機転(きてん)[名・形動ダナ]机智,机灵
24. 能率(のうりつ)[名]效率;劳动生产率
25. 狩る(かる)[五他]捕猎;搜索,搜查,缉捕;采集
26. 洞窟(どうくつ)[名]洞窟,洞穴,岩洞
27. ごろごろ[副・サ自](象声)隆隆,轰隆轰隆,咕嚕咕嚕;大的物体滚动貌;滚来滚去;闲呆;(扔得)到处都是
28. 猟銃(りょうじゅう)[名]猎枪
29. 構える(かまえる)[下一・自他]取某种姿势,摆出姿态,准备好;修建,修筑;(转)自立门户,成立家庭;编造,假托,假做
30. 射撃(しゃげき)[名・サ他]射击

王紅 「タマネギ、できたの? 時間かかりすぎるわよ。」

顔敏 「やっとできたよ。タマネギを剥くことが大変だとは、夢にも思わなかった。結構骨の折れる仕事なんだ。」

王紅 「どうやって剥いたの?」

顔敏 「いや、水の中で剥いたんだ。」

王紅 「賢い! 機転が利いてるわね。」

顔敏 「でもさ、それだと能率がめちゃくちゃ悪いんだよ。」

王紅 「どうして?」

顔敏 「どうしてもこうしてもない。考えてみな。ときどき水面に浮かび上がって呼吸しなければならぬから、それだけで死ぬほど辛かったよ。」

王紅 先輩の科白もなかなか決まってるんですね。

顔敏 いや、なかなかどうして。また次へ行こう。今度は、えーっと、ああ、「熊の撃ち方」だね。君が先だよ。

王紅 「熊狩りの方法を教えてください。」

顔敏 「熊狩りの方法はきわめて簡単だ。わしの場合は、それらしい洞窟を探して、それから石を投げ込む。もし、なかでごろごろと声がすれば、洞窟に向かって、「出てこーい」と怒鳴りながら猟銃を構える。熊が出てきたら胸に向かって射撃する。その方法で、わしは失敗したことはない。」このあたりになると背景は病院になるんだよ。

王紅 はい。狩りに出かけた私は大けがをして入院したので、先輩が見舞いに来る場面です。

よ。

顔 謙 そうだね。僕は君に聞く。「どうしてこんなにひどい怪我をしたんだ。わしの教えを守らなかったのか?」

王 紅 「いいえ。ちゃんと守りました。私は洞窟を見つけました。そして、石を投げ込みました。ごろごろした声も聞こえてきました。そこで私は、大きな声で「出てこーい」と叫びながら猟銃を構えましたよ。」

顔 謙 「それだったら問題がないのにな。」

王 紅 「それが大ありなんです。」

顔 謙 「それはなぜ?」

王 紅 「出てきたのは、熊じゃなくて……。」

顔 謙 「熊じゃなくてなんだ。象か。ってなわけないよな。」

王 紅 「象でもありません。汽車だったの!」

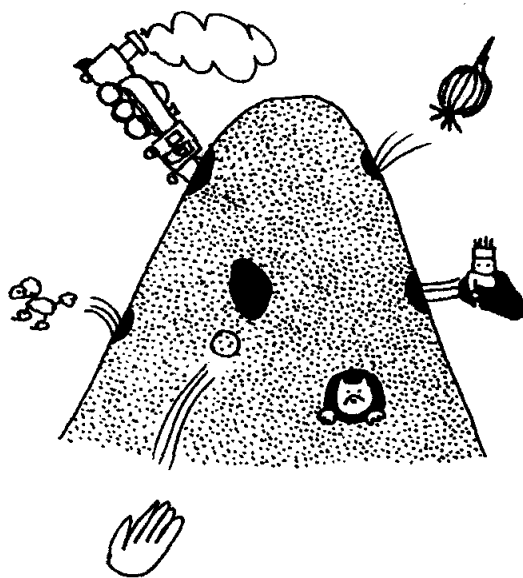
顔 謙 ははは。考えてみれば、ウソっぽいじゃないか。トンネルをほらあなに間違えるほどのとんまがどこにいるかね。

王 紅 いるかもしれませんよ。今朝、登校途中で、バスの中でカップルの会話を聞きました。男性は、「プードルってさ、もともと狩猟犬だったんだよね。」って言うと、女性は、「えっ? 犬がどうやって鉄砲撃つの?」って驚いてましたよ。

顔 謙 真実は小説より奇なりか。

基本語彙

31. 大けが(おお怪我)[名・サ自他]受重伤, 负重伤; 大的过错, 大的过失
32. 大あり(おおあり)[名] («ある」的强调形)有; 有的是, 很多
33. とんま(頓馬)[名・形動ダナ]愚傻, 痴呆; 失败, 挫折
34. 登校(とうこう)[名・サ自] (老师或学生)上学校, 到校
35. カップル(couple)[名] 一对儿(夫妇、情人等)
36. プードル(poodle)[名] (供玩赏的)长卷毛狗
37. 狩猟犬(しゅりょうけん)[名] 猎犬
38. 鉄砲(てっぽう)[名] 枪, 步枪; (划拳时的)拳头; 烟袋的异称; 吹牛皮, 说大话
39. 撃つ(うつ)[五他]射, 打; 攻击
40. 奇(き)[名] (文)稀奇, 奇异, 珍奇; (数)奇数



ります。次の文章の()に体の部位を入れ、正しい文に完成させなさい。

- (1) あの人の努力は並大抵じゃないよ。本当に()が下がるね。
- (2) せっかく来たんだから()を延ばして、向こうの海まで行ってみようか。
- (3) あいつの言ってることはちゃんちゃらおかしい。()で茶を沸かしちゃうぜ。
- (4) また新しい彼女ができたのか。()の速さであいつにかなう奴はいないな。
- (5) 2年ぶりに山へ登ったものだから、()が笑っちゃって。
- (6) まあ、失敗は誰にでもあるさ。そう()を落とすな。

2. 本文中にある「いい線じゃないか」の「いい線」は慣用句的な使い方、「悪い線」という言い方はありません。このような「いい～」の表現で適切なものを下から選び、文を完成させなさい。

- (1) ああ、せっかく()だったのに、邪魔が入った!
- (2) こっちが必死で働いてるのに、あいつは見てケチをつけるだけ、()だぜ。
- (3) いろいろ回って根回ししたおかげで、()に進みました。
- (4) これだけ質のいいものだったら、()になるでしょうね。
- (5) あの人の描いた絵、なかなか()出してますね。
- (6) さあ、そろそろ()になりましたので、これでお開きにしたいと思います。

- ①いい塩梅 ②いい時間 ③いいところ ④いい値段
⑤いい身分 ⑥いい味

3. 次の文の下線部の言葉の意味に合う説明を、下から選びなさい。

- (1) 私は今フリーターだが、スキルアップして、必ずスキンケア関連の仕事に就くぞ。
- (2) 今私たちの間では、ファミレスのスイーツを制覇することがマイブームだ。
- (3) 今の時代はユニバーサルデザインやバリアフリーの住宅が主流だ。
- (4) 彼がイメチェンした。みごとに私のストライクゾーンに入ってしまった。
- (5) 学生のころは、よくオールでカンペを作ったものだ。
- (6) メルマガでフリマの情報が来た。今回の目玉はビンテージものらし

い。

- ①異性で、自分の好みの範囲。
- ②インターネットや電子メールで配信される情報。メールマガジンの略。
- ③体が不自由な人やお年寄り向けに造られた構造。
- ④徹夜。寝ずに何かをやること。
- ⑤大衆向けのレストランで、ほとんどは国内で系列営業している。
- ⑥古くて希少価値が高く、手に入りにくいもの。
- ⑦服装や髪型などを変えて、もとの様子から一変すること。イメージチェンジの略。
- ⑧自分の中で流行している物事。または今自分がこだわっている物事。
- ⑨不要になった物や自分で作ったものなどを売る市場。休日の公園などに見られる。フリーマーケットの略。
- ⑩肌を保護すること。肌を美しく保つことや、肌の老化を防止すること。
- ⑪食後やおやつなどに食べる、甘いデザートやお菓子。
- ⑫学生ではなく、また定職にもついておらず、アルバイトで収入を得ている人。
- ⑬カンニングのために、あらかじめ答えなどを書いておいた紙。カンニングペーパーの略。
- ⑭あらゆる人に対応するように作られたもの。
- ⑮技術や能力を向上させること。

4. 駄洒落謎々です。答えの仮名を漢字にして()に入れ、その謎々を完成しなさい。

- (1) 質問：先生が学生に仕掛けたもっとも怖い攻撃はなあーに？
答え：せんせいこうげき。()
- (2) 質問：バツタがトイレに入ってなにをした？
答え：ふんバツタ。()
- (3) 質問：ここは宮廷だからカッカしないでくださいと言われた人物はだあーれ？
答え：カッカ。()
- (4) 質問：炎夏の季節に、舞台上に上がった生意気な歌手は、ファンに「これでええんか？」と聞いた。さて、その歌手がこれから歌おうとし

ているのはどんな歌?

答え: えんか。()

(5) 質問: 「おめえ、知んねえーかい?」って尋ねられた会場でどんな会が開かれている?

答え: しんねんかい。()

(6) 質問: 本物の鱈はどんな鱈?

答え: まだら。()

5. 口語体の特徴を生かしながら、次の言葉を利用して、敬体(です・ます体)でその後の中国語を翻訳しなさい。

(1) 甘い→请给我磨一下,刀口已经钝了。

(2) 甘い→磁扣松了,扣不紧。

(3) 甘い→别把社会看得太简单了。

(4) 甘い→不努力光想得甜头,想得未免太天真了吧。

(5) 苦い→经历各种艰难困苦,变得圆熟起来。

(6) 苦い→怎么回事儿呀,一脸苦相?

(7) 苦い→(过去)我可被她折腾得够呛。

(8) 辛い→老师,这回的分数太严厉了吧!

(9) 辛い→尝遍了苦辣辛酸,不能小看哟。

(10) 酸っぱい→父母如此这般说得嘴都酸了,为什么就是充耳不闻呢?

6. 題に従って、次のセンテンスを筋の通る一つの文章に組み直しなさい(一通りとは限りません)。

(1) 謝り

① 彼女はその時、周りをキョロキョロ。私は彼の声が小さかったので、よく聞き取れず、

② 私:「いらっしゃいませ。おタバコは吸われますか?」

③ レストランでウェイトレスをしていた時のこと。カップルが来店しました。

④ 彼:「すみません」(小声)

⑤ 私:「え!?!」

⑥ すると彼女が彼に一言!

⑦ 彼:「すみません、すみません」

⑧ (彼ペコペコ、彼女お腹ペコペコ)

⑨ 「なんで、あんたそんなに謝ってるの?」

(2) お父さん座り

- ①「はい」
- ②「何がバレたの? 浮気かへそくりか?」
- ③「じゃあ、みんな、体操座りして下さい。」
- ④「何で、そう呼ぶの?」
- ⑤「足が痛くなった人は、お父さん座りでもいいからね。」
- ⑥「だって、お父さん、そういう座り方するでしょ? で、正座がお母さん座り。」
- ⑦「……そうか。今の子はそんな呼び方しないのね。あぐらのことよ。」
- ⑧「先生、お父さん座りって何?」
- ⑨「うちのお父さん……よく、お母さんの前で正座して、怒られてるけど?」

7. 次の文章を中国語に翻訳しなさい。またこれに基づいて作られた会話文を読解しなさい。

袖すり合うも多生の縁

三人の男は、地獄に送られ、閻魔に詰問された。

「お前ら、どういう理由でここに来たのかね。」

一人目の男は泣きながら答えた。

「とんでもない災難です! ある朝、私は寝過ごしましたので、会社に急ぐために服を引っ掛けながらタクシーを呼んだところ、頭の上からタンスが落ちてきました。」

二人目の男はふんぶん怒りながら答えた。

「妻を驚かそうと、私はある朝、出張から早く帰りました。ところが、部屋の中から男の声がしました。ドアを蹴りやぶって入ったけれども、部屋の中に男はいませんでした。窓から見下ろすと、男は服を引っ掛けながらタクシーで逃げようとしていました。そこで私は、窓の横に置いているタンスを押して男の上に落としました。その男は下敷きになり、そのため私は殺人罪に問われ、処刑されました。」

三人目の男は、怨めしそうに答えた。

「なぜここに来たのか今でも分かりません。私は新しくできた女友達と話していたところ、突然、彼女の厳しいお父さんが帰ってきたようです。あわてた友人は私をタンスに隠しました。その後、タンスが揺れ、ドカンという音がして、私はここに来たのです。」

会 話

閻魔 よし、おまえは針の山、血の池地獄めぐり七日間の旅に決定だ。次

は？

牛頭 男三人であります。

馬頭 おい、とつと歩け。ぐずぐずするな。

閻魔 なんだ、三人そろってしけた顔をしてるなあ。

男1 地獄に連れてこられて喜色満面という人はそういないと思いますが。

閻魔 うるさい、罪人の分際で生意気に口答えなんかするんじゃない。ちょうどいい、おまえからにしよう。おまえはどのようにして死んだのだ？

男1 わかりません。

閻魔 わからん？ そんなことがあるものか。なにか思い当たる節がないのか？ よし、じゃあ、死んだと思われるときの状況を話してみろ。

男1 はい、あの日私は多少寝坊をしまして、急いでおりました。狭い路地を駆け抜けて、大通りに出て、さあ、これからタクシーを呼ぼうかとした刹那、あれはたぶんダンスでございましょうか、なにか大きいものが上から飛来いたしまして一巻の終わりと相成ったのでございます。

閻魔 タンスにゴン、というわけだな。いろいろな死に方があるが、おまえのそれは十分に同情に値する。判決までそこに控えているように。そのとなりの面のまずい男。

男2 はい、その、私は死んだ理由ははっきりしております。死刑になったのでございます。

閻魔 ほう、死刑とな。それはおだやかではないな。これは余程のことをやったな。何をやったんだ。窃盗か？

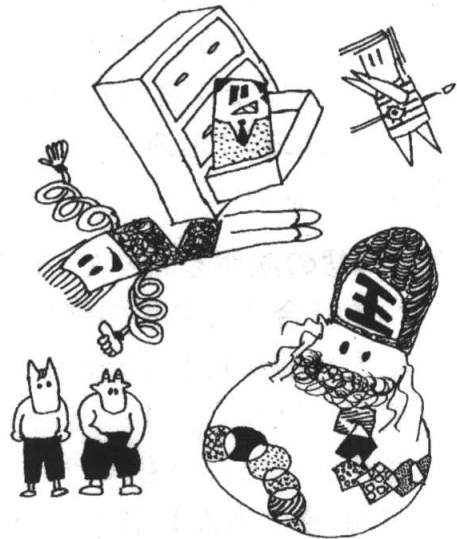
男2 いえ、その、殺人罪です。

閻魔 どうして殺したんだ？ 遺恨か？

男2 いえ、これはほんの偶然なんです。

閻魔 偶然？ 花瓶を落としたら下に人がいたとか？

男2 いえ、落としたのは花瓶ではなく、タンスなんですが……。



- 閻魔 タンス? どうしてだ? 火事がおきたと勘違いでもしたのか?
- 男2 話す少し長くなりますが……実は、あの日私は出張から早く帰ってまいりました。
- 閻魔 どうしてだ? 早めに仕事を切り上げたのか?
- 男2 妻を驚かせてやろうと思い早めに帰ってきたんです。そして、こっそりと階段をのぼって行きますと、妻の話し声がある。なんだ、電話かと思いきや、あに凶らんや、他の男の声がある。すっかり頭に血が上った私は、何かを大声で叫んで部屋に飛び込みました。
- 閻魔 ふむふむ。
- 男2 ところが、部屋に入りますと、天に上ったか、地に潜ったか、男の姿は影も形もありません。おのれ、逃げ足の速いやつ、と外を見ますとちょうど一人の男が背広に半分だけ袖を通して走っていくのが見えました。そこで、近くにあったタンスをさしあげ、えいっと投げつけたところ、男は死んで、私も死んだ、そういうわけです。
- 閻魔 うん、直情径行なところは感心できぬが、おまえも同情できるな。よし、となり。
- 男3 へ?
- 閻魔 なんだ、あきれたやつだ。呼ばれたのも気付かんのか?
- 男3 へい、あっしでございますか。実はあっしもよくわかんねえんですが。あの日、あっしは新しくできた女友達とおしゃべりしておりました。すると外から恐ろしい叫び声がしました。やべえ、こりゃ彼女のこわいお父さんが帰って来たかなと慌てて近くにあったタンスに逃げ込みました。すると、地震がおきて南無阿弥陀仏。
- 全員 お前か!

8. 新出単語の説明を読んで、その単語の中国語の意味を考えなさい。

1. 袖すり合うも多生の縁(そですりあうもたしょうのえん) 道で見知らぬ人と袖がちょっと触れあうような些細な出来事でも、それは単なる偶然ではなくてすべて前世からの因縁によるもの。だから、どんなささやかな出会いも大切にせよ、ということ。
2. 詰問(きつもん)[名・サ]相手の非を責めながらきびしく問いつめること。
3. 引っかける(ひっ掛ける)[下一・他]①かけてつり下げる。突き出た物などにかけてぶら下げる。②無造作に着たり、はいたりする。ちょっと肩にかけたりして着る。③あれこれと関係づける。引き合いに出

- す。④水などを浴びせかける。⑤酒などを一息に飲む。⑥他人の目をぬすみ、またはごまかして取る。ちよろまかす。
4. **タンス(箆笥)**[名]引出し(戸)の付いた、衣服などを入れておくための家具。
 5. **ぶんぶん**[副]①強い匂いのたちこめるさまを表す語。転じて、何かの気配がたちこめるさまについてもいう。②ひどく腹を立てているさまを表す語。
 6. **怨めしい(うらめしい)**[形]恨みたくなる気持だ。
 7. **とつとつ**[副]「疾(と)く疾くと」の変化「さっさと」の意の口頭語的表現。
 8. **ぐずぐず(愚図愚図)**[副・形動]①物の言い方や動作などがあいまいではっきりしない様子、のろのろしたさまを表わす語。ぐずりぐずり。②ぶつぶつ不平をいうさまを表わす語。③食物などが煮えるさま、また、その音を表わす語。④固くしまっていない様子。しっかり固定していないさま。⑤態度がはっきりしないさま、また、物事にしまりがなくなるさまを表わす語。
 9. **しける(時化る)**[下一・自]①空が曇る。②風雨がひどくて、海が荒れる。また、海が荒れて不漁となる。③金まわりが悪く、不景気になる。ふどころがとぼしくなる。また、人がけちである。④しょげる。ふさぎこむ。⑤湿気を帯びる。しめってくる。しめる。
 10. **喜色満面(きしょくまんめん)**(はたから見て)いかにもうれしそうな顔つき。
 11. **分際(ぶんざい)**[名](それほど高くない)身分。身のほど。
 12. **節(ふし)**[名]①植物の幹や茎にあって盛り上がったたり、ふくれ上がったたりしている部分。②一般に、物の盛り上がったり瘤のようになったりして区切り目にもなっている部分。③区切りとなる箇所。段落。④骨のつがい目。関節。⑤物を隔てるもの。区分するもの。区切るもの。遮断するもの。⑥きめ。すじ。すじみち。節理。⑦他と区別される事柄。⑧音楽や歌謡の曲節。旋律。ふしまわし。
 13. **相成る(あいなる)**[五自]「成る」の改まった言い方。
 14. **逃げ足(にげあし)**[名]①逃げること(速さ)。②逃げようとすること。逃げ腰。
 15. **あに図らんや(あにはからんや)**次に来る文で表現される事態が予想外の時に使う。

呗。”

王红 “什么!? 买这干啥?”

颜欢 “检测你说没说谎。”

王红 “讨厌,谁要这东西。再说,谎话这东西是检测不了的。”

颜欢 “别说那些,来试试吧。今天数学考多少?”

王红 “A呀!”

颜欢 “你瞧瞧! 这不‘吡吡’地响吗? 你这谎话鬼!”

王红 “不好意思,其实是B。”

颜欢 “叫声没停呢,还在撒谎!”

王红 “对不起,其实是E。”

颜欢 “真是的,这不一下子降格了,我做父亲的难受啊,老鹰没生凤凰,反倒生了个麻雀。”

王红 “就是麻雀又怎么不好了?”

颜欢 “当然不好啦。再怎么讲,我当学生时,可全是A呀!”

王红 “啊,坏了! 你看啊,老爹,您刚一说,测谎器就倒下摔坏了呀!”

颜欢 “太棒了,你的演技,渐渐上道了。”

王红 “那里那里,都是学长指导有方。”

颜欢 “好的,咱们再排下一个。对了,是‘怎样剥洋葱’吧?”

王红 “是的,请多关照。那就开始了。‘我们做咖喱饭吧。’”

颜欢 “我来帮帮忙吧。”

王红 “你呀,会做什么呢?”

颜欢 “只要是咖喱饭,什么都会。”

王红 “那好,你就剥那些洋葱吧。”

颜欢 “这可是我的拿手好戏,易如反掌,马上搞定……在外边看景色边剥……有点熏眼睛呐,泪水汪汪流,真受不了。可是既然夸了海口,不好再问她呀。我悄悄地发短信问俺妈吧……。嘿! 马上回信了,说是‘在水里剥就行’。不错不错,还有这一招。”

王红 “洋葱剥好了吗? 时间花得太长了!”

颜欢 “终于剥完了。做梦也没想到剥洋葱这么麻烦,太费事了!”

王红 “怎剥的?”

颜欢 “在水里剥的。”

王红 “真聪明,脑瓜子转得挺快的。”

颜欢 “不过,那样做效率未免太低了。”

王红 “为什么?”

颜欢 “也不为什么。你想想,隔一会就必须从水里冒起来换气,就这一点也让人吃不消呀!”

王红 前辈的台词可真是令人叫绝呐。

颜欢 没那事儿,这算什么呀。再往下走吧。下面是“怎样打熊”吧?你先来。

王红 “请教教我打熊的方法。”

颜欢 “打法非常简单。像我吧,先找一个可能藏有熊的洞口,然后往里投石头。如果里面有咕噜咕噜的声音,就一边端好猎枪一边对着洞口大吼:‘出来’。熊一出来就对着胸口开枪。用这方法我从来没失败过。”说到这里背景就要转到医院。

王红 对,场面是我去打猎受重伤住院了,前辈来看我,是吧?

颜欢 是啊,我问你:“为什么受这么重的伤啊,没按我教的做吗?”

王红 “不是呀,一丝不苟地照做了。我先找到一个洞,然后往里投了石头。咕噜咕噜的声音也听到了,然后我端好猎枪大声吼道:‘出来!’”

颜欢 “要是这样就不应该出问题呀!”

王红 “正因为这样才大有问题呐!”

颜欢 “这又是为什么?”

王红 “出来的可不是熊,是……”

颜欢 “不是熊是什么?是大象?不可能吧!”

王红 “也不是象,是火车!”

颜欢 哈哈!仔细想想,这故事也太离谱了。哪有把隧道当洞穴的马大哈呀!

王红 没准还真有。今早上学的途中,在公交车上我听到一对情侣的谈话。男的说:“狮子狗最初也是猎犬呐!”“是嘛?”女的非常吃惊,“那它是怎样打枪的呀!”

颜欢 真可谓现实奇于小说呀。

第13課 雑談

本课以中国式的夸张笑话为引子,引出日本人在日常生活中发生的各种趣闻轶事。说话双方虽然是师兄与学妹的关系,但显然关系较为密切,说话时顾忌较少,位相的差异主要表现在男性用语和女性用语上。此外,“福井”时不时意识到自己的“女性”角色和地位而使用敬体。这种常体与敬体混用的现象在本系列《初级篇》和《中级篇》中都反复出现过,是日本人自然的生活语言现象,我们应细加体味。

会 話

山内(男性、大学四年生)
福井(女性、大学二年生)

山内 ワハッハッハー!

福井 どうしたの?

山内 この教科書の十二課のオチはなかなかの
きで、思わずひっくり返っちゃったよ。

福井 それなら読んだわよ。私もお腹の皮がよじ
れるほど笑ったわ。

山内 それはそうと、僕はもう一つ、吹き出しそう
になるのを聞いてきたんだ。

福井 へえー、どんなの?

山内 えへん。よく聞いて。ある人が新しい家に
引っ越して、友人が新居祝いで訪ねたとき、
その人は犬と一緒に玄関で出迎えに来た。
犬を見た友人は不思議そうに、「普通、犬は
しっぽを左右に振るのに、お宅の犬はなぜ
縦に振るんだ」って尋ねたら、その人は恥ず

基本語彙

1. ひっくり返る(引っ繰りかえる)[五自]倒, 翻倒; 颠倒过来, 返转过来
2. よじれる(挟れる)[下一・自]扭着, 扭歪, 扭劲儿
3. 新居(しんきょ)[名]新居, 新住宅
4. 縦(たて)[名]纵, 竖; 长; 经线

基本語彙

5. いくら何でも(幾らなんでも)[連語・副]再怎么, 无论怎么, 即使……也……
6. 誇張(こちょう)[名・サ他]夸张, 夸大
7. ミソ(味噌)[名] 醬, 豆醬; 得意之处, 自夸
8. シェパード(shepherd)[名] 狼狗, 警犬, 军用犬
9. カミさん(上さん)[名](常用「お～」的形式)(一般人的)妻, 老婆;(敬称他人之母)老母亲, 老夫人;(店铺的)女主人
10. 世迷い言(よまいごと)[名] 自言自语的牢骚话, 牢骚, 嘟嘟囔囔莫名其妙的话
11. ソファー(sofa)[名] 沙发
12. 作り話(つくりばなし)[名] 编造的话, 假话; 虚构的故事
13. 保健室(ほけんしつ)[名] 保健室, 保健站
14. いきなり(行き成り)[副] 突然, 冷不防

かしそうに答えたそうだ。「いやー、それはね、前の家が狭すぎたから……。」

福井

ふふふ。いくら何でも大げさね。

山内

でも、笑い話ってこんなもんだよ。真実を誇張することがミソじゃないかな。

福井

そうでもないわよ。限りなく真に迫っているとところに味が出ているのね。たとえばAとBの会話で、

A: うちのシェパードは世界一すごい狩猟犬なんだ。この犬なしでは、とてもじゃないけど、狩猟には行けねえ。

B: そうかい? おかしいなあ。お前とはいつも一緒に狩猟に行くのに、一回もそいつの顔なんぞ拝見したことはねえぜ。

A: そりゃあたりめえだろう。俺が狩猟に出かけると、こいつは家でカミさんのおしゃべりや世迷い言を聞いたり、あるいは、ソファーと一緒にテレビを見たりする。でなきゃ、俺が狩猟に出られるもんか。

って、こんな話はどう?

山内

なるほど。いかにもありそうな作り話だね。

福井

でしょ。私たちの周りの出来事を注意して観察したら、真実そのものに笑いの要素が感じられることがたくさんあるのよね。

山内

たとえばどんな。

福井

ん……、たとえばね、中学校のときのことなんだけど。社会科の先生が、自分が数年前、授業中に倒れて生徒に保健室に運ばれたのを鼻にかけて、私たちに、「先生いきなり倒

れてな、一番前の男子生徒に肩ぐるましてもらって運ばれたんだぞ」って吹聴したの。肩ぐるま？ たぶん「肩を貸してもらって」運ばれたんだらうと察しがついたんだけど、肩ぐるま姿を想像すると笑っちゃった。

山内 そういや、うちの姪っ子が小一の時、椅子を投げて暴れてる男の子に向かって、「危ないがなー！」って反対に机を投げつけたことがあったんだ。横で見てた僕は思わず吹き出したぜ。

福井 先輩の話で思い出したけど、高校の時、兄と激しい口論になって、私がかかなり優勢に立って、兄は相当頭にきて怒鳴ったの。「オレに歯ごたえするんじゃない！」って。

山内 歯ごたえか。歯向かうか口答えのつもりだったんだらうけど、混ざっちゃったんだな。うちの姪っ子は友だちとTVゲームをしてたとき、その友だちがいまひとつの姪っ子に向かって、「ふん、おまえ歯ごたえのないヤツだなー！」って言ったんだよ。それを言うなら手応えだらう。

福井 ウフフッ。それは子供の成長段階によく見られる現象で、言葉を覚えようとする印です。うちの甥っ子が二歳で姪っ子が三歳なんですけど、二人同時に「目にゴミが入ったー」って訴えてきたんです。「まばたきをしてごらん」って言うつもりで、「パチパチしてごらん」って言ったら、甥っ子は両手で目をパチパチ叩いて、姪っ子は目をつぶったまま両手をパチパチしたんですよ。

山内 へえ。確かに、着実に成長してるんだね。

基本語彙

15. 肩ぐるま(かた車)
〔名〕(使小孩)奇膊梗子,跨坐肩上;(柔道招数)把对方扛在肩上扔出去
16. 吹聴(ふいちよう)
〔名・サ他〕吹嘘,宣传,宣扬
17. 姪っ子(めいっこ)
〔名〕(俗)侄女;外孙女(=「めい」)
18. 暴れる(あばれる)
〔下一・自〕胡闹,乱闹;在江湖山闯荡,荒唐,放荡;横冲直撞,横行霸道,胆大妄为
19. 口論(こうろん)
〔名・サ自〕口角,争吵,争论(=「くちげんか」)
20. 歯ごたえ(はごたえ)
〔名〕(食物的)咬头,劲道,咬劲;(喻)(工作等)令人起劲,有干头,(作品的)读头
21. 歯向かう(はむかう)
〔五自〕反抗,抵抗;张牙欲咬,持刀欲砍
22. 口答え(くちごたえ)
〔名・サ自〕顶撞,顶嘴,反唇相讥
23. 混ざる(まざる)
〔五自〕搀混,混杂,夹杂
24. 手応え(てごたえ)
〔名〕(冲刺、撞或射击时)手受到的感觉;反应,效果
25. 甥っ子(おいっこ)
〔名〕(俗)侄儿;外孙(=「おい」)
26. まばたき(瞬き)
〔名・サ自〕(「まばたく」的名词化)眨眼;转瞬
27. パチパチ〔副〕拍手声;爆裂声;打算盘的声音;眨眼貌
28. つぶる(瞑る)
〔五他〕闭目,瞑目;装着不见
29. 着実(ちやくじつ)
〔名・形動ダナ〕扎实,牢靠,踏实,稳健

基本語彙

30. 微笑ましい(ほほえましい)〔形〕逗人笑,招人笑,眉开眼笑的,令人愉快的
31. 滑稽(こっけい)〔名・形動タナ〕可笑,滑稽,诙谐,戏谑
32. 世間知らず〔名ナ〕不懂世故(的人),阅历浅(的人),没见过世面(的人)
33. パスポート(passport)〔名〕护照;出入特定场所的证件
34. 事項(じこう)〔名〕事项(=「ことがら」)
35. 記入(きにゆう)〔名・サ他〕记上,填上
36. 挙げ句(あげく)〔副〕(接动词过去完了助动词「た」或动词性名词十「の」之后,多表示最后的结果不好)结果,最后,末了
37. 未経験(みけいけん)〔名・サ他〕未经验,没有体验
38. ヨーロッパ〔名〕(葡、荷 Europa 的译词)(旧写作「欧羅巴」)欧洲
39. ギリシャ〔名〕(葡 Gria 的译词)希腊

ただし、未成年者には微笑ましい発言でも、大人だったら滑稽だぜ。

福井

うちの母親の勤めていた会社に、ある世間知らずの男性が居て、海外旅行に行くことになって初めてパスポートの申請に行ったんですって。必要事項を記入していると「sex」とかかれた欄があつて、彼は「性別」と知らずに悩んだ挙げ句、「未経験」って書き込んだそうですよ。

山内

ハハハッ! それは誤解から生まれた、とんだユーモアだね。あー、福井さんの話で思い出したけれど、僕、中学一年の社会科で、ヨーロッパの国を勉強中に、「ギリシャの首都はどこですか?」って、クラス委員の聡君



が、突然先生に当てられた。焦った聡君は、「ア、アテテネ！」って答えて、教室はもう爆笑の渦だった。「そんなに当ててほしかったの？ ホホホホ」って先生まで笑いのツボにはまって、もう授業はガチャガチャになって。

福井 なるほど、言葉の連想もユーモアに欠かせない要素なのね。父の会社でバイトしてた時のことを思い出したけど、クーラーがガンガン効いている社内は寒いほどで、ガタガタと震える私をよそに父は「あつついなあ」って嘆いて、取引で来てた人が、「社長、燃えてますね」って挨拶したの。うまいことを言うなあと思ってたら、「うちは火の車だから」って切り返した父の方がそれより一枚上手でした。そーゆー意味でアツイのかって悟りましたよ。ちょっと深刻ね。

基本語彙

40. 聡(さとし)[名]人名
41. 爆笑(ばくしょう)[名・サ自]哄堂爆笑, 满堂大笑
42. 渦(うず)[名]漩涡, 涡流, 漩涡状, 旋转; (转)混乱状态, 难以脱身的处境
43. 当てる(あてる)[下一・他]指明, 指定; 委派, 指派; 猜, 推测; 碰撞, 接触; 贴近, 测量; 晒, 烤, 淋, 吹
44. はまる(嵌る / 填る)[五自]陷入; 嵌入, 吻合; 上当, 中计; 沉溺,
45. 連想(れんそう)[名・サ他]联想
46. 欠かせない(かかせない)[連語]「かかす」的可能态的否定形)不能缺, 不可缺
47. クーラー(cooler)[名]制冷设备, 冷却机, 空调, 冰箱; 冷却剂
48. ガンガン[副](形容被噪声闹得头疼的状态)嗡嗡; 吵吵嚷嚷, 喋喋不休; (钟声)当当; (烈火)熊熊
49. ガタガタ[副・サ自]摇摇欲坠; 咕哒咕哒, 咕咚咕咚
50. 取引(とりひき)[名・サ自他]交易, 贸易往来, 做买卖(关系); (喻)(为了各自的利益)交易, 交换
51. 燃える(もえる)[下一・自]燃烧, 着火; (喻)热情洋溢; (转)(颜色)鲜明, 耀眼
52. 切り返す(きりかえす)[五他]反驳, 反击; 反砍; (汽车方向盘的)反打, 反倒
53. 悟る(さとる)[五他]悟, 领悟, 觉悟, 醒悟; 发觉, 察觉, 看破; (佛)开悟, 悟道
54. 深刻(しんこく)[名・形動]严重, 重大; 残酷; 深刻

A:とてもじゃないけど、こんなにたくさんの本、一週間で読めないよ。

B:ホント。他のことは何もするなってことだよね。

对话(2)

A:あら、お隣の奥さん。おめかしして。お出かけですか。

B:ええ、ちょっとお友達とお芝居を見に。

A:あらー。いいわねー。家なんか、とてもじゃないけど、そんな余裕はないわー。

B:あら。家だってそうよー。でもね、ほら、先月、やってたでしょ。表の商店街で抽選会。あれでたまたま三等のお芝居の券が当たったのよ。

A:ああ、あれ。藤山直美(ふじやまなおみ)のやつでしょ。あれ、当たったの、奥さんだったのね。いいじゃないー。

B:でしょ。家あたりじゃ、こんなことでもなきや、お芝居なんて、とてもとても。

A:ま、よく言うわよ。ご主人、次の昇進は確実なんですよ。

B:まあ! いやだわ。そんな。家のはとてもそんな甲斐性なんかはないわよ。奥さんとここそ、昇給したって……。お嬢ちゃんが言ったわよ。

A:いやあねえ。三百円よ。三百円。主人が娘に自慢したんだけど、そんな、自慢するのも恥ずかしいくらいよ。

B:いいじゃない。昇給は、昇給よ。

A:お互いに、少しだけ福が来たってことかしら。

B:あら、そうね。ほほほほほ。じゃ、行ってきます。

A:いってらっしゃーい。

5. 一回もそいつの顔なんぞ拝見したことはねえぜ。

「なんぞ」是「なにぞ」的音便,相当于「など」,多用于方言,用在口语中显得有点儿粗野,意为“等等”、“诸如此类”。

◇そんなことなんぞ知りたくねえ。/这种事儿我才不想知道呐!

「顔を拝見する」即“晤面”,原是较为尊敬的说法,现多用于表示嘲弄。

◇いつかお顔を拝見したら分かる。もう見てびっくり! /什么时候你见一面就知道了,会令你大跌眼镜的!

6. 社会科の先生が、自分が数年前、授業中に倒れて生徒に保健室に運ばれたのを鼻にかけて、私たちに、「先生いきなり倒れてな、一番前の男子生徒に肩ぐるましてもらって運ばれたんだぞ」って吹聴したの。

「鼻にかける」意为“炫耀”、“自豪”、“自吹”。

◇それぐらいの業績で鼻にかけるなよ。先へ進めないぜ。/这点儿业绩就别炫耀了,不然怎么进步呢?

7. たぶん「肩を貸してもらって」運ばれたんだろうと察しがついたんだけど、肩ぐるま姿を想像すると笑っちゃった。

「肩を貸す」意为“帮忙”、“助一臂之力”。不过在课文中取其原意,即“搀扶”、“借个肩头”。

◇このプロジェクトは難しそうで、彼に肩を貸してもらいたいね。/这个计划好像很难,希望他能助一臂之力。

「察しがつく」是说“觉察到”、“推量到”。

◇察しがついてはいるが、わざととぼけた顔をしてた。/虽然觉察到了,但还是装傻。

8. 兄は相当頭にきて怒鳴ったの。「オレに歯ごたえするんじゃない!」って。

「頭にくる」意为“恼火”、“生气”。也可说成「鶏冠(とさか)にくる」。

◇あのとぼけた顔を見るといつも頭にくる。/看那傻样就来气。

「歯ごたえ」在此指“口感”,准确地说,是指“牙感”,即“嚼头”。过去也有类似于下条的「手応え」之意,不过这个意思现在已基本不用。

◇この豚足、こりこりして歯ごたえがいい。/这猪手很有弹性儿,有嚼头。

9. それを言うなら手応えだろうに。

「手応え」原指刀剑砍杀时的“手感”,转义为“效果”、“(有成效的)感觉”。

◇うちのクラスは手応えのある学生の集まりだった。/我们班上全是反应灵敏的学生。

10. 「一肌脱いであげる」って言いたかったらしい。

「一肌脱ぐ」意为“奋力相助”、“不遗余力”,来自武士脱掉半边袖子拔剑助战,故有上对下“利用权力助人”的含义。

◇彼のために一肌も二肌も脱いでやったよ。/为了他我可是全力以赴了。

11. 取引で来てた人が、「社長、燃えてますね」って挨拶して、うまいことを言うなあと思ってたら、「うちは火の車だから」って切り返した父の方がそれより一枚上手でした。

「燃える」在这里意为“意气风发”、“斗志昂扬”、“激情洋溢”。

◇勉学に燃えています。/全力以赴地学习。

「火の車」不是“火车”而是真正的“着火之车”。这句话来自佛教的“火焰车”,在这种车上呆着当然痛苦不堪,一般指穷困之极或资金周转不灵的状态。

(3) ((2) の返答) 「いいけど、後で字が汚いとか、グチらないでよ。」

(4) 学年一の美人にコクられて、思わずキョドってしまった。

(5) もう疲れたよ。歩いて帰るのがいやだから、タクろうよ。

(6) 友達にCDを借りたまま、パクっちゃった。

4. 本文の「先生は、……運ばれたんだぞ」とは先生の立場からの発言ですが、生徒から見ると「先生に……運ばされたんだぞ(運ばせられたんだぞ)」となります。次の文をこれと同じように立場を替えて言い換えなさい。

(1) 小さい姪二人に瞬(まばた)きをさせたんだ。

(姪の立場から) _____

(2) あのと、「一肌脱ごうか」って女の子に言わせちゃったんだよ。

(女の子の立場から) _____

(3) カミさんはうちの狩猟犬におしゃべりや世迷い言なんか聞かせてさ。

(犬の立場から) _____

(4) 前の家が狭かったので、犬には尻尾をタテに振らせました。

(犬の立場から) _____

(5) 泣けて泣けて困るほど読者を泣かせるアイディアはないかなあ。

(読者の立場から) _____

(6) 先生の肩車姿が、生徒を笑わせた。

(生徒の立場から) _____

5. 口語体の特徴や俗語を生かしながら、次の慣用句を利用して、常体(だ体・である体)でその後の中国語を翻訳しなさい。

(1) いくら何でも→不管怎么说也不会选中他吧。

(2) ミソ(特徴となる点)→这篇文章的特点就是讲性却不色情。

(3) とてもじゃないけど→她的要求我实在是没法照单签收。

(4) 鼻に掛ける→拿这点儿小事来吹嘘,不是很没意思吗?

(5) 肩を貸す→别袖手旁观,伸手帮一把。

(6) 一肌脱ぐ→那好,我就助你一把。

(7) 火の車→有欠款没现钱,可谓捉襟见肘哇!

(8) 一枚上手→她的发表比你可棋高一着到两着呀!

6. 次の文章を読んで、下線部に対する質問に答えなさい。

落ちる、というのはチャット利用者が最もよく使う用語の一つで、退室するという意味のネット専門用語だ。チャットをやめ、そのチャットルー

ムのページから出る、という意味として使われている。

初め私は何が①どっからどこへ落ちるのかななどと考えて混乱するばかりだったけれど、何回かその言葉に出くわすうちにいつも会話の最後に用いられていることに気づき、なるほど落ちるは「帰る」意味だ、と分かった。人が仮想から現実へ落ちてゆくのだ。

②それにしてもなぜ「落ちる」などという言葉を使うのだろう。会話が一件落ち着いた、という明るい意味で使われているのかもしれないけど、③私は客が「落ちる」を使うといつももの哀しい気分になる。

④私はチャットルームにずっといなくてはならない立場だから、自分からは絶対に落ちることができない。だからいつも人が落ちていくのを見守る側である。「帰って」ゆく人にはまた会えそうな気がするが、「落ちて」いく人にはもう二度と会えないような気がするのは何故だろう。

別に、あの客にもう一度会いたい！なんていう悲愴な情熱はないのだが、⑤それでも共に濃い時間を三十分くらい共有した人が不意に⑥正気に返り、二人で創り上げた妄想の世界に私を一人置いてぽろりと落ちていく瞬間は、さすがにむなしいものがあるのだ。

そして私はそうやって一人の男が落ちた後、入れ替わりでやってきた新しい男と、また自己紹介から始めなきゃいけない。この果てしない⑦二期一会は「落ちる」をキーワードにして私の目の前で繰り返される。

- ①この文章の前後関係を考え、「どっからどこへ落ちるのか」を説明しなさい。
- ②「それにしても」の「それ」はなにを指しているのでしょうか。
- ③なぜ、「私は客が「落ちる」を使うといつももの哀しい気分になる」のですか。
- ④「私」はどうして、「チャットルームにずっといなくてはならない立場」にあるのですか。
- ⑤「それでも」の「それ」はなにを指しているのでしょうか。
- ⑥「正気に返る」は、どういう意味でしょうか。
- ⑦「二期一会」の意味を説明してください。

7. 次の二つの文章を中国語に翻訳しなさい。またこれに基づいて作られた会話文を読解しなさい。

鱧の革靴

王さんが鱧の革靴を選んだ。

「この鱧の革靴は気に入った。しかし……。」王さんは店員に聞いた。

「これは水に弱いんじゃない？」

「とんでもございません。全然大丈夫ですよ。」店員は即座に答えた。

「潜水服を着ている鰐を見たことはないでしょう。」

* * *

趙さんは、友人の王さんが格好いい鰐の革靴を履いているのを見て、羨ましくてたまらなかった。しかし、値段を聞いたら、びっくりするほど高かった。仕方なく、自分で鰐を捕まえようと決め、沼地に入った。

それほど探さないうちに、趙さんは鰐に出くわした。趙さんは命がけで鰐と格闘して、やっと鰐を気絶させ、岸に引き上げた。

ところが、引き上げた鰐を見て突然、趙さんは落胆した声を上げた。

「僕はなんと不運な男だろう！ せっかく危険をおかして捕まえた鰐は、裸足だった。」

会 話

店員 いらっしやいませ、何をおさがしですか？ ……あ、そうですか。では紳士用ですね。スポーツシューズでしょうか。フォーマルなものもございませが……お待たせいたしました。こちらなどいかがでしょうか。

男 しかし、これは水に弱いんじゃないのか？ 雨の時は大丈夫？

店員 いえ、その心配はございません。ワニですよ。水着を着ているワニをごらんになったことがおありですか？

* * *

男1 くそっ、あいつめ。俺と同じ安月給の分際で生意気にワニの靴なんか買いやがった。くやしいなあ。よし、俺も買おう！

男2 しかし、お前は今借金まみれじゃないのか？ どこにそんな金があるんだ？

男1 たしかに。よし、最後の手段だ。自分で原料を仕入れに行こう。

男2 原料？ ワニ皮？

男1 いや、ワニだよ。ということで、俺は明日から三日間会社を休むから。課長にはよろしく言っといて。

* * *

男2 おう、帰ってきたか。で、どうだった？ 首尾よく入手できたかい？

男1 いや、それが……。

男2 だめだったか？ やっぱりワニ相手に人間じゃ勝てなかつただろ。

男1 いや、必死で格闘すること八時間、なんとか勝つには勝つたんだ。

でも、一つ盲点があったんだ。

男2 勝ったのかよ！ すごえなあ。
で、盲点ってなんだ？ 靴の作り方がわからないってことか？

男1 いや、違うんだ。たおした後で必死にさがしたんだけど、ワニのやつ、靴を履いてなかったんだ！



8. 新出単語の説明を読んで、その単語の中国語の意味を考えなさい。

1. 即座(そくざ)[名]すぐその場。即席。また、「即座に」の形で、副詞的に用い、ある事が行われてからすぐに、その場で、ある動作をするさまをあらわす。
2. 沼地(ぬまち)[名]沼や水たまりの多い地域。
3. 出くわす(で会す)[五自]予期しない物事に会う。でっくわす。
4. 命がけ(いのち懸け)[形動]生死を顧みないで、事に当たること。死ぬ覚悟ですること。懸命。
5. 落胆(らくたん)[名・サ]失望すること。期待などに反し、がっかりすること。
6. くたびれる(草臥れる)[下一・自]持続(使用)期間が長過ぎたため、当初の緊張(感)を保てない状態になる。また、その結果、いやけがさしたりなげやりな状態になったりする。
7. みすぼらしい(見窄らしい)[形]ぼろぼろの。不幸な。貧弱な。
8. フォーマル(formal)[形動]公式的であるさま。格式ばっているさま。形式的であるさま。
9. 分際(ぶんざい)(それほど高くない)身分。身の程
10. まみれ(塗れ)[名](血・汗・泥・ほこりなど)汚い物が一面に付く(付いてよごれて見える)。
11. 首尾よく(しゅびよく)[副]初め計画した(予想した)通りに、うまく事が運ぶことを表わす。
12. 入手(にゅうしゅ)[名・サ]価値の有る物を、自分の物にすること。
13. 盲点(もうてん)[名]①光があたっても光覚を起こさない網膜の視神経乳頭の部分。マリオットの盲点という。盲斑。②(比喩的に)うっかりして人の気づかない点。

的样子,忍不住就要笑。

山内 这让我想起我的小侄女,她小学一年级的時候,有一次,对着正扔椅子胡闹的男生大叫:“太危险了!”接着竟把课桌给扔了过去。我站在一旁看着这光景,忍不住“扑哧”一声笑了出来。

福井 你这一说,让我也想起一件事儿。高中时,我和我哥发生口角,而且我还站了上风。我哥特别生气,大声训斥道:“你有什么资格跟我斗牙?”

山内 斗牙?可能想说顶嘴、作对之类的,给搅混了吧?我小侄女跟她朋友一起玩电视游戏,小朋友嫌侄女动作太慢,说:“哼,你反应这么没劲啊!”要说也该说“反应慢”吧。

福井 嗬嗬,这些都是小孩子成长过程中常见的事儿,是他们努力掌握语言的标志。我小侄儿两岁、小侄女三岁时,有一天俩人同时跑来说:“眼里进沙子了。”我想让他们眨巴眨巴眼睛,于是说:“眨巴眨巴看看?”小侄儿听后用双手啪啪地拍眼皮,而小侄女则闭着眼啪啪地拍双手。

山内 嗯,的确是在一步步地长大呀。不过,一些孩子气的说法,换到成年人身上,就显得滑稽了。

福井 我母亲所在的公司里,有个不谙世事的男子,有一次他要去海外旅行,第一次申请护照,填表时,有一栏写着“SEX”,他不知道是“性别”之意,想了半天,最后居然填写:“无此经验”!

山内 哈哈!这可是由误解产生的意外幽默啊。你的话又让我想起件事儿来,有次上初二的社会课,正学到欧洲国家,班长阿聪突然被老师问道:“希腊的首都在哪儿?”情急之下,阿聪回答道:“雅……雅……,你猜猜呀!”全班顿时爆笑如雷,连老师也夹在里面笑得不行:“你就这么想让别人猜呀?嗬嗬嗬!”搞得课简直没法上下去了。

福井 是啊,语言的联想可是幽默不可缺少的元素啊。我想起了在父亲公司打工的事儿。公司因空调开得太足,冷得我直打哆嗦,可父亲却全然不理睬地嘀咕着:“热啊,热啊。”来谈生意的客人接过话头:“那是董事长您满腔热情呀。”我想这话说得还真有些水平,岂料父亲的回答更胜一筹:“我是坐在火焰车上——日子难熬啊!”哦,原来“热”指的就是这个呀!看来问题有点严重了。

第14課 病院の話

本课登场人物的角色虽然设定为“大学生”，但是除了男性用语和女性用语以外，上下关系并不明显，我们可由此推断两人为同年级或同班同学。不过，即便如此，“阿部”也偶尔使用了「それは、よかったですね」、「それは困るでしょうね」等敬体。不知您是否注意到，“阿部”使用敬体，都是在涉及到对方长辈的时候。这是为什么呢？请您分析。

本课以“森园”的爷爷吃糍粑塞住了喉咙为话题，引出了一系列的笑话。学完课文，您能反应过来最后一个笑话中「山!」「E!」「ヨ!」「M!」说法的幽默之处在哪儿吗？您不妨在参考译文之前，试解一下这“幽默谜团”，自考一下读解能力。

会 話

森園(男性、大学生)

阿部(女性、大学生)

森園 いよいよ正月だ。餅をつかなきゃ。

阿部 森園さんは、お餅好き?

森園 好きどころか大好物だよ。特に手作りのワラビ餅やヨモギ餅には目がないんだ。

阿部 ワラビ餅? 珍しいわね。でも、それは旬じゃないと……。

森園 いや、今は旬じゃなくても手に入るよ。まあ、便利になるにつれて、季節感がなくなるけど。

阿部 私は餅だったら何でも好き。

森園 そっか。うちのおじいさんも餅が大好きで、去年の正月に、よもぎ餅をほおぼって喉

基本語彙

1. 餅(もち)[名]年糕, 粘糕
2. つく(搗く / 春く)[五他]捣, 春
3. 大好物(だいこうぶつ)[名]最喜欢吃的食物; 最嗜好的东西
4. ワラビ(蕨)[名]蕨(菜), 乌糯
5. ヨモギ(蓬 / 艾)[名]艾, 艾蒿, 蒿属植物
6. 旬(しゅん)[名](鱼、蔬菜、水果等的)旺季, 味道最鲜美的季节; (喻)最好时机
7. ほおぼる(頬張る)[五他]大口吃, 把嘴塞满; (转)贪得无厌

基本語彙

8. 喉(のど)[名]咽喉, 喉
咙, 嗓子; (转) 嗓音, 歌
喉, 歌声; (转) 要害, 致命
9. 大の(だいの)[連体]极
其, 很, 非常; 伟大, 优
秀, 高大
10. 車酔い(くるまよい)
[名・サ自]晕车
11. 発車(はっしゃ)[名・
サ自]开车, 发车
12. ゲロゲロ[副]哇哇地
(呕吐)
13. はき出す(吐きだす)
[五他](嘴里、谓里的
东西)吐出; 倾吐(心里
话); 喷放出(烟等), 涌
出, 释放出; (将自己积
存的钱物)拿出, 舍弃
14. 功名(こうみょう)[名]
功名
15. 応急(おうきゅう)[名]
应急, 抢救, 急救
16. ドクター(doctor)[名]
医生; 博士
17. 判明(はんめい)[名・
サ自]判明, 判断清楚
18. 病名(びょうめい)[名]
病名
19. 念のため(ねんのた
め)[副]为了慎重起
见, 为了防备万一
20. 採血(さいけつ)[名・
サ自](医)(验血、输血
时)采血, 取血
21. 浮き出る(うきでる)
[下一・自]露出, 浮现
出来; 浮出, 漂出(水
面)
22. 縛る(しばる)[五他]
绑, 捆, 结扎; 束缚, 限
制; 逮捕, 绑上
23. グー(石)[名](划拳游
戏中的)石头
24. パー[名・形動ダナ]
(划拳游戏中的)布; 钱
物皆无, 精光; (计划)
落空; 混蛋, 缺心眼, 傻
25. チョキ[名](划拳游
戏中的)剪刀, 剪子

に詰まらせ、救急車で運ばれたんだ。

- 阿部** あら、大丈夫だった？
- 森園** いや、そのせいで命を落としてしまう人も
いるからな。
- 阿部** で、おじいさんは助かったの？
- 森園** 無事だったよ。おじいさんは大の車酔いだ
ったから。
- 阿部** それがどう関係してたの？
- 森園** おじいさんは車酔いが激しくて、発車する
ともうゲロゲロ。おかげで餅が出て助かっ
たんだ。
- 阿部** それは、よかったですね。
- 森園** 餅をはき出したおじいさんは、不思議に車
酔いも治ってしまってたんだ。
- 阿部** まさにけがの功名ね。
- 森園** ところが、おじいさんが元気を取り戻した
のに、応急措置をしたたドクターは急に気
分が悪くなって倒れたんだ。
- 阿部** え？ それはどうしたわけなの？
- 森園** 最初は理由がわからなくて、おじいさんと
一緒に病院へ運ばれたんだ。後で判明した
が、病名は車酔いだそうだ。
- 阿部** ホホホッ！ おじいさんに車酔いを移された
のね。で、おじいさんはそのまま戻ったの？
- 森園** いや。一応、念のために、あれこれと検査を
受けて、採血までされたそうだ。おじいさ
んの話によると、採血するとき、血管が浮き
出なかったの、腕を縛られて、手をグーパ
ーするように言われたんだ。おじいさん
は、看護師さんに、「チョキはだめかね？」つ
て言うと、「仕事中ですので、冗談は言えま

せん」って冷たくあしらわれたそうだ。

阿部 ムフフ。命からがら運ばれたのに、すぐ冗談を言えるおじいさんって可愛いわね。

森園 それがおじいさんの長生きのコツかも。で、その日、僕がおじいさんを迎えに行ったとき、ある看護師さんがおじいさんに、「お迎えが来ましたよ」って言うと、おじいさんは、「うん。知つとる。前から呼びがかかってるんじゃが、心の準備がまだできていねえから、遠慮させていただこうって伝えて」って言って、その看護師さんを困らせたのさ。

阿部 うーん。それは困るでしょうね。私も今のギャグに、「あれ」って首をひねったわ。

森園 いや、もっとおもしろいのがあるよ。この間、おじいさんが風邪を引いて、僕が病院まで付き添って行ったんだ。診察室へ呼ばれるのを待ってたら、おじいさんの隣に座ってた同年輩のおじいさんに病氣自慢をされて、自分が患ったありとあらゆる病氣の症状を話されて、うちのおじいさんは全て「俺もそうだった」って返事してた。とうとう「実は俺は一度死んだんだよ」って臨死体験へと話が飛躍した。うちのおじいさんは相変わらず、「俺も三途の川、渡りかけたなあ」って対応してた。言いだしっぺのおじいさんは、悔しさのあまり震え声で、「お、俺は、ここの小谷先生に看取ってもらったんだから！」って言ってしまったのさ。うちのおじいさんは、にこやかに相手を見つめてひと言言った。「じゃが、幽霊にしては元気じゃ

基本語彙

26. 命からがら(いのち辛辛)[副]冒着生命危险,拼命,冒死,豁出性命
27. 長生き(ながいき)[名・サ自]寿命长,长生,长寿
28. ギャグ(gag)[名](演剧、演片等的)笑话,噱头
29. ひねる(捻る)[五他]用手捻,拧,扭,捏;扭转;左思右想;构思,斟酌文字;别出心裁,与众不同;击败
30. 付き添う(つきそう)[五自]跟随照管,服侍,护理
31. 同年輩(どうねんばい)[名]年纪相仿(的伙伴)
32. 患う(わずらう)[五自他]患病,生病
33. ありとあらゆる[連語・連体](「あらゆる」的强调表现)所有,全部,一切;各种的,各式各样的
34. 症状(しょうじょう)[名](医)症状,症候,病情
35. 臨死体験(りんしたいけん)[複]临终体验,死亡体验
36. 飛躍(ひやく)[名・サ自]跳跃;活跃;飞跃,跃进;(思想)不连贯,飞跃
37. 三途(さんず)[名]黄泉之路;幽冥三途
38. 小谷(おたに)[名](日本人姓)小谷
39. 看取る(みとる)[五他](旧)看护,护理(病人)
40. にこやか[形動ダナ]笑容满面,和蔼可亲,和和气气
41. 幽霊(ゆうれい)[名]幽灵,鬼魂,亡魂,幽魂

基本語彙

42. 澆刺(はつらつ)[形動
タルト](人等)精力充
沛,充滿生机,健康活
泼;魚等跳躍貌
43. 縁(えん)[名](佛)縁
份,机缘;血缘,姻缘;
关系,关联,因缘;套
廊,廊子
44. 霍乱(かくらん)[名]
(旧时多指)急性腸炎,
霍乱;(现多指)中暑,
日射病
45. 色白(いろじろ)[名・
形動ダナ]皮膚白晳,
皮膚洁白(的人)
46. 七難(しちなん)[名]
种种缺点,许多缺点;
(佛)七种灾难(流行
病、外患、内乱、风水
害、火灾、霜害、日月
食)
47. 災難(さいなん)[名]
灾难,灾祸(主要用于
个人)
48. 体脂肪率(たいしぼう
りつ)[名]皮下脂肪率
49. ベテラン(veteran)
[名]老手,老练的人,
老资格
50. プラマイ[名](「プラ
スーマイナス」的略
语)好坏,正反,加減,
阴阳
51. 近眼(きんがん)[名]
(医)近视眼;(喻)目光
短浅,鼠目寸光的人

よ」って。

阿部 フフフッ! お互いにジジッパリもいいと
こね。

森園 まあ、まあ、それは別として、阿部さんって
いつも元気澆刺オロナミンCで、病院とは
縁が遠いだろう。

阿部 ええ。風邪さえ滅多に引かなくて、たまに
風邪気味になると家族に「鬼の霍乱」って言
われるほど。

森園 それはそれは。阿部さんは色白で、「色の白
いは七難隠す」ではなくて、「色の白いは七
病を隠す」じゃないかな?

阿部 そうでもないの。それで災難をよぶときも
あるのよ。色白で体脂肪率も十五パーぐら
いしかないから、血管がどこを通ってるか、
皮膚の上からでも確認できるの。だから、
身体検査で病院に行くたびに、ベテランの
看護師さんが「おっ!」みたいな反応をして、
そのたびに必ずと言っていいほど、次に出
てくるのは若い看護師さんなのよ。「お願
いだから私の腕で注射の練習をするのはや
めて」って、いつも心の中で嘆いているの。

森園 なるほど。なにごとにもプラマイがあるん
だね。それにしても、阿部さんには何一つ、
悪いところがないのかな?

阿部 うーん……あるとすれば、性格かな……。

森園 ああ、なるほど……いやいや、そういう意味
じゃなくて、体に悪いところがないかって
いう意味さ。

阿部 目が悪いの。

森園 そうは見えないね。近眼?

阿部 　　というか、この間、眼科検診で、「山!」「E!」「ヨ!」「M!」って最初の間は答えられたけど、最後にはハタと行き詰まったの。

森園 　　視力検診表もいろいろあるね。……ってゆーより、目が悪いんじゃないかって、ふざけてるんじゃないか?

阿部 　　フフフ……ばれたか。

森園 　　ほら、やっぱり。うちのおじいちゃんと五十歩百歩だぞ。

阿部 　　そうよね。お宅のおじいさんと心が通じ合うような気がするわ。

森園 　　阿部さんの話で思い出したんだけど、運転免許の視力検査の時、前のおやっさんが指された絵を見て、「アユ!」って答えた。検査官は無言のままだったので、すかさず大きな声で、「いや! 違った。コイ! 鯉やああああ」って叫び続けた。向きを言わなければね。

阿部 　　ムフフフ! それは私の「山!」「E!」「ヨ!」「M!」の真面目版ね。

基本語彙

52. ハタと〔副〕突然，一下子；(用掌)拍，打，搥；(砰地)关上门等；猛然(撞上)；睨视貌
53. 行き詰まる(ゆきづまる)〔五自〕停滞不前，停顿，陷入僵局；走到尽头，走不过去；穷途末路，走投无路
54. 五十歩百歩(ごじっぽひゃっぽ)〔連語〕五十歩笑百歩《孟子・梁惠王》，相差无几，半斤八两
55. 通じ合う(つうじあう)〔五自〕心心相印，心心相同，心有灵犀
56. アユ(鮎 / 香魚 / 年魚)〔名〕油香魚，香魚(淡水魚，日本特产)



よ。/前些天参加巴士一日游的时候,旁座的人在前方座椅的网袋里放了一只买来的呕吐袋。“哎呀,现在呕吐袋居然上市场了!”我一面想一面仔细打量,只见品名写的是:“哇哇牌呕吐袋”。这岂不是在催人呕吐吗?

7. 命からがら運ばれたのに、すぐ冗談を言えるおじいさんって可愛い。

「命からがら」意为“好不容易逃出活命”即“差点儿没完蛋”。

◇熊に遭遇して、命からがら逃げ切った。/碰到熊,好不容易才逃掉。

8. 「お迎えが来ましたよ」って言うと、おじいさんは、「うん。知つとる。前からお呼びがかかっているんじゃが、心の準備がまだできていねえから、遠慮させていただこうって伝えて」って言って、その看護師を困らせたのさ。

「お迎えが来た」有“来迎接(您)了”和“接您升天”两重意思,所以课文中“爷爷”开了一个玩笑,说他还没准备好马上升天。「お呼びがかかる」干脆就是“濒临死亡”之意。

◇あの様子じゃ、もうお呼びがかかっているんじゃない? /看那样已经离死不远了。

9. 私も今のギャグに、「あれ」って首をひねったの。

「首をひねる」就是“歪头不解”,即“百思不解”。

◇正解は何だろうと首をひねってばかりいた。/正确的回答是什么呢? 百思不得其解。

10. 「俺も三途の川、渡りかけたなあ」って対応してた。言いだしっぺのおじいさんは、悔しさのあまり震え声で、「お、俺は、この小谷先生に看取ってもらったんだから!」って言ってしまったのさ。

「三途の川を渡る」即“越过黄泉路”,也就是我们常说的“见上帝去了”。

◇片足はもう棺桶に踏み込んでいて、そのうちに三途の川を渡るかな。/一只脚已经踏进了棺材,不久就要见上帝去了吧。

「言い出しっぺ」也可写作「言い出しっ屁」,原意为“先喊臭的就是放屁之人”,转用来表示“先发话(之人)”,也有“先发话的人先负责任”之意。

◇君は言い出しっぺだから君からやり出してよ。/你先提议的你就得先做起来呀。

「看取る」在这里意为“临终看护”。

11. 「じゃが、幽霊にしては元気じゃよ」って。

「～にしては」意为“作为～来说”、“就～而言”。

◇金持ちにしては身だしなみがみすぼらしすぎるぞ。/作为大款来说,服饰未免太寒酸了吧。

12. 阿部さんっていつも元気澁刺オロナミンCで、病院とは縁が遠いだろう。

もいくつかの意味があります。次の文の「いよいよ」はどういう意味か考え、下から選びなさい。

- (1) 彼はいつもどっちつかずの態度だけど、いよいよとなったら決意するだろう。
- (2) いよいよここまで来てしまった。もう後戻りはできないぞ。
- (3) 君、これはいよいよ間違えだぞ。もう一度よく考えてみろ。
- (4) あの作者は、いよいよとなるまで何も書かない。編集者の身にもなつてほしいもんだ。
- (5) 試験が目前に迫り、勉強しなければいけないという気持ちがいよいよ強くなった。
- (6) いよいよ僕の番だ、はあ、緊張するな。
①その上に、より一層。ますます。 ②確かに。間違いなく。
③とうとう。ついに。 ④さしせまった状態。

2. 本文中にある「首をひねる」のように、日本語には「首」を使った表現が数多くあります。次の文の()に当てはまる表現を下から選び、適切な形にして書きなさい。

- (1) 経営はうまくいかないし、借金は増えるし、どうにもこうにも()よ。
- (2) うちの子は本当に歯医者嫌いで、()て連れて行ってるのよ。
- (3) 総務課の山本さん、最近見ないと思ったら、どうやら()らしいぜ。
- (4) 本来の事業以外のことに()すぎると、かえって痛い目に遭うんじゃないかな。
- (5) 彼女が二年間の海外勤務から戻ってくるのを、()て待っている。
- (6) あいつ、自分の間違いをズバリ指摘されて、()ちゃったよ。
①首を切る ②首を長くする ③首を突っ込む
④首が回らない ⑤首をすくめる ⑥首に縄を付ける

3. 次に示したのは、一語で複数の意味を持つ語です。①～③を読み、説明にあう用例を一つ選びなさい。

- (1) 詰まる＝短くなる
①不意に質問され、言葉につまった。
②その材質だと、洗うとつまるよ。
③もう暑苦しくて息がつまりそうだ。
- (2) 落とす＝陥(おとしい)れる

- ①大事な試合をおとしてみんながげんなり。
 ②この洗剤でおとした方がいい。
 ③私をわなにおとしてどうするつもりだい?
- (3) 移(遷)す=場所を変える
 ①注意をうつす。
 ②やっとその計画を実行にうつさせた。
 ③それだったら時をうつさず実行しよう。
- (4) 捻(拈)る=工夫する
 ①これはさすがにひねった出題だね。
 ②踏み外して足首をひねった。
 ③ガスの元栓をひねる。
- (5) 呼(喚)ぶ=引きつける
 ①疑惑は更に疑惑をよんでいた。
 ②あのドラマは、熱狂的な人気をよんでいる。
 ③よべば聞こえるところに来ている。
- (6) 答(応)える=強い影響を受ける
 ①その呼びかけにこたえなければいけないでしょう。
 ②この寒さは身にこたえるぜ。
 ③ヤッホーと大声で叫んだらこだまが反響してこたえてきた。
4. 「よもぎ餅をほおぼって喉に詰まらせ、救急車で運ばれた」では、「喉に詰まって」というのが普通の言い方ではないかと思われるかもしれませんが、「詰まらせる」といった表現は「解説」に見るように頻繁に表れます。次の言い方を、同様に使役の形に直しなさい。
- (1) 「ナッチャン、目が腫れてるよ。」「うん、蚊に顔を刺されちゃったの。」
 (2) 子供が風邪を引いてしまって出かけられません。
 (3) 山岳会責任者「冬山で会員が二人遭難してしまいました。」
 (4) 子供を虫歯にしてはいけません。
 (5) 彼は声が詰まって後が続かなくなった。
 (6) あのやろう、大尽風(だいじんかぜ)を吹きやがって。
5. 次の慣用句を利用して、敬体(です・ます体)でその後の中国語を翻訳しなさい。
- (1) 焼き餅をやく→你可以妒火中烧,但切莫把房子给烧了。
 (2) ～に目がない→河鱼土腥味重,我不喜欢,不过对海鲜我可不要命。
 (3) 命を落とす→死在战场上,只留下年迈的母亲和借款。

- (4) 大の～→她父亲对魔术喜欢得不得了,总是这样那样地给她表演魔术技巧。
- (5) 首を捻る→无论怎么绞脑汁都得不到正确的答案。
- (6) ～にしては→作为工学院来说,还算规模较大的大学吧。
- (7) 色の白いは七難隠す→白皙的肌肤是她的优点,不是有句话吗:一白掩九丑。
- (8) 必ずと言っていいほど→这个地方呀,一下雨肯定就会刮大风。

6. この教科書の解説を参考に、下線部の言葉の解説を試みて、例文を一つずつ上げ、翻訳してください。

- (1) それはあまりにも蒸し暑い夜のことでした。何もしていないのに、汗がじわっとにじんできます。クーラーが苦手な私は、「こりゃ、たまらん。たしか押入れにもう一台、扇風機があったな。」と思い出し、押入れの一番奥にある扇風機を見つけました。「もう、夏なんだから、扇風機くらい出しとけ。」とぶつぶつ言い、さらに汗をかきながら引っ張り出しました。そして、その扇風機のスイッチをオン!「ぶおーん」という音とともに、扇風機が真っ赤に……。それは、扇風機の形をしたハロゲンヒーターでした。

解説

- (1) 「あまりにも」
◇
- (2) 「じわっと」
◇
- (3) 「扇風機くらい出しとけ」
◇
- (4) 「ぶつぶつ」
◇
- (5) 「汗をかく」
◇
- (6) 「～とともに」
◇

7. 次の会話を中国語に翻訳しなさい。またこれに基づいて作られた会話文を読解しなさい。

ごろごろ

- (1) ある日曜日の昼下がりのことだった。リビングの掃除をしようとし

てゴロゴロしてる旦那に、「ちょっと掃除したいから手伝ってよ」と言ったところ、「俺はなー、毎日種馬みたいに働いてくたくたなんだよ!」っとのたまった。あんた、それを言うなら「馬車馬」だろが……。毎日、会社でどんな仕事しとんじゃ!

- (2) 今朝、主人が「会社に行きたくねー。ゴロゴロしていてえー」と言って、ベッドの上でゴロゴロしてた。「休みの日も仕事から帰ってきてゴロゴロしてるじゃない?」と言ったところ、「そのゴロゴロとは違うんだよー」とゴロゴロしてた。ゴロゴロに種類があるのだろうか?

会 話

夫 おい、そこ汚れてるぞ。

妻 気になるなら自分でやったら? なによ、トドみたいにソファーの上でゴロゴロして。

夫 だってよ、俺は毎日毎日疲れてるんだぜ。たまの休みくらいゴロゴロしてたってばちは当たらないと思うけどなあ。

妻 だってそこでゴロゴロされてると邪魔だから。

夫 何だい、その言い方は。気に入らないな。もっとやさしく言わないと俺は起きないぞ。

妻 あなた、朝ですよ。

夫 うん。

妻 でも、無理はなさらぬように。

夫 そうか、じゃあお言葉に甘えて。

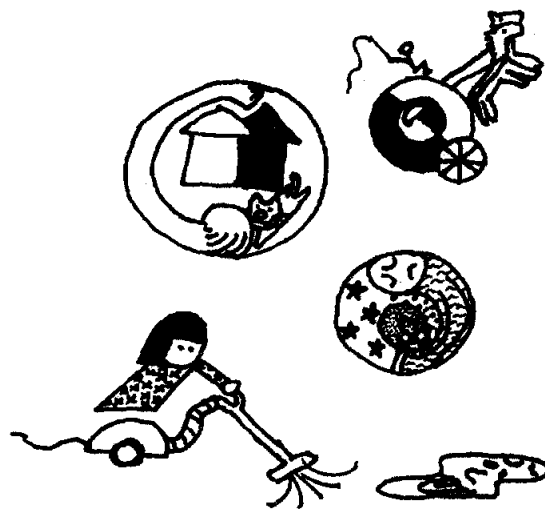
妻 なによ、自分で起きるって言っというて結局起きないじゃないのよ。

夫 規則には例外があるんだ。原則にも規定外のことが……。

妻 でも、遅刻にはもれなく罰則があるわよ。これ以上寝てると本当にあぶないわよ。

夫 あと五分でいい。ゴロゴロさせておくんなせえ。

妻 だって、あなた休みの日にはいつもゴロゴロしてるじゃないの。



森园 当然啰,因为我爷爷晕车晕得厉害。

阿部 这有什么关系呀?

森园 爷爷晕车晕得厉害,车一开就哇哇大吐,很庆幸糍粑被吐了出来,人得救了。

阿部 哇,这真太好了!

森园 爷爷吐出了糍粑,不可思议的是,连晕车也不治而愈。

阿部 真是因祸得福呀。

森园 可是,爷爷刚恢复过来,抢救爷爷的医生却突然感觉难受倒下了。

阿部 诶? 这又是怎么回事儿?

森园 开始谁也弄不清怎么回事儿,把医生和爷爷一块儿送到了医院,后来才知道,病名是晕车。

阿部 嗬嗬嗬,从你爷爷那儿传染上的吧。对了,你爷爷就那么回家了吗?

森园 不不,为防万一,做了各种各样的检查,还被抽了血。听爷爷说,抽血的时候血管不好找,护士把他胳膊扎紧、叫他攥紧拳头、再伸开五指,他对护士说:“出剪子不行吗?”护士没好气地说:“在工作,不能开玩笑。”

阿部 嘿嘿嘿,差点没了命,可一送到医院就能开玩笑,你爷爷可真幽默。

森园 这也许是爷爷长寿的秘诀吧。那天我去接他,有位护士告诉爷爷:“有人要接你走了。”爷爷说:“嗯,知道了。早就在召唤我了,可我还没做好心理准备,转告他这次就免了吧。”把护士弄得不知所措。

阿部 嗯……那当然会不知所措了。您爷爷的玩笑话让我也一下子没回过神来。

森园 这不算什么,还有更搞笑的呐。前不久,爷爷患了感冒,我陪他去医院。在排队等叫号时,有位年龄相仿的老头子坐在他身边,向他吹嘘自己的病如何如何,说了一大堆所患病状,爷爷听了只回答一句:“我也是。”最后,谈话终于跃升到了临终体验,老头子说:“其实呀,我已经死过一次啦!”爷爷仍不动声色地对答道:“我也到过黄泉边上啊!”自讨没趣的老头子无比懊丧,竟颤抖地说:“这……这里的小谷大夫给我送过终呐!”爷爷面带微笑看着对方,说了一句:“不过嘛,就鬼魂来说,你身体还算健壮。”

阿部 哈哈! 互相斗嘴也得有个度吧。

森园 说得也是。对了,阿部,你平常总是“饮用红牛,精力充沛”,和医院无缘吧?

阿部 嗯,连感冒也很少患,偶尔有点感冒,也被家里人说成是“壮牛打了个喷嚏”。

- 森园 真了不起。你皮肤白皙,不是“一白遮百丑”;而是“一白遮百病”嘛。
- 阿部 并非如此呀,也有因此引火烧身的时候。我皮肤白、皮下脂肪率又在15%左右,所以血管的位置在皮肤上一目了然。因此,只要我去医院做体检,老练的护士便会“嗨!”的一声,接着来到我跟前的必定是年轻护士。每当此时,我心里就一阵哀叹:拜托了,别拿我的胳膊练习注射呀。
- 森园 那倒也是。什么事都有正反两面嘛。话虽如此,阿部你就没什么不好的地方吗?
- 阿部 嗯……要说有的话,就是性格……
- 森园 可不是嘛……不,不,不是那个意思。我的意思是说身体方面有没有不好的地方。
- 阿部 眼不好。
- 森园 看不出来呀,近视眼?
- 阿部 怎么说呢?前不久,我做眼科检查,刚开始我还能答“山!”“E!”“左拐!”“M!”后来就突然卡住了。
- 森园 视力检查表还真是花样多多呐,可有点……,明白了,你不是眼睛不好,是搞笑吧?
- 阿部 嘿嘿嘿,露馅了。
- 森园 你看看,果然没错。你和我爷爷可真不差上下。
- 阿部 可不是嘛!所以我觉得和你爷爷有些灵心相通呐。
- 森园 听你刚才的话我想起来了,考驾照视力检查的时候,在我前面的一个老头儿,盯着被出示的图像回答:“香鱼!”一看检查官不作声,立刻不停地大声叫道:“错了!错了!是鲤鱼!鲤鱼呀……!”得指出朝向呀。
- 阿部 真好笑,这可是我的“山!”“E!”“左拐!”“M!”的真实版呐。

第15課 文章をディス カッションしよう(一)

本课程内容节选自《日语文学作品读解与翻译》(中国科技大学出版社, 2005年)中的《归乡》。

课文描写了主人公在爱情上的挫折以及与人打斗的情节,似乎“文学性的表述”比较多,但实际上,笔者在撰写这篇作品时,有意识地使用了口语讲述的形式,使得作品通篇具有了日常会话的特征。

会 話

伊藤(大学院教官)
李(中国人留学生)

伊藤 この間の続きを読んでもらおう。大きな声で。

李 あ、はい。(朗読)唐叔叔は密かに儲運公司以電話交換手を勤める女性に想いを寄せていた。時々、その女性の机に野原で摘んできた綺麗な花を置いたりしていた。鶏の求愛は花より団子の諺にあるとおり、餌そのものが肝要なのだ。しかし、人間は大概、団子より花で攻める。まず第一段階をクリアして、それからやっと団子に戻る。ちょっと遠回りなやり方だが、それは文化なのだから致し方ない。何しろ人間だけが求愛行為を文化にまで引き上げることができたと言われているのだ。だから人間は鶏より賢く進

基本語彙

1. ディスカッション(discussion)[名・サ自他] 讨论
2. 密か(ひそか)[形動ダナ] 秘密,暗中,悄悄,偷偷
3. 儲運公司(ちようんこんす)[名] 储运公司
4. 交換手(こうかんしゆ)[名] 电话接线员,话务员
5. 寄せる(よせる)[下一・他] 尊敬,爱慕,倾心,寄托(思慕),寄予(同情),表示(关心等);(使)接近,移近,靠近;召集,集中;寄送;借故,借口
6. 求愛(きゆうあい)[名・サ自] 求爱
7. 肝要(かんよう)[名・形動ダナ] 重要,极其重要

基本語彙

8. 大概(たいがい)[名]大体,大概,多半,十有八九;适度,不过分;大略,梗概;大部分,差不多
9. クリア(clear)[名・サ他・形動ダナ](跳高、跳远等的)越过,跨过;清除,计算机等清零,“清机”指令;(足球的)解围;头脑清晰
10. 遠回り(とおまわり)[名・サ自・形動ダナ]迂回,绕弯,不切实际,不直截了当;走弯路,绕远路
11. 致し方(いたしかた)[名]方法,办法(=「しかた」)
12. 貞操(ていそう)[名]贞操,贞节
13. 北極(ほっきょく)[名]北極
14. カチンカチン[形動ダナ・副](冰、雪等物质)坚硬,硬梆梆;(转)顽固,不灵活
15. ハート(heart)[名]心,感情,爱情,同情心;心地,内心,心肠;(扑克牌的)红桃
16. 釣り合う(つりあう)[五自]相称,相配,匹配,协调,匀称;保持平衡,均匀
17. 連れ添う(つれそう)[五自]婚配,结婚
18. 栄える(さかえる)[下一・自]兴盛,繁荣,兴旺;气氛浓厚,活跃
19. 貴ぶ(とうとぶ)[五他]尊敬,尊崇,尊重,崇敬;重视,珍视,珍重;遵守
20. 古訓(こくん)[名](文)古训;汉字、汉文的古代读法
21. 見込み(みこみ)[名]可能性;希望;预料,估计,预定
22. 洩(はな)[名]鼻涕
23. 引っ掛ける(ひっかける)[下一・他]挂上,挂起来;刮开,刮破;披上;欺骗;大口喝酒;溅水,吐唾沫

化できた。ただし、花攻撃は、必ずしも成功を保障しているわけではない。堅い心を開くカギにしては、それでは柔すぎる。この交換台の女性は、「冷たい美人」と評判になるぐらい、貞操を守るかのように笑顔を惜しんで、子供の僕にさえ微笑み一つくれなかった。僕は、彼女がたった今北極から戻ってきたばかりで、顔の皮膚の下にはまだ張りつめた氷が融けずに残っているのではないかと思ったことさえあったのだ。カチンカチンに凍ったそんな彼女のハートが彼の情熱に打たれ、融けてしまうはずはなかった。「嫌だわ、私は彼と釣り合う程度の女に見られているのかしら」と、彼女は僕の母に訴えたこともあったそうだ。中国の女性の価値は一緒に連れ添う男のレベルによって決まるらしい。それも伝統というものだろう。だから「夫が栄えれば妻も貴ぶ」という古訓があるくらいだ。というわけで、一向に栄える見込みのない唐叔叔なんかは洩も引っ掛けないのは当たり前だった。その代わりというほどでもないが、唐叔叔はある日、とんでもない物を引っ掛けられることになった。儲運会社の運転手だった「冷たい美人」の父親が、彼が僕を連れて食堂へ向かう途中、弁当箱を洗った水をタイミングを見計らって折り目のついた彼の高級ズボンに掛けたのだ。彼女からではなく父親からの突然の挑発に、唐叔叔はとっさに状況判断ができず、しばらく立ちすくんでいた。緊張の糸が張りつめたような沈黙、そして

爆発。

伊藤 はい。良くできたね。次は王さん。

王 はい。

「何をしやがるんだ、おめえ! 喧嘩でも売ろうってのかい!」

「冷たい美人」の父親は象のような巨漢だった。唐叔叔に近づき、小人を俯瞰するように頭の上から声を荒げた。

「ああ、売るとも。文句があるか?」

ドスのきいた声だった。その声は、南極の氷のように僕の体を芯まで冷やしたような気がした。

「あるとも。どういうつもりだ? 謝れ! 弁償しろ!」

さすがは唐叔叔だった。怯えた様子もなく、少林寺の構えを取り、右手を前に出し、指二本を相手に向けて突き出した。鶴が飛ぼうとするときの姿によく似ていた。白い顔がみるみる真っ赤に染まった。引きつった顔が笑っているようにも見えた。

象はまた一步踏み込んだ。歴史をひもといても、挑発する側から進んで謝ることはめったにない。だからアメリカは真珠湾で傷ついた名誉をなかなか回復することができず、業を煮やして広島に原爆を落としたのだと言う者もいる。象は当然、謝るために踏み込んだのではない。こうなると血生臭い争いはもう避けられまい、と見ていると、唐叔叔は突然隣の事務室に走り込み、インク瓶を一つ手にして戻ってきた。

「おめえ、これ以上近づいてみる。このイ

基本語彙

24. タイミング (timing) [名] 时机, 适时; 计时, 定时; 使同步
25. 見計らう (みはからう) [五他] (估计) 时间; 斟酌, 瞧着办
26. 折り目 (おりめ) [名] 折痕, 折缝, 折线; 规矩, 礼貌; (事物的) 段落
27. 挑発 (ちょうはつ) [名・サ他] 挑衅, 挑逗, 挑拨
28. とっさ (咄嗟) [名・サ自] 瞬间, 刹那间; 咂嘴, 叹息; 呼气
29. 立ちすくむ (たち竦む) [五自] (因恐惧而) 呆立不动
30. 張りつめる (はり詰める) [下一・自他] 心情紧张, 铺满, 布满
31. 巨漢 (きょかん) [名] (文) 彪形大汉 (=「おおおとこ」)
32. 小人 (こびと) [名] 身材矮小的人, 侏儒; (童话里的) 小人儿, 妖精; (古) (武士的) 仆人
33. 俯瞰 (ふかん) [名・サ他] (文) 俯瞰 (=「鳥瞰 (ちょうかん)」)
34. 荒げる (あらげる) [下一・他] (=「あらげらる」) 使……激烈起来, 使(声音变)粗暴
35. 芯 (しん) [名] 核心, 中心部分, 核, 芯; (领带、衣领的) 内衬布
36. 冷やす (ひやす) [五他] 使凉, 使冷, 镇; (喻) 使冷静, 使吃惊
37. 弁償 (べんしょう) [名・サ他] 赔偿
38. 怯える (おびえる) [下一・自] 害怕, 胆怯; 梦魇, 做恶梦害怕
39. 鶴 (つる) [名] 鹤; (喻) 白发
40. 引きつる (ひき攣る) [五自] (皮肤) 发僵, 变硬; (因烫伤等) 结成伤疤, 出褶; 痉挛, 抽筋

基本語彙

41. 真珠湾(しんじゅわん)
〔名〕(=「パール・ハーバー」(Pearl Harbor)) 珍珠港
42. 業(ごう)〔名〕愤怒, 生气; (佛) 烦恼; (佛) 报应; (佛) (来世报应的) 善恶行为) 业, 特指恶业、恶行、罪业
43. 煮やす(にやす)〔五他〕非常气愤; 煮, 煮沸
44. 原爆(げんぱく)〔名〕原子弹
45. 争い(あそい)〔名〕(「あそう」的名词化) 争, 争论, 争吵, 纠纷, 不和; 争夺, 竞争
46. 野次馬(やじうま)〔名〕(瞧热闹) 乱吵乱嚷(的群众), (跟在后面的人) 起哄, 怪叫, 奚落(的人们)
47. 割り込む(わりこむ)〔五自他〕挤进, 插入; 硬加入, 插嘴, 抢先, 抢嘴
48. 巨体(きょたい)〔名〕(文) 巨大的身躯
49. 侮る(あなどる)〔五他〕轻视; 侮辱
50. 媚び(こび)〔名〕媚, 巴结
51. 威嚇(いかく)〔名・サ他〕威吓, 恐吓, 威胁, 恫吓
52. 甲高い(かんだかい)〔形〕尖声的, 声音尖
53. しょうべん(小便)〔名・サ自〕小便, 尿; (俗) 毁约, 违约, 食言
54. 身の程(みのほど)〔名〕身份; 分寸
55. ドブネズミ(溝鼠)〔名〕褐鼠, 水老鼠; (喻) 背着东家贪污(捣鬼)的掌柜或伙计
56. 根拠(こんきょ)〔名・サ自〕根据
57. 判然(はんぜん)〔形動タルト・サ自〕明显, 明确, 明了, 了然
58. 否めない(いなめない)〔連語〕不能否认, 不可否认; 不能拒绝

ンクをぶっかけるぞ!」

インクごときでは原爆ほどの威力がないのか、周りの野次馬がどっと笑った。それを機に、何人かの女性が割り込んできて象の巨体を押さえた。

「もういい加減にやめなさいよ。こう見えても彼は少林寺ができるんだから侮れないわよ。」

女性たちは象の背中をなでながら媚びでも売るようになってきた。というのも少林寺は、辺鄙な都会である貴州では結構、威嚇効果があったのだ。

象は巨体だが、歳のせいで運動神経も鈍っている。少林寺にはかなわないと判断したのか、女性たちを残し、その場を離れていった。それでも諦め悪くなんども振り返り、甲高い声で吠えた。

「てめえ、しょんべんをして自分の顔を映してみろ、俺の娘に手を出せる顔か? 全く身の程を知らねえドブネズミだ。ど田舎のくそ泥を洗い落とすにはまだ百年かかるぜ、いや、千年もかからあ!」

伊藤 それじゃ、次は、趙さん。

趙 あ、はい。

その年数の計算はいったいどういう根拠から来ているのか判然としない。ただ時間の威力が絶大なものである事実は否めないだろう。田舎のくそ泥どころか、いかなる帝王の栄耀栄華でさえ、それによってきれいに洗い落とされ、歴史の塵の下に埋もれてきた。ただし、偉大な時間の効果が現れ

るまで、唐叔叔が待てるかどうかは別問題だ。歴史には一瞬だとしても人生にとっては永遠かも知れない。唐叔叔はそれを悟ったか、真っ赤だった顔が真っ青になり、「おめえの娘なんて、おめえの娘なんて」と繰り返すばかりだった。反論できないということは、往々にして相手の言い分を認めるという意味になる。だからといって彼が小便を鏡の代わりにするという提案まで受け入れたのかといえ、そうでもなかったようだ。彼はその後も、確かによく野外で立ちションはした。しかし、自分の顔を映してみたかどうかは不明である。手鏡をいつも持っていたから、たぶんそんなややこしいことはしていないだろう。

「てめえの女々しい顔を見ると反吐が出てしまうわい! 全く!」

象はとりあえず勝利を宣言し、あたかも縄張り争いに勝ち誇った犬のように肩で風を切り、闊歩しながら去っていった。

唐叔叔は拳を握りしめ、突然野次馬を押しよけ、自分の寄宿舍のほうへ走り出した。

「少林寺の武器を取りに行ったに違いない。あれほど馬鹿にされたんだ。殺しかねないぞ!」

野次馬はそう口々に言った。僕は背筋に寒気が走った。アメリカだってこんな恥辱を蒙れば、ありとあらゆるデザインのミサイルを死に物狂いに発射するだろう。本当にそうなったら大変だ。速いところ公安に電話を掛けて阻止してもらわなければ。それ

基本語彙

59. 帝王(ていおう)[名] 帝王, 皇帝, 天子
60. 栄耀(えいよう)[名] 荣耀, 荣华
61. 栄華(えいが)[名] 荣华, 豪华, 富贵荣华; 奢华, 奢侈
62. 一瞬(いつしゆん)[名] 一瞬, 一眨眼, 一刹那
63. 手鏡(てかがみ)[名] 手镜, 带把儿的小镜子
64. 女々しい(めめしい)[形] 像个女人, 懦弱, 柔弱
65. 反吐(へど)[名] 呕吐, 呕吐物
66. 縄張り(なわばり)[名] (赌徒、把头等的) 地盘, 势力范围; 圈绳定界, 拉绳定界; (建筑地基上) 圈绳划定建筑物的位置
67. 勝ち誇る(かちほこる)[五自] 得胜自慰, 因胜利昂然自得(自鸣得意)
68. 闊歩(かつぽ)[名・サ他] 阔步而行, 大踏步走; (喻) 四处横行
69. 押しよける(おし退ける)[下一・他] 推开, 排除; (把竞争者) 排挤掉, 压过别人, 战胜, 打败
70. 背筋(せすじ)[名] 脊梁沟, 脊背; (衣服的) 脊缝
71. 寒気(さむけ)[名] (身上) 发冷; (吓得) 发抖
72. ミサイル(missile)[名] 导弹, 火箭
73. 死に物狂い(しにものぐるい)[形動ダナ] 殊死地, 拼命地
74. 阻止(そし)[名・サ他] 阻止, 拦住
75. 半開き(はんびらき)[名] 半开 (=「はんかい」)
76. 櫛(くし)[名] 梳子, 梳子
77. 梳く(すく)[五他] (用木梳、篦子等) 梳, 梳理
78. ききれい好き(綺麗ずき)[形動ダナ] 喜欢清洁(的人), 洁癖

基本語彙

79. 梳かす(とかす)[五他]梳, 拢(头发)
80. 妖艶(ようえん)[名・形動ダナ](文)妖艳, 妖媚
81. 風情(ふぜい)[名]风趣, 情趣, 趣味; 様子, 情况; 招待, 款待;
82. すら[副助](文)连, 尚且(=「さえ」「まで」)
83. 察知(さっち)[名・サ他]察觉, 察知
84. 翻す(ひるがえす)[五他]翻转, 改变; 使飘扬, 使飘动; 闪开, 跳跃
85. 跪く(ひざまずく)[五自]跪, 跪下
86. 宰相(さいしょう)[名]中国的宰相(=「丞相(じょうしょう)」); 总理大臣, 首相(=「総理大臣(そうりだいじん)」)
87. 太っ腹(ふとっばら)[名・形動ダナ]度量大, 豁达; 大肚子(的人)
88. 引き合う(ひきあう)[五自]合算, 有利; 互相拉, 互相拽; (讲买卖的)询问, 函询
89. 秘技(ひぎ)[名]秘招, 绝招
90. 術(すべ)[名](文)术, 方法, 手段
91. えぐり出す(抉りだす)[五他]挖出, 剝出, 抠出; (转)揭出, 尖锐地揭露; (喻)(用讽刺话)挖苦
92. 相づち(あいづち)[名]帮腔, 随声附和, 搭腔; (打铁时)轮流打锤, 打对锤
93. 竜頭蛇尾(りゅうとうだび)[連語・名]虎头蛇尾, 有始无终, 有头无尾

より、あの象を殺す方を優先すべきかも知れない。殺し方にもよるが。僕はいろんなことを考えてドキドキしながら彼の寄宿舍へ走っていった。

ドアは半開きだった。そっとドアを開けると、彼は鏡の前で髪を櫛で梳いていた。きれい好きの彼はいつも女性と同じように髪を梳かすのか。彼の手つきに妖艶な風情すら感じた。汚れたズボンはすでに履き替えられていた。

僕の気配を察知したようで、彼はさっと身を翻してベッドの下からさっと鉄棒を抜き出してさっと構えた。誰だかわかるとまたさっと片足を跪いてさっと鉄棒を置き、「さあ、入りなさい」と手招きした。その振る舞いはどことなく芝居じみたところがあった。

「大丈夫? もう怒らない?」

僕は聞いた。

「『宰相の太っ腹に船が漕げる』って言うじゃないか。あの爺いのこと機嫌を損じたんじゃ引き合わない。あやつのお嬢ちゃんのメンツもあるしな。」

そして彼は唇をへの字にして、右手の指二本を僕の目の前に突き出して見せた。

「あの時、こうやって二本の指をあやつの目の前に突き出したのを見たろう? 格好だけと思っちゃいけない。実は、これはほんとに危ない技なんだぜ。あやつ、もしもう一步でも近寄ってきたら失明するところだった。なぜだと思う? これはすごい秘技な

2. 鶏の求愛は花より団子の諺にあるとおり、餌そのものが肝要なのだ。
 「花より団子」意为“去华求实”、“讲究实在”。
 ◇彼女へのプレゼントならスカーフよりチョコレートが良いよ、花より団子の人だから。/给她礼物，巧克力比纱巾好，因她是不讲究外观而重实在的人。
3. 一向に栄える見込みのない唐叔叔なんかには洩も引っ掛けないのは当たり前だった。
 「洩も引っ掛けない」原意为“连鼻涕都不愿揩过去”，当然也就是“非常冷淡”、“不愿搭理”、“不屑一顾”了。
 ◇彼女はクラスメートの男の子には洩も引っかけなかった。/她对同班同学连理都不理。
4. 何をしやがるんだ、おめえ！喧嘩でも売ろうってのかい！
 「喧嘩を売る」意为“找茬儿”、“寻衅”。
 ◇てめえ、喧嘩売りにえなら、この俺に売れ。/你要想找茬打架那就找我！
5. だからアメリカは真珠湾で傷ついた名誉をなかなか回復することができず、業を煮やして広島に原爆を落としたのだと言う者もいる。
 「業を煮やす」意为“着急”、“发脾气”。「業」为佛教用语，指善恶行为的“业”，尤其指恶行的“业”。在心中“煮”此“业”，自然焦躁易怒。
 ◇イグアナみたいななのろのろした仕事ぶりを見ていると、業を煮やさずにはいられなかった/看(他)工作起来像巨蜥似的慢动作，忍不住心中来气。
6. こう見えても彼は少林寺ができるんだから侮れないわよ。
 「こう見えても」意为“即便看来(不起眼)……也……”。
 ◇こう見えても、僕は料理が得意だ。/别看我这样，炒菜可拿手。
7. 女性たちは象の背中をなでながら媚びでも売るようになだめた。
 「媚びを売る」意为“献媚”、“讨好”。
 ◇いつも上役に媚びを売っているやつを見ると、反吐が出る。/看那种何时何地都在讨好上司的家伙，让我恶心。
8. それでも諦め悪くなんども振り返り、甲高い声で吠えた。
 「諦め悪く」从「諦めが悪い」变化而来，意为“想不开”。反之则是「諦めがいい」即“想得开”了。
 ◇いつも諦めのよかった彼は、諦め悪く昨日の試験の結果をこぼしていた。/平常总是特想得开的他，对昨天的考试结果却不依不饶地抱怨。
9. 全く身の程を知らねえドブネズミだ。ど田舎のくそ泥を洗い落とすにはまだ百年かかるぜ、いや、千年もかからあ！

「身の程を知らない」意为“不知天高地厚”。

◇あいつは身の程を知らないから、何をしでかすかわからない。/那个人不知天高地厚, 谁会干出什么事来!

「かからあ」为「かかるわ」的口语, 约音。以「る」接尾的词后续感叹词「わ」常出现这种约音现象。

◇十二時間もありゃ、ジェット機だって直らあな! /有 12 个钟头, 连喷气飞机都修好了!!

10. だからといって彼が小便を鏡の代わりにするという提案まで受け入れたのかといえば、そうでもなかったようだ。彼はその後も、確かによく野外で立ちションはした。

「だからといって」意为“尽管如此……”、“这么说来……”。

◇だからといって君には何ができるのか。/话是这么说, 不过你又能做什么呢?

「立ちション」为「立ち小便」的口语, 即“站着小便”。

11. てめえの女々しい顔を見ると反吐が出てしまうわい!

「反吐が出る」原意为“呕吐”, 引申意为“极度讨厌”。

◇全く救いのない男だ。反吐が出る。/简直是个不可救药的家伙, 讨厌!

12. あたかも縄張り争いに勝ち誇った犬のように肩で風を切り、闊歩しながら去っていった。

「肩で風を切る」意为“大摇大摆”、“得意洋洋”。

◇異例の早さで出世した彼は、肩で風を切って歩いていった。/他超乎寻常地平步青云, 走起路来都两肋生风。

13. アメリカだってこんな恥辱を蒙れば、ありとあらゆるデザインのミサイルを死に物狂いに発射するだろう。

「死にものぐるい」意为“疯狂”。

◇彼は死にもの狂いで逃げた。/他拼命地跑掉了。

14. 彼の手つきに妖艶な風情すら感じた。

「すら」是副助词, 意为“连”、“尚且”。

◇君すらできないというのに、ましてや僕なんかには無理だ。/你都不行, 我哪几行去!

15. その振る舞いはどことなく芝居じみたところがあった。

「どことなく」意为“不知为何总有点儿……”

◇あの人ほどことなく虫が好かない。/不知为何我总有点儿讨厌他。

「～じみる」原意为“染上”, 引申意为“看起来好像……”、“有……的感

覚”。

◇子供じみた行為はやめてくださいよ。/别干这种孩子气的事。

16. あの爺いのごとで機嫌を損じたんじゃ引き合わない。あやつのお嬢ちゃん
のメンツもあるしな。

「機嫌を損じる」意为“不快”、“破坏情绪”。

◇あの親父の機嫌を損じたらカミナリが落とされるぞ。/惹着那位老爷子会挨他一顿臭骂的。

「あやつ」是「あのやつ」的约音。

17. 僕はなにやらしらけた気持ちになり、心にもない相づちを打った。

「なにやら」意为“不知道是什么”。

◇なにやら不穏な空気が漂っていた。/有一种不安定的情绪在弥漫。

「心にもない」意为“言不由衷的”、“违心的”。

◇心にもないお世辞を言っている。/说些虚假的奉承话。

「相づちを打つ」意为“随声附和”。

◇相槌を打ちながら、彼は他のことを考えていた。/他一边有一搭没一搭地回应，一边考虑别的事。

18. 肩を落としてふうっと長いため息をついた。

「肩を落とす」意为“无精打采”。反之，则是「肩を怒らせる」即“威风凛凛”、“趾高气扬”。

◇彼は落選の通知を受け取って、肩を落とした。/他接到落选通知，垂头丧气。

「ため息をつく」意为“长吁短叹”。

◇父は趙六六の手紙を何度も繰り返し読んでため息をついていた。/父亲捏着赵六六的信看了一遍又一遍，一口接一口地叹气。

19. 竜頭蛇尾で少し味気ないが、アメリカも彼ほどの度量があれば、ベトナム戦争どころか、朝鮮戦争もなかったのと思った。

「竜頭蛇尾」就是“虎头蛇尾”。

◇この企画も竜頭蛇尾に終わった。/这计划雷声大雨点小地结束了。

「味気ない」意思是“乏味的”、“无聊的”。

◇味気ない音楽だ。/乏味的音乐。

20. 腹が減っては戦ができぬ。

「腹が減っては戦ができぬ」为日本谚语，意思是“饿着肚子不能打仗”、“人是铁，饭是钢”。

◇腹が減っては戦ができぬ、とばかりに、会議を前にした課長は勢いよく飯をか

答えを下から選びなさい。

- (1) 長雨がつづく、大豆や綿花は被害を受けることがあります。
()
- (2) かれの要望にこたえることにする。()
- (3) 今年は卒論を書かないの? じゃ、卒業しないってことになるのかね?
()
- (4) 私は毎日ヨガをすることにしている。()
- (5) 泣くことはないよ。おれが金を出してやるよ。()
- (6) この会社のこと、どう思う?()

①漠然と様子や全体像、性格、事実などを表す。 ②習慣や取り決
めを表す。 ③励ましや忠告を表す。 ④将来のことの決意や決定を
表す。 ⑤事態や状況が自然にあるいは必然的にそのようになるこ
とを表す。 ⑥たまの出来事をあらわす。

3. 日本語慣用句の特徴の一つは、形を自由に変えられることです。()
にはどのような慣用句が入りますか。適当なものを①～⑥の中から一つ
選び、文脈に従って形を適当に変え、必要な場合、助詞なども付けなさい。

- (1) あんな()やつに()なんてとんでもない。売るなら()
だ。
- (2) 肩で()勇んでいったけど、()戻ってきて、すべて()終わ
ったみたい。惨めだな。へへ、いい気味だ!
- (3) 長いこと彼女に()いたが、きっかけが見つからないでいる。誕生
日にバラでも送ってあげようかな? とはいえ、現実主義の彼女にとっ
ては、()ほうがいいかもしれないし……。まあ、なにより、こっ
ちは先に腹ごしらえをしなくちゃ。なんと言っても()からね。
- (4) あの()わりに意気地がないあいつの顔を見ただけで()わ
い! ああ、よけいに美人の顔を拝見したくなっちゃった。
- (5) 彼には()のに、一緒に映画を見に行くなんてまっぴらごめんだ。
- (6) 「時間守らないやっちゃんあ。ったく!」とボスは()ところへ、「ま
ったくもってその通りです。ルーズというかなんというか……」と、
子分たちに変に()いた。

- ①思いを寄せる ②花より団子 ③洩も引っかけない
④喧嘩を売る ⑤業を煮やす ⑥媚びを売る ⑦諦めが悪い
⑧身の程を知らない ⑨反吐が出る ⑩風を切る
⑪相づちを打つ ⑫肩を落とす ⑬竜頭蛇尾

⑭腹が減っては戦ができぬ

4. 駄洒落謎々です。答えの仮名を漢字にして()に入れ、その謎々を完成しなさい。

(1) 質問:「敬子、打とう」って照明器具を販売してる彼女に予防接種を勧めた。さて、彼女は具体的になにを販売してるのかな?

答え: けいこうとう。()

(2) 質問: 政治家の醜聞を審判する日はどんな日?

答え: しゅうぶんのひ。()

(3) 質問: よく「ビシッビシッビシッとせい!」って言われてる会社の名前は?

答え: みつびし。()

(4) 質問:「君、買いに行ったんすか」って聞かれた買い物はなあ〜に?

答え: タンス。()

(5) 質問: 威勢のいいエビってどんなエビ?

答え: いせえび。()

(6) 質問: 谷崎潤一郎の書いた有名な小説名は「痴人の愛」ですが、僕の知り合いと地の神の書いたそれぞれの恋愛小説名は?

答え: 「ちじんのあい」と「ちじんのあい」。()

5. 口語体の特徴や俗語を生かしながら、次の慣用句を利用して、常体(だ体・である体)でその後の中国語を翻訳しなさい。

(1) 花より団子→A:(在女朋友的生日)接受我热情的心吧! B:这是什么呀? 大票子? A:什么呀,是我花了一个月才写出来的诗呀。B:比起热情洋溢的诗,我更喜欢路易维登的挎包。A:是吗? ……幻想抵不过现实呀!

(2) 喧嘩を売る→你想找我碴可没好果子吃!

(3) 業を煮やす→“你要喜欢就别装模做样的,明明白白说出来!”他忍不住焦躁地吼起来。

(4) こう見えても→您可别小瞧我,在下可是大学老师哟。

(5) 諦めが悪い→怎么这么粘粘糊糊的? 下决心收手吧!

(6) 死にものぐるい→我呀,要到了非得拼命的地步什么事儿都愿干。

(7) どことなく→跟他总有点儿和不来。

(8) なにやら→呲牙咧嘴的好像挺高兴嘛!

(9) 溜息をつく→“还是不行呀……”他不由得叹了一口气。

(10) 味気ない→每天听枯燥无味的报告,烦死了!

6. 短文を読んで、その後の質問に日本語で簡単に答えなさい。

(1) 昼メロを見ていたら「今回は明日深夜2:00から」というテロップが流れた。何でそんな時間に放送するんだろう? と私が不思議に思っていたら、小五のムスメが「超エロいんだよ、きっと」と言った。

問題1: 昼メロは、なんででしょうか?

答え1:

問題2: 「テロップが流れる」を「テロップを流す」と、ここでは言えるだろうか。

答え2:

問題3: 「不思議に思っていたら」を、ここでは、「不思議に思っていれば」に直せるでしょうか。なぜですか。

答え3:

問題4: なぜ、小五の娘は、「超エロいんだよ」と断言したのですか。

答え4:

(2) あるお店である夫婦が語り合っていた。

「欲しいと思ったら手に入れた方がいいわよ」

「うーん……」

「後悔しても遅いのよ!!」

ここ100円ショップなんですけど。石橋叩きすぎ?

問題1: 「思ったら」は、「思うと」と置き換えられますか。

答え1:

問題2: 「うーん……」という人は、買うことに賛成していますか。

答え2:

問題3: 後悔したら本当に遅いのですか。

答え3:

問題4: 「石橋叩きすぎ」は、どの諺から来たのですか。

答え4:

7. 次の文章を中国語に翻訳しなさい。またこれに基づいて作られた会話文を読解しなさい。

無 職

“A 俺は十八才で就職した会社が肌に合わず五年で退職した。希望の会社に就職したけど二年で社長が夜逃げした。次が経営不振でリストラを始め希望退職した。また次の面接先で「この会社はつぶれませんか?」って思わず聞いてしまって不合格になった。この間、聞いた話し

では最初の会社は二年前につぶれたって聞いた。今では「俺は就職難の最先端だー!」って笑いを取るしかない人生を送ってるよ。

B それはお気の毒なのね。今の話で思い出したけど、先日、メガネ屋に行ったときのことを。明らかに団塊の世代と思われる、疲れた顔をした男性が横に座ったのよ。店員が色々と説明し、希望を聞いていた途中で、

店員:形はこれでよろしいでしょうか?

男性:ええ。お任せします。

店員:無色ですか?

男性:ええ! わかりますか? 実は突然リストラされたんですけど。

店員:いや……それは……。

男性:息子は大学に入ったばかりで、女房は入院中ですし、家のローンもまだ……。

そのとき私は心の中で、「ムショク違いやっちゅうねん! レンズの色やっちゅうねん!」とツッコミを入れたの。

会 話

藤山 よう、どうした、相変わらず飲んだくれてるな、アル中君。

富田 これが飲まずにいられるかってんだ、ちくしょうめ!

藤山 おうおう、荒れてんなあ。で、理由は?

富田 クビ。クビだよ。やめさせられたんだよ、くそつたれ!

藤山 またどうして?

富田 俺が働いてたのはレストランだっただろう。

藤山 うん。あ、わかった。腹が減ってうまそうな料理を少しつまみ食いして怒られた?

富田 してねえよ、そんなこと!

藤山 じゃあ、厨房でこっそり吸ったたばこの灰が料理の中に落ちたとか。

富田 俺はこん前手術をしてからこのかた、たばこは吸っちゃいねえよ。

藤山 じゃあ、どうしてクビになったんだ?

富田 それが、その……。

藤山 言えないような理由か? 店の売り上げをちょろまかしたとか?

富田 人様の金に手を出すほど落ちぶれちゃいねえよ。

藤山 じゃあ、どうしてだ?

富田 いや、なんて言うのかな、店の雰囲気合わなくて、風水では場所

が悪くて……。

藤山 はいはい。

富田 就職難が俺をこんなにしちまったんだ。知ってるだろ、十八で入った会社はいびられて五年で退社、やっとこさで入った希望の会社は二年で社長がとんずら。次の面接じゃ、「御社は大丈夫ですか」って聞いてすべって、風の便りじゃ最初の会社も俺がやめてから二年で破産に倒産ときたもんだ。俺はまさしく就職難の最先端だよ。

* * *

店員 いらっしゃいませ。こちらのめがねはいかがですか？ お客様くらいの年齢の方で愛用されている方はかなりいますよ。

中年 うん、まあまあですね。でも、色が少し……。

店員 では、こちらは？ 少し前の型ではございますが、根強い人気がありますよ。……それは

最新型です。度は左が0.3、右が0.09ですね。無色ですか？

中年 え？ わかりますか？

店員 え？ なんですか？ 無色ですか、とお聞きしたのですが。

中年 ええ、そうです。無職なんです。リストラされたんです！

店員 ……。

中年 息子は三浪してやっと三流大学に入ったばかり、妻は病気で病院通い、家のローンだけはまだどっさり残って、少ない収入からはごっそり税金を持って行かれるし……。

店員 そうですか、お客様。それはなんともお気の毒ですね。

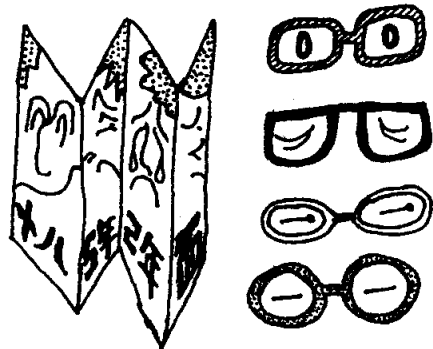
中年 気安くお気の毒なんて言うんじゃない！ お前に俺の気持ちがわかってたまるか！

店員 わかりますよ、聞いてください、私にも大変な悩みがあるんです。

中年 よし、聞こうじゃないか。

店員 この前、携帯をひろったんで、交番に届けたんです。そしたら……。

中年 警察に泥棒と間違えられた？



店員 いえ、落とし主がぜひお礼をしたい、と。その落とし主はすごいお金持ちでした。

中年 なんだ、それじゃあけっこうな話じゃないか、どこが悩みなんだ。

店員 いえ、それで、その人がお礼にヘリコプターとクルーザーのどちらかをくれるって言うんですけど、残念ながら、僕、どちらも免許を持ってないんです。

8. 新出単語の説明を読んで、その単語の中国語の意味を考えなさい。

1. 肌に合う 自分の性質に合う。気が合う。また、気に入る。
2. 夜逃げ(よにげ)[名](そこに居られなくなり)夜中にそっと逃げ出して他の土地へ行くこと。
3. リストラ(restructuring)[名]構造改革。特に、企業が部門の統廃合、新しい部門への進出など、事業内容全体を変えること。
4. 団塊の世代 第二次世界大戦直後のベビーブームの時に生まれた世代。
5. 飲んだくれる(のんだくれる)[下一・自]大酒を飲む。
6. 人様(ひとさま)[名](「さま」は接尾語)他人を敬っていう語。ひとさん。
7. 落ちぶれる(おち魄れる)[下一・自]①身分や生活状態が悪くなって、みじめな状態になる。零落する。②品格が下がる。
8. やつとこさ[副](「さ」は接辞)大変な苦勞の末にようやく事を為し遂げたりあれこれと手を尽くしながらかろうじて現状を維持したりすることを表わす。
9. とんずら[五自サ](飛んでずらかるという意から)逃げる、姿を隠す。
10. 風の便り ①風が知らせてくること。また、風が吹き送って来たようなとりとめのない手紙。風の使い。②手紙などを送るべき、わずかな機会。ちょっとしたついで。③どこから伝わってきたともわからないわさ。なんとなく聞こえてきたこと。風聞。④ひろく手紙をいう。
11. クルーザー(cruiser)[名]寢室・キッチンなど、居住設備を持ち、外洋を航海することが出来るヨットやモーターボート。

声音低沉而可怕。就像南极的冰一样,使我感觉冷到了骨子里。

“当然有。你想干什么? 赶快道歉! 赔我裤子!”

真不愧是唐叔叔! 他毫不示弱,摆出了少林寺的架势,右手向前伸出,两根指头直逼对方,恰似白鹤展翅。白白的脸眼看着变得通红,抽搐着甚至像是在笑。

大象又向前迈进了一步。纵观历史,很少有挑衅一方主动道歉的。所以也有不少人认为美国是由于怎么也挽不回在珍珠港丢失的颜面,气急败坏,才在广岛投下了原子弹的。大象当然也不是为了道歉而向前迈进的。眼看一场血腥的战争就要拉开帷幕的当口,唐叔叔突然跑进旁边的办公室,手持一个墨水瓶折了回来。

“你再靠近看看,我拿墨水泼你!”

大概因为区区一瓶墨水没有原子弹那样的威力吧,围观的人群哄笑起来。几个女人乘机挤进来,按住了大象巨大的身躯。

“适可而止吧。虽说他不起眼,但毕竟是会少林武功的,你不能小瞧了他。”

女人们抚摩着大象的后背,谄媚地地劝解道。

少林武功在偏远的贵州还是有相当威慑力的。大象虽然身材魁伟,但毕竟上了年纪,运动神经已经迟钝,估计敌不过少林寺,就撂下那些女人自己离开了。即便如此,临走时他还不甘罢休,回头提高嗓门吼了一声:

“你也不撒泡尿照照,就凭你这副德性也配打我女儿的主意? 完全不知天高地厚的阴沟臭老鼠。要洗掉身上的臭泥巴,一百年都不够,不,一千年都不够。”

伊藤 好啦,下一个,小赵。

赵 哦,知道了。

不知道这种年头的计算根据何在,但时间有着巨大的威力却是不容否认的事实。不要说身上的臭泥巴了,连帝王的兴衰,也会被时间荡尽,尘封到历史的灰烬下。只是唐叔叔能不能等到时间起作用又是另外一回事儿。历史的一瞬说不定是人生的永恒。唐叔叔大概领悟到了这个道理,原来通红的脸唰地一下变得煞白,嘴里只是不停地嘟囔着:“你女儿……你女儿……”反驳不了往往就意味着同意对方的主张。不过他好像也没因此而接受了拿小便当镜子的提议。打那以后,他的确经常站在野地里撒尿,但有没有照自己的脸我就不清楚了。他总随身带着面小镜子,估计他多半不会去找那么个麻烦。

“一看见那女西西的脸我就想吐！真受不了！”

大象撂下这句，就像赢了这场势力之争一样洋洋自得，威风凛凛地阔步而去。

唐叔叔紧握拳头，突然推开围观的人群，直奔自己的宿舍。

“肯定去操少林家伙了。被辱骂得那么惨，不杀人才怪！”

看客众口纷纭。我直觉一股寒气穿透了脊梁。要是美国蒙受如此耻辱，也会玩命地发射设计形态各异的导弹吧。要真这样，局面就不可收拾了。必须立即打电话让公安局来阻止事态的恶化。不过，杀了大象也没准比较好，当然这也要看怎么个杀法了。

我一边想一边忐忑不安地向唐叔叔的宿舍跑去。

门虚掩着，我轻轻推开门，只见唐叔叔正在镜子前面用梳子梳理头发。原来爱潇洒的他和女人一样喜欢梳头哇！我甚至觉得他梳头的手势有点风情雅韵。脏裤子已经换掉了。

他像是察觉到了门口的动静，嗖地转身，嗖地从床底下抽出一根铁棒，嗖地摆好架势。发现原来是我，又嗖地单脚跪地把铁棒嗖地放进床底下，然后用手招呼我道：“快，进来吧。”

我觉得他这些举动有点儿夸张，问道：“没事啦？不生气了吗？”

“不是有句话叫‘宰相肚里能撑船’吗？为那个老头子伤了元气划不来。再说也要看他女儿的面子呀！”说着他撇了撇嘴，把右手的两根指头伸到我面前，“当时，我就是这样把两根指头戳到他眼前的，你都看到了吧？不要以为那只是个架势，实际上非常危险，只要他再上前一步就成瞎子了。你知道为什么吗？这可是一个厉害的绝招哦，叫二龙点睛。本打算用这两根手指把他眼珠子挖出来的。”

“是嘛，那可够玄的！他要是知道的话，肯定吓得直哆嗦，夹着尾巴逃跑吧。”

我不知怎么觉得有些扫兴，心不在焉地附和道。

“就是！”他又照了一下镜子，耸耸肩膀，长长地吁了一口气。这件事儿就算到此为止了，我想。虽说有点儿虎头蛇尾，没什么意思，但如果美国也有他这般肚量，别说越南战争，就连朝鲜战争都不会有了。

我的肚子咕噜叫了一声，他笑了起来。

“噢，对了，我们本来是要去吃午饭的。人是铁，饭是钢嘛！走，去吃好的。”

那天，我们没去食堂，就在露天小摊那儿，他招待我吃了一顿我最喜欢的牛肉米粉。

基本語彙

5. 興味深い(きょうみぶかい)[形]兴趣浓,很有趣
6. 言い回し(いいまわし)[名]说法,措辞(=「いかた」);表现方法
7. はたして(果たして)[副]果然,果真,的确;终于
8. 個性(こせい)[名]个性,特性
9. ジョーク(冗句)[名](俗)诙谐,笑话;冗句,不必要的语句
10. 癖(くせ)[名]癖性,习惯,习性,脾气;毛病,缺点
11. あながち(強ち)[副](下接否定语)未必,不一定,不见得(=「かならずしも」);(文)强逼,强使,勉强(=「むりに」)
12. 的外れ(まとはずれ)[名・形動ダナ]离题,没抓住中心
13. 哺乳類(ほにゅうい)[名]哺乳类
14. 論理(ろんり)[名]论理,逻辑;道理,规律;情理,条理
15. 装う(よそおう)[五他]假装,伪装;穿戴,衣着,装束,打扮
16. 荒唐無稽(こうとうむけい)[形動ダナ]荒谬,荒诞无稽
17. ト라우マ(trauma)[名](心)(精神)创伤;(医)外伤,损伤
18. 似非(えせ)[接頭]似是而非;假冒,诈骗;可笑,下流
19. 一時(いつとき)一时,一个时期
20. 恥(はじ)[名]耻,羞耻,丢脸

るのでしょうか。

伊 藤 「なぜ」と言われても困るな。他にも作中に興味深い発想や言い回しがあって、はたしてそれは中国人には普通のことなのか、それとも作者の個性なのか。例えば、作者には誇張でジョークを言う癖があるのかもしれない。もう少し他の作品にあたってみないと確かなことはわからないね。

王志松 この場合は、作者のジョークでしょうか？

伊 藤 たぶんね。ただ、動物行動学などでは最近、人間を動物と同じ視点で観察し、求愛やセックスの意味を考察しようとする研究があるから、あながち的外れな議論とは言えないようです。もともと、そのときもサルなど哺乳類との比較はしても、鶏とはやらないだろうな。いかにも科学的な論理展開を装いながら、実は荒唐無稽な言い回し、と私は理解しました。それとも作者の理科嫌いのトラウマが、こういう似非科学論を書かせているのかな？

劉 健 まさか、それはいくらなんでも深読みでしょう。さて、「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」と言いますから、文法についていろいろお聞きします。「それは文化だから致し方がない」は、なぜ、「致し方」という謙譲の表現を使ったのでしょうか。「仕方」としても良さそうな気がします。

伊 藤 謙譲というより文語的な表現、時代がか

った表現と考えた方がよさそうです。文語的表現の方が丁寧さは出るかもしれませんが、謙譲の気持ちの強い弱いで使い分ける言葉じゃないですからね。

李 玲 「男に媚びることを憎むかのように」における「か」の働きを教えてください。中国語に直す場合、この「か」がなくても同じ意味になりますが。

伊 藤 はっきりと限定できない、という意味が強まります。「どうも風邪を引いたか、熱がある」「何事もなかったかのように振舞う」。ところで大事なことは、日本語ではそういう表現をとるのですが、じゃあ、本当に判断できない状態なのかということでもないのですね。自分では風邪だとわかっているけど、そう限定して決め付けた言い方を避けようとするのが日本人の表現の癖みたいなものです。

趙小羽 「さえ」と「すら」のニュアンスの違いをお教えてくださいませんか。

伊 藤 もう一つ古語の「だに」を加えて、歴史的にいろいろ変遷はありますが、現代では意味的な違いはないでしょう。「猿でさえ、木から落ちる」「猿ですら、木から落ちる」。うーん、「さえ」の方が一般的でしょうかね。「すら」はやや古めかしく聞こえますが、違いは微妙です。

新 井 「ハート」と「心」は、同じものでしょうか。「ライス」と「飯」のように、ニュアンスの差があるんでしょうか。

伊 藤 そういえばSMAPの歌に「ライオンハー

基本語彙

21. 強まる(つよまる)〔五自〕增强, 逐渐加强
22. 振舞う(ふるまう)〔五自他〕行动, 动作; 请客, 款待
23. 決め付ける(きめつける)〔下一・他〕断定, 断然; 申斥, 训斥, 指责
24. 避ける(さける)〔下一・他〕避免, 回避; 避开, 错开; 躲避; 忌避
25. 古語(こご)〔名〕古语
26. だに〔副助〕(文)连, 也
27. 変遷(へんせん)〔名・サ自〕变迁
28. ライス(rice)〔名〕米饭; 大米

基本語彙

29. ライオン(lion)[名]獅子(=「獅子(しし)」)
30. 強靱(きょうじん)[名・形動ダナ]堅韌
31. 持ち主(もちぬし)[名]所有者,物主
32. 臨む(のぞむ)[五自]面临,面对;濒临,临到,遭逢;身临,莅临;君临,统治
33. ぴったり[副・サ自]恰好,正合适;说对,猜中;紧密,严实
34. 射止める(いとめる)[下一・他](用剑,枪)射死;弄到手
35. コミック(comic)[形動ダナ]喜劇的,滑稽的
36. 通俗(つうぞく)[名・形動ダナ]通俗,易懂;世俗,习俗
37. 安っぽい(やすっぽい)[形]不高尚,庸俗,令人瞧不起,没有风度;(瞧着)不值钱,便宜货;(内容)贫乏
38. わざと(態と)[副]故意地;(文)特意地,有意识地
39. 狙う(ねらう)[五他]瞄准;把……作为目标,想得到……;伺机,窥伺
40. 体言止め(たいげんどめ)[複]体言终止,名词结句
41. リズム(rhythm)[名]韵律,格律;节奏
42. 余韻(よいん)[名]诗歌的余味,余韵;(钟、锣等乐器的)余音
43. 情景(じょうけい)[名]情景,光景
44. 間(ま)[名]间隔;空闲,闲暇;时机,机会;节拍;房子,屋子
45. 総じて(そうじて)[副]总的,一般来说

ト」というのがあったな。これを「ライオンの心」と言いかえると、ニュアンスが違ってきますね。「ハート」には精神力という面が強くあって、「ハートを強く持て」「強靱なハートの持ち主」と言ったふうです。「心を強く持て」とも言えるけど、戦いの場に臨んだときの精神力、闘争心をとくに言いたいときには「ハート」がぴったりくる。もう一つは恋愛感情を言おうとするときですね。「彼女のハートを射止めた」といった使い方。コミックなどで多用されていますが、小説だと通俗的な安っぽさが出てきてしまいます。この小説では、そういう通俗さをわざと狙って使っているのかもしれませんが。

新井 「緊張の糸が張りつめた沈黙、そして爆発」とありますが、体言止めにする理由をご説明くださいますか。

伊藤 本当の理由は作者のみぞ知る、なんですけど、効果としてはリズムに変化をつけて印象を強めることができます。余韻とか静止とか、文章で説明しないで読者に情景を思い浮かべさせる間も生まれます。

郷錦樹 打ち消しを表わす「まい」は、私たち中国人のなかなか把握できない助動詞の一つです。その特徴をお教えくださいますか。

伊藤 先ほども言ったように総じて日本語は主体の意志や判断を隠す方向で使われることが多いのですが、「まい」は逆に強い決意や断定に近い推測をあらわします。

「けっして言うまい、と心に誓った」とかね、「子どもでもあるまいにバカなことをするな」などですね。「けっして言わないことにしよう、と」と言い換えても意味は同じですが、決意や覚悟の強さが薄れてしまいます。

新井 ちよつと尾籠な話ですが、「しょんべん」は「小便」でしょう。「唐辛子」を「とんがらし」とも発音します。長音の「う」はどういう音韻変化を辿って「ん」になったのでしょうか。

伊藤 これは「う」から「ん」への音韻変化ではなく、文章語では、「う」と表記し、長音を示す。Syoohben, toohgarashiだよ。口語では、この長音が、間延びして聞こえるから、短縮し、syonben, tongarashi, つまる音便になる。「ん」音便だ。文章語の長音が、会話では、短縮音便となるのさ。

藍小平 「千年もかからあ!」があるでしょう。同じような音韻変化の表現は、ほかに何かありますか。

伊藤 動詞の終止形「る」+「わ」が変化して「ら」「らあ」になる。「そこまで言うなら、やってやらあ」。もちろん上品な言葉遣いではありません。「く」+「わ」だと、「かあ」。「ず」+「わ」だと「ざあ」ですね。新国劇の『国定忠治』に「ああ、雁が鳴いて南の空に飛んで行かあ」、また歌舞伎『白浪五人男』の名ゼリフに「知らざあ言って聞かせやしよう」があります。と言っても、今の若者には、なんのことやら、でしょう。お年

基本語彙

46. 推測(すいそく)[名・サ他]推測, 猜测, 估计
47. 誓う(ちかう)[五他](对神佛)发誓;(对别人)发誓, 起誓, 宣誓
48. 覚悟(かくご)[名・サ自他](对不良结果的)精神准备; 重下决心
49. 薄れる(うすれる)[下一・自]渐弱, 变薄
50. 尾籠(びろう)[形動ダナ]失礼, 不礼貌; 粗俗, 粗鲁, 下流
51. 音韻(おんいん)[名]音韵, 声韵, 音位;(构成语言的)声音(体系)
52. 間延び(まのび)[名・サ自]拖延, 延缓, 拉长; 迟钝, 痴呆
53. 短縮(たんしゆく)[名・サ他]缩短, 缩减
54. 上品(じょうひん)[名・形動ダナ]高尚, 文雅, 雅致; 高级品, 上等品
55. 新国劇(しんこくげき)[名]新国剧(一个国家特有的传统演剧, 亦指日本的歌舞伎)
56. 国定忠治(くにさだちゆうじ)[名]人名(也写作「国定忠次」, 江戸后期的一名赌徒)
57. 雁(かり)[名]雁; 蚊帐四角的雁形图案; 鹅颈管
58. 歌舞伎(かぶき)[名]歌舞伎
59. 白浪(しらなみ)[名]白浪;(文)贼, 盗贼, 小偷

3. もう少し他の作品にあたってみないと確かなことはわからないね。

「あたる」汉字写作「当たる」或「中る」。

「当たる」是一个非常有意思也非常容易被望文生义的词。以下是根据生活中发生的有关「当たる」的事写成的短文,您能否把其中的4个「当たる」的意思区别开来?

◇息子の友達のおばあちゃんが、牡蠣(かき)に当たってしまった時、その友達は、「おばあちゃん、牡蠣が当たったんだね、おめでとう!!」と喜んでいました。その話を私の息子に「チョット違うよねー」と言って聞かせたところ、息子は、「そうだよねー、牡蠣に当たって怪我したんだよねー!」と。惜しいけど君も当たっていません。ハズレです。

(提示:它们分别应该是(不按顺序):1.“碰(撞)上”、2.“中奖”、3.“猜中”、4.“食物中毒”。)

4. それとも作者の理科嫌いのトラウマが、こういう似非科学論を書かせているのかな?

「トラウマ」是一个比较新的外来语,来自德语“trauma”,在日语里多用来表示“(精神)创伤”,主要为年轻人常用。

◇先日友人の引越しを手伝いました。「CD」とか「衣類」とかマジックで書かれた荷物の中に「トラウマ」と書かれたダンボールがあった。「何が入ってるの」と聞こうと思ったけどやめた。/上次帮朋友搬家,在一堆用魔术笔写着“光盘”、“衣服”的瓦楞纸箱中,又一个箱子上写着“心灵之伤”。我差一点儿没问朋友:“里面装的是啥呀?”

5. さて、「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」と言いますから、文法についていろいろお聞きします。

「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」意为“求教一时耻,不问终身羞”,也就是说要“不耻下问”。

◇たとえ笑われても聞かなきゃ。聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥だろう。/哪怕被笑话也要问个清楚。求教一时耻,不问终身羞嘛!

6. 「ライス」と「飯」のように、ニュアンスの差があるんでしょうか。

「ライス」和「飯」在日语中略有不同。西餐或印度咖喱饭中的米饭称为「ライス」,而和式料理和中餐中的米饭称作「飯」。

◇ライスをお皿に、飯をお椀に入れるように。間違わないように。/把西餐的米饭盛在盘子里,把日本料理的米饭盛在碗里,别弄错了。

7. そういえばSMAPの歌に「ライオンハート」というのがあったな。

「SMAP」是日本一个有名的流行音乐组合。一般认为「SMAP」为

- (2) 私が今言った事は()も一つの提案だ。()これで決定ということではない。
- (3) 今の意見に()反対はしないが、()良いとも言えないな……。
- (4) あの奥さん、()金持ちぶった身なりだけど、()安っぽく見えるわね。
- (5) 彼らのレベルは()高いと言えますが、山本さんは()優秀です。
- (6) この計画は()改善の余地がない。()白紙に戻してやり直そう。
- ①強いて ②総じて ③はたして ④決して ⑤敢えて
⑥あくまで ⑦いっそのこと ⑧むしろ ⑨なにしろ
⑩いかにも ⑪あながち ⑫とりわけ

2. 本文中に「安っぽい」という言葉がありますが、「っぽい」には「～感じがする」「～やすい」「～らしい」のような意味があります。また、全ての表現に「っぽい」が使えるわけではありません。次の文の下線部で「っぽい」に言い換えられるものを選び、言い換えなさい。

- (1) この辞書は使いにくい感じがする。
- (2) あの人の女らしい仕草が好きだ。
- (3) なんだか最近疲れやすい。
- (4) 子供は子供らしく、元気に外で遊びなさい。
- (5) みずみずしい感性を持っている。
- (6) 私は人前で緊張しやすい。
- (7) どうもあの人は怒りやすくて困る。
- (8) 犯人は黒い感じのコートを着ていた。
- (9) そんな子供みたいな服は嫌だ。
- (10) 明るくて話しやすい人だ。
- (11) あの教授は物事を忘れやすい。
- (12) 春の感じがあるセーターを買おうかな。

3. 本文中に「ところで」という、話題を急に変えるときに使う接続詞的な用法があります。そのほかに、前件に述べる内容から積極的な結果が期待出来ないことを表わす接続助詞の用法もあります。似たような表現に、後件で述べた事実が前件で述べた局面からの予想に反するものであることを表わす接続助詞「ところが」があります。次の文脈を考えて、①「ところで」②「ところが」から、もっとも適切な言葉を()に入れて、文を完

成しなさい。

- (1) これくらいのところで許してくれるかなと思った()、しつこく追求してきた。
- (2) 今のところ彼に何を言った()聞きはしまい。
- (3) ダメ元で試しに発表してみた()、すごい反響だった。
- (4) いくら涙ぐましい努力をした()、彼女を呼び戻すことはできない。
- (5) 今さら悩んだ()何の助けにもならない。
- (6) 落ち込んでいるだろうと思っていた()明るかった。
- (7) 今さら嘆いてみた()始まらない。

4. 自然な会話の流れに注意しながら次の中国語を日本語に訳しなさい。

(1) 这是高中一年级的学生和他家长的对话。

朋友:如果没有高中的学习那就太愉快了。

家长:我也一样,如果不为你的学习烦恼,人生就无可抱怨了!

是啊,说得的确有点儿道理呀。

(2) A:我说,你第二想要的是什么?

B:你说什么? 第二想要的?

A:对呀,是第二想要的。

B:不是第一想要的吗?

A:对呀,就想问第二……

B:嗯……那就是征服世界。

A:你说什么? 第二想要的就是这个!?! 那么,你第一想要的是什么呢?

B:香奈儿(シャネル)的手提包。

5. 文末の言葉を選んで()に入れ、次の新聞記事を完成しなさい(必要に応じて助詞や助動詞を付け、語尾を変化させてください)。

A. 盗み過ぎたと現金など返却 「生活費だけ」の泥棒逮捕

埼玉県警捜査3課は24日()、常習累犯窃盗の疑いで住所不定、無職石川一夫容疑者(55)を逮捕した。民家に深夜()手口が()で、昨年()から県南部で108件(計500万円相当)の盗みを確認した()。

調べ()、石川容疑者は「生活費以上は必要ない」と供述。埼玉市南区の会社役員方から現金約200万円を盗んだ()「こんな()に取っては()」と後日、数十万円を()。

同県川口市の民家から盗んだバッグの中にパスポートやドル紙幣を()「困るだろう」と3日後に庭に戻したこともあったという。

同容疑者は栃木県出身。未成年の時から盗みを繰り返していたとい
い、()埼玉県警などに何度も逮捕されている。

- ①ほとんど ②忍び込む ③とする ④悪い ⑤返却する
⑥までに ⑦際は ⑧見つける ⑨これまで ⑩では

B. 同級生に電話週2千回 交際断られ、60歳女逮捕

滋賀県警生活安全企画課などは29日、交際を()男性に1週間に約
2000回もの電話をかけた()、ストーカー規制法違反の疑い()福
岡市南区警弥郷、無職川山志津子容疑者(60)を逮捕した。

同課に()、2人は福岡県の中学時代の同級生で、約3年前に同窓会
で再会し、連絡を取り合っていた。今年1月ごろ、男性が川山容疑者を避
ける()なり、男性の自宅に「会って()」などと電話をかけ始めた
()。

調べ()、川山容疑者は滋賀県公安委員会の禁止命令を無視し、今年
7月25日から1週間、滋賀県野洲市の無職男性(61)宅に計2134回の電話
をかける()行為をした疑い。男性は着信を拒否したが、1日に410回
かけた()もあった。

- ①よると ②断わる ③ほしい ④という ⑤とする
⑥ように ⑦こと ⑧で ⑨では ⑩ストーカー

6. ()にはどのような言葉が入りますか。適当なものを下の番号①～⑩
の中から一つ選びなさい。

(1) あるとき、ぼけーっと味噌汁碗()覗く()中にあら不思議蜆二
つ()入っている。おお、天()落ちたか、地()わいたかと
喜び勇んで名刀竹光の切れ味を見よ、()ばかり()真っ向()
()大上段に振りかぶり、すくおう()しましたが、すくえません。
こはいかにとよく見るってえと、なんのこと()ない、あんまり()
()も薄いから自分の目玉()味噌汁碗の中()映ってたんで
……。

- ①と ②を ③は ④ずに ⑤に ⑥から ⑦で
⑧が ⑨もの ⑩も

(2) 先日、買い物()行ったとき、景品()何()の万華鏡を男の
子()持って、目()当てて覗き、隣()いるお母さんらしき
人()向かって「うわーキレー」と喜んでいて。お母さん()そ
の子の方を向か()「良かったねー」と言っていた()、私()
見たの()、万華鏡を覗いている目をつぶり、覗いていない方の目

を開けている子供の顔だった。この世()片目()見たほう()、彼()にとって()綺麗なんだろうか……。

- ①が ②ず ③に ④も ⑤なしに ⑥で
⑦か ⑧と ⑨は ⑩でも

7. 次の文章を中国語に翻訳しなさい。またこれに基づいて作られた会話文を読解しなさい。

熱血先生

- A 高校のときの熱血先生の話ですけど、その先生は生活指導を担当していました。今でこそ高校生のお化粧は当たり前のようにになっているじゃないですか。しかし、私が高校生の当時はピンクやオレンジの色付きのリップクリームでさえも禁止されていました。ある生活指導の時間、そのことに触れた熱血先生は声を荒げて言いました。「リップクリームは色付き禁止! 塗るなら白!」「白? ヤマンバじゃん!」と思って、先生も生徒も緊張の糸がプチンと切れた瞬間でしたよ。
- B そういえば、一度地理の時間に、「お前らが授業中寝るという行為は、万引きやテロの行為と同じことだ!」「水泳選手はいつも寝ずに練習をしている! お前らと来たら……。」と、担当の熱血先生にかんかん怒られたことがありますね。しかし、明るる日、その先生が授業を三十分も遅れて来て、髪には寝グセがありましたよ。寝起きの顔をしながら、「お前らは授業中爆睡しているが、先生はいつもお前らのことを思って夜も眠れない日々を過ごしている。」と。私にはただの寝坊としか思えませんでした。

会 話

(教室。朝のホームルーム)

- 先生 今朝の検査で校則に違反しているけしからん輩が大勢見つかった。入学式の際に説明したし、生徒手帳にもはっきり書いてあるが、説明を聞いていて、手帳を読むような殊勝なやつはいないみたいだから改めて注意する。校則では基本的に口紅の使用は禁止されている。しかし、冬季におけるリップ・クリームの使用は認められている。生徒手帳の二十ページを見るように。
- 学生 すいません、手帳は持ってきていません。
- 先生 なに? ちょっと待て。手帳を持ってきているもの、挙手しなさい。……わかった。なんだ、ほとんど持ってないじゃないか。まあい

い。読むので聞くように。補足、色付きは一切禁止である。つまり、赤・青・黒・黄・茶・紫などはだめなんだ。

学生 先生、黒のリップ・クリームはどこで売っていますか？

先生 揚げ足をとるんじゃない。……こら、私語は慎むように。説明を続ける。つまり、色つきはだめなんだ。いいのは白だけだ。

学生 先生、白はヤマンバ・カラーですよ。いいんですか？

先生 う、いや、それはいかん。

学生 先生、無色ですか？

先生 だれが無職だ?!

……

* * *

先生 なんだ、君たちは。失礼だな！授業中の居眠りは万引きやテロと同じだ！いいか、水泳選手

は寝ないで練習してるんだぞ！おなじ若者として恥ずかしくないのか！

学生 俺たちだって寝てないよな。寝てる時以外は。だいたい、眠くなるような授業をするのがいけないんだ。

先生 失敬千万！大胆不敵！もういい、君たちのことは知らん、不愉快だ。今日はこれ以上授業をしてやらん。

学生 ありゃりゃ。怒って帰っちゃったよ。冗談のわからん先生だなあ。
(数日後)

先生 いや、今日は失礼した。

学生 人には居眠りはだめだと言っというて自分は遅刻か。いいご身分だな。

学生 頭はねぐせで、髭はぼうぼう。どんないいわけをするつもりなのかな。

先生 本日遅れた理由を説明します。君らはおそらく信用しないだろうが、実は昨晚、急に君たちのことが心配になってしまって、眠れなくなったので、今日遅れてしまったんだ。



8. 新出単語の説明を読んで、その単語の中国語の意味を考えなさい。

1. リップ(lip)〔名〕①唇。②口先。

- 伊 藤 可能吧。不过,在动物行为学等领域,最近有这样的研究,以同样的观点对人类和动物进行观察以考察其求爱、性行为的意义,如此看来,也不能一概说它就是歪道理。当然啦,这种时候也只会和猿猴等哺乳类动物进行比较,不会拿来与鸡比较吧。我是这样理解的,这里作者故作科学理论探讨,旨在荒唐无稽的表述。或许也是作者厌烦理科的往昔令其写出这种似是而非的科学论吧!
- 劉 健 不会吧,未免理解得过头了吧。对了,常言说“问为一时之耻,不问一生之耻”,我想问一些有关语法的问题。文中有「それは文化だから致し方がない」,为什么要用「致し方」这种谦逊的表达方式呢?「仕方」似乎也挺好呀。
- 伊 藤 这与其说是谦逊,不如说是古典日语式的表达方式或古风古味的表达方式。古典日语的表达虽然带点谦恭之意,但这个句子并不表现谦逊态度的强弱。
- 李 玲 请教一下「男に媚びることを憎むかのように」中的「か」的语法功能,译成中文时,没有这个「か」意思也一样嘛。
- 伊 藤 这里有较强的不能清楚断定的意思。例如,「どうも風邪を引いたか、熱がある」(好像感冒了,有热度)、「何事もなかったかのように振舞う」(装得没事人似的)等等。不过值得注意的是,日语里虽然如此表达,但未必真就处于不能断定的状态。即使知道自己患了感冒,也要回避使用断然明确的表达,这像是日本人语言表达上的嗜好。
- 赵小羽 请教一下助词「さえ」和「すら」的细微区别好吗?
- 伊 藤 还加上一个文言助词「だに」。历史上它们曾有各种各样的变化,而今天它们在词义上已没有什么区别了。「猿でさえ、木から落ちる」、「猿ですら、木から落ちる」。嗯,相比之下,「さえ」使用得要普遍一些,「すら」听起来多少有点古味,区别很细小。
- 新 井 「ハート」和「心」是一样的吗?就像「ライス」和「飯」那样有微妙区别吗?
- 伊 藤 提起这个,我想起了 SMAP 的歌「ライオンハート」(《狮心》)。如果把它说成是「ライオンの心」,味道就不一样了。「ハート」这个词偏重于精神力量,「ハートを強く持つ」(要有颗坚强的心)、「強靱なハートの持ち主」(内心坚忍不拔的人)。虽然也可以说成「心を強く持つ」(心要坚强),但如果特别想表达身临战场时的毅力、斗志时,「ハート」是再贴切不过了。还有一个就是表达恋爱感受时的用法,如「彼女のハートを射止めた」(俘获芳心)。这在漫画里用得很多。

多,如果是小说,不免显得俗气。这篇小说也许刻意瞄准了这种通俗性吧。

新井 文章中有「緊張の糸が張りつめた沈黙、そして爆発」一句,能说明一下使用名词结句的理由吗?

伊藤 真正的理由只有作者本人知道。不过这种用法有着使节奏富于变化、加深印象的效果。比如说余韵呀静止等等,留出空间来,让读者有自己展开情景想象的余地。

邹锦树 「まい」是我们中国人很难掌握的助词之一,您能跟我们讲讲它的特点吗?

伊藤 正如我刚才所说,从整体上来看,日语在使用时有藏匿话者主体意志、判断的倾向,而助词「まい」正好相反,它表达近似强烈决心、断定的推测。例如「けっして言うまい、と心に誓った」(我心里发誓,决不说)等等。「子どもでもあるまいにバカなことをするな」(别做那种连小孩都决不会做的傻事)等亦如此。「けっして言わないことにしよう、と」意思也一样,但决意、决心的强度就会削弱。

新井 对不起,提个粗俗的话题,「しょんべん」是「小便」吧,「唐辛子」(辣椒)也可发音作「とんがらし」吧,长音「う」是经过怎么样的音韵变化过程而成为拨音「ん」的呢?

伊藤 这并不是「う」向「ん」的音韵变化。在书面语中,长音用「う」来标记,即:Syoohben, toohgarashi.但在口语里,这个长音听起来有点拖拉,因而缩短成 syonben, tongarashi,即短缩音便,也就是「ん」音便。也就是说,书面语的长音在口语中产生了发音缩短的变化。

兰小平 文章中有句「千年もかからあ」,日语中还有些什么类似的音韵变化?

伊藤 动词的终止形「る」+「わ」变化为「ら」「らあ」。如「そこまで言うなら、やってやらあ」(话已说到这儿,咱就干吧)。这当然不是什么文雅的说法。「く」+「わ」变成「かあ」,「ず」+「わ」变成「ざあ」。新国剧《国定忠治》就有这样一句「ああ、雁が鳴いて南の空に飛んで行かあ」(啊,鸣雁南飞)。还有歌舞伎《白浪五人男》中的有名的台词「知らざあ言って聞かせやしょう」(不知我就告诉你)。话又说回来,现在的年轻人,肯定会被这些东西搞得莫名其妙的,是吧?然而上年岁的人在日常生活中却在妙用这些台词。

赵康英 日本人在表达不满时,经常扔下一句「全く」(真是的),或是「ったく」,能告诉我它的具体意思吗?

伊藤 似乎没有必要说明它是副词,多用来表达全盘否定吧。「全く話にな

らない」(真不像话)、「全く相手にしてもらえなかった」(睬都不睬我)。只说「全く」的时候,可以认为是省略了后半句。或者把它解释为一种表达全盘否定、带有感叹词色彩的用法更容易理解。

赵康英 不吝赐教,非常感谢! 到此为止,我们的日语学习终于可以告一个段落,接下来就该再次鼓足干劲,向新的《挑战日语口语》进军了。

発音の練習

(朗読:古賀勝行)

◎说明:

“外郎”是一种中药制剂,呈四方形,在日本古代被誉为包治百病的灵丹妙药。因它是由中国元朝太医院礼部元外郎陈宗敬带到日本,故得此名。由于该药味苦,服后通常吃一种类似于栗羊羹的甜豆糕调解口味,这种甜豆糕后来也被称为“外郎”。

《外郎药》则是日本江户时代著名歌舞伎演员市川团十郎表演的歌舞伎《若绿势曾我》中最为叫座的一折。该折戏表现一位商人不遗余力地吹嘘他的外郎药,其科白启承转合,跌宕有致,幽默诙谐。由于使用了诸多“绕口令”(日语叫「早口言葉」),而且要求做到行云流水,一气呵成,该剧本因此成为立志进入演艺界、影剧界的年轻人“练口”的必读教材之一。日本老演员古贺胜行先生特地为我们录制了这篇《外郎药》。他的朗诵充分体现出多年积累的表演功力,用“大珠小珠落玉盘”来形容他的朗诵,绝非过誉。

《外郎药》用“拟古文(半文言)”写就,对于我国的读者来说,看着课文都不容易听懂录音,要想朗诵得和古贺先生一样炉火纯青,难度就更大了。不过,我们不必用日本专业演员的水准来要求自己。将这篇文章放在这儿,主要是为了让您在茶余饭后能聆听到日本专业演艺级别的朗诵,如能时常模仿几句,再捧起书来读两遍,日积月累,不知不觉间您的日语发音就会得到明显的提高。

日本演艺界的专家通常认为,熟读《外郎药》有十大好处:①练习发音,②练习发声,③练习音调的强弱,④练习说话的缓急,⑤练习语音的高低起伏,⑥矫正方言,⑦练习换气,⑧练习节奏感,⑨练习说话的气势,⑩练习吐字的清晰。很多人学习日语,在“说”的方面不练到一定的程度,开口说话舌头会打结,表述难顺畅,而这篇《外郎药》有良好的治疗舌头打结的功效。

我们对原文详加注解,并附译文,以帮助您理解原文。

ういろう^{〔1〕} 外郎 売^うり

にだいめ いちかわだんじゅうろ^{〔2〕}
二代目 市川団十郎

せつしやおやかた^{もう}と申すは^{〔3〕}、おたちあ^{なか}にごぞんじ^{かた}のお方もござりましよう
が、お江戸^{えど}をた^たってにじゅうり^{にじゅうり}かみがた^{かみがた}そうしゅう^{〔4〕}おだわら^{おだわら}いっしまち^{いっしまち}をお過ぎ^すなさ
れて、あおも^{あおも}のちよう^{のちよう}をのほ^{のほ}りへお出でなされるればらんかんぼし^{らんかんぼし}とらや^{とらや}とうえもん^{とうえもん}〔6〕、ただいま^{ただいま}は

- 〔1〕「外郎」 葉の名。中国の元の時代、礼部の外郎職にあった陳家(宗敬)は明の時代になって日本九州博多の地へ亡命。職名から外郎家とされ家業の製菓をなりわいとしていた。將軍足利義満に招かれて京都へ。後に相州の北条家に乞われ、弟(分家)が小田原へ移住。更に後には京都の本家が製菓を辞め、小田原の分家だけが現在に至る。外郎は店頭でしか手に入らないから、街頭販売のこの口上は、あくまでも団十郎の舞台「若緑勢曾我(わかみどりいきおいそが)」の曾我五郎のための創作。なお、練菓子の「ういろう」は、外郎家が客に出していた特製茶菓子。京都の本家が店を閉めるにあたって菓子作りの職人たちの身過ぎのために製造許可を出した、と聞く。
- 〔2〕「市川団十郎」 江戸の歌舞伎役者。初代団十郎は下級官吏の息子だったが、芝居が好きで親の反対を押し切って芝居の世界へ。関西のおっとりとした和事(わごと)に対し、動きのある荒事(あらごと)で一世を風靡。江戸の一大スターとなったが、狂信的なファンによって切り殺された。まだ15、6歳だったという息子は襲名はしたものの虚弱体質、しかも気管が弱く、荒事役者としては致命的であった。そんな折、小田原の「ういろう」を試してみると団十郎の体質に合ったらしく、二代目は父の業績を継ぐ立派な江戸の大スターへと成長したのである。
- 〔3〕「拙者親方と申すは」 私の親方という人は。
- 〔4〕「相州」 相模の国。現在の神奈川県。外郎の本拠地・小田原がある。
- 〔5〕「小田原」 東海道の主要駅。日本橋を発って最初の城下町。以下東海道に沿った話題が多く出てくる。
- 〔6〕「欄干橋虎屋藤右衛門」 宇野藤右衛門定春。京都外郎の製法を伝授され、小田原外郎の祖となる。北条氏の招きで小田原に来往。「欄干橋」とは住所から、「虎屋」は当初の屋号。

剃髪致して円齋と名乗りまする〔1〕。

元朝より大晦日まで〔2〕御手にいれまするこの薬は昔、ちんの国〔3〕の唐人外郎と云う人、我が朝へ来たり。帝〔4〕へ参内の折から、この薬を深く籠め置き〔5〕、用いる時は一粒ずつ、冠の隙間より取り出だす。よってその名を、帝より「頂透香」と給わる。即ち文字には、「頂き、透く、香い」と書いて、「頂透香」と申す。

只今はこの薬、殊の外世上に広まり、方々に偽看板を出だし、いや、小田原の、灰俵の、棧俵の、炭俵の〔6〕と、色々に申せども〔7〕、平仮名をも以って「ういろう」と記せしは親方円齋ばかり。

もしや御立会いの中に熱海〔8〕か塔ノ沢〔9〕へ湯治〔10〕にお出でなさるる

- 〔1〕「～まする」「ます」の古語形。「ます・まする」は室町時代以降に成立した語で、起源については諸説があるが、「まゐらす」「まゐらする」(=「参らす(る)」)から変化したものと見る説が有力である。
- 〔2〕「元朝より大晦日まで」 この薬は中国の元の国より(来た)、といている。「大晦日まで」というのは、「元朝」を元旦の意味にかけて「今では一年中手に入るようにいたしました」という意味をこめて。
- 〔3〕「ちんの国」 珍(=尊く優れた)国。今でいう中国を指す。日本は唐の文化に深く影響を受けていて、日本書紀によると「大唐国は法式備定の珍国なり=(唐は儀式や儀礼などのきまりがよく整って定められている素晴らしい国だ)」という遣唐使の医学生の記事を受け、法令を定めるようになったらしい。
- 〔4〕「帝」 後小松天皇。
- 〔5〕「籠め置く」 大事に携帯しておく。
- 〔6〕「小田原の、灰俵の、棧俵の、炭俵の」 今も外郎家は小田原(おだわら)にある。その薬の人気にあやかって次々と偽物が出てきたことを面白く表したもので、「だわら」という語呂合わせで洒落たものである。
- 〔7〕「ども」 接続助詞「ど」に係助詞「も」が付いてできた接続助詞。活用語の已然形を受ける。①逆説の確定条件を表わす。けれども。②常に照応しない一般的習慣や普遍的真理を述べる。……ても。……たとしても。
- 〔8〕「熱海」 静岡県伊豆半島の温泉地。
- 〔9〕「塔ノ沢」 神奈川県箱根の温泉地。
- 〔10〕「湯治」 温泉に入浴して病気を治療すること。

か。又は伊勢^{また いせ}〔1〕参宮^{さんくう}の折^{おり}からは必^{かなら}ず門^{かど}違^{ちが}いなされまするな。お登^{のぼ}り〔2〕ならば右^{みぎ}の方^{かた}、お下^{くだ}り〔3〕なれば左^{ひだり}側^{がわ}、八^{はつ}方^{ぽう}が八^{やつ}棟^{むね}、表^{おもて}が三^{みつ}棟^{むね}玉^{ぎよく}堂^{どう}造^{づく}り〔4〕。破^は風^{ふう}〔5〕には菊^{きく}に桐^{きり}の臺^{とう}〔6〕の御^ご紋^{もん}をご赦^{しゃ}免^{めん}あつて系^{けい}図^ず正^{ただ}しき葉^{くすり}でござる。

いや最^{さい}前^{ぜん}より家^か名^{めい}の自^じ慢^{まん}ばかり申^{もう}してもご存^{ぞん}じない方^{ほう}には正^{しょう}身^{しん}〔7〕の胡^こ椒^{しょう}の丸^{まる}香^のみ〔8〕白^{しら}河^{かわ}夜^よ舟^{ふね}〔9〕。さらば一^{いち}粒^{りゅう}食^たべかけてその気^き味^み合^{あい}を御^お目^めにかけましよう。

かように一^{いち}粒^{りゅう}、舌^{した}の^うえに^の乗^のせまして腹^{ふく}内^{ない}へ納^{おさ}めますると、いやどうも言^いえぬわ、胃^い、心^{しん}、肺^{はい}、肝^{かん}が健^{すこ}やかになって、薫^{くん}風^{ふう}喉^{のど}より来^きたり、口^{こう}中^{ちゅう}微^び涼^{りょう}を^{しょう}生^{せい}ずるが如^{ごと}し。魚^{ぎょ}鳥^{ちょう}、茸^{きのこ}、麵^{めん}類^{るい}の食^くい合^あわせ〔10〕、その外^{ほか}、万^{まん}病^{びょう}即^{そつ}効^{こう}あること神^{かみ}の^{ごと}如^{ごと}し。

〔1〕「伊勢」 伊勢神宮。三重県伊勢市。

〔2〕「お登り」 京都方面に向かうこと。

〔3〕「お下り」 京都と逆方面に向かうこと。

〔4〕「玉堂造り」 美しい殿堂のこと。

〔5〕「破風」 建物の屋根の部分で大阪城の天主閣でいえば三角形の格子状になっていると所。その頂点に大抵は家紋をつけた。

〔6〕「菊に桐の臺」「菊」「桐」ともに天皇家の紋章。(桐の臺=桐の紋)

〔7〕「正身」 正真正銘。

〔8〕「胡椒の丸香み」 辛い胡椒も噛まずに丸香みしたのではその辛さがわからないように、ものごとはよく考えて理解し味わわないと、本当の意味はわからないというたとえ。

〔9〕「白河夜船」 諺。京の都へ行つたと自慢する男に「あの有名な白河あたりはどうでしたか?」と尋ねると、その男「ああ、白河ねえ。その頃は船中で眠っていたので覚えていないなあ」と答えた。白河は川ではなく京都北部の地名。そこから知つたかぶりをしてウソがばれてしまう時などに使つたが、現在では単に「知らない」と言う意味にも使われ、「うたた寝」の意味でも使われるようになってきた。

〔10〕「食い合わせ」 食あたり。「食い合わせ」は、一緒に食べると腹痛を起こすと言われた俗信。ウナギと梅干、西瓜と天ぷらなど。どれも熱い物と冷たい水物の組み合わせで出来ているので一概に俗信とも言えず、先人の知恵と考えたい。

さて、この薬、第一の奇妙には舌の回ることが銭独楽が裸足で逃げる〔1〕。ひょっと舌が回りだすと矢も盾もたまらぬ〔2〕じゃ〔3〕。

そりゃそりゃそらそりゃ回ってきたわ回ってくるわ、あわや喉〔4〕、きたらな舌にかけさし音〔5〕、はまの二つは唇の軽重〔6〕、開合さわやかに〔7〕、あかきたなはまやらわおこそとのほもよろを、一つぺぎへぎ〔8〕に、へぎほ

- 〔1〕「銭独楽が裸足で逃げる」舌の回ることが早いという形容。「銭独楽」は、穴のあいた一文銭(貨幣)に軸を付けて独楽としたもの。当時、これでお互いの銭ごまを回してバクチ(賭け)をしたと言う。勝った方がそのお金を貰える。あまりに流行しすぎたため幕府は「銭独楽禁止令」を出したほど。「裸足で逃げる」は、人が履物も履かずに大あわてで逃げる喩え。独楽は元来、重心が安定してはじめて静かに、しかも最も早く回転する。しかし、ちょっとでも重心がずれるととんでもない方向へ飛んで行く。そうした様子を形容したもの。
- 〔2〕「矢も盾もたまらない」攻めも防御も出来ない。勢いを制することができないさま、思いつめてこらえることができないさまのたとえ。
- 〔3〕「じゃ」～である。男性や老女言葉。映画や漫画に多用。「矢も盾もたまらぬじゃ」を大げさに声に出してみるとよく分るように、2代目団十郎が、「いやア、もう、トーテモたまらぬじゃ!」と聞かせたと考えられる。
- 〔4〕「あわや喉」舌にも歯にもあごにも唇にも触れずに出す音。ア行・ワ行・ヤ行の音。
- 〔5〕「かけさし音」かけさし歯音と記した物や、か牙、さし歯音と記した物などがある。いずれにしても、同じく日本語の音の出自(摩擦音)を表したもの。ちなみに、「サ行」は舌音ではないが、破裂音っぽく発音するサ行が当時の日本にはあった。
- 〔6〕「はまの二つは唇の軽重」ha hi hu (fu) he hoは昔、fa fi fu fe foで、更に昔、室町時代は、ほとんど、pa pi pu pe poであったらしい。「は」を「ぱ」と読むと、「パ、マの二つは唇の軽重」となる。つまり、「パ行」と「マ行」は、上下の唇を軽く閉じたところから発する音の行だ。
- 〔7〕「開合さわやかに」開口音と合口音とをはっきり区別して。開口音とは「ア」の音に近い「オ」。「アウ・カウ・アフ・カフ・キャウ・シャウ・ヤウ」などがそれぞれ「オー・コー・オー・キョー・ショー・ヨー」になったもの。口の形は「ア」のまま「オ」と発音する。合口音とは開口音より口を狭くした「オ」。「オウ・オフ・エウ・エフ・オホ・キヨウ・シヨウ」などが「オー・オー・ヨー・ヨー・オー・キョー・ショー」になったもの。口の形は開口音より狭くして「オ」と発音。
- 〔8〕「ぺぎへぎ」「剥木(へぎ)」の意か。「ぺぎ」も「へぎ」も、剥ぐの音便で薄く「剥いだ木板」と考える。

し〔1〕はじ^か噛み〔2〕、盆^{ほん}豆、盆^{ほん}米、盆^{ほん}ごぼう〔3〕、摘^つみ^た蓼、摘^つみ^ま豆、摘^つみ^ま山^{さん}椒、書^{しよ}山〔4〕の社^{しゃ}僧^{そう}正〔5〕、小^こ米の生^な噛み、小^こ米の生^な噛み、こ^こん小^こ米〔6〕の小〔7〕生^{しよ}噛み。縹^{しよ}子、緋^ひ縹^{しよ}子、縹^{しよ}子、朱^{しゆ}珍〔8〕。親^おも嘉^か平、子^こも嘉^か平、親^お嘉^か平子^{しよ}嘉^か平、子^{しよ}嘉^か平親^お嘉^か平。古^{ふる}栗^{くり}の木^きの古^{ふる}切^きり口^{くち}、雨^あ合^あ羽^まか、番〔9〕合^あ羽^まか、貴^き様^{さま}の脚^{きゃ}半〔10〕も皮^{かわ}脚^{あし}半、我^{われ}ら^が脚^{あし}半も皮^{かわ}脚^{あし}半、しっ^{かわ}皮^{あし}袴〔11〕のしっ^{かわ}ぽ^{あし}ころ^まびを、三^み針^{はり}、針^{はり}長^{なが}にちよと〔12〕縫^ぬうて、縫^ぬうてちよとぶ^ふん出^でせ〔13〕、河^{かわ}原^{はら}な撫^で子^{しよ}、野^の石^{せき}竹^{ちく}、野^の良^ら如^{にょ}来^{らい}〔14〕、野^の良^ら如^{にょ}来^{らい}、三^{さん}野^の良^ら如^{にょ}来^{らい}に六^む野^の良^ら如^{にょ}来^{らい}、一^{いつ}寸^{すん}の御^お小^こ仏^{ぼつ}に、お^お蹴^けつ^まず^ずき^きやる^な〔15〕、細^ほ溝^{そみぞ}にど^どじ^じよ^よに^によ^よろ^ろり。

- 〔1〕「へぎほし」へぎ餅。かきもち。餅を薄く切って乾かしたもの。
- 〔2〕「はじ噛み」生姜の若い茎の部分を刺身のつまなどに利用する。
- 〔3〕「盆豆、盆米、盆ごぼう」「盆ござ盆まめ盆むしろ盆ごぼう」(続膝栗毛8編上巻)と似たようなものが。当時の早口言葉の定番かも。夏に収穫する大豆を盆豆という。米とごぼうは勢いで言ってみる。
- 〔4〕「書山」兵庫県姫路市西部の名刹。書山円教寺。「ラストサムライ」のロケ現場として話題になったことがある。
- 〔5〕「社僧正」「僧正」は僧侶の高位の名称。しかし「社」が付く「社僧正」という名称は不明。
- 〔6〕「こん小米」「小米(粉米)」は細かく砕けた米。「こん」は、接頭語に近い撥音を加えてリズムカルにしたもの。
- 〔7〕「小」「ちよつと」という意味の接頭語。
- 〔8〕「縹子」絹織物の名称。しよす織。「朱珍」はシユスの古称でシュツチンがシュチンに変化か。今でいうサテン。
- 〔9〕「番」たくさん揃えて番号をつけておくところから、普段使いの粗末なものを意味する。だとしたら、紙でできたものすごく粗末なカッパだ。
- 〔10〕「脚絆」旅人や職人が足首からフクラハギに巻いたもので布製や皮製がある。
- 〔11〕「しっ皮袴のしっぽころび」革袴のほころび。「しっ」は調子をつけるための接頭語。
- 〔12〕「ちよと」ちよつと。
- 〔13〕「ぶん出せ」放り出せ。「ぶん」は、乱暴な動作の接頭語。ぶん回す、ぶん殴る。
- 〔14〕「野良如来」野原に捨て置かれたような如来仏。
- 〔15〕「お蹴つまずきやるな」何かにつまずく意味の「けつまずく」に「お」を付けた語で「お蹴つまずきなさいますな」。

京の生鱈、奈良生学 鯉、ちよと四、五貫目⁽¹⁾、お茶立ちよ⁽²⁾、茶立ちよ、
 ちゃつと⁽³⁾立ちよ茶立ちよ、青竹茶筥^{あおだけちやせん}で、お茶ちやと立ちや⁽⁴⁾。

来るわ来るわ、何が来る。高野の山⁽⁵⁾の、おこけら⁽⁶⁾小僧、狸百匹、箸
 百膳、天目⁽⁷⁾百杯、棒八百本。武具、馬具、武具、馬具、三武具馬具、合わせ
 て武具馬具六武具馬具、菊、栗、菊栗、三菊栗、合わせて菊栗六菊栗、麦、五味、
 麦五味、三麦五味、合わせて麦五味六麦五味、あの長押⁽⁸⁾の長薙刀⁽⁹⁾は、誰
 が長薙刀ぞ⁽¹⁰⁾、向こうの胡麻殻は、荏の胡麻⁽¹¹⁾殻か、真胡麻殻か、あれこそ
 ほんの真胡麻殻、がらびいがらびい⁽¹²⁾風車、おきやがれこぼし⁽¹³⁾起きやが
 れ小法師、夕べも零して、またこぼした。たあふぼぼ⁽¹⁴⁾、たあふぼぼ、ちり

〔1〕「四、五貫目」 15kg～19kgぐらい。

〔2〕「お茶立ちよ」 普通、煎茶は「いれる」。抹茶は「立てる」。抹茶を立てよう、の意で
 最後だけは忙し過ぎるからか傍らに居る人に、あなたが「立てなさい」と、仕事を振
 っている可笑しみがある。

〔3〕「ちゃつと」「ちやと」は、さつと、ささつとの意。「ちゃつちやとしなさい」などと言
 う。

〔4〕「お茶と立ちや」 終いには、忙し過ぎるからか傍らに居る人に、おまえが「立てろ」
 と命令形で、仕事を振っている可笑しみがある。

〔5〕「高野の山」 高野山。真言宗の総本山、金剛峰寺がある。和歌山県。

〔6〕「おこけら」 取るに足らない小僧。金剛峰寺をはじめ、高野山にはこけら葺きの
 屋根の寺がたくさんあるところから派生した言葉遊びか。

〔7〕「天目」 茶の湯に用いる抹茶茶碗の一種。あるいは茶碗の総称。

〔8〕「長押」 鴨居の上に取りつける飾りの横木。長いものを立てかけられる。

〔9〕「薙刀」 薙刀は長刀とも書く。草を薙ぎ倒すように切り結ぶ柄の長い刀。弁慶や
 巴御前が武器とした。

〔10〕「誰が長薙刀ぞ」 誰の長薙刀だろうか。「ぞ」は古典日本語の文法では「係助詞の
 文末用法」と呼ばれ、文中の係助詞と同様に強意・強調の働きをしている。「誰が
 長薙刀か」に比べて、より強く問う語気が加わる。

〔11〕「荏の胡麻」 エゴマ。ゴマの代用で使われるが、実はシソ科でゴマではない。

〔12〕「がらびいがらびい」 ごまがらのガラを引いての面白み。物音や子供たちの騒々
 しさを音で形容したものか。

〔13〕「起きやがれこぼし」 起き上がり小法師。達磨人形の下部に重心を付けたもので
 倒しても倒しても起き上がる子供の玩具。「起きやがれ」は命令形で「起きろ」。

〔14〕「たあふぼぼ」 和楽器独自の音声による音符。「た」「ふ」「ぼ」は鼓。

から〔1〕、ちりから、つつたつぽ〔2〕、たつぽたつぽ一丁 焔、落ちたら煮て喰お。
 煮ても焼いても喰われぬものは、五徳〔3〕、鉄弓〔4〕、金熊童子〔5〕に、石熊、
 石餅、虎熊、虎きす〔6〕、中にも、東寺〔7〕の羅生門〔8〕には茨木童子がうで
 栗〔9〕五合搦んでおむしゃる〔10〕、かの頼光〔11〕の膝元去らず。

鮎、金柑、椎茸、定めて後段な〔12〕、そば切り〔13〕、そうめん、うどんか愚鈍

〔1〕「ちりから」 同上。「ちり」「から」は三味線。

〔2〕「つつたつぽ」 もう一度「つつたつぽ」と、鼓に戻る。

〔3〕「五徳」 火鉢など灰の中に埋め込み、ヤカンや鍋、鉄瓶などをかける道具。輪形で脚が3～4本。

〔4〕「鉄弓」 鉄灸。細い鉄線を網(または格子)状に編んだもの。魚などをあぶるのに使う。

〔5〕「金熊童子」 大江山鬼伝説に基づく。大江山千丈ヶ嶽に立てこもる鬼の一族を、源頼光が退治したといわれる。鬼の頭領は酒呑童子。副将は茨木童子。その下に熊童子、虎熊童子、星熊童子、金熊童子の四天王が続く。それから舞の得意な石熊童子。

〔6〕「虎きす」 魚の「きす」の一種。食べられないものを列挙しているくだりに、語呂や連想だけをたよりに、食べられるものまで並べているわけで、完全な言葉遊び。

〔7〕「東寺」 教王護国寺。京都にある東寺真言宗の本山。羅城門の東側に建てられた。

〔8〕「羅生門」 平安京の正門(正しくは羅城門)。源頼光の家来の渡辺綱が、ここに棲みついてた茨木童子の片腕を斬りおとしたといわれる。

〔9〕「うで栗」「茹で栗」が訛った語。「ゆで」と鬼の「腕」をかけあわせたもの。「ゆで蛸」を「うでだこ」と言う人もいる。

〔10〕「おむしゃる」 (栗を)お蒸かしになる。

〔11〕「頼光」 源頼光(みなもとのらいこう)。羅生門に棲む鬼退治を家来の渡辺綱(わたなべのつな)に命じた。

〔12〕「後段な」 正式な宴会は長時間に及び前段、後段で構成された。後段の始めに軽い食事(ソバやうどん、ソウメンなど)を供した。「な」は「なる」と取ると「～であるところの」と解される。「外郎売り」は、そもそも「口上」だから相手は言葉の音だけを耳にするもので、前の「かの(源)頼光の膝元去らず」と耳にした人々は、直ぐに頼光と聞いただけで彼の家来である有名な「四天王」を連想することになる。つまり、渡辺綱(わたなべのツナ・ふな)、坂田金時(さかたのキンとき・きんかん)、占部季武(うらべスエタケ・しいたけ)、碓井貞光(うすいサダミツ・さだめて)という音の関連からの面白み、遊びと取れる。武勇に優れた四天王が並ぶことで「後段な」は「豪胆(ごうたん=大胆)な」と聞かせた可能性が大である。

〔13〕「そば切り」 そばと同じ。そば粉を細長く切って食うのでそば切り。

なこ新しん発はち知^{〔1〕}、小こ棚なのした小こ桶おけにこ味み噌そがこあるぞ、小こ杓やく子しこ持もってこ
 掬すくってこ寄よ越こせ。おおと、合が点てんだ、心こ得えたんぼの川かわ崎さき^{〔2〕}、神かな奈なが川がわ、保ほ土どヶ
 谷や、戸と塚つかは、走はしって行いけば、ややいとをす擦すりりむく^{〔3〕}、三さん里りばかりか、藤ふじ沢さわ、平
 塚つか、大お磯いそがししや^{〔4〕}、小こ磯いそ^{〔5〕}のやど宿なを七ななつ^{〔6〕}起おきして、早そう天てん早そう々^{〔7〕}、相そう州しゅう小
 田だ原わらとうちんこう、隠かくれござらぬき貴せん賤くん群じゆ集の、花はなのお江え戸どの花はなういろうろう、あ
 れあの花はなを見みて、おこ心ころをお和やわらぎやという、産うぶ子こ^{〔8〕}、這はうこ子こにいた至いたるまで、こ
 のういろうろうの御ご評ひょう判はん、ごぞん存じ知ちないとはもう申もうされまいまいつぶり^{〔9〕}、角つ出でせ、

〔1〕「新発知(新発意)」 修行に入ったばかりの僧で、「小」が付くから新米僧を卑下しての語と理解される。

〔2〕「心得たんぼの川崎」「心得た」の「た」を引いて「田んぼばかりの川崎」と洒落た。東海道五三次(53の宿場)を江戸から順番に並べている。だんだん小田原に迫ってきている。

〔3〕「やいとを擦りむく」「やいと」は灸の老人語。焼処(ヤキト)の変化。灸のツボ「三里」と距離の三里の掛詞へ続く。

灸をすえた跡にはヤケド同様、カサブタができるものである。元来、三里という灸のツボは、足の(腕にもある)膝下の外側(手指三本ほど)の位置(腕も同様)で、脚の疲れをとるのにいいツボとされている。旅人は大よそ距離で3里(約12km)も歩けば疲れが出て来る。そこで脚の三里のツボに灸をして疲れを取り去り、再び歩き始めたものだと聞く。ところが、ここでは江戸から走りっぱなし、その忙しさ、慌しさにお灸のヤケド痕さえ擦りむけてしまう(痛い!)大変な思いをしてなおも一、という雰囲気を出しているところと理解している。言うまでもなく、ツボの「三里」と、距離の「三里」を掛けており、これも、言葉遊びで、耳にする観客を楽しませるためのものである。

〔4〕「藤沢、平塚、大磯がしや」 いずれも江戸から西への地名。大磯を「おお、忙しい」と洒落たもの。

〔5〕「小磯」 大磯の側にある地。駅はない。「大磯がし(大忙し)」なので小磯に泊まることにしたのであろうか。

〔6〕「七つ」 中古から近世にかけての時刻の呼び方。現在の午前四時または午後四時にあたる。ななつどき。

〔7〕「早天早々」 早朝から早々と。早起きの「ソウ」と相州の「ソウ」をかけあわせている。

〔8〕「産子」 生まれたばかりの赤ちゃん。「おやわらぎやー」と泣くらしい。

〔9〕「申されまいまいつぶり」「申されまい」の「まい」から「まいまいつぶり(カタツムリ)」へと展開させた面白み。

ぼう
棒出せ、ぼうぼう^{まゆ}眉〔1〕に、うす^{きね}、すり鉢^{ばち}ばちばちがらがらと〔2〕、^{ほめ}羽目
をはずして今日^{こんにち}お出^いでのいずれの^{さま}様に、^あ上げねばならぬ、^う売らねばならぬ
と、^{いき}息せい〔3〕^ひ引^ば張り、^{とうほう}東方世界〔4〕の^{くすり}薬の^{もとじめ}元締、^{やくし}薬師如来〔5〕も^{しょうらん}照覽あ
れと、^{うやま}ほほ〔6〕敬^{うやま}って、ういろうは、いらっしやりませぬか。

参考译文：

外郎药

（市川团十郎二世）

在座的诸位中或许有知晓在下的师傅，他便是栏干桥虎屋的藤右卫门。从江户向京都行百五六十里，过了相州小田原一色町，再去往青物町便到。眼下他削发为僧，号元斋。

话说这一年到头不离手的外郎药的来历，原本是大唐国一名为外郎的人来我朝时献给皇上的，皇上视为珍宝，随身携带，每次都从顶冠缝隙处取一粒服用，故赐名为“顶透香”，书写下来即是“头顶”的“顶”、“透过”的“透”、“芳香”的“香”，“顶透香”是也。

-
- 〔1〕「ぼうぼう眉」 いつ剃ったか分らない生え放題の「茫茫眉」の意で、前の「棒出せ」の音からの面白み。
- 〔2〕「すり鉢ばちばちがらがらと」「すり鉢」の「バチ」の音を引いての洒落。ものが弾けたり崩れたり相当に慌しく騒々しい様子を音で表した。
- 〔3〕「息せい引張り」 目いっぱい気張って。
- 〔4〕「東方世界」 東方にあるといわれる薬師如来の浄土。浄瑠璃浄土。
- 〔5〕「薬師如来」 薬師瑠璃光如来。すべての人の病気を治すといわれる仏。左手に薬壺を持っている。
- 〔6〕「ほほ」 頬。現在はホオと発音する人が多いがホホが正しい。声に出さず口元と頬だけの静かな微笑を今でも「ホホエミ」と言う。歌舞伎独特の「合いの手」みたいな「掛け声」みたいな奇声を発する部分で、最後の締めくくり前の気合を入れる部分ともなっている。

现如今这种药流传于市,虚假招牌随处可见,称谓各异:小田原外郎、大田原外郎、东田原外郎、西田原外郎……然以平假名上书“外郎”的,仅此元斋师傅一家。

诸位中有去往热海或是塔泽泡温泉疗病的,亦或参拜伊势神宫路过,您可千万别走错了门儿。进京的往右看,出京的靠左行;四面共八间房,外面三间富丽堂皇,房顶的人字板上雕有菊花、桐叶纹,——这才是名门正宗的外郎药。

对了,在下只顾对自个儿的家门王婆卖瓜自卖自夸了,不知此药的客官兴许听得如坠五里云中、不辨东南西北了。倘若是这样,在下这就服下一粒,让诸位见识见识它的功效。

如此这般,放一粒在舌头上,吞到肚里,您立马就会感到心胸舒畅、五腑通泰,如春风升自咽喉,顿觉口舌生津;又如同享用山珍海味,诸疾药到病除,实乃仙丹妙药。

要说这神药的第一妙,妙在服用后变得巧舌如簧,稍有动弹便一发而不可收拾。

你看你看你看你看,舌头开始转动起来了。喉音「あわや」,舌齿音「さたらな」,轻闭嘴唇「はま」,开口闭合轻快自如,念出来就是「あかさたなはまやらわおこそこのほもよろを」。说薄木片、薄木板,年糕片加生姜干儿;夏豆夏米夏牛蒡、摘蓼子摘豆子摘花椒,书写山的高僧生嚼米嚼小米嚼生米;绸缎锦缎绫罗绸缎;父亲叫嘉平儿子叫嘉平父亲嘉平子嘉平;老栗子树上老切口;到底是雨衣还是斗篷?你的裹脚布用皮做我的裹脚布用皮做;皮裙裤的破洞三针两线就缝好,缝好了你就拿走吧;河滩上的红瞿麦,野地里的粉石竹,弃之荒野的如来像,弃之荒野的如来像,三个弃之荒野的如来像、六个弃之荒野的如来像,千万不要被小小的佛像绊了脚,小河沟里还有泥鳅在爬行。

京都的生鳕鱼,奈良的生鲳鱼,都有十七八公斤;沏茶沏茶劳驾劳驾一边儿去,沏茶了,青青竹刷沏香茶。

来啦来啦啥来啦?来了高野山的小和尚。狸子一百只筷子一百双茶杯一百个棍儿八百根;盔甲马具盔甲马具,三副盔甲三副马具,合在一起盔甲马具共六副;菊花栗子菊花栗子,三朵菊花三个栗子,合在一起菊花栗子各有三;麦子五味子麦子五味子,三份麦子五味子,合在一起六份麦子五味子。那把挂在门框横木条上的长刀可知谁的长刀?那里的芝麻壳,是白苏壳还是真芝麻壳?那就是真价实的真芝麻壳。芝麻皮儿、皮儿芝麻、滴溜溜那个风车转;起来小不倒翁起来不倒翁,昨晚不高兴今儿又埋怨;咚、咚、咚锵、叮叮铛;咚、咚、咚锵、咚咚锵。一只风筝落下地,落下地就变章鱼,变成章鱼煮来吃;煮了烤了也吃不成的是火支子、铁网、金熊童子、石熊、石饼、虎熊、虎鲱,还有东寺的罗生门,茨木童

子抓起五合栗子煮，不离那个源赖光的左右。

鲫鱼、金橘和香菇，盛筵将散就上荞麦面、挂面，还有乌冬面，愚蠢的小和尚看见棚子下面小桶里的黄酱，拿个小勺就开舀。好了好了，就这么着，这么着就到了田野无边的川崎、神奈川、保土谷、户塚，跑啊跑，跑啊跑，足三里扎一针接着再跑，跑得磨破了灸烧的疤。藤泽、平塚到大矶，急忙赶路跑断了气；凌晨四时出小矶客舍，天色尚早赶相州小田原透顶香。客官从不分贵贱，繁华似锦大江户，名扬四海外郎药。人说赏花心祥和，外郎药效人人夸。无人不知、无人不晓；蹊跷蹊跷实在是巧，拿出角来拿出棍儿，乱蓬蓬的眉毛顾不上修；拿出白杵拿出钵，噼里啪啦稀里哗啦，今儿个我就豁出去了，定要将这外郎药奉送在座的诸位客官，卖给在座的诸位客官。东方净土药师如来照鉴，小生这厢有礼了。买外郎药啰。



书名
版权
前言
目录
正文